

平成20年度
東京都がん検診実態調査
報告書



東京都福祉保健局

はじめに

東京都において、がんは昭和 52 年から都民の死亡原因の第一位を占め、年間 3 万人もの方々ががんで亡くなられ、また生涯のうちにがんに罹る可能性は、男性では 2 人に 1 人、女性の 3 人に 1 人と推計されるなど、がんは都民の生命及び健康を脅かす重大な疾患です。

都では、平成 20 年 3 月に、予防から治療、療養生活の支援に至る総合的な取組を進めるため、「東京都がん対策推進計画」を策定し、がんを負けることのない社会の実現を目指し、施策の展開を行っていくこととしています。

本計画ではまず、「予防の重視」を掲げており、がん予防の取組とあわせて、がん検診の受診率と質の向上を目標にしています。

がんは、健康的な生活習慣や食生活を実践することで、発症リスクを減らすことが可能ですが、科学的に効果が明らかでかつ精度の高いがん検診により早期に発見し、治療を行うことで治癒が期待できます。

しかし、東京都におけるがん検診（胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）の受診率は全国と比較して低い状況にあり、がんによる死亡を減らすためには、有効な受診率向上施策を策定し、推進していくことが急務となっています。

このたび、「東京都がん検診実態調査」を実施し、都民のがん検診の受診率や受診機会及び、全国でも初めて健康保険組合や事業所におけるがん検診の実施状況を詳細に調査いたしました。本調査結果は、都民のがん検診受診率向上や検診実施体制の整備、職域におけるがん検診の推進に向けた支援を推進する上での貴重な資料となると思われます。

最後になりましたが、本調査にご理解、ご協力を賜りました都民及び、健康保険組合と事業所の皆様、調査の実施にあたりご指導いただきました、東京都生活習慣病検診管理指導協議会がん部会の委員の皆様、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

平成 21 年 3 月

東京都福祉保健局保健政策部長
住 友 眞 佐 美

目 次

第1章 都民調査	3
第1 調査方法	3
1 調査対象	3
2 調査期間	3
3 調査方法	3
4 回収状況	3
第2 調査結果	4
1 回答者の基本属性（問8～問11）	4
(1) 性別	4
(2) 年齢	4
(3) 回答者の性別・年代別構成	5
(4) 住所地	6
(5) 同居家族の人数	7
(6) 同居家族の構成	7
(7) 就業状況	8
(8) 勤務先の業種	8
(9) 医療保険の種類	9
2 健康状態及び健康意識等（問6-1、6-2、7、12）	10
(1) 現在の健康状態	10
(2) 喫煙歴の状況	11
① 喫煙歴	11
② たばこを吸い始めた年齢	11
(3) 健康に関する情報への興味	12
(4) 身の回りですぐにかんにかかった人がいる	13
(5) 「ピンクリボン運動」の認知度	13
① 「ピンクリボン運動」の認知度	13
② 年代別ピンクリボン運動の認知度（女性）	14
③ 年代別ピンクリボン運動の認知度（男性）	15
3 がん検診の受診状況と検査方法（問1-1）	16
(1) 胃がん検診の受診状況と検査方法	16
① 胃がん検診受診の有無	16
② 胃がん検診の受診率	16
③ 胃がん検診の性別・年代別受診率	17
④ 胃がん検査の方法	17
(2) 肺がん検診の受診状況と検査方法	18
① 肺がん検診受診の有無	18
② 肺がん検診の受診率	18
③ 肺がん検診の性別・年代別受診率	19

④ 肺がん検査の方法	19
⑤ 喫煙者の喀痰細胞診受診状況	20
(3) 大腸がん検診の受診状況と検査方法	21
① 大腸がん検診受診の有無	21
② 大腸がん検診の受診率	21
③ 大腸がん検診の性別・年代別受診率	22
④ 大腸がん検査の方法	22
(4) 子宮がん検診の受診状況と検査方法	23
① 子宮がん検診受診の有無	23
② 子宮がん検診の受診率	23
③ 子宮がん検診の年代別受診率	24
④ 子宮がん検査の方法	24
(5) 乳がん検診の受診状況と検査方法	25
① 乳がん検診受診の有無	25
② 乳がん検診の受診率	25
③ 乳がん検診の年代別の受診率について	26
④ 乳がん検査の方法	26
(6) 身の回りでがんにかかった人の有無別がん検診の受診率	27
4 がん検診の受診機会（問1-2）	28
(1) がん検診の受診機会（問1-2-A）	28
(2) がん検診の受診場所（問1-2-B）	29
① がん検診の受診場所	29
② 胃がん検診の性別・年代別がん検診の受診機会	30
③ 肺がん検診の性別・年代別がん検診の受診機会	31
④ 大腸がん検診の性別・年代別がん検診の受診機会	32
⑤ 子宮がん・乳がん検診の年代別がん検診の受診機会	33
(3) 検診結果の通知方法等（問1-2-C）	34
① 検診結果の通知方法	34
② 再検査や精密検査の受診の勧め	34
③ 再検査・精密検査（二次検査）受診の有無	35
④ 再検査・精密検査（二次検査）を受けていない場合の今後の予定	36
5 がん検診の受診理由（問2）	37
(1) 胃がん検診の受診理由	37
(2) 胃がん検診の受診理由〔性別・年代別〕	38
(3) 肺がん検診の受診理由	39
(4) 肺がん検診の受診理由〔性別・年代別〕	40
(5) 大腸がん検診の受診理由	41
(6) 大腸がん検診の受診理由〔性別・年代別〕	42
(7) 子宮がん検診の受診理由	43
(8) 乳がん検診の受診理由	44
(9) 子宮がん・乳がん検診の受診理由〔年代別〕	45

(10) 受診理由が「検診を勧める情報を見聞きした」場合の情報媒体	46
6 がん検診の未受診理由（問3-1、3-2）	47
(1) がん検診を受けなかった人の意識	47
(2) がん検診を受けなかった理由	48
(3) がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕	50
① 胃がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕	50
② 肺がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕	51
③ 大腸がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕	52
④ 子宮がん・乳がん検診の未受診理由〔年代別〕	53
7 がん検診を受けたいと思う条件（問3-3）	54
(1) がん検診の受診を促進する条件	54
(2) がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕	56
① 胃がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕	56
② 肺がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕	57
③ 大腸がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕	58
④ 子宮がん・乳がん検診の受診を促進する条件〔年代別〕	59
8 がん検診費用（自己負担額）の受容できる総額（問4）	61
(1) がん検診費用（自己負担額）の受容できる総額〔男女別〕	61
(2) がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔性別・年代別〕	62
(3) がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔健康情報の関心別〕	64
(4) がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔仕事の有無別〕	66
9 がん検診制度についての意見等（問13）	67
10 肝炎ウイルス検診の実施状況及び受診状況等	70
(1) 肝炎ウイルス検診受診の有無	70
(2) 肝炎ウイルス検査の種類	70
(3) 肝炎ウイルス検診の受診機会	71
(4) 肝炎ウイルス検査の費用	71
(5) 肝炎ウイルス検査の場所	72
第2章 職域調査	75
第1 調査方法	75
1 調査対象	75
2 調査期間	75
3 調査方法	75
4 回答状況	76
第2 調査結果	77
1 事業所の属性（問1）	77
(1) 所在地	77
(2) 事業所の規模と正社員数	78
① 事業所規模	78
② 正社員数	78

(3) 業種	79
(4) 医療保険の種類	80
(5) 組合健康保険の設立形態	80
(6) 保健事業の専門スタッフ	81
2 健康保険組合の属性（問1）	82
(1) 設立形態	82
(2) 加入事業所数	82
(3) 加入事業所の主たる業種	83
(4) 被保険者について	84
① 被保険者数	84
② 被保険者の都内在住者数の把握状況	84
③ 被扶養者数	85
④ 任意継続の被保険者数	85
3 正社員または被保険者のがん検診の実施状況等（問2-1）	86
(1) 胃がん検診	86
① 胃がん検診の実施状況	86
② 胃がん検診の事業所規模別実施率	86
③ 胃がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）	87
④ 胃がん検診の対象者	88
⑤ 胃がん検診の対象者〔事業所規模別〕	88
⑥ 胃がん検診の対象者〔業種別〕（抜粋）	89
⑦ 胃がん検診の対象年齢の下限	90
⑧ 胃がん検診の対象年齢比較〔事業所規模別〕	91
⑨ 胃がん検診の検査方法	92
⑩ 胃がん検診の事業所規模別検査方法	92
⑪ 胃がん検診の実施場所	93
⑫ 胃がん検診の時間帯	93
⑬ 胃がん検診費用の自己負担の状況	94
(2) 肺がん検診	95
① 肺がん検診の実施状況	95
② 肺がん検診の事業所規模別実施率	95
③ 肺がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）	96
④ 肺がん検診の対象者	97
⑤ 肺がん検診の対象者〔事業所規模別〕	97
⑥ 肺がん検診の対象者〔業種別〕（抜粋）	98
⑦ 肺がん検診の対象年齢の下限	99
⑧ 肺がん検診の対象年齢の比較〔事業所規模別〕	100
⑨ 肺がん検診の検査方法	101
⑩ 肺がん検診の事業所規模別検査方法	102
⑪ 肺がん検診の位置付け	103
⑫ 肺がん検診の実施場所	103

⑬ 肺がん検診の時間帯	104
⑭ 肺がん検診費用の自己負担の状況	104
(3) 大腸がん検診	105
① 大腸がん検診の実施状況	105
② 大腸がん検診の事業所規模別実施率	105
③ 大腸がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）	106
④ 大腸がん検診の対象者	107
⑤ 大腸がん検診の対象者〔事業所規模別〕	107
⑥ 大腸がん検診の対象者〔業種別〕（抜粋）	108
⑦ 大腸がん検診の対象年齢の下限	109
⑧ 大腸がん検診の対象年齢の比較〔事業所規模別〕	110
⑨ 大腸がん検診の検査方法	111
⑩ 大腸がん検診の事業所規模別検査方法	111
⑪ 大腸がん検診の実施場所	112
⑫ 大腸がん検診の時間帯	112
⑬ 大腸がん検診費用の自己負担の状況	113
(4) 子宮がん検診	114
① 子宮がん検診の実施状況	114
② 子宮がん検診の事業所規模別実施率	114
③ 子宮がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）	115
④ 子宮がん検診の対象者	116
⑤ 子宮がん検診の対象者〔事業所規模別〕	116
⑥ 子宮がん検診の対象者〔業種別〕（抜粋）	117
⑦ 子宮がん検診の対象年齢の下限	118
⑧ 子宮がん検診の対象年齢の比較〔事業所規模別〕	119
⑨ 子宮がん検診の検査方法	120
⑩ 子宮がん検診の事業所規模別検査方法	120
⑪ 子宮がん検診の実施場所	121
⑫ 子宮がん検診の時間帯	121
⑬ 子宮がん検診費用の自己負担の状況	122
(5) 乳がん検診	123
① 乳がん検診の実施状況	123
② 乳がん検診の事業所規模別実施率	123
③ 乳がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）	124
④ 乳がん検診の対象者	125
⑤ 乳がん検診の対象者〔事業所規模別〕	125
⑥ 乳がん検診の対象者〔業種別〕（抜粋）	126
⑦ 乳がん検診の対象年齢の下限	127
⑧ 乳がん検診の対象年齢の比較〔事業所規模別〕	128
⑨ 乳がん検診の検査方法	129
⑩ 乳がん検診の事業所規模別検査方法	130

⑪ 乳がん検診の実施場所	131
⑫ 乳がん検診の時間帯	131
⑬ 乳がん検診費用の自己負担の状況	132
4 正社員の家族又は被扶養者のがん検診の実施状況等（問2-1）	133
(1) 胃がん検診	133
① 胃がん検診の実施状況	133
② 胃がん検診の対象者	133
③ 胃がん検診の対象年齢の下限	134
④ 胃がん検診の検査方法	134
⑤ 胃がん検診の実施場所	135
⑥ 胃がん検診の時間帯	135
⑦ 胃がん検診費用の自己負担の状況	136
(2) 肺がん検診	137
① 肺がん検診の実施状況	137
② 肺がん検診の対象者	137
③ 肺がん検診の対象年齢の下限	138
④ 肺がん検診の検査方法	138
⑤ 肺がん検診の実施場所	139
⑥ 肺がん検診の時間帯	139
⑦ 肺がん検診費用の自己負担の状況	140
(3) 大腸がん検診	141
① 大腸がん検診の実施状況	141
② 大腸がん検診の対象者	141
③ 大腸がん検診の対象年齢の下限	142
④ 大腸がん検診の検査方法	142
⑤ 大腸がん検診の実施場所	143
⑥ 大腸がん検診の時間帯	143
⑦ 大腸がん検診費用の自己負担の状況	144
(4) 子宮がん検診	145
① 子宮がん検診の実施状況	145
② 子宮がん検診の対象者	145
③ 子宮がん検診の対象年齢の下限	146
④ 子宮がん検診の検査方法	146
⑤ 子宮がん検診の実施場所	147
⑥ 子宮がん検診の時間帯	147
⑦ 子宮がん検診費用の自己負担の状況	148
(5) 乳がん検診	149
① 乳がん検診の実施状況	149
② 乳がん検診の対象者	149
③ 乳がん検診の対象年齢の下限	150
④ 乳がん検診方法	150

⑤ 乳がん検診の実施場所	151
⑥ 乳がん検診の時間帯	151
⑦ 乳がん検診費用の自己負担の状況	152
5 正社員又は被保険者への結果通知と精密検査の受診勧奨（問2-3）	153
(1) 個人の検診結果の把握の有無	153
(2) 要精密検査の該当者への対応状況	154
(3) 精密検査の受診勧奨方法	155
(4) 精密検査結果の把握の有無	155
6 がん検診の取り組み状況等（問4）	156
(1) がん検診の取り組み状況	156
① がん検診の受診率向上への取り組み	156
② 業種別のがん検診の受診率向上への取り組み（抜粋）	157
③ 積極的に取り組んでいる理由	158
④ 積極的に取り組んでいる理由 [事業所規模別]	160
⑤ 積極的に取り組んでいる理由 [業種別]（抜粋）	161
⑥ 取り組みに消極的、または、取り組んでいない理由	162
⑦ 取り組みに消極的、または、取り組んでいない理由 [事業所規模別]	163
⑧ 取り組みに消極的、または取り組んでいない理由 [業種別]（抜粋）	164
⑨ より積極的に取り組むために有効と思われる支援条件	165
(2) がん検診の広報・普及啓発について	166
① 広報・普及啓発の実施状況	166
② 広報・普及啓発の方法	166
③ 特に効果的だと思われる普及啓発の方法	167
7 今後のがん検診について（問5）	168
(1) 今後のがん検診に関する事業の予定	168
(2) がん検診に関する事業を縮小する理由	168
8 がん検診に関する行政への要望（問6）	169
9 正社員の受診状況について [参考]	170
(1) 算定方法	170
(2) 胃・肺・大腸がん検診（正社員）の受診状況	170
10 肝炎ウイルス検診の実施状況及び受診状況等（問3）	171
(1) 正社員または被保険者について	171
① 肝炎ウイルス検診の実施状況	171
② 肝炎ウイルス検診の事業所規模別実施率	171
③ 肝炎ウイルス検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）	172
④ 肝炎ウイルス検診の受診対象	173
⑤ 肝炎ウイルス検診の対象年齢の下限	173
⑥ 肝炎ウイルス検診の検査項目	174
⑦ 肝炎ウイルス検診の実施場所	174
⑧ 肝炎ウイルス検査を受診できる時間帯	175
⑨ 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況	175

(2) 正社員の家族または被扶養者について	176
① 肝炎ウイルス検診の実施状況	176
② 肝炎ウイルス検診の受診対象	176
③ 肝炎ウイルス検診の対象年齢の下限	177
④ 肝炎ウイルス検診の検査項目	177
⑤ 肝炎ウイルス検診の実施場所	178
⑥ 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯	178
⑦ 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況	179
 第3章 事例紹介	183
事例1：電気供給業	183
事例2：金融業（銀行）	186
事例3：総合建設業	189
事例4：生命保険業	192
事例5：ビルメンテナンス業	195
 第4章 調査票	201
・都民のがん検診に関する意識調査 調査票	201
・職域におけるがん検診実施状況調査 <健康保険組合向け> 調査票	213
・職域におけるがん検診実施状況調査 <事業所向け> 調査票	227
 第5章 単純集計表	243
・都民のがん検診に関する意識調査 単純集計表	243
・職域におけるがん検診実施状況調査 単純集計表 <健康保険組合>	253
・職域におけるがん検診実施状況調査 単純集計表 <事業所>	264
 第6章 クロス集計表	277
・都民のがん検診に関する意識調査 クロス集計表	277
・職域におけるがん検診実施状況調査 クロス集計表	295

第 1 章 都民を対象とした調査

第1章 都民調査

第1 調査方法

1 調査対象

住民基本台帳から層化二段無作為法により抽出した、都内（島しょを除く。）に居住する満40歳以上の男性2,000人、満20歳以上の女性3,000人の計5,000人を対象とした。

層化二段無作為抽出法では、第1段階として二次保健医療圏に層化後、区市町村を無作為抽出し、調査対象区市町村とした。第2段階として、調査対象区市町村の住民基本台帳から標本個体の無作為抽出（確率比例抽出）により対象を抽出した。

標本数は、男女別、年代別に層化した上で、都の平成20年度の人口構成比により割り当て、標本数を定めた。

表1 標本数

年齢階級	男性		女性	
	平成20年度人口(人)	標本数(人)	平成20年度人口(人)	標本数(人)
20歳～29歳			832,241 (15.7%)	438
30歳～39歳			1,069,252 (20.2%)	562
40歳～49歳	896,514 (28.7%)	574	819,500 (15.5%)	483
50歳～59歳	814,726 (26.0%)	521	783,277 (14.8%)	462
60歳～69歳	730,557 (23.4%)	467	785,521 (14.8%)	463
70歳以上	683,752 (21.9%)	438	1,005,517 (19.0%)	592
合計	3,125,549 (100%)	2,000	5,295,308 (100%)	3,000

2 調査期間

調査は平成20年9月18日から同月29日まで実施した。

3 調査方法

調査票の郵送配布・郵送回収を実施した。

4 回収状況

男性867人、女性1,514人の計2,381人から有効回答を得た。有効回答率は、47.6%であった。

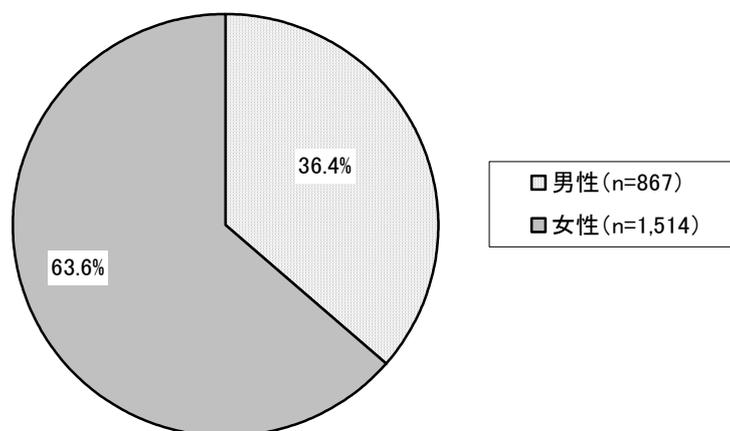
第2 調査結果

1 回答者の基本属性（問8～問11）

(1) 性別

- 回答者の性別は、男性が867人（36.4%）、女性が1,514人（63.6%）であった。

図1 性別



(2) 年齢

表2 年齢

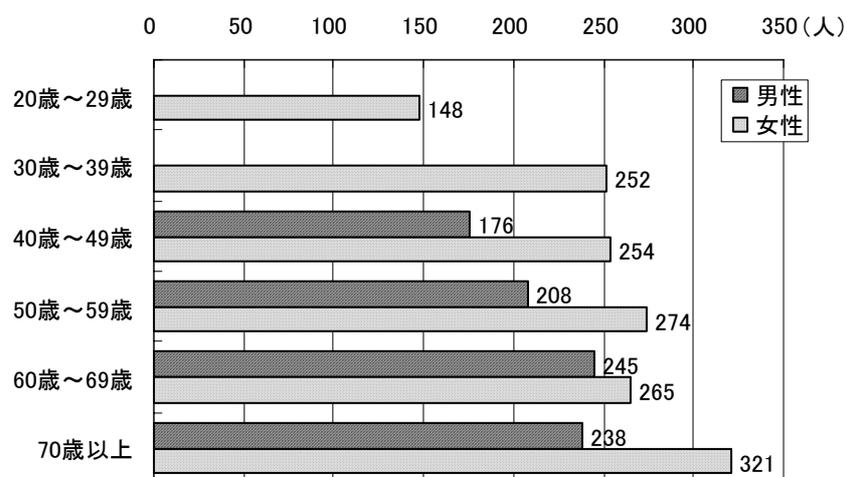
	回答数(人)	平均(歳)	最小(歳)	最大(歳)
男性	867	61.1	40	94
女性	1,514	52.8	20	95

(3) 回答者の性別・年代別構成

表 3 性別・年代別回答者数

	全体			男性			女性		
	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
20歳～29歳	436	148	33.9				436	148	33.9
30歳～39歳	564	252	44.7				564	252	44.7
40歳～49歳	1,057	430	40.7	572	176	30.8	485	254	52.4
50歳～59歳	982	482	49.1	520	208	40.0	462	274	59.3
60歳～69歳	929	510	54.9	466	245	52.6	463	265	57.2
70歳以上	1,032	559	54.2	442	238	53.8	590	321	54.4
合計	5,000	2,381	47.6	2,000	867	43.4	3,000	1,514	50.5

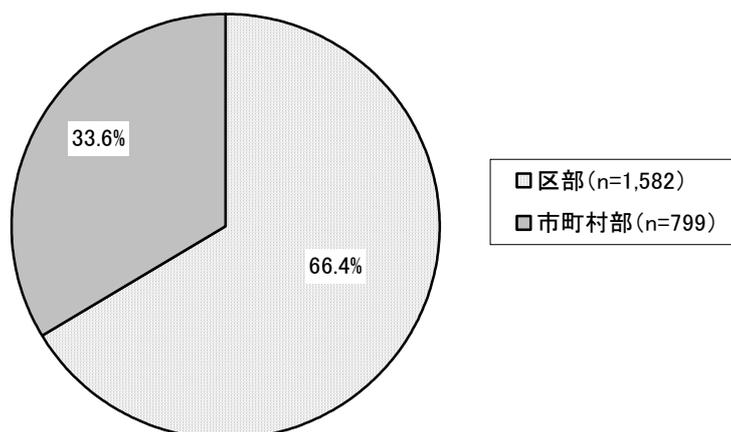
図 2 回答者の性別・年代別構成



(4) 住所地

- 回答者の住所地は、「区部」が 1,582 人 (66.4%)、「市町村部」が 799 人 (33.6%) であった。

図 3 住所地



(5) 同居家族の人数

- 同居家族の人数は、平均 2.8 人であった。

表 4 同居家族の人数

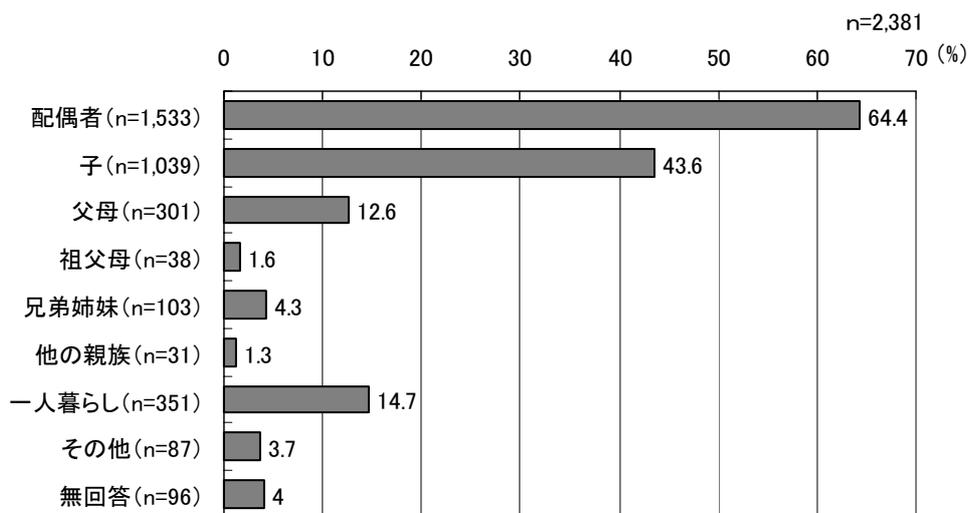
(n=2,293 : 無回答88を除く。) [人]

平均	最小	最大
2.8	1	15

(6) 同居家族の構成

- 「配偶者」との同居が 64.4%、「子」との同居が 43.6%、「一人暮らし」が 14.7%であった。

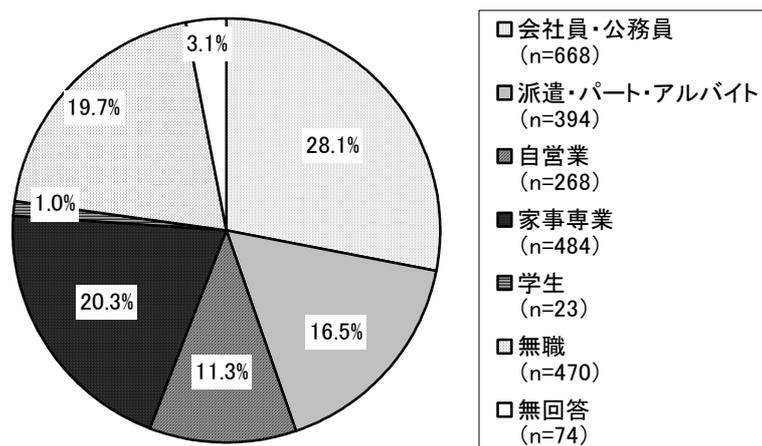
図 4 同居家族の構成（複数回答）



(7) 就業状況

- 主たる仕事（就学）の有無や形態は、「会社員・公務員」が28.1%と最も多く、次いで「家事専業」（20.3%）、「無職」（19.7%）であった。

図5 主たる仕事（就学）の有無や形態

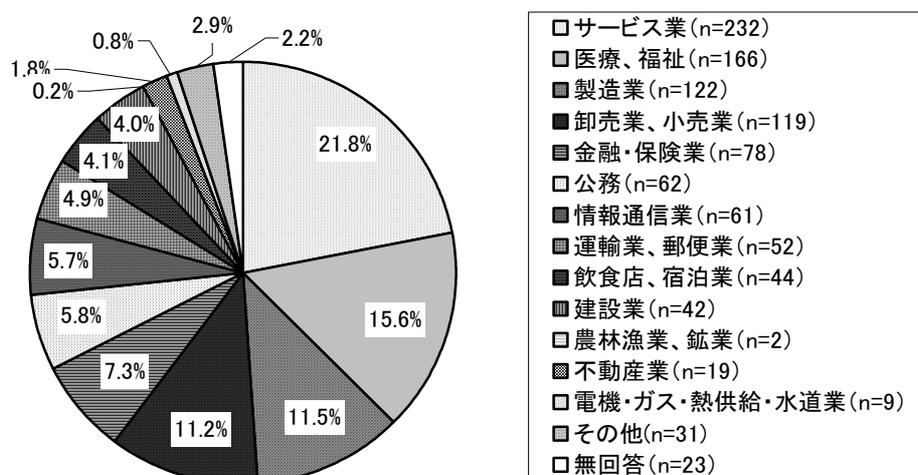


(8) 勤務先の業種

[就業状況で会社員・公務員・派遣・パート・アルバイトと回答した人を対象とした。]

- 勤務先の業種は、「サービス業」が21.8%と最も多く、次いで「医療・福祉」（15.6%）、「製造業」（11.5%）であった。

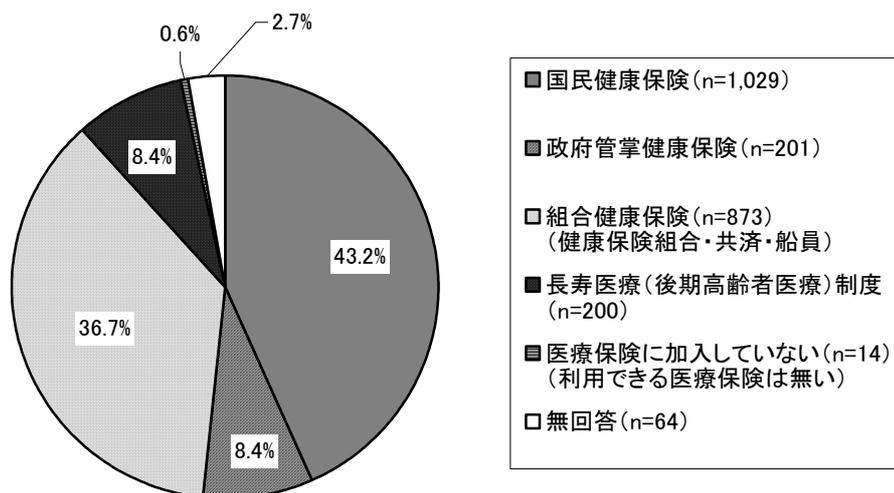
図6 勤務先の業種



(9) 医療保険の種類

- ・ 利用できる医療保険の種類は、「国民健康保険」が43.2%と最も多く、次いで「組合健康保険（健康保険組合・共済・船員）」（36.7%）であった。

図 7 利用できる医療保険の種類



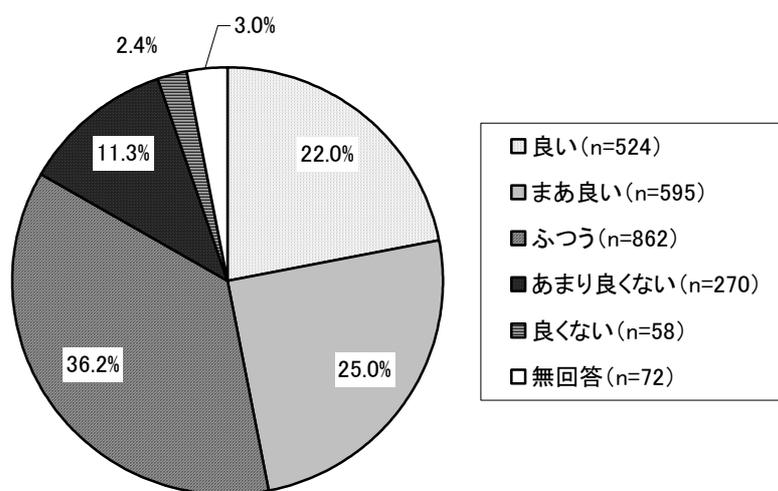
注) 「政府管掌健康保険組合」は、平成20年10月より「全国健康保険協会健康保険」に移管

2 健康状態及び健康意識等（問 6-1、6-2、7、12）

(1) 現在の健康状態

- ・ 現在の健康状態は、「良い」（22.0%）と「まあ良い」（25.0%）を合わせて47.0%、「ふつう」が36.2%であった。
- ・ 「良くない」（2.4%）と「あまり良くない」（11.3%）を合わせて13.7%であった。

図 8 現在の健康状態

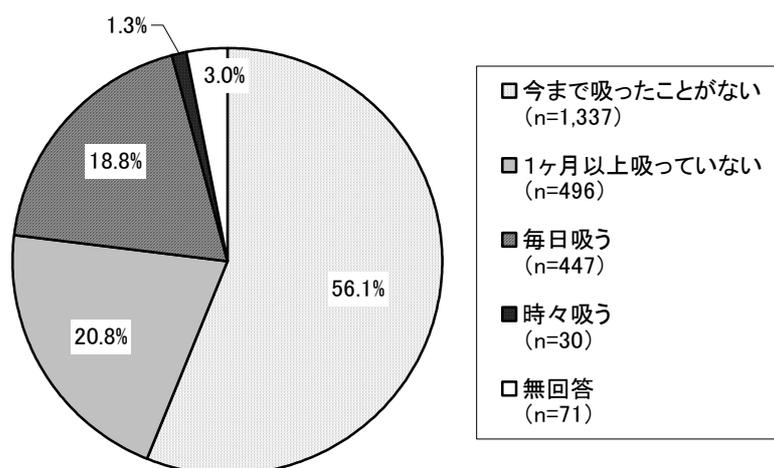


(2) 喫煙歴の状況

① 喫煙歴

- ・ 喫煙歴は、「今まで吸ったことがない」が 56.1%と最も多く、次いで「1ヶ月以上吸っていない」が 20.8%であった。
- ・ 「毎日吸う」(18.8%) と「時々吸う」(1.3%) を合わせて 20.1%であった。

図 9 喫煙歴



② たばこを吸い始めた年齢

- ・ たばこを吸い始めた年齢は平均で、21.5歳であった。

表 5 たばこを吸い始めた年齢

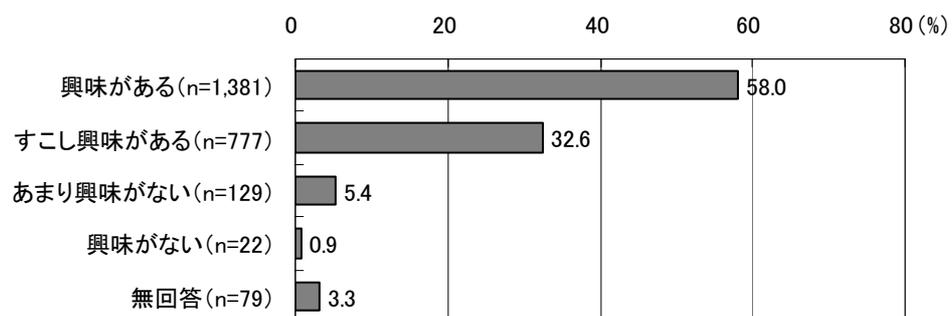
(n=920 : 無回答53を除く) (歳)

平均	最小	最大
21.5	12	73

(3) 健康に関する情報への興味

- 健康に関する情報への興味は、「興味がある」が 58.0%と最も多く、次いで「すこし興味がある」(32.6%)であった。

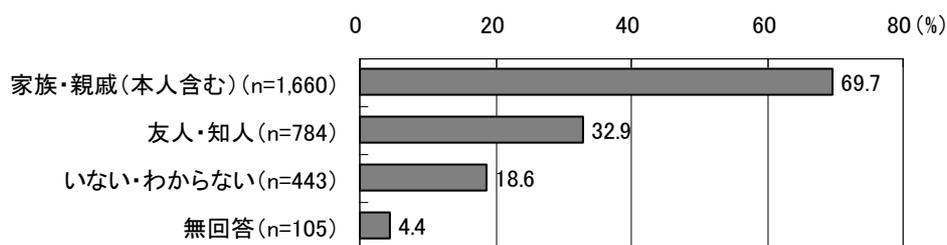
図 10 「健康」に関する情報への興味（複数回答）



(4) 身の回りでがんにかかった人がいる

- ・ 身の回りでがんにかかった人がいると答えた人は、「家族・親戚（本人含む）」で 69.7%と最も多く、次いで「友人・知人」（32.9%）であった。
- ・ 身の回りでがんにかかった人が「いない・わからない」は、18.6%であった。

図 11 身の回りでがんにかかった人がいる（複数回答）

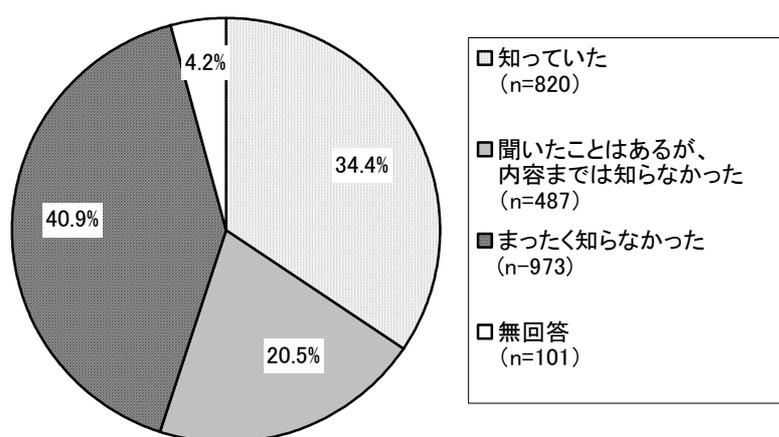


(5) 「ピンクリボン運動」の認知度

① 「ピンクリボン運動」の認知度

- ・ ピンクリボン運動について、「知っていた」と「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」を合わせると 54.9%、「まったく知らなかった」は、40.9%であった。

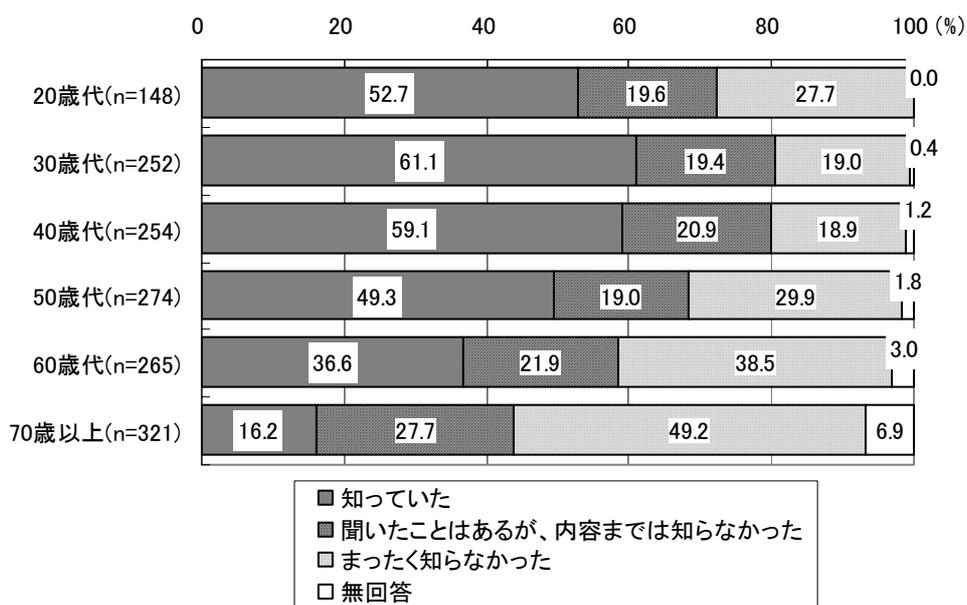
図 12 「ピンクリボン運動」の認知度



② 年代別のピンクリボン運動の認知度（女性）

- ・ 女性では、「知っていた」と「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」を合わせると、30歳代が80.5%と最も多く、次いで40歳代、20歳代で認知度が高かった。
- ・ 50歳代以上で、年代が高くなるほど認知度が低くなる傾向であった。

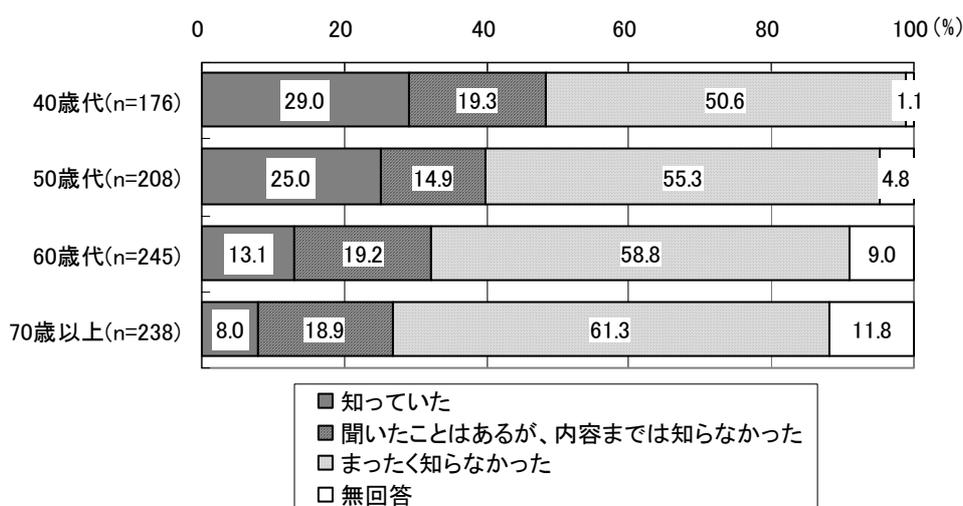
図 13 年代別ピンクリボン運動の認知度（女性）



③ 年代別ピンクリボン運動の認知度（男性）

- 男性では「知っていた」と「聞いたことはあるが、内容までは知らなかった」を合わせた割合は、40歳代で48.3%と最も多く、50歳代以上で、年代が高くなるほど認知度が低くなる傾向であった。
- いずれの年代でも、女性と比べて認知度が低かった。

図 14 年代別ピンクリボン運動の認知度（男性）



3 がん検診の受診状況と検査方法（問 1-1）

(1) 胃がん検診の受診状況と検査方法

国が推奨する胃がん検診の検査方法

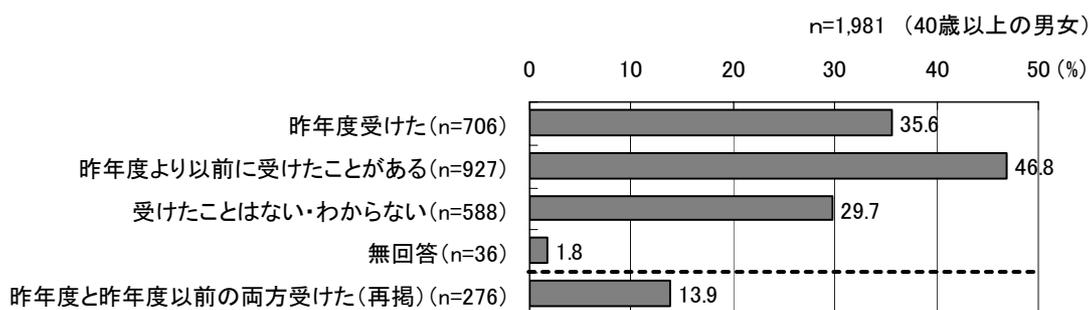
種類	検査項目	対象者	受診間隔
胃がん検診	問診、胃 X 線検査	40 歳以上	年 1 回

（厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」）

① 胃がん検診受診の有無

- 胃がん検診を「昨年度受けた」（平成 19 年度）は 35.6%、「受けたことはない・わからない」が 29.7%であった。

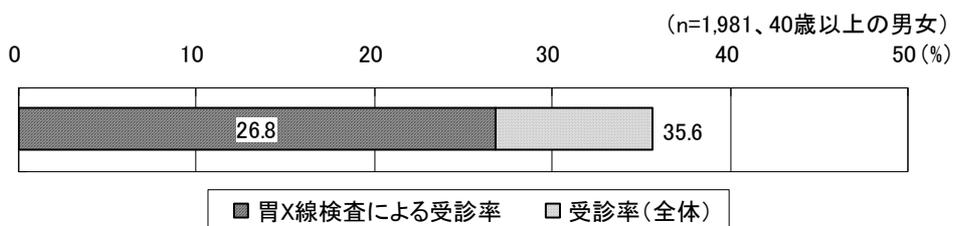
図 15 胃がん検診受診の有無（複数回答）



② 胃がん検診の受診率

- 胃がん検診（平成 19 年度）の受診率は、35.6%であった。「胃 X 線検査」による胃がん検診の受診率は 26.8%であった。

図 16 胃 X 線検査による胃がん検診の受診率

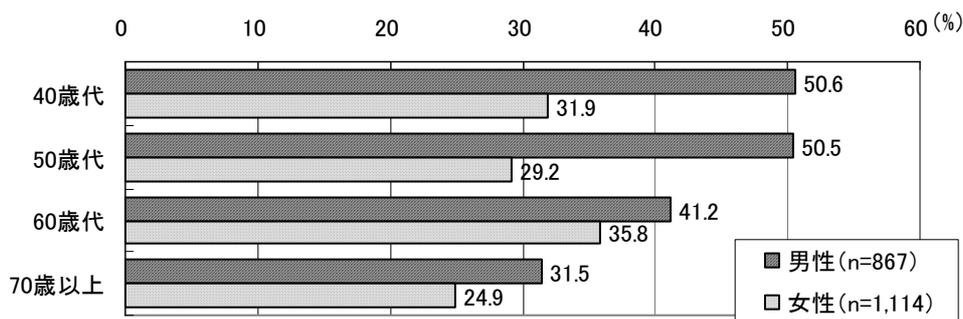


注) 受診率（全体）は、検査方法を問わず、過去 1 年以内に受診した人（40 歳以上の男女）の割合を指す。

③ 胃がん検診の性別・年代別受診率

- ・ 胃がん検診の受診率を年代別に見ると、男性は、40歳代が50.6%、50歳代が50.5%と高かった。
- ・ 女性は、60歳代が35.8%と最も高く、次いで40歳代の31.9%であった。

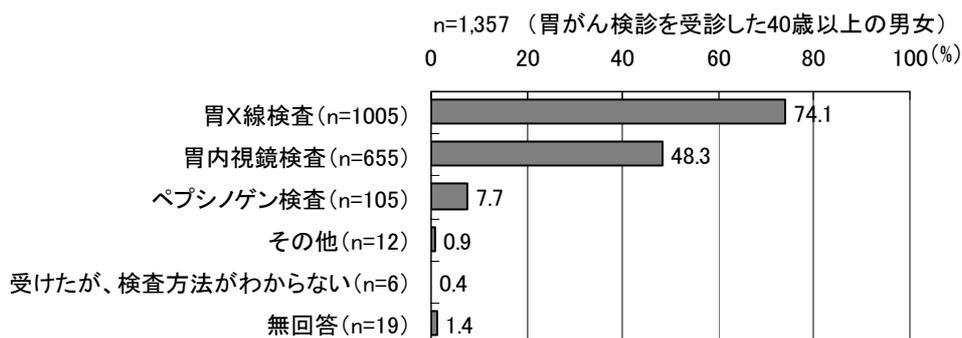
図 17 胃がん検診：性別・年代別受診率



④ 胃がん検査の方法

- ・ 胃がん検診の検査の方法は、「胃 X 線検査」が74.1%と最も多く、次いで「胃内視鏡検査」(48.3%)、「ペプシノゲン検査」(7.7%)であった。

図 18 胃がん検診の検査方法（複数回答）



(2) 肺がん検診の受診状況と検査方法

国が推奨する肺がん検診の検査方法

種類	検査項目	対象者	受診間隔
肺がん検診	問診、胸部X線検査、喀痰細胞診	40歳以上	年1回

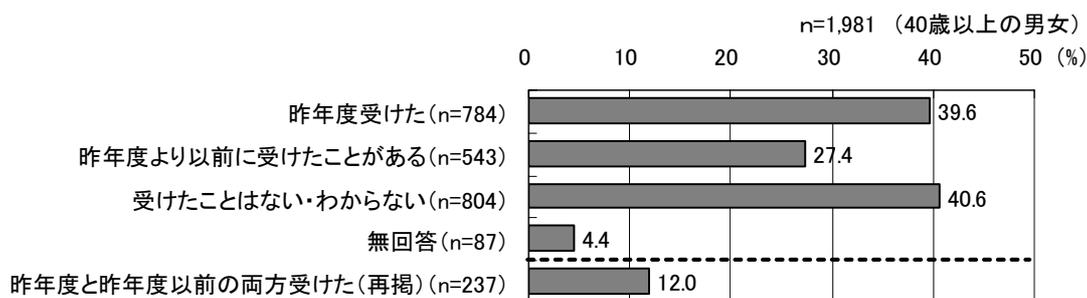
(厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

※喀痰細胞診は、問診の結果、医師が必要と認める者に対して行う。

① 肺がん検診受診の有無

- 肺がん検診を「昨年度受けた」(平成19年度)は39.6%、「受けたことはない・わからない」が40.6%であった。

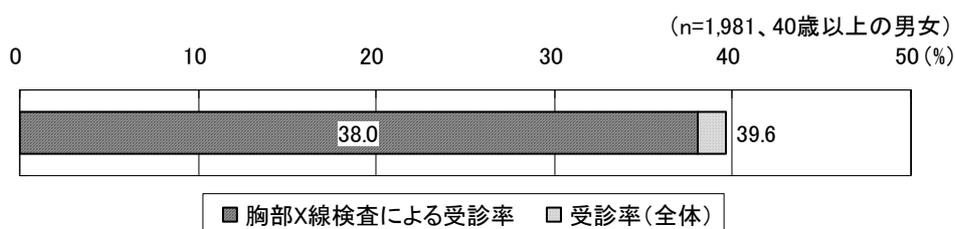
図19 肺がん検診受診の有無(複数回答)



② 肺がん検診の受診率

- 肺がん検診(平成19年度)の受診率は、39.6%であった。「胸部X線検査」による肺がん検診の受診率は38.0%であった。

図20 胸部X線検査による肺がん検診の受診率

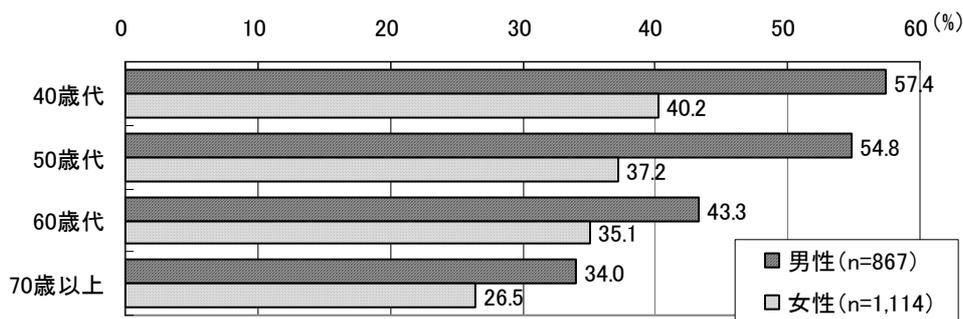


注) 受診率(全体)は、検査方法を問わず、過去1年以内に受診した人(40歳以上の男女)の割合を指す。

③ 肺がん検診の性別・年代別受診率

- ・ 肺がん検診の受診率を年代別に見ると、男性は、40歳代が57.4%、50歳代が54.8%と高かった。
- ・ 女性は、40歳代が40.2%と最も高く、次いで50歳代が37.2%であった。

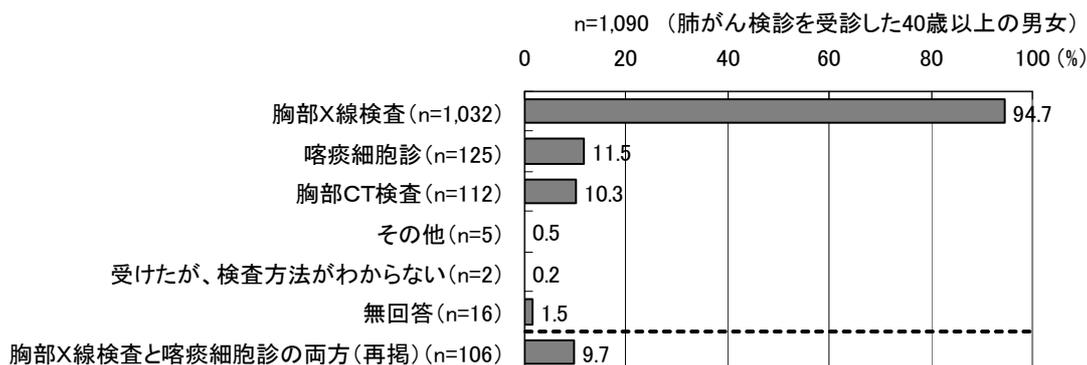
図 21 肺がん検診：性別・年代別受診率



④ 肺がん検査の方法

- ・ 肺がん検診の検査の方法は、「胸部 X 線検査」が94.7%と最も多く、次いで「喀痰細胞診」(11.5%)であった。「胸部 X 線検査と喀痰細胞診の両方」については9.7%であった。

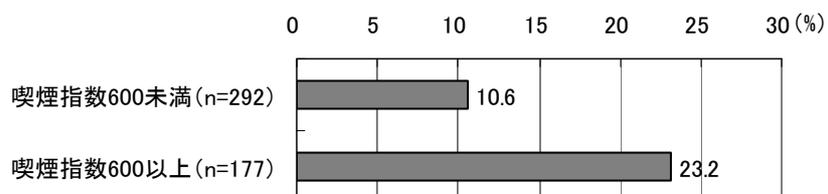
図 22 肺がん検診の検査方法（複数回答）



⑤ 喫煙者の喀痰細胞診受診状況

- ・ 喫煙指数別の喀痰細胞診の受診状況は、喫煙指数 600 未満では 10.6%、喫煙指数 600 以上では 23.2%であった。

図 23 肺がん検診：喫煙指数別喀痰細胞診受診割合



注) 喫煙指数とは1日の喫煙本数×年数を指す。喀痰細胞診の対象者は、原則として50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×年数)600以上の者(過去における喫煙者を含む。)とされている。(がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針)

(3) 大腸がん検診の受診状況と検査方法

国が推奨する大腸がん検診の検査方法

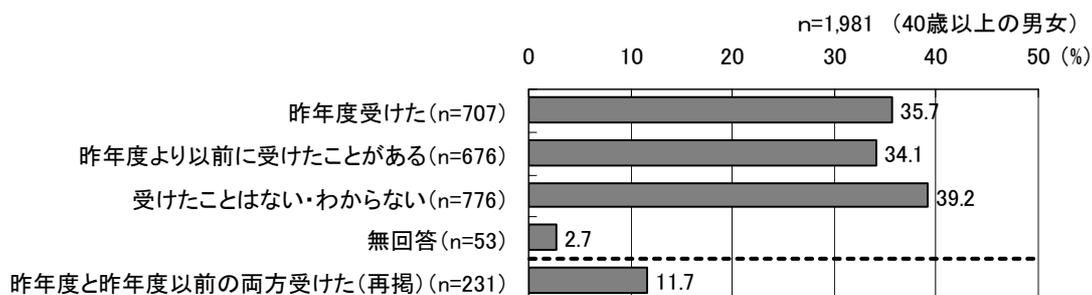
種類	検査項目	対象者	受診間隔
大腸がん検診	問診、便潜血検査	40歳以上	年1回

(厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」)

① 大腸がん検診受診の有無

- 大腸がん検診を「昨年度（平成19年度）受けた」は35.7%、「受けたことはない・わからない」が39.2%であった。

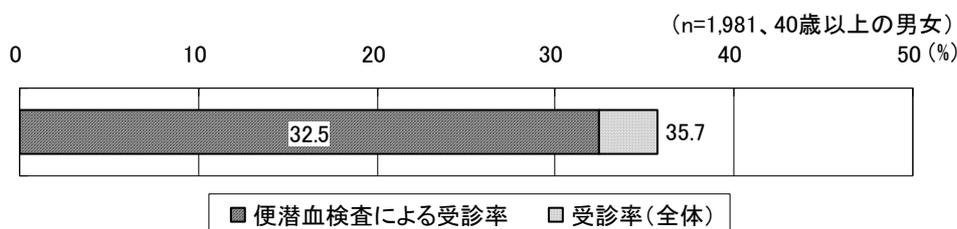
図24 大腸がん検診受診の有無（複数回答）



② 大腸がん検診の受診率

- 大腸がん検診（平成19年度）の受診率は、35.7%であった。「便潜血検査」による大腸がん検診の受診率は32.5%であった。

図25 便潜血検査による大腸がん検診の受診率

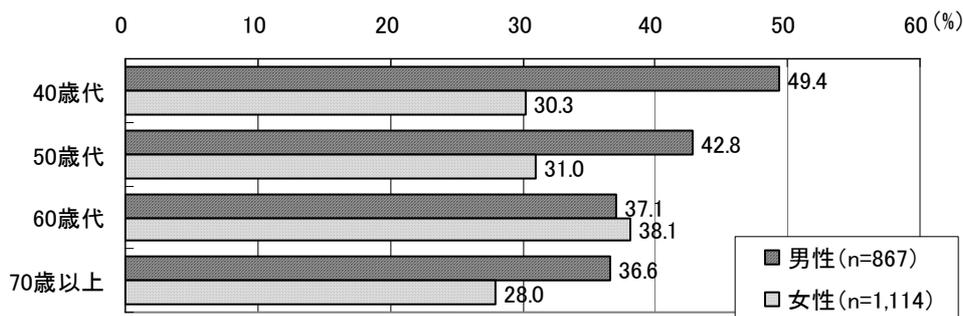


注) 受診率(全体)は、検査方法を問わず、過去1年以内に受診した人(40歳以上の男女)の割合を指す。

③ 大腸がん検診の性別・年代別受診率

- ・ 大腸がん検診の受診率を年代別に見ると、男性は、40歳代が49.4%と最も高く、次いで50歳代の42.8%であった。
- ・ 女性は、60歳代が38.1%と最も高く、次いで50歳代の31.0%であった。

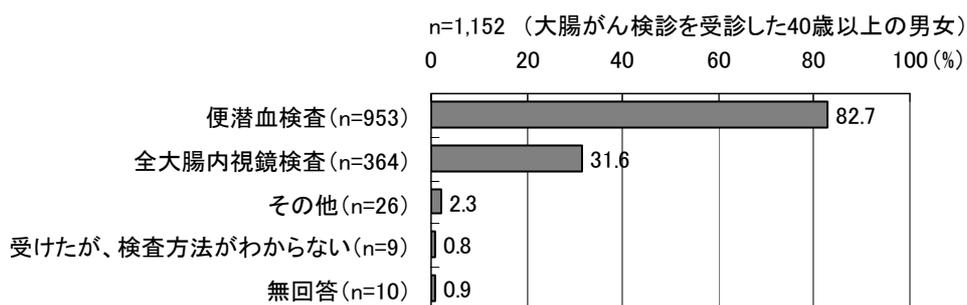
図 26 大腸がん検診：性別・年代別受診率



④ 大腸がん検査の方法

- ・ 大腸がん検診の検査の方法は、「便潜血検査」が82.7%と最も多く、次いで「全大腸内視鏡検査」(31.6%)であった。
- ・ 「その他」の内容は、「注腸X線検査」などであった。

図 27 大腸がん検診の検査方法（複数回答）



(4) 子宮がん検診の受診状況と検査方法

国が推奨する子宮がん検診の検査方法

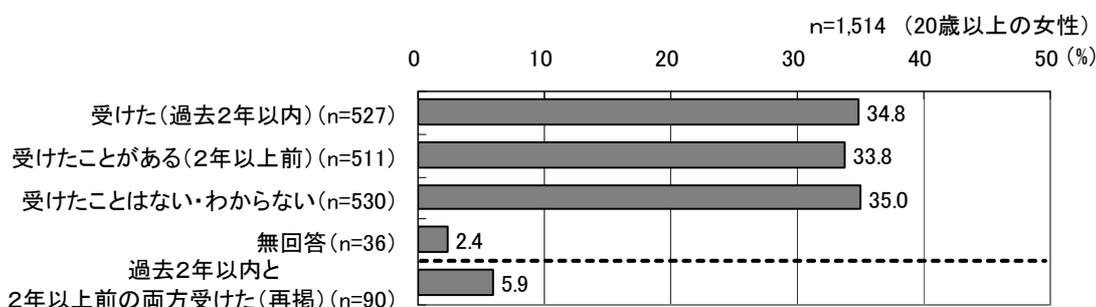
種類	検査項目	対象者	受診間隔
子宮がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診（医師による採取）及び内診	20歳以上	2年に1回

（厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」）

① 子宮がん検診受診の有無

- ・ 子宮がん検診を「受けた（過去2年以内）」（平成18年度と平成19年度）は34.8%、「受けたことはない・わからない」が35.0%であった。

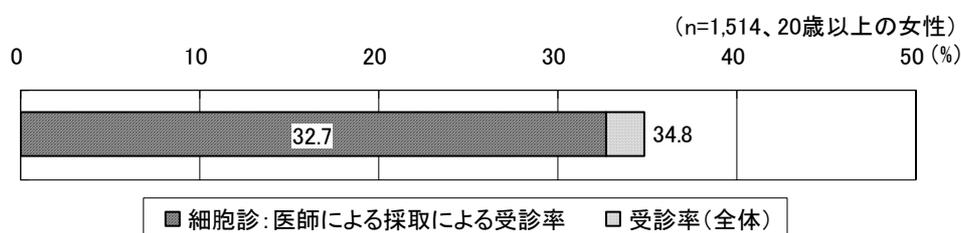
図 28 子宮がん検診受診の有無（複数回答）



② 子宮がん検診の受診率

- ・ 子宮がん検診（平成18年度と平成19年度）の受診率は、34.8%であった。「細胞診：医師による採取」による子宮がん検診の受診率は32.7%であった。

図 29 細胞診（医師による採取）による子宮がん検診の受診率

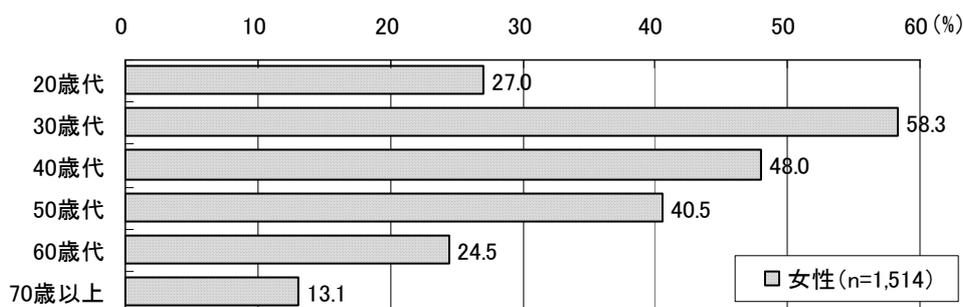


注) 受診率（全体）は、検査方法を問わず、過去2年以内に受診した人（20歳以上の女性）の割合を指す。

③ 子宮がん検診の年代別受診率

- ・ 子宮がん検診の受診率を年代別に見ると、30歳代が58.3%と最も高く、次いで40歳代の48.0%であった。

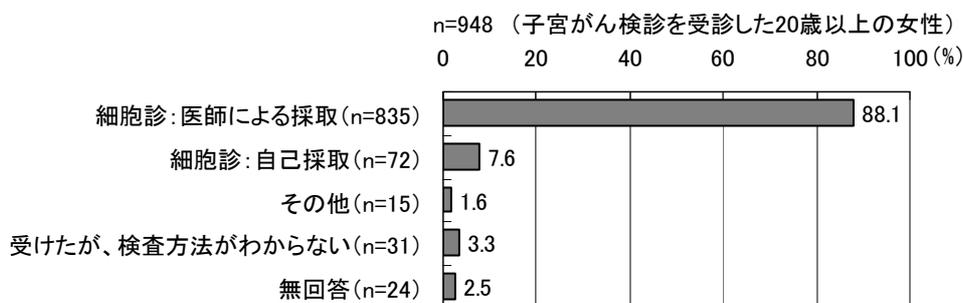
図 30 子宮がん検診：年代別受診率



④ 子宮がん検査の方法

- ・ 子宮がん検診の検査の方法は、「細胞診：医師による採取」が88.1%と最も多く、次いで「細胞診：自己採取」(7.6%)であった。

図 31 子宮がん検診の検査方法（複数回答）



(5) 乳がん検診の受診状況と検査方法

国が推奨する乳がん検診の検査方法

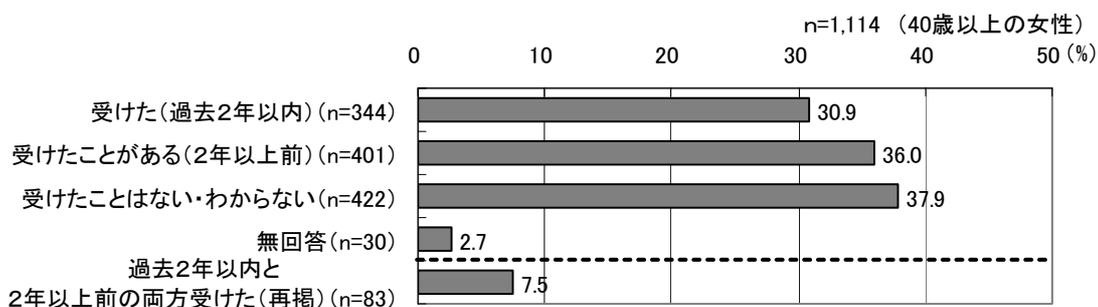
種類	検査項目	対象者	受診間隔
乳がん検診	問診、乳房X検査（マンモグラフィ）、 視診、触診	40歳以上	2年に1回

（厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」）

① 乳がん検診受診の有無

- ・ 乳がん検診を「受けた（過去2年以内）」（平成18年度と平成19年度）は30.9%、「受けたことはない・わからない」が37.9%であった。

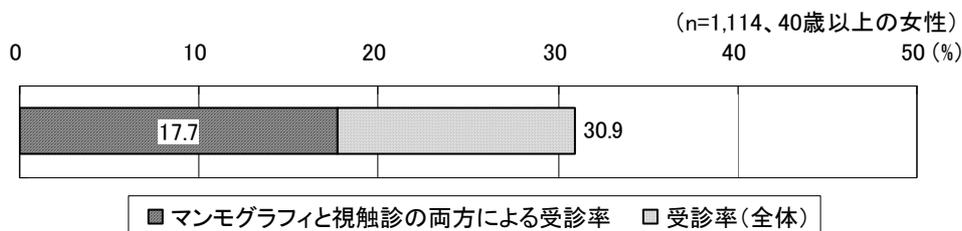
図 32 乳がん検診受診の有無（複数回答）



② 乳がん検診の受診率

- ・ 乳がん検診（平成18年度と平成19年度）の受診率は、30.9%であった。「マンモグラフィと視触診の両方」による乳がん検診の受診率は17.7%であった。

図 33 マンモグラフィと視触診の両方による乳がん検診の受診率

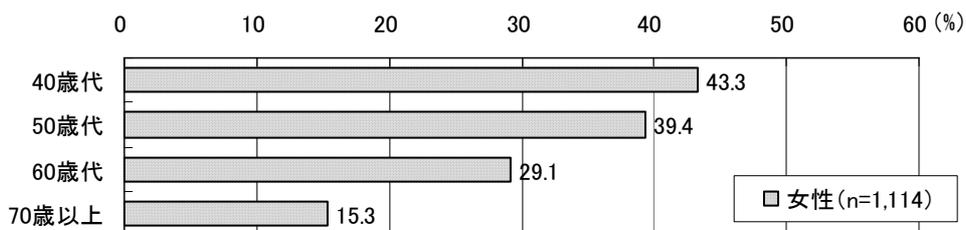


注) 受診率（全体）は、検査方法を問わず、過去2年以内に受診した人（40歳以上の女性）の割合を指す。

③ 乳がん検診の年代別の受診率について

- ・ 乳がん検診の受診率を年代別に見ると、40歳代が43.3%と最も高く、次いで50歳代の39.4%であった。

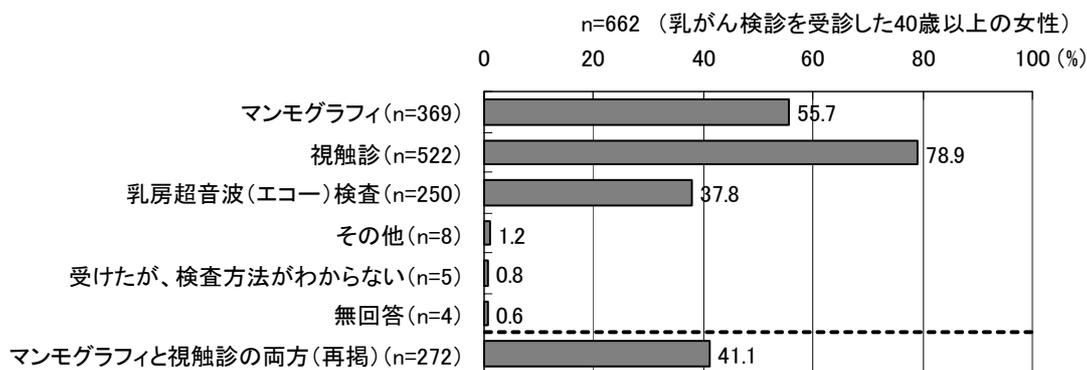
図 34 乳がん検診：年代別受診率



④ 乳がん検査の方法

- ・ 乳がん検診の検査の方法は、「視触診」が78.9%と最も多く、次いで「マンモグラフィ検査」(55.7%)、「乳房超音波(エコー)検査」(37.8%)であった。「マンモグラフィと視触診の両方」が41.1%であった。

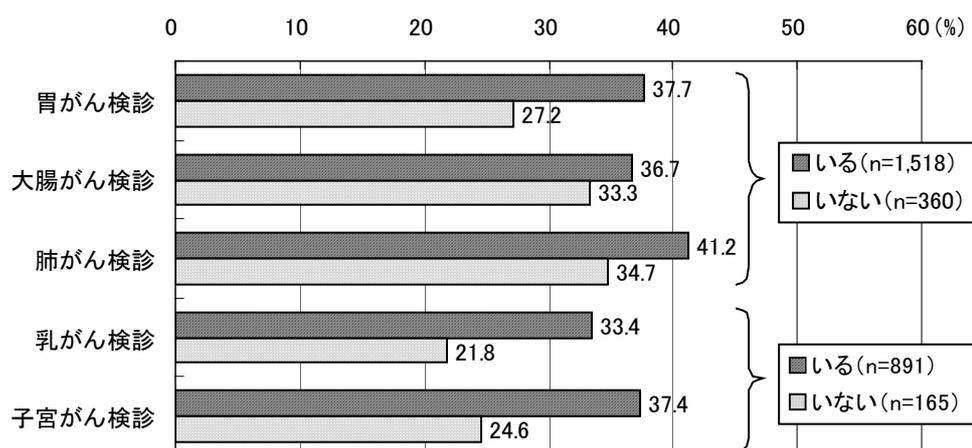
図 35 乳がん検診の検査方法（複数回答）



(6) 身の回りでがんにかかった人の有無別のがん検診の受診率

- 全てのがん検診において、身の回りでがんにかかった人が「いる」場合の方が、「いない」場合より検診受診率が高かった。

図 36 身の回りでがんにかかった人の有無別のがん検診の受診率



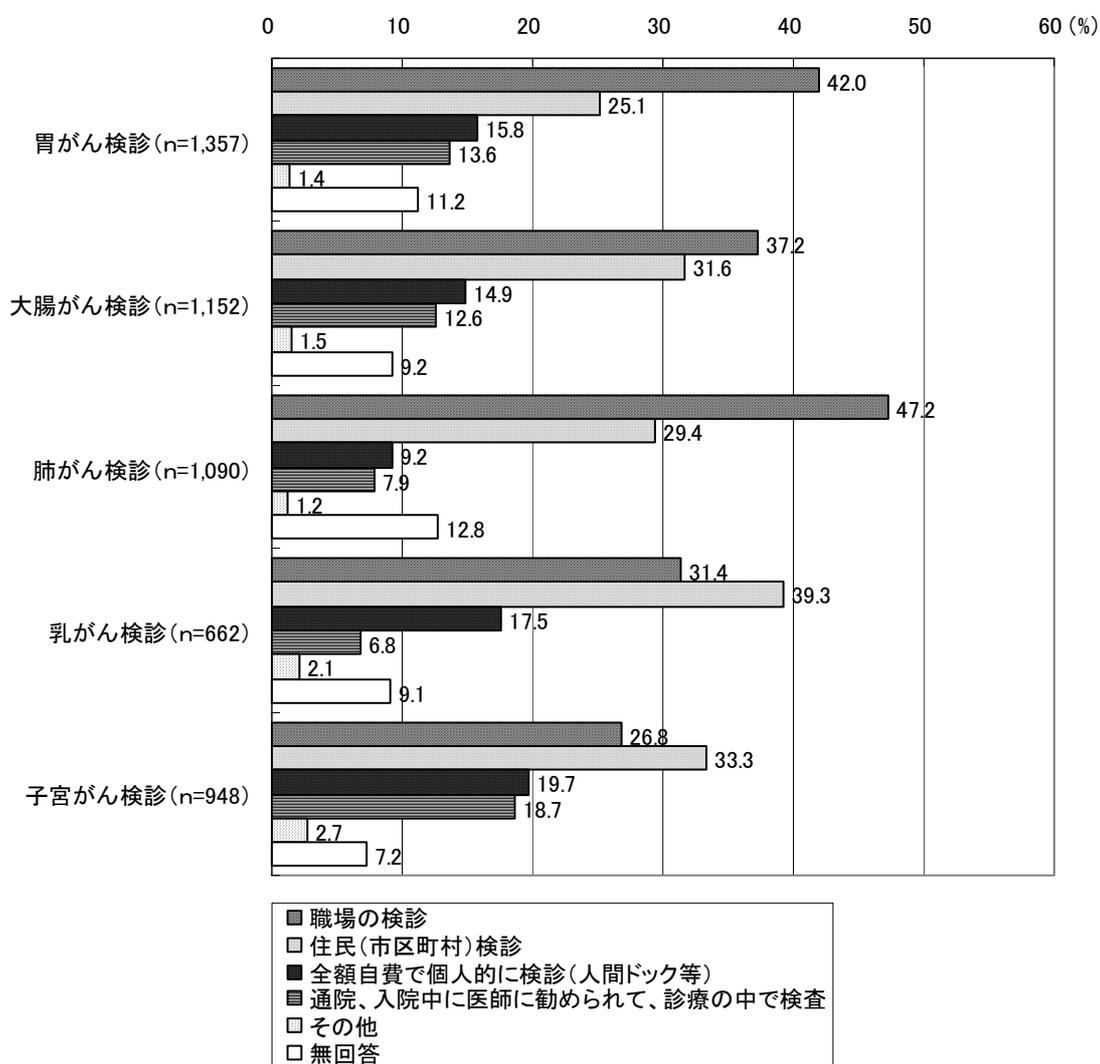
4 がん検診の受診機会（問 1-2）

(1) がん検診の受診機会（問 1-2-A）

〔過去に一度でもがん検診を受診したことがある人の受診機会〕

- ・ 胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診では、「職場の検診」が最も多く、次いで「住民（区市町村）検診」であった。
- ・ 子宮がん検診・乳がん検診では、「住民（区市町村）検診」が最も多く、次いで、「職場の検診」であった。

図 37 がん検診の受診機会（複数回答）



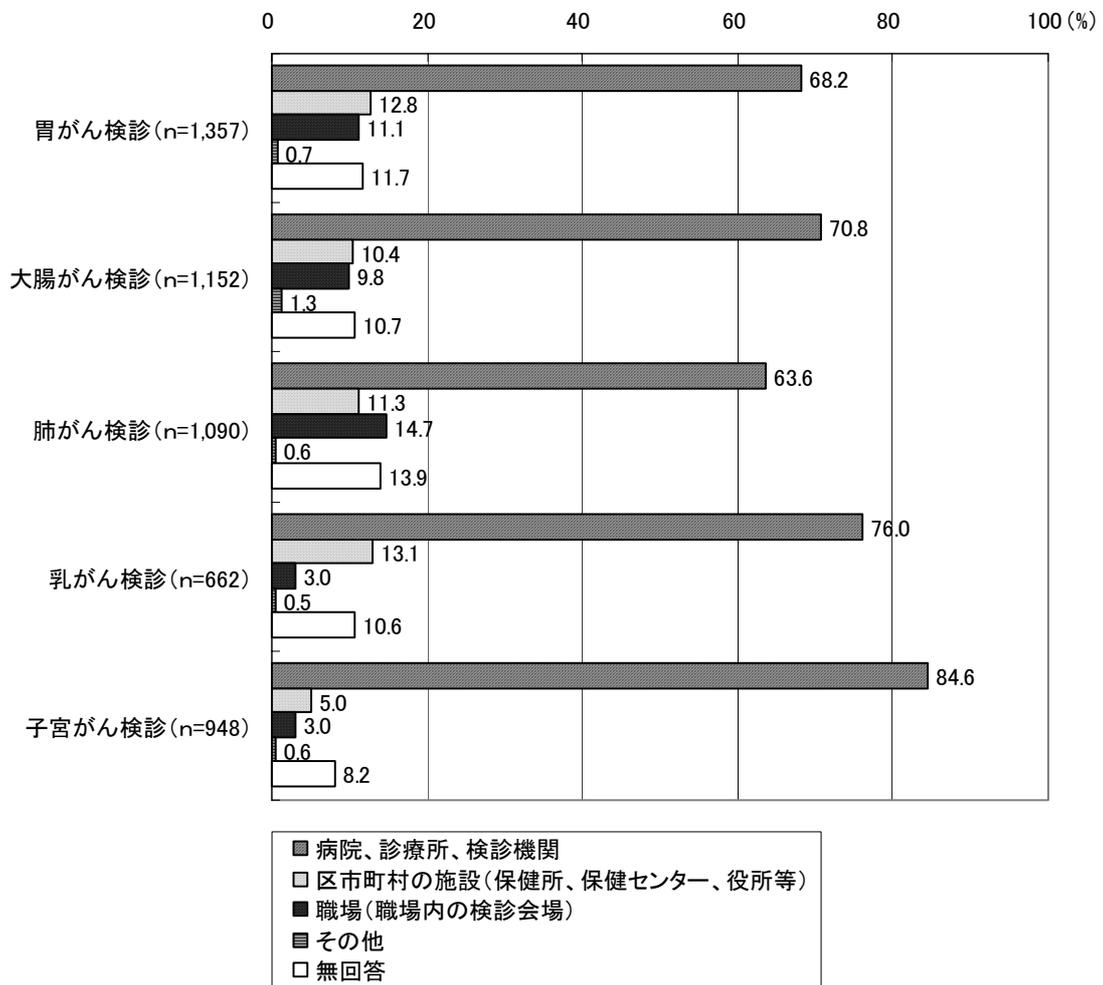
(2) がん検診の受診場所（問 1-2-B）

① がん検診の受診場所

〔過去に一度でもがん検診を受診したことがある人の受診場所〕

- 全てのがん検診において「病院、診療所、検診機関」が最も多かった。
- 「病院、診療所、検診機関」で受診した人の割合が、胃がん、肺がん、大腸がん検診と比較して、子宮がん検診、乳がん検診で高かった。

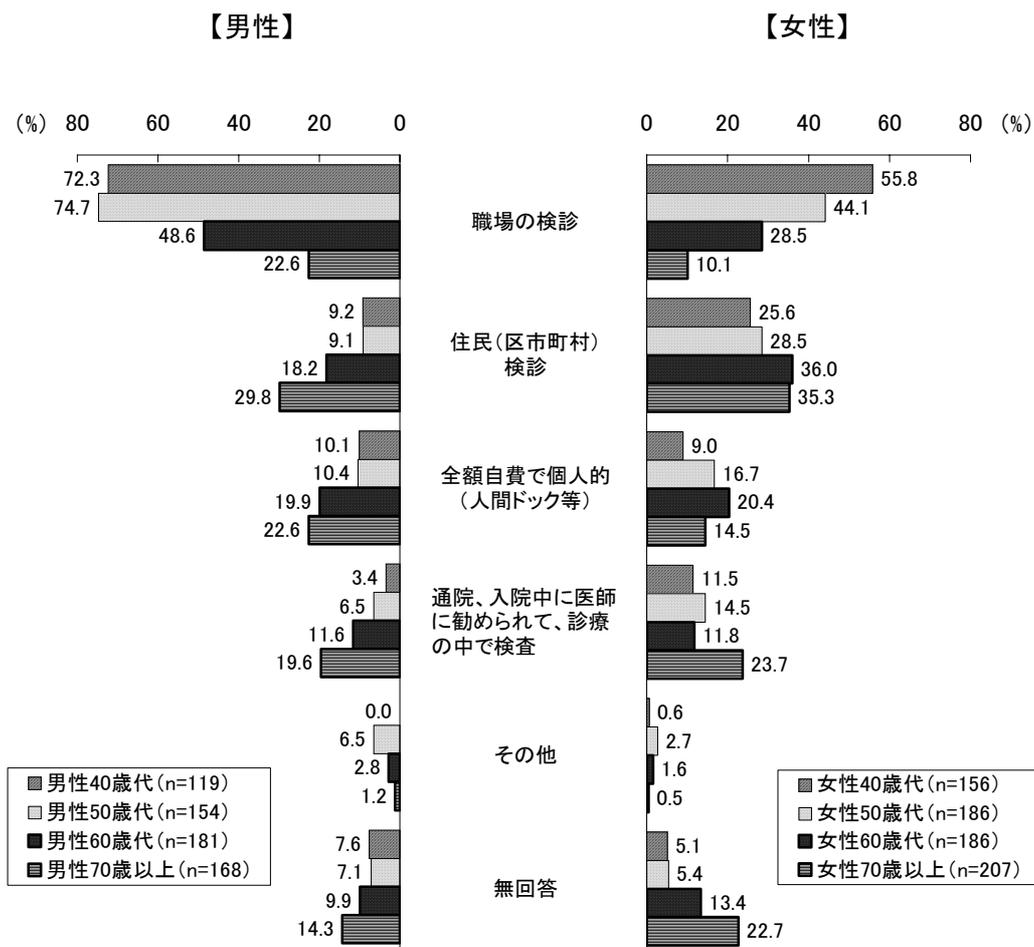
図 38 がん検診の受診場所（複数回答）



② 胃がん検診の性別・年代別がん検診の受診機会

- ・ 男性の 40～60 歳代では、「職場の検診」が最も多く、70 歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。
- ・ 女性の 40～50 歳代では、「職場の検診」が最も多く、60～70 歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。

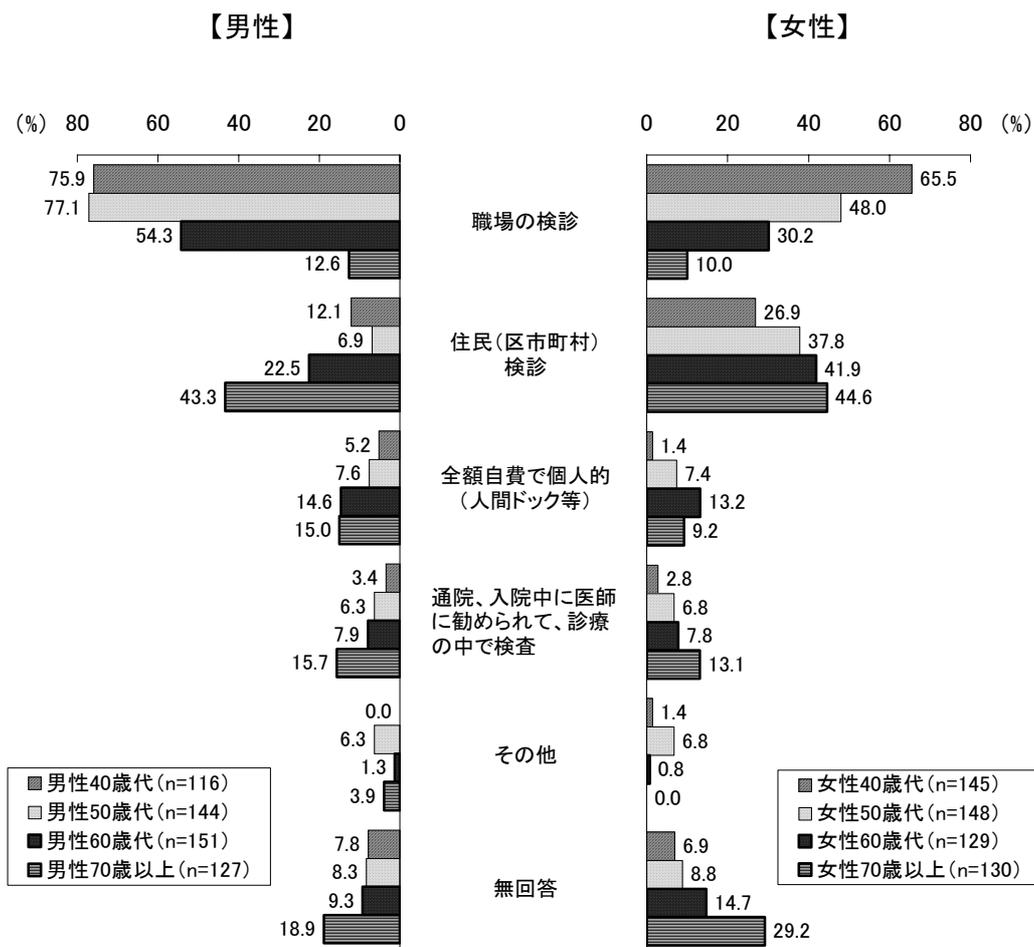
図 39 胃がん検診：性別・年代別がん検診の受診機会（複数回答）



③ 肺がん検診の性別・年代別がん検診の受診機会

- ・ 男性の 40～60 歳代では、「職場の検診」が最も多く、70 歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。
- ・ 女性の 40～50 歳代では、「職場の検診」が最も多く、60～70 歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。

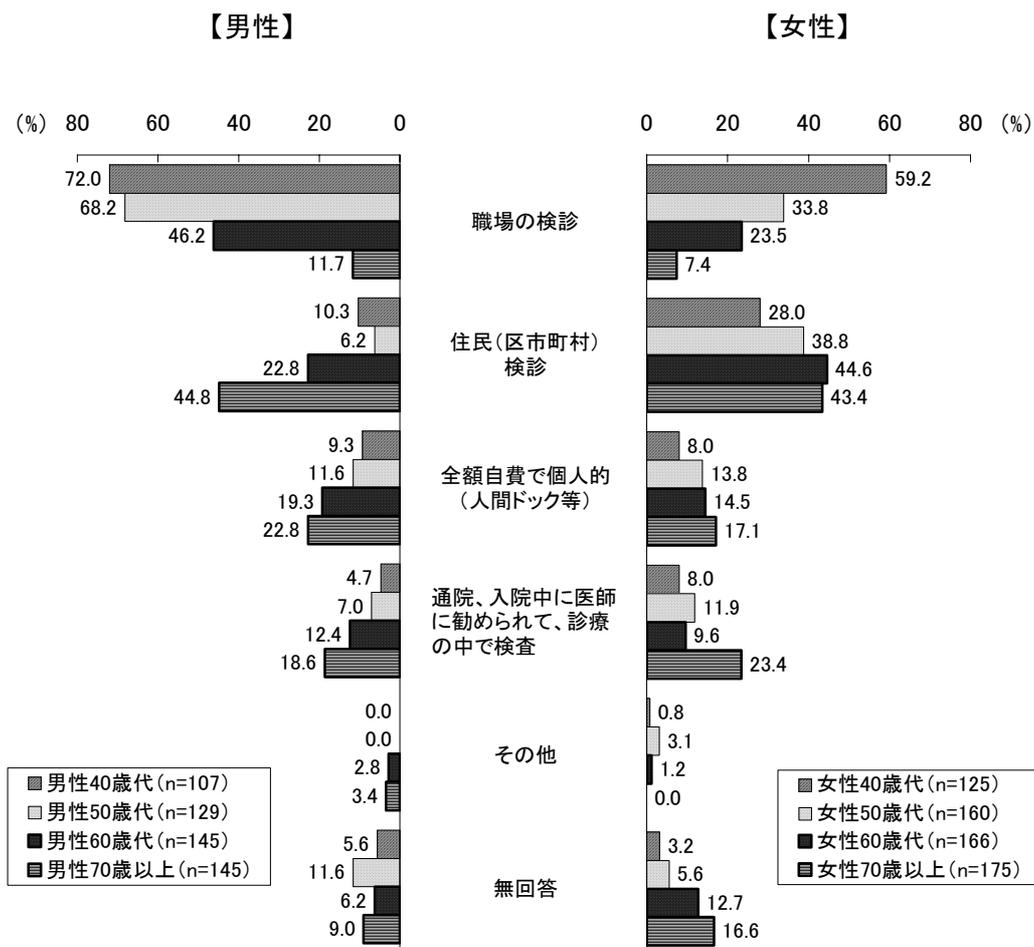
図 40 肺がん検診：性別・年代別がん検診の受診機会（複数回答）



④ 大腸がん検診の性別・年代別がん検診の受診機会

- ・ 男性の 40～60 歳代では、「職場の検診」が最も多く、70 歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。
- ・ 女性の 40 歳代では、「職場の検診」が最も多く、50～70 歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。

図 41 大腸がん検診：性別・年代別がん検診の受診機会（複数回答）



⑤ 子宮がん・乳がん検診の年代別がん検診の受診機会

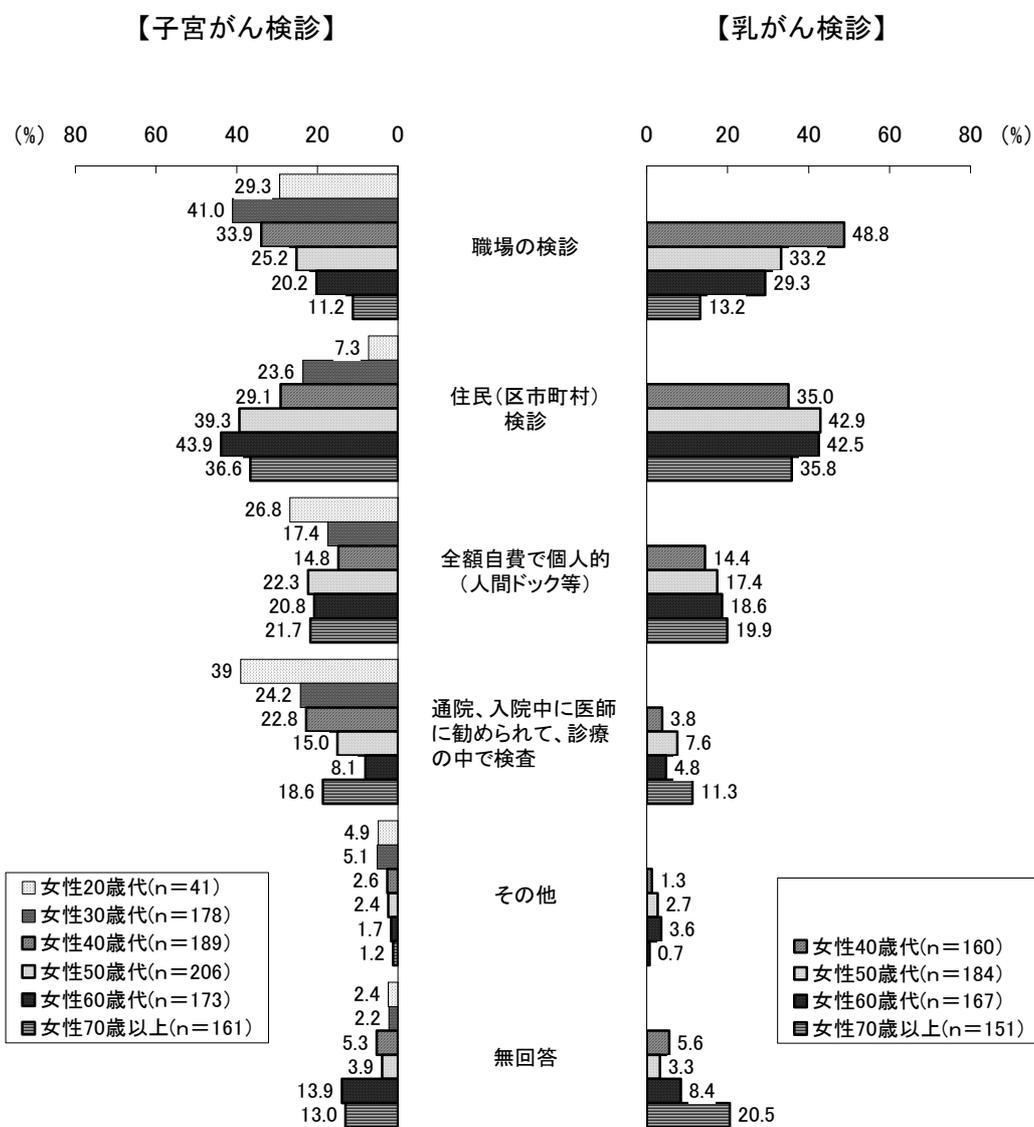
【子宮がん】

- ・ 20歳代では、「通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査」が最も多く、次いで「職場の検診」であった。
- ・ 30～40歳代では、「職場の検診」が最も多く、50～70歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。

【乳がん】

- ・ 40歳代では、「職場の検診」が最も多く、50～70歳以上では、「住民（市区町村）検診」が最も多かった。

図 42 子宮がん・乳がん検診：年代別がん検診の受診機会（複数回答）

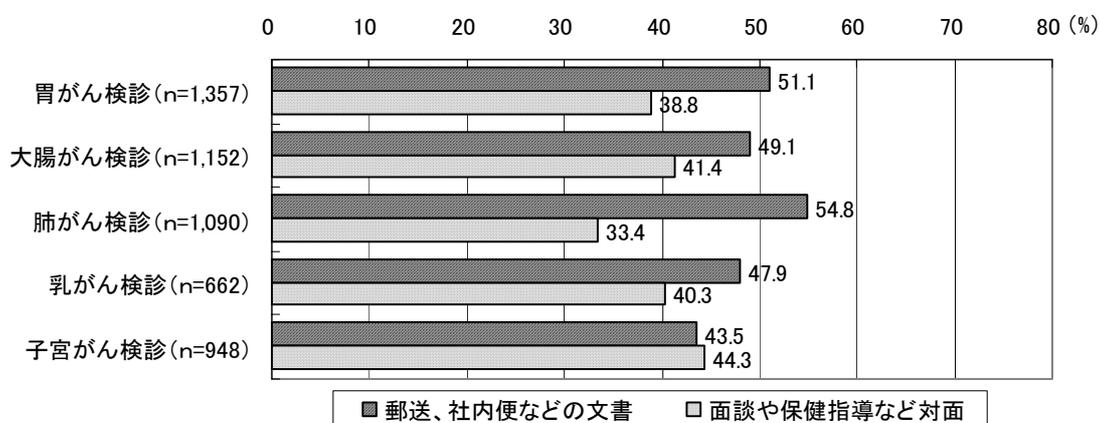


(3) 検診結果の通知方法等（問 1-2-C）

① 検診結果の通知方法

- ・ 検診結果の通知方法は、胃がん検診・肺がん検診・大腸がん検診・乳がん検診では、「郵送・社内便などの文書」の割合が約 5 割と最も多く、次いで「面談や保健指導など対面」であった。
- ・ 子宮がん検診は、「面談や保健指導など対面」（44.3%）と「郵送・社内便などの文書」（43.5%）がほぼ同じ割合であった。

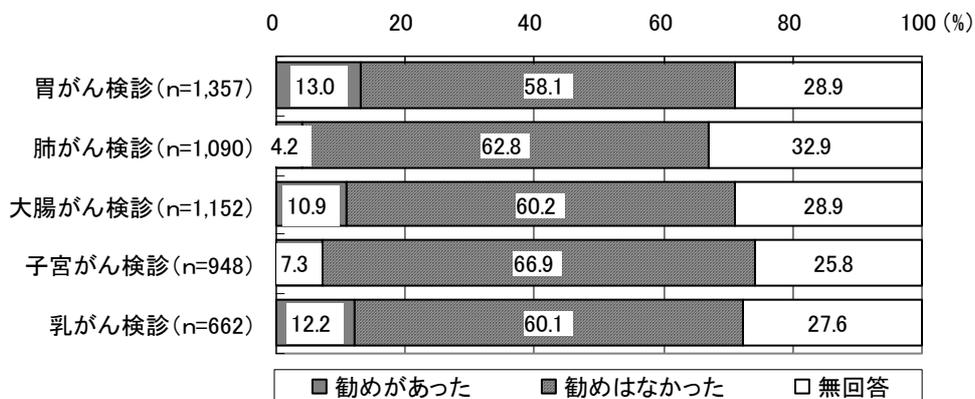
図 43 がん検診の結果の通知方法（複数回答）



② 再検査や精密検査の受診の勧め

- ・ 全てのがん検診において、再検査や精密検査の受診の勧めについては、「なかった」人がおおむね 6 割であった。

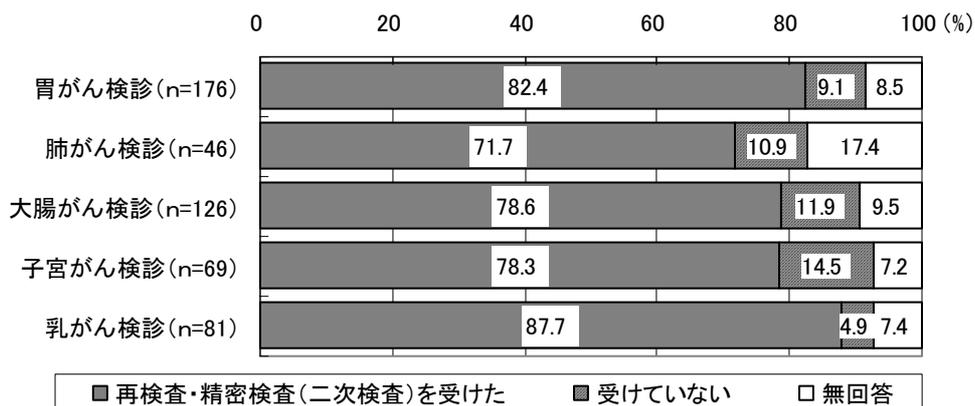
図 44 再検査や精密検査の受診推奨の有無



③ 再検査・精密検査受診状況

- がん検診の結果、再検査・精密検査受診の「勧めがあった」場合の受診の有無は、全てのがん検診において「受けた」が7割以上であり、特に乳がん検診が87.7%と最も高かった。

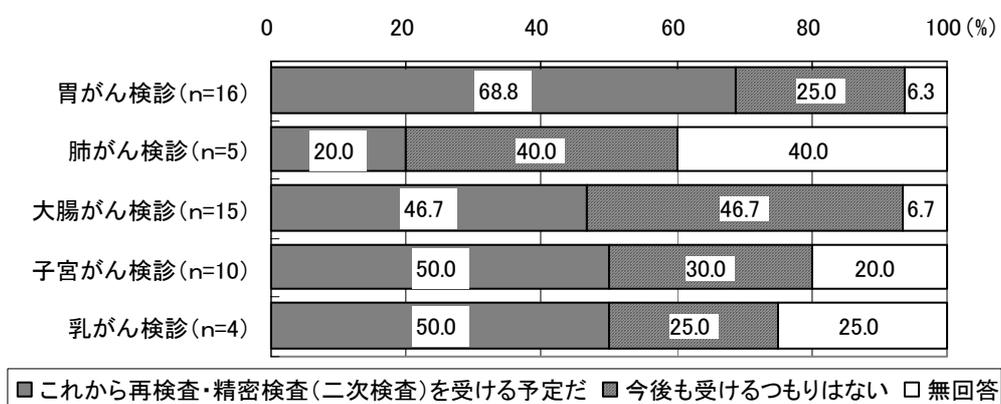
図 45 勧めがあった場合の再検査・精密検査受診の状況



④ 再検査・精密検査を受けていない場合の今後の予定

- ・ 胃がん検診は、「これから再検査・精密検査を受ける予定」が 68.8%、「今後も受けるつもりはない」が 25.0%であった。
- ・ 肺がん検診は、「これから再検査・精密検査を受ける予定」が 20.0%、「今後も受けるつもりはない」が同数（40.0%）であった。
- ・ 大腸がん検診は、「これから再検査・精密検査を受ける予定」と「今後も受けるつもりはない」が 46.7%であった。
- ・ 子宮がん検診、乳がん検診は、「これから再検査・精密検査を受ける予定」が 50.0%、「今後も受けるつもりはない」がそれぞれ 30.0%、25.0%であった。

図 46 再検査・精密検査（二次検査）を受けていない場合の今後の予定



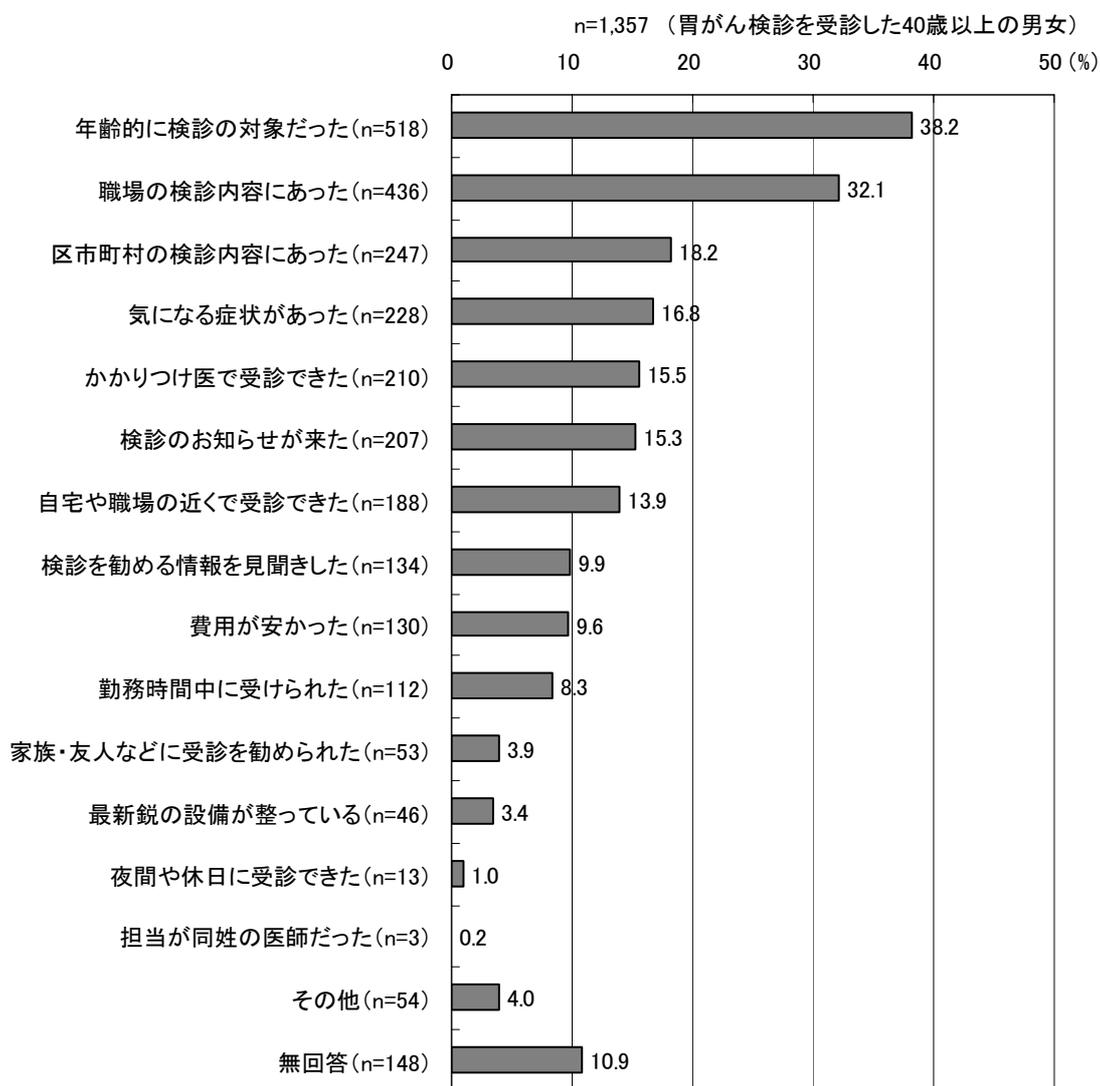
5 がん検診の受診理由（問2）

(1) 胃がん検診の受診理由

〔過去に一度でも胃がん検診を受診したことがある人の受診理由〕

- ・ 胃がん検診の受診理由は、「年齢的に検診の対象だった」が 38.2%と最も多く、次いで「職場の検診内容にあった」（32.1%）、「区市町村の検診内容にあった」（18.2%）であった。

図 47 胃がん検診を受けた理由（複数回答）



(2) 胃がん検診の受診理由〔性別・年代別〕

〔過去に一度でも胃がん検診の受診経験がある人の性別・年代別の受診理由〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～50 歳代では、「職場の検診内容にあった」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」であった。 ・ 男性の 60～70 歳代以上では、「年齢的に検診の対象だった」が最も多かった。次いで 60 歳代は、「職場の検診内容にあった」であり、70 歳代以上は、「かかりつけ医で受診できた」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40 歳代では、「職場の検診内容にあった」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」、「気になる症状があった」であった。 ・ 女性の 50～60 歳代では、「年齢的に検診の対象だった」が最も多かった。次いで 50 歳代では、「職場の検診内容にあった」であった。 ・ 女性の 70 歳代以上では、「かかりつけ医で受診できた」が最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」であった。

表 6 胃がん検診：性別・年代別の受診理由（上位 3 位）

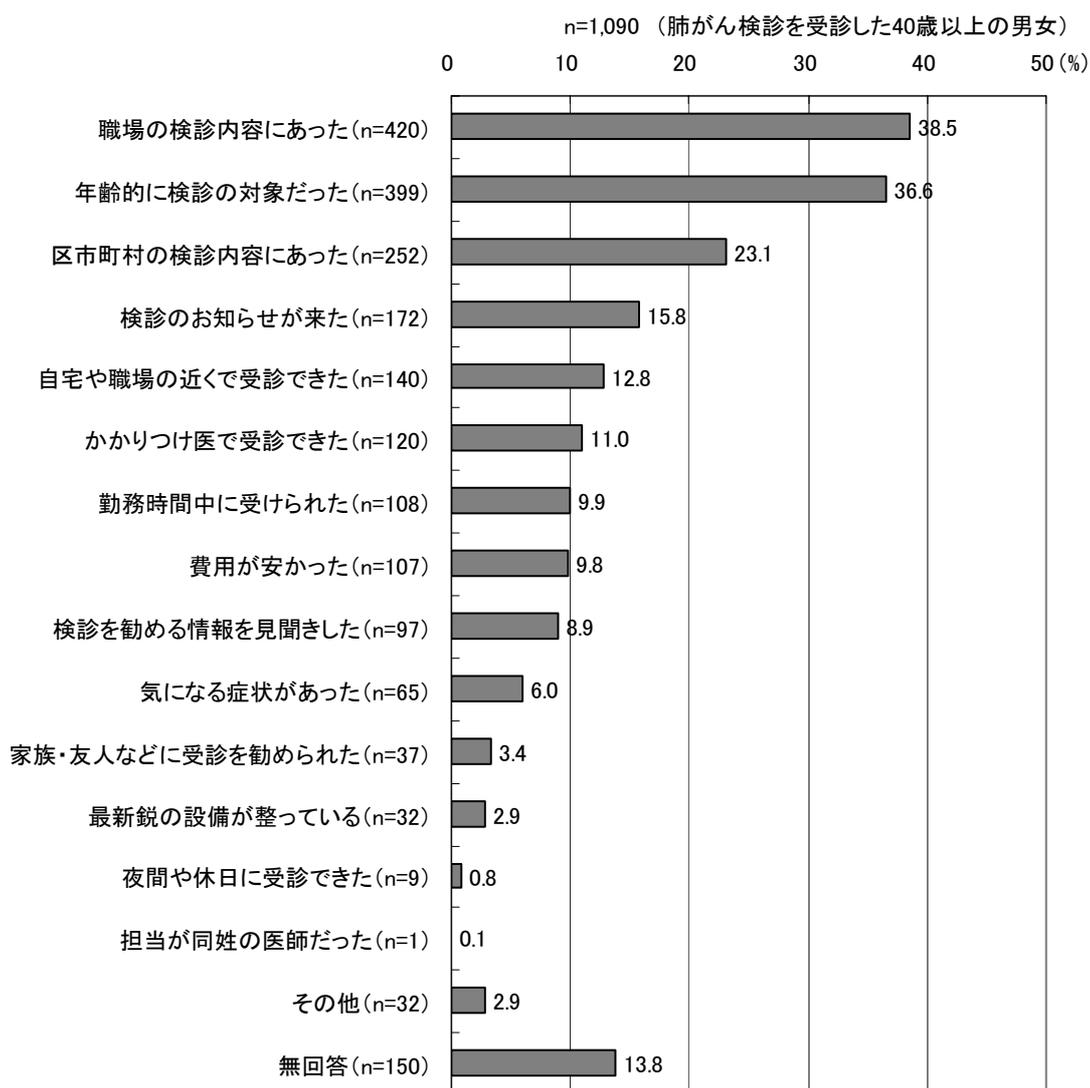
		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	職場の検診内容にあった 62.2%	年齢的に検診の対象だった 51.3%	勤務時間中に受診できた 16.8%
	50 歳代	職場の検診内容にあった 57.1%	年齢的に検診の対象だった 53.9%	勤務時間中に受診できた 16.2%
	60 歳代	年齢的に検診の対象だった 42.0%	職場の検診内容にあった 38.1%	気になる症状があった 16.0%
	70 歳代以上	年齢的に検診の対象だった 32.7%	かかりつけ医で受診できた 22.6%	区市町村の検診内容にあった 19.0%
女性	40 歳代	職場の検診内容にあった 45.5%	年齢的に検診の対象だった 39.7%	気になる症状があった 21.2%
	50 歳代	年齢的に検診の対象だった 38.7%	職場の検診内容にあった 32.8%	区市町村の検診内容にあった 24.2%
	60 歳代	年齢的に検診の対象だった 36.0%	区市町村の検診内容にあった 26.9%	気になる症状があった 19.4%
				職場の検診内容にあった 19.4%
	70 歳代以上	かかりつけ医で受診できた 30.4%	区市町村の検診内容にあった 20.8%	年齢的に検診の対象だった 20.3%

(3) 肺がん検診の受診理由

〔過去に一度でも肺がん検診を受診したことがある人の受診理由〕

- 肺がん検診の受診理由は、「職場の検診内容にあった」が 38.5%と最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」(36.6%)、「区市町村の検診内容にあった」(23.1%)であった。

図 48 肺がん検診を受けた理由（複数回答）



(4) 肺がん検診の受診理由〔性別・年代別〕

〔過去に一度でも肺がん検診の受診経験がある人の性別・年代別の受診理由〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～60 歳代では、「職場の検診内容にあった」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」であった。 ・ 男性の 70 歳代以上では、「年齢的に検診の対象だった」が最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40～50 歳代では、「職場の検診内容にあった」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」であった。 ・ 女性の 60 歳代では、「年齢的に検診の対象だった」が最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」であった。 ・ 女性の 70 歳代以上では、「区市町村の検診内容にあった」が最も多く、次いで「かかりつけ医で受診できた」であった。

表 7 肺がん検診：性別・年代別の受診理由（上位 3 位）

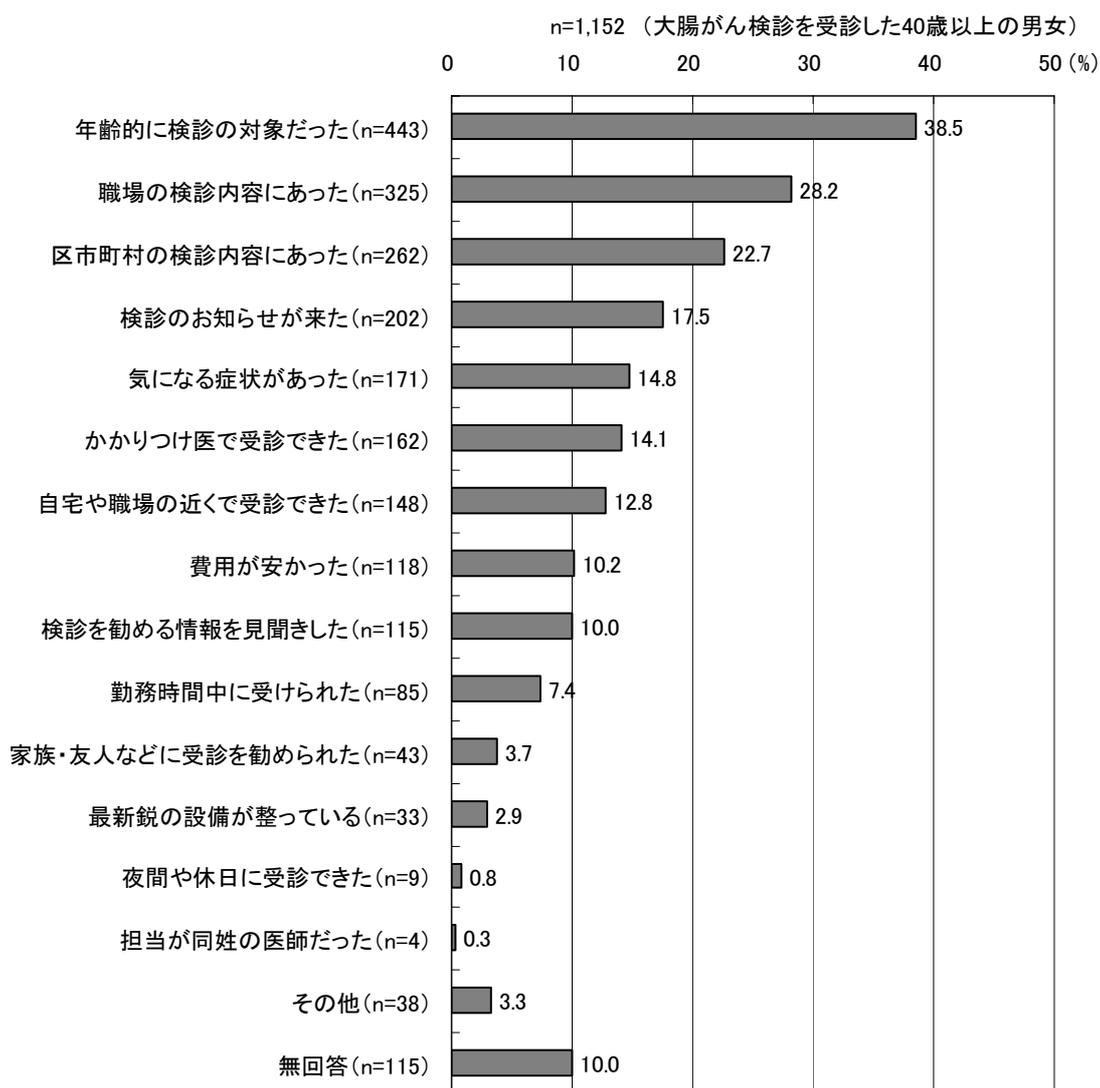
		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	職場の検診内容にあった 68.1%	年齢的に検診の対象だった 44.0%	勤務時間中に受診できた 20.7%
	50 歳代	職場の検診内容にあった 61.8%	年齢的に検診の対象だった 45.8%	勤務時間中に受診できた 18.1%
	60 歳代	職場の検診内容にあった 41.7%	年齢的に検診の対象だった 41.1%	区市町村の検診内容にあった 22.5%
	70 歳代以上	年齢的に検診の対象だった 33.1%	区市町村の検診内容にあった 31.5%	かかりつけ医で受診できた 24.4%
女性	40 歳代	職場の検診内容にあった 56.6%	年齢的に検診の対象だった 35.9%	区市町村の検診内容にあった 16.6%
	50 歳代	職場の検診内容にあった 37.8%	年齢的に検診の対象だった 35.8%	区市町村の検診内容にあった 31.8%
	60 歳代	年齢的に検診の対象だった 34.1%	区市町村の検診内容にあった 31.0%	職場の検診内容にあった 23.3%
	70 歳代以上	区市町村の検診内容にあった 36.2%	かかりつけ医で受診できた 29.2%	検診のお知らせが来た 23.1%

(5) 大腸がん検診の受診理由

[過去に一度でも大腸がん検診を受診したことがある人の受診理由]

- ・ 大腸がん検診の受診理由は、「年齢的に検診の対象だった」が 38.5%と最も多く、次いで「職場の検診内容にあった」(28.2%)、「区市町村の検診内容にあった」(22.7%)であった。

図 49 大腸がん検診を受けた理由（複数回答）



(6) 大腸がん検診の受診理由〔性別・年代別〕

〔過去に一度でも大腸がん検診の受診経験がある人の性別・年代別の受診理由〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～50 歳代では、「職場の検診内容にあった」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」であった。 ・ 男性の 60～70 歳代以上では、「年齢的に検診の対象だった」が最も多かった。次いで 60 歳代は、「職場の検診内容にあった」であり、70 歳代は、「区市町村の検診内容にあった」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40 歳代では、「職場の検診内容にあった」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」であった。 ・ 女性の 50～60 歳代では、「年齢的に検診の対象だった」が最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」であった。 ・ 女性の 70 歳代以上では、「かかりつけ医で受診できた」が最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」であった。

表 8 大腸がん検診：性別・年代別の受診理由（上位 3 位）

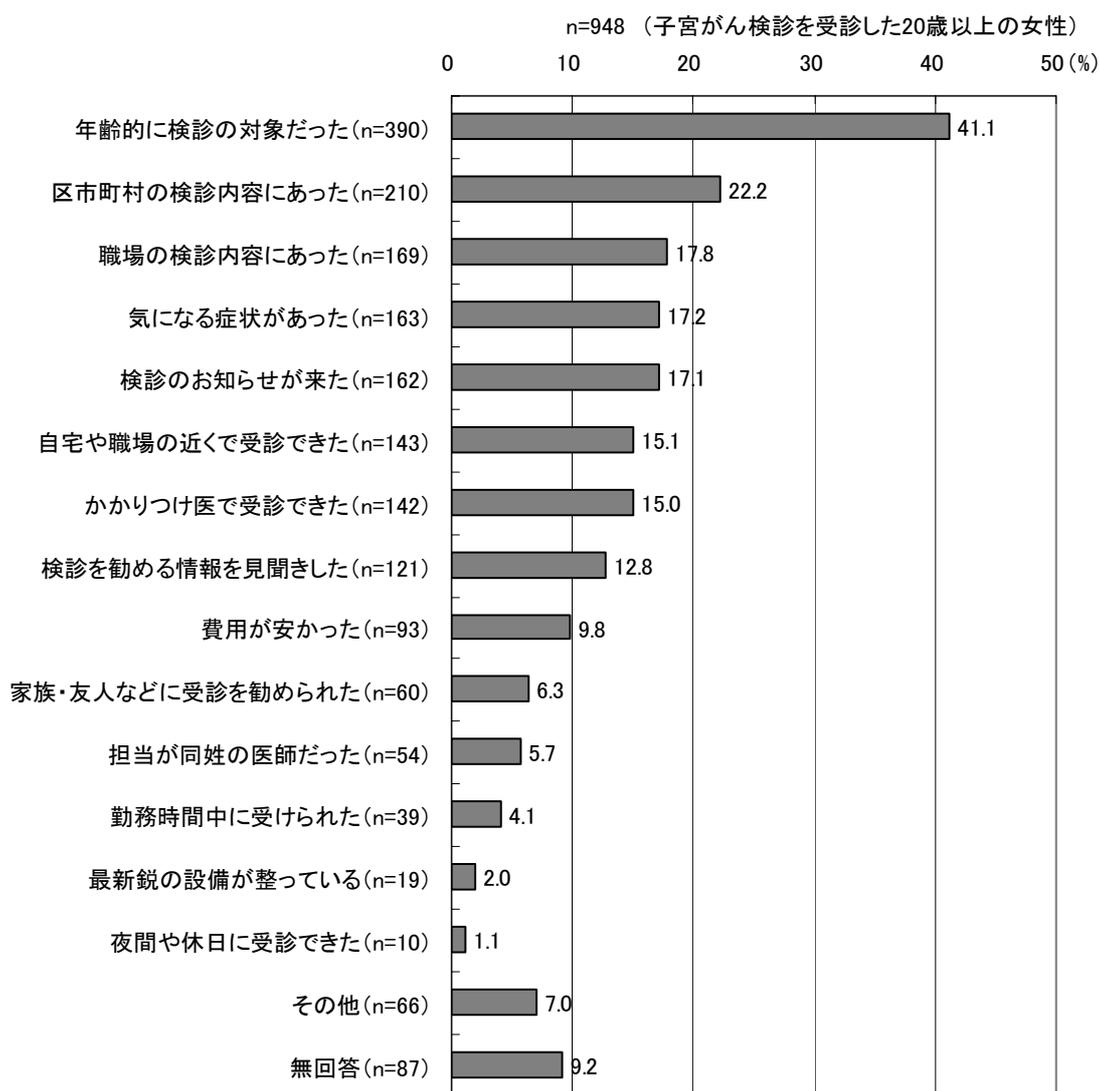
		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	職場の検診内容にあった 59.8%	年齢的に検診の対象だった 50.5%	勤務時間中に受診できた 17.8%
	50 歳代	職場の検診内容にあった 51.2%	年齢的に検診の対象だった 48.8%	勤務時間中に受診できた 15.5%
	60 歳代	年齢的に検診の対象だった 47.6%	職場の検診内容にあった 32.4%	検診のお知らせが来た 19.3%
	70 歳代以上	年齢的に検診の対象だった 35.9%	区市町村の検診内容にあった 29.0%	かかりつけ医で受診できた 26.2%
女性	40 歳代	職場の検診内容にあった 45.6%	年齢的に検診の対象だった 42.4%	区市町村の検診内容にあった 19.2%
				検診のお知らせが来た 19.2%
	50 歳代	年齢的に検診の対象だった 37.5%	区市町村の検診内容にあった 30.6%	職場の検診内容にあった 23.8%
				検診のお知らせが来た 23.8%
	60 歳代	年齢的に検診の対象だった 33.1%	区市町村の検診内容にあった 31.3%	検診のお知らせが来た 19.3%
	70 歳代以上	かかりつけ医で受診できた 29.7%	区市町村の検診内容にあった 29.1%	年齢的に検診の対象だった 21.1%

(7) 子宮がん検診の受診理由

〔過去に一度でも子宮がん検診を受診したことがある人の受診理由〕

- ・ 子宮がん検診の受診理由は、「年齢的に検診の対象だった」が 41.1%と最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」(22.2%)、「職場の検診内容にあった」(17.8%)であった。

図 50 子宮がん検診を受けた理由（複数回答）

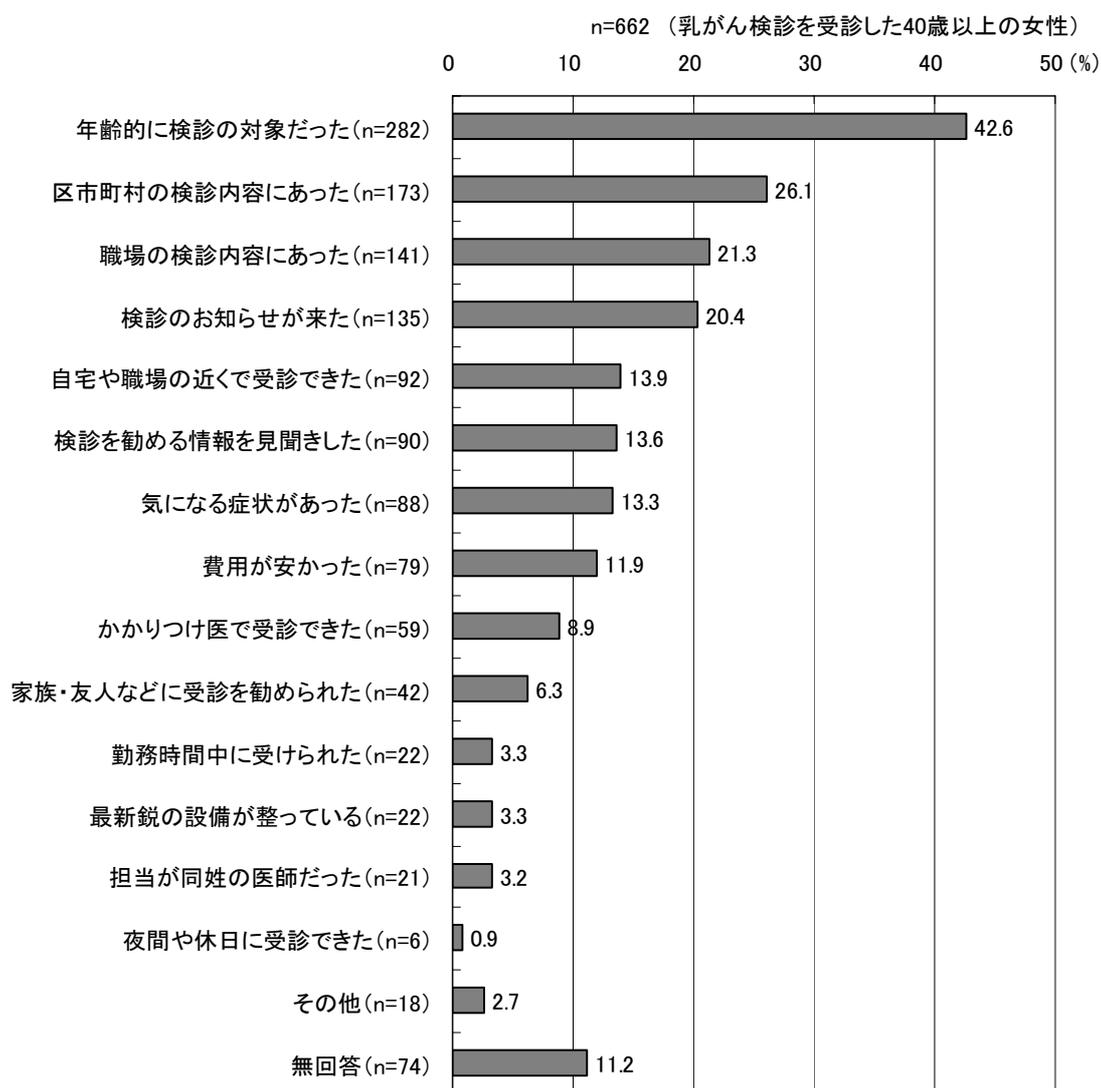


(8) 乳がん検診の受診理由

〔過去に一度でも乳がん検診を受診したことがある人の受診理由〕

- ・ 乳がん検診の受診理由は、「年齢的に検診の対象だった」が 42.6%と最も多く、次いで「区市町村の検診内容にあった」(26.1%)、「職場の検診内容にあった」(21.3%)であった。

図 51 乳がん検診を受けた理由（複数回答）



(9)子宮がん・乳がん検診の受診理由〔年代別〕

〔過去に一度でも子宮がん・乳がん検診の受診経験がある女性の年代別の受診理由〕

<p>【子宮がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 歳代では、「かかりつけ医で受診できた」が最も多く、次いで「年齢的に検診の対象だった」であった。 ・ 30～70 歳代以上ではいずれも、「年齢的に検診の対象だった」が最も多かった。次いで 30 歳代は、「職場の検診内容にあった」であり、40 歳代は、「気になる症状があった」であり、50～70 歳代以上は、「区市町村の検診内容にあった」であった。
<p>【乳がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての年代において、「年齢的に検診の対象だった」が最も多かった。次いで 40 歳代は、「職場の検診内容にあった」であり、50 歳～70 歳代以上は、「区市町村の検診内容にあった」であった。

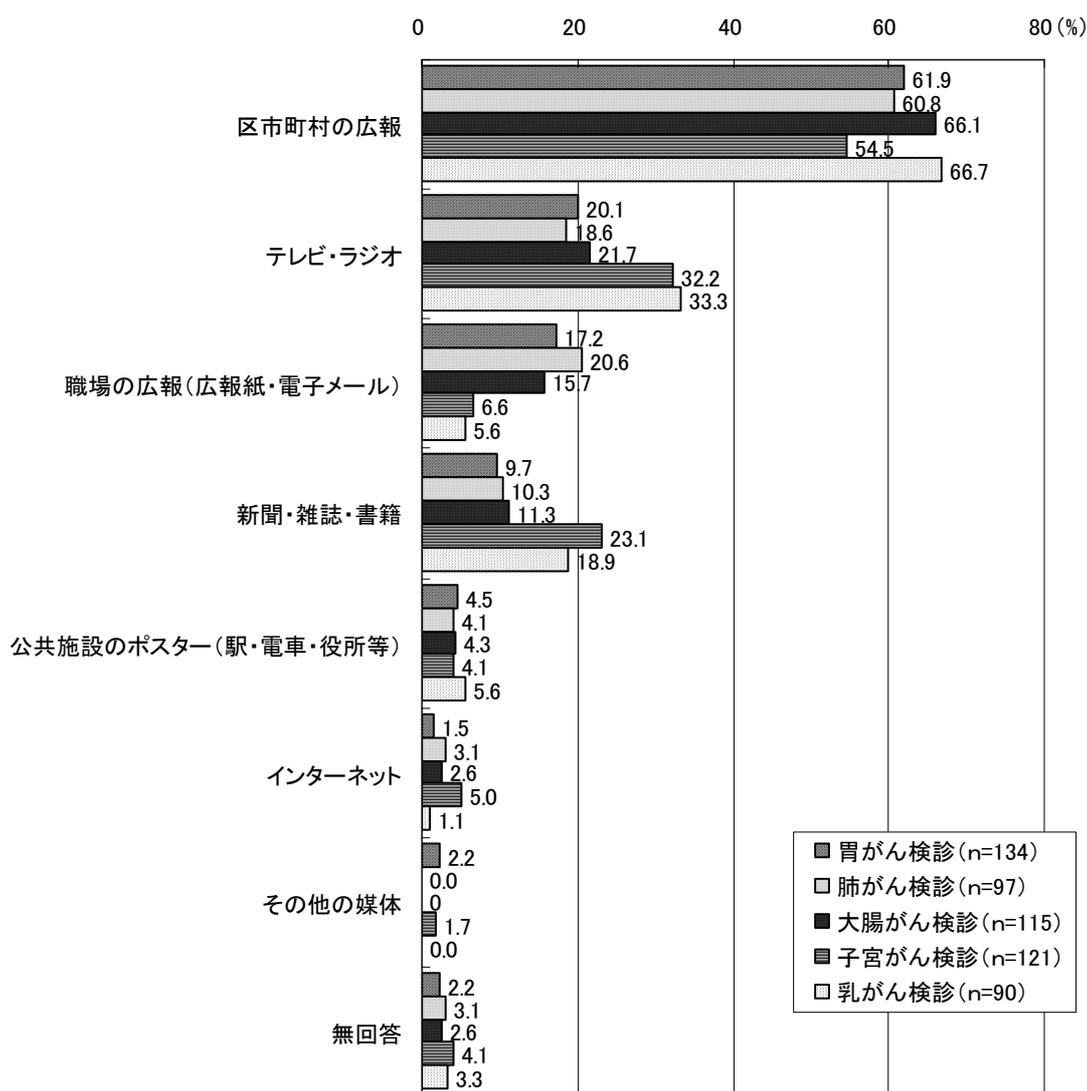
表 9 子宮がん・乳がん検診：年代別の受診理由（上位 3 位）

		1 位	2 位	3 位
子宮がん検診	20 歳代	かかりつけ医で受診できた 29.3%	年齢的に検診の対象だった 24.4%	職場の検診内容にあった 17.1%
			気になる症状があった 24.4%	
	30 歳代	年齢的に検診の対象だった 42.7%	職場の検診内容にあった 28.1%	自宅や職場の近くで受診できた 19.7%
	40 歳代	年齢的に検診の対象だった 52.9%	気になる症状があった 23.8%	職場の検診内容にあった 22.8%
	50 歳代	年齢的に検診の対象だった 42.7%	区市町村の検診内容にあった 29.6%	検診のお知らせが来た 24.8%
	60 歳代	年齢的に検診の対象だった 40.5%	区市町村の検診内容にあった 30.6%	検診のお知らせが来た 17.3%
乳がん検診	70 歳代以上	年齢的に検診の対象だった 28.6%	区市町村の検診内容にあった 21.7%	検診のお知らせが来た 14.3%
				かかりつけ医で受診できた 14.3%
	40 歳代	年齢的に検診の対象だった 58.1%	職場の検診内容にあった 35.0%	検診のお知らせが来た 23.8%
	50 歳代	年齢的に検診の対象だった 46.2%	区市町村の検診内容にあった 32.6%	検診のお知らせが来た 25.5%
60 歳代	年齢的に検診の対象だった 41.3%	区市町村の検診内容にあった 28.1%	検診のお知らせが来た 17.4%	
70 歳代以上	年齢的に検診の対象だった 23.2%	区市町村の検診内容にあった 21.9%	検診のお知らせが来た 13.9%	

(10) 受診理由が「検診を勧める情報を見聞きした」場合の情報媒体

- ・ 胃がん、肺がん、大腸がん検診においては、「区市町村の広報」が最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」、「職場の広報（広報誌・電子メール）」であった。
- ・ 乳がん、子宮がん検診では、「区市町村の広報」が最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」、「新聞・雑誌・書籍」であった。

図 52 がん検診を勧める情報媒体（複数回答）



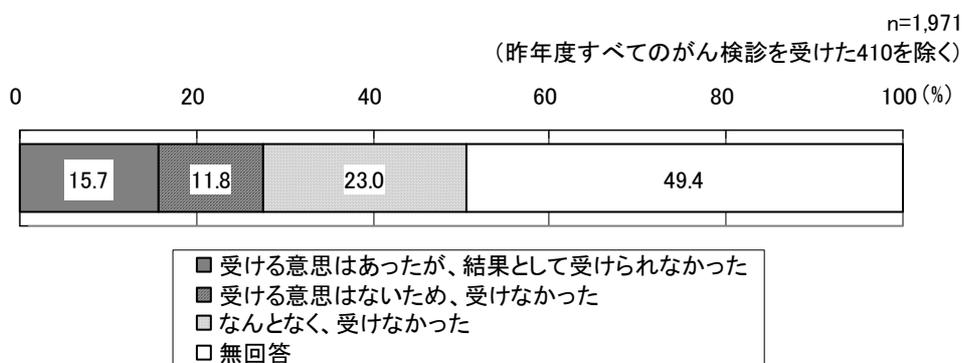
6 がん検診の未受診理由（問 3-1、3-2）

(1) がん検診を受けなかった人の意識

〔昨年度（平成 19 年度）に各がん検診を 1 つでも受診しなかった人の理由〕

- 昨年 1 年間に胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がんのいずれか 1 つでも検診を受診していない場合、がん検診の受診意向があったかどうかについては、「なんとなく、受けなかった」が 23.0%と最も多く、次いで「受ける意思はあったが、結果として受けられなかった」（15.7%）、「受ける意思はないため、受けなかった」（11.8%）であった。

図 53 がん検診を受けなかった人の意識

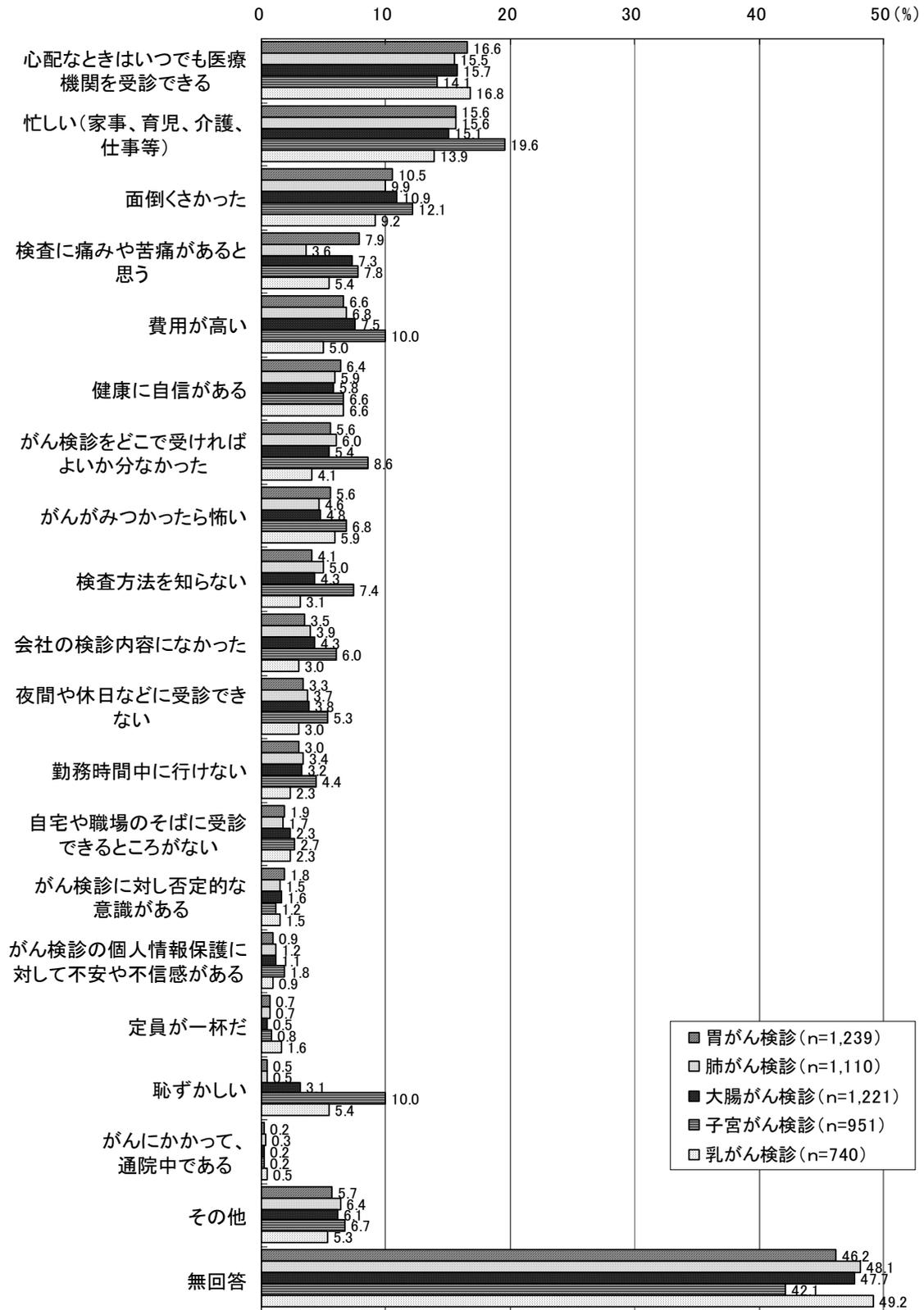


(2) がん検診を受けなかった理由

〔昨年度（平成 19 年度）、各がん検診を 1 つでも受診しなかった人の理由〕

- ・ 胃がん、大腸がん、乳がん検診では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで「忙しい（家事・育児・介護・仕事等）」であった。
- ・ 肺がん検診では、「忙しい（家事・育児・介護・仕事等）」と「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」がほぼ同じ割合であった。
- ・ 子宮がん検診では、「忙しい（家事・育児・介護・仕事等）」が最も多く、次いで「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」であった。
- ・ 「その他」の理由として、「がん検診があることが分からなかった」、「何歳から受けたら良いかわからない」、「予約するのが面倒だ」などであった。
- ・ 肺がん検診の「その他」の理由として「タバコも吸わないので大丈夫と思った」、子宮がん検診の「その他」の理由として「婦人科の女性医師が近くにいなかった」などがあつた。

図 54 がん検診を「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由（複数回答）



(3) がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕

① 胃がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の胃がん検診未受診者〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多く、次いで 40 歳代は、「がん検診をどこで受ければよいか分からなかった」であり、50 歳代は、「面倒くさかった」であった。 ・ 男性の 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで「面倒くさかった」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多く、次いで 40 歳代は、「検査に痛みや苦痛があると思う」であり、50 歳代は、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」であった。 ・ 女性の 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで 60 歳代は、「面倒くさかった」であり、70 歳代は、「健康に自信がある」であった。

表 10 胃がん検診の未受診理由（上位 3 位）〔性別・年代別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 39.5%	受診場所が分からない 20.9%	面倒くさい 17.4%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 25.5%	面倒くさい 19.4%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 16.3%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 16.1%	面倒くさい 9.1%	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 8.4%
	70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 24.4%	面倒くさい 7.5%	その他 6.9%
女性	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 31.0%	検査に痛みや苦痛があると思う 16.4%	面倒くさい 15.8%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 21.6%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.9%	検査に痛みや苦痛があると思う 12.1%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 20.1%	面倒くさい 12.2%	検査に痛みや苦痛があると思う 9.8%
	70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 18.1%	健康に自信がある 10.1%	検査に痛みや苦痛があると思う 6.2%

② 肺がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の肺がん検診未受診者〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多く、次いで 40 歳代は、「がん検診をどこで受ければよいか分からなかった」であり、50 歳代は、「面倒くさかった」であった。 ・ 男性の 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで 60 歳代は、「面倒くさかった」であり、70 歳代以上は、「検査方法を知らない」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多く、次いで「面倒くさかった」であった。 ・ 女性の 50～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで 50 歳代は、「忙しいから（家事、育児、介護、仕事等）」であり、60 歳代は、「面倒くさかった」であり、70 歳代以上は、「健康に自信がある」であった。

表 11 肺がん検診の未受診理由（上位 3 位）〔性別・年代別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 41.3%	受診場所が分からない 22.7%	費用が高い 16.0%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 25.0%	面倒くさい 19.6%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 15.0%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 15.5%	面倒くさい 10.9%	受診場所が分からない 7.8%
	70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 19.3%	その他 7.9%	検査方法を知らない 6.4%
女性	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 36.9%	面倒くさい 14.8%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 12.1%
	50 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.7%	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 17.1%	がんが見つかったら怖い 9.1%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 15.6%	面倒くさい 10.6%	面倒くさい 9.1%
				検査に痛みや苦痛があると思う 6.9%
70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.4%	健康に自信がある 9.0%	費用が高い 6.9%	その他 7.0%

③ 大腸がん検診の未受診理由〔性別・年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の大腸がん検診未受診者〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多く、次いで 40 歳代は、「がん検診をどこで受ければよいか分からなかった」であり、50 歳代は、「面倒くさかった」であった。 ・ 男性の 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで 60 歳代は、「面倒くさかった」であり、70 歳代は、「費用が高い」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多く、次いで 40 歳代は、「面倒くさかった」であり、50 歳代は、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」であった。 ・ 女性の 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多く、次いで 60 歳代は、「面倒くさかった」であり、70 歳代以上は、「健康に自信がある」であった。

表 12 大腸がん検診の未受診理由（上位 3 位）〔性別・年代別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 34.8%	受診場所が分からない 16.9%	費用が高い 16.9%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 21.4%	面倒くさい 20.5%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 15.4%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 15.3%	面倒くさい 10.4%	健康に自信がある 8.3%
	70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 22.1%	その他 7.6%	費用が高い 6.2%
女性	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 31.4%	面倒くさい 15.4%	検査に痛みや苦痛があると思う 13.1%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 19.8%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.6%	検査に痛みや苦痛があると思う 11.0%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 16.3%	面倒くさい 12.5%	検査に痛みや苦痛があると思う 9.4%
	70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 18.7%	健康に自信がある 9.6%	その他 6.2%

④ 子宮がん・乳がん検診の未受診理由〔年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の子宮がん検診・乳がん検診未受診者〕

<p>【子宮がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多かった。 ・ 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多かった。
<p>【乳がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40～50 歳代では、「忙しい（家事、育児、介護、仕事等）」が最も多かった。 ・ 60～70 歳代以上では、「心配なときはいつでも医療機関を受診できる」が最も多かった。

表 13 子宮がん検診の未受診理由（上位 3 位）〔年代別〕

		1 位	2 位	3 位
子宮がん検診	20 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 36.8%	受診場所が分からない 34.9%	検査方法を知らない 31.1%
	30 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 42.2%	費用が高い 32.4%	面倒くさい 21.6%
	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 32.8%	面倒くさい 17.6%	恥ずかしい 12.2%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 23.7%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.9%	恥ずかしい 14.7%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.6%	恥ずかしい 9.3%	面倒くさい 8.8%
	70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.1%	健康に自信がある 10.3%	その他 5.7%

表 14 乳がん検診の未受診理由（上位 3 位）〔年代別〕

		1 位	2 位	3 位
乳がん検診	40 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 31.5%	面倒くさい 16.1%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 11.9%
	50 歳代	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 22.0%	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 17.6%	面倒くさい 11.3%
	60 歳代	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 19.6%	面倒くさい 9.8%	がんが見つかったら怖い 6.5%
				忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 6.5%
70 歳代以上	心配なときはいつでも医療機関を受診できる 16.9%	健康に自信がある 11.0%	忙しい（家事、育児、介護、仕事等） 4.3%	

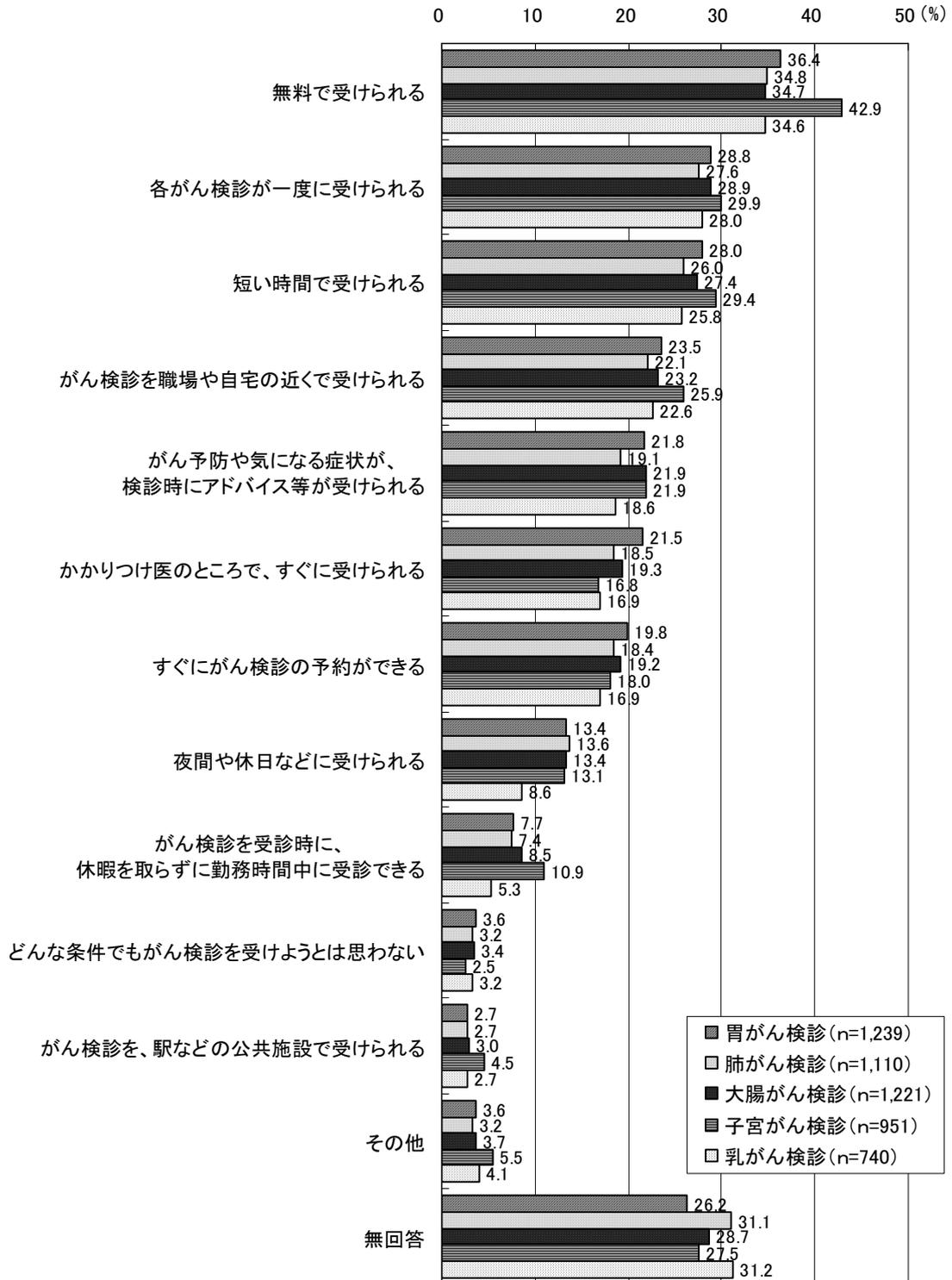
7 がん検診を受けたいと思う条件（問 3-3）

(1) がん検診の受診を促進する条件

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）がん検診を 1 つでも受診しなかった人〕

- 全てのがん検診において、「無料で受けられる」の割合が最も高く、次いで「各がん検診が一度に受けられる」、「短い時間で受けられる」であった。
- 例示した条件以外では、「痛みがなく簡単であれば」、「どういう方法で検診するのか分かれば」、「時期や日時の制限がない」、「予約なしで受けられる」、「郵送で案内がくる」、「受診時に子どもを預かってくれる」などがあった。
- 子宮がん、乳がん検診については、「女性医師を希望できる」があった。

図 55 がん検診を受診したくなる条件（複数回答）



(2) がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕

① 胃がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の胃がん検診未受診者〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～60 歳代では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで 40 歳代は、「がん検診を職場や自宅の近くで受けられる」であり、50 歳代は、「短い時間で受けられる」であり、60 歳代は、「各がん検診が一度に受けられる」であった。 ・ 男性の 70 歳代以上では、「かかりつけ医のところで、すぐに受けられる」が最も多く、次いで「がん予防や気になる症状が、検診時にアドバイス等が受けられる」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の全ての年代で、「無料で受けられる」が最も多く、次いで 40～50 歳代は、「短い時間で受けられる」であり、70 歳代以上は、「かかりつけ医のところで、すぐに受けられる」であった。また、60 歳代は、「各がん検診が一度に受けられる」が、「無料で受けられる」と同様多かった。

表 15 胃がん検診の受診を促進する条件（上位 3 位）〔性別・年代別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	無料で受けられる 69.8%	職場や自宅の近くで受診できる 46.5% 各がん検診が一度に受けられる 46.5%	/
	50 歳代	無料で受けられる 45.9%	短い時間で受けられる 35.7%	
	60 歳代	無料で受けられる 33.6%	各がん検診が一度に受けられる 27.3%	短い時間で受けられる 25.9%
	70 歳代以上	かかりつけ医ですぐ受診できる 32.5%	検診時、がん予防や気になる症状のアドバイス等が受けられる 23.1%	各がん検診が一度に受けられる 19.4% 無料で受けられる 19.4%
女性	40 歳代	無料で受けられる 56.7%	短い時間で受けられる 43.9%	各がん検診が一度に受けられる 39.8%
	50 歳代	無料で受けられる 43.7%	短い時間で受けられる 38.9%	各がん検診が一度に受けられる 36.3%
	60 歳代	各がん検診が一度に受けられる 25.6% 無料で受けられる 25.6%	かかりつけ医ですぐ受診できる 25.0%	/
	70 歳代以上	無料で受けられる 19.8%	かかりつけ医ですぐ受診できる 18.5%	

② 肺がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の肺がん検診未受診者〕

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の 40～60 歳代では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで 40 歳代は、「各がん検診が一度に受けられる」であり、50～60 歳代は、「各がん検診が一度に受けられる」であった。 ・ 男性の 70 歳代以上では、「かかりつけ医のところで、すぐに受けられる」が最も多く、次いで「がん予防や気になる症状が、検診時にアドバイス等が受けられる」であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の 40～50 歳代及び 70 歳代以上では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで 40～50 歳代は、「短い時間で受けられる」であり、70 歳代以上は、「かかりつけ医のところで、すぐに受けられる」であった。 ・ 女性の 60 歳代では、「各がん検診が一度に受けられる」が最も多く、次いで「無料で受けられる」であった

表 16 肺がん検診の受診を促進する条件（上位 3 位）〔性別・年代別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	無料で受けられる 69.3%	各がん検診が一度に受けられる 49.3%	職場や自宅の近くで受診できる 45.3%
				短い時間で受けられる 45.3%
	50 歳代	無料で受けられる 40.2%	各がん検診が一度に受けられる 31.5%	短い時間で受けられる 28.3%
	60 歳代	無料で受けられる 34.1%	各がん検診が一度に受けられる 25.6%	短い時間で受けられる 23.3%
	70 歳代以上	かかりつけ医ですぐ受診できる 23.6%	検診時、がん予防や気になる症状のアドバイス等が受けられる 21.4%	無料で受けられる 17.1%
女性	40 歳代	無料で受けられる 56.4%	短い時間で受けられる 45.0%	各がん検診が一度に受けられる 40.3%
				各がん検診が一度に受けられる 36.0%
	50 歳代	無料で受けられる 43.9%	短い時間で受けられる 37.8%	各がん検診が一度に受けられる 20.6%
	60 歳代	各がん検診が一度に受けられる 28.1%	無料で受けられる 24.4%	かかりつけ医ですぐ受診できる 20.6%
	70 歳代以上	無料で受けられる 16.9%	かかりつけ医ですぐ受診できる 13.4%	各がん検診が一度に受けられる 11.4%

③ 大腸がん検診の受診を促進する条件〔性別・年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の大腸がん検診未受診者〕

- ・ 男性の 40～60 歳代では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで 40 歳代は、「がん検診を職場や自宅の近くで受けられる」であり、50 歳代は、「各がん検診が一度に受けられる」であり、60 歳代は、「がん予防や気になる症状が、検診時にアドバイス等が受けられる」であった。
- ・ 男性の 70 歳代以上では、「かかりつけ医のところで、すぐに受けられる」が最も多く、次いで「がん予防や気になる症状が、検診時にアドバイス等が受けられる」であった。
- ・ 女性の 40～50 歳代及び 70 歳代以上では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで 40～50 歳代は、「短い時間で受けられる」であり、70 歳代以上は、「がん予防や気になる症状が、検診時にアドバイス等が受けられる」であった。
- ・ 女性の 60 歳代では、「各がん検診が一度に受けられる」が最も多く、次いで「無料で受けられる」であった。

表 17 大腸がん検診の受診を促進する条件（上位 3 位）〔性別・年代別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	40 歳代	無料で受けられる 62.9%	職場や自宅の近くで受診できる 47.2%	各がん検診が一度に受けられる 43.8%
	50 歳代	無料で受けられる 42.7%	各がん検診が一度に受けられる 32.5%	短い時間で受けられる 31.6%
	60 歳代	無料で受けられる 30.6%	検診時、がん予防や気になる症状のアドバイス等が受けられる 27.1%	各がん検診が一度に受けられる 26.4%
	70 歳代以上	かかりつけ医ですぐ受診できる 32.4%	検診時、がん予防や気になる症状のアドバイス等が受けられる 23.4%	すぐにごがん検診の予約ができる 18.6%
女性	40 歳代	無料で受けられる 54.9%	短い時間で受けられる 42.9%	各がん検診が一度に受けられる 41.1%
	50 歳代	無料で受けられる 41.2%	短い時間で受けられる 38.5%	各がん検診が一度に受けられる 37.4%
	60 歳代	各がん検診が一度に受けられる 28.1%	無料で受けられる 23.8%	短い時間で受けられる 22.5%
	70 歳代以上	無料で受けられる 18.7%	検診時、がん予防や気になる症状のアドバイス等が受けられる 17.7%	かかりつけ医ですぐ受診できる 14.8%

④ 子宮がん・乳がん検診の受診を促進する条件〔年代別〕

〔対象は、昨年度（平成 19 年度）の子宮がん・乳がん検診未受診者〕

<p>【子宮がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 60 歳代を除き、「無料で受けられる」が最も多かった。 ・ 60 歳代では、「各がん検診が一度に受けられる」が最も多く、次いで「無料で受けられる」であった。
<p>【乳がん】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40～50 歳代では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで「短い時間で受けられる」であった。 ・ 60 歳代では、「各がん検診が一度に受けられる」及び「無料で受けられる」が多かった。 ・ 70 歳代以上では、「無料で受けられる」が最も多く、次いで「がん予防や気になる症状が、検診時にアドバイス等が受けられる」であった。

表 18 子宮がん検診の受診を促進する条件（上位 3 位）〔年代別〕

		1 位	2 位	3 位
子宮がん検診	20 歳代	無料で受けられる 80.2%	短い時間で受けられる 52.8%	職場や自宅の近くで受診できる 46.2%
	30 歳代	無料で受けられる 73.5%	職場や自宅の近くで受診できる 43.1%	各がん検診が一度に受けられる 43.1%
	40 歳代	無料で受けられる 52.7%	短い時間で受けられる 38.2%	職場や自宅の近くで受診できる 33.6%
				各がん検診が一度に受けられる 33.6%
	50 歳代	無料で受けられる 46.2%	短い時間で受けられる 45.5%	各がん検診が一度に受けられる 37.2%
	60 歳代	各がん検診が一度に受けられる 30.1%	無料で受けられる 27.5%	検診時、アドバイス等が受けられる 20.2%
	70 歳代以上	無料で受けられる 20.5%	検診時、アドバイス等が受けられる 14.8%	かかりつけ医ですぐ受診できる 12.5%
各がん検診が一度に受けられる 12.5%				

表 19 乳がん検診の受診を促進する条件（上位 3 位）〔年代別〕

		1 位	2 位	3 位
乳がん検診	40 歳代	無料で受けられる 53.8%	短い時間で受けられる 44.8%	各がん検診が一度に受けられる 39.9%
	50 歳代	無料で受けられる 47.2%	短い時間で受けられる 44.0%	各がん検診が一度に受けられる 39.0%
	60 歳代	各がん検診が一度に受けられる 29.9%	検診時、アドバイス等が受けられる 20.7%	かかりつけ医ですぐ受診できる 19.0%
		無料で受けられる 29.9%		短い時間で受けられる 19.0%
	70 歳代以上	無料で受けられる 19.3%	検診時、アドバイス等が受けられる 14.6%	各がん検診が一度に受けられる 13.0%

8 がん検診費用（自己負担額）の受容できる総額（問4）

(1) がん検診費用（自己負担額）の受容できる総額 [男女別]

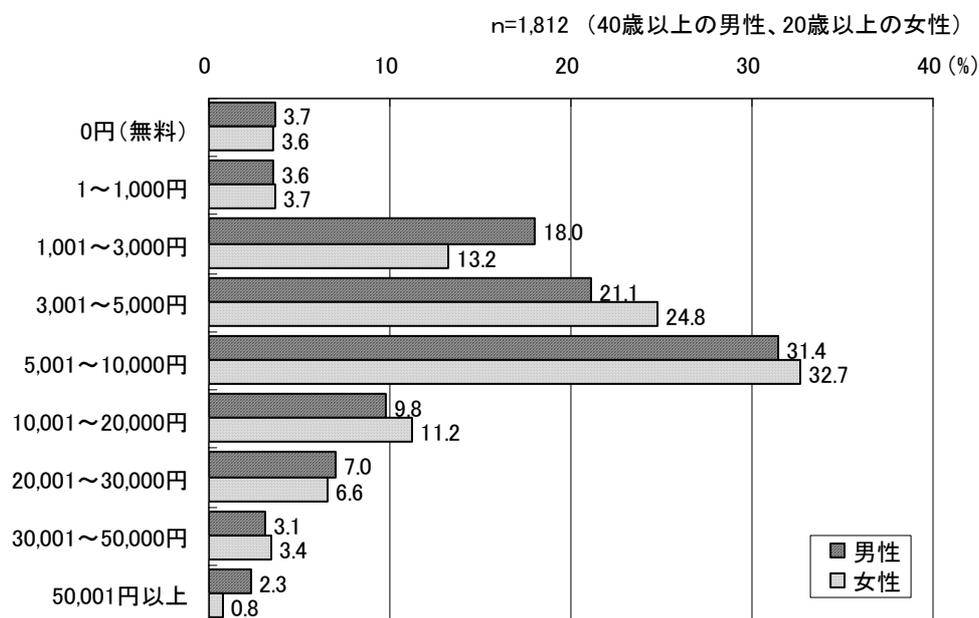
[男性は、胃がん、肺がん、大腸がん検診の3種類の検診総額、
女性は、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診の5種類の
検診総額として払っても良いと考える額]

- ・ 平均金額は男性で 14,966 円、女性で 11,595 円であった。
- ・ 男女ともに「5,000～10,000 円」と回答した人が 3 割と最も多かった。
- ・ 「0 円（無料）」と回答した割合が 3.7%である一方、20,000 円を超える回答も 1 割あった。

表 20 がん検診費用（自己負担額）の受容できる総額

	回答数	平均（円）
男 性	648	14,966.5
女 性	1,171	11,595.4

図 56 がん検診費用（自己負担額）の受容できる総額



(2) がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔性別・年代別〕

〔男性は、胃がん、肺がん、大腸がん検診の3種類の検診総額、
女性は、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん検診の5種類の
検診総額として払っても良いと考える額〕

- ・ 男女ともに性別・年代別により受容できる総額に大きな差はなかった。

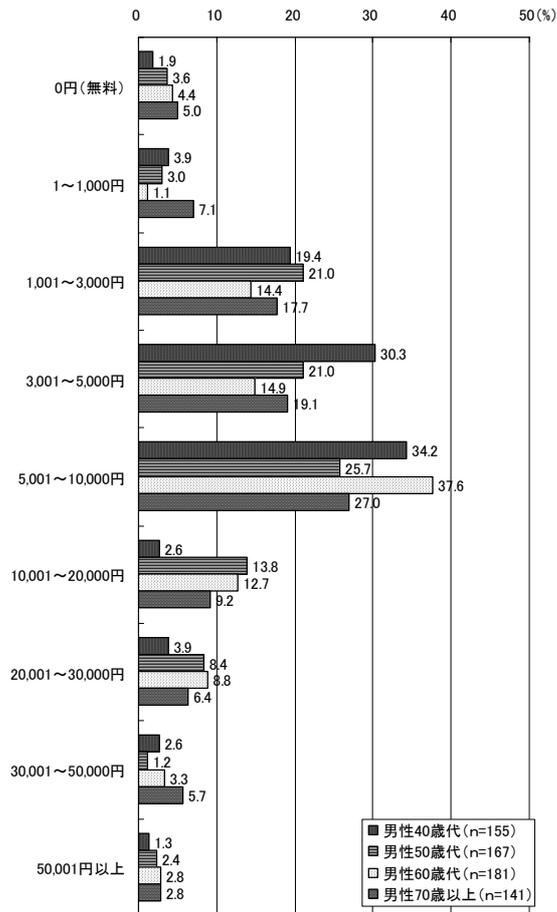
表 21 がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額の上位3位〔性別・年代別〕

		1位	2位	3位
男性	40歳代	5,001～10,000円 34.2%	3,001～5,000円 30.3%	1,001～3,000円 19.4%
	50歳代	5,001～10,000円 25.7%	1,001～3,000円 21.0%	10,001～20,000円 13.8%
			3,001～5,000円 21.0%	
	60歳代	5,001～10,000円 37.6%	3,001～5,000円 14.9%	1,001～3,000円 14.4%
	70歳代以上	5,001～10,000円 27.0%	3,001～5,000円 19.1%	1,001～3,000円 17.1%
女性	20歳代	5,001～10,000円 34.8%	3,001～5,000円 27.5%	1,001～3,000円 13.0%
	30歳代	5,001～10,000円 31.2%	3,001～5,000円 26.1%	1,001～3,000円 14.5%
	40歳代	5,001～10,000円 34.8%	3,001～5,000円 29.4%	1,001～3,000円 14.9%
	50歳代	5,001～10,000円 29.3%	3,001～5,000円 21.6%	1,001～3,000円 15.5%
	60歳代	5,001～10,000円 30.8%	3,001～5,000円 20.5%	10,001～20,000円 15.7%
	70歳代以上	5,001～10,000円 37.3%	3,001～5,000円 24.1%	10,001～20,000円 8.9%

図 57 がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔性別・年代別〕

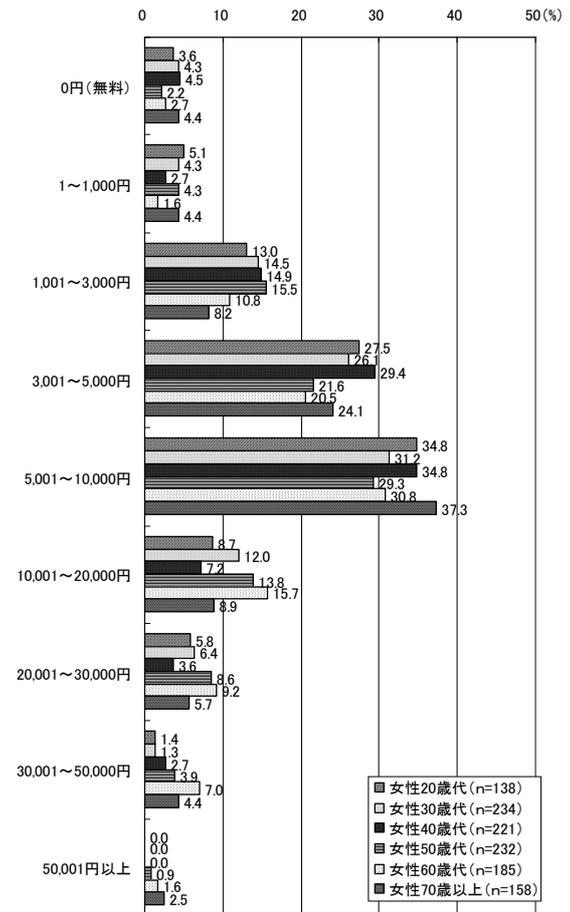
【男性】

胃がん・肺がん・大腸がん
3つのがん検診



【女性】

胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・
乳がん5つのがん検診



(3) がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔健康情報への関心別〕

- ・ 男女ともに「興味がある」及び「すこし興味がある」では、「5,001～10,000円」が最も多く、次いで「3,001～5,000円」であった。
- ・ 男性の「あまり興味がない」では、「1,001～3,000円」が最も多く、次いで「5,001～10,000円」であった。
- ・ 男性の「興味がない」では、「0円（無料）」が最も多かった。
- ・ 女性の「あまり興味がない」及び「興味がない」では、「1,001～3,000円」が最も多かった。
- ・ 受容できる総額は、健康情報に興味がある場合は高く、興味がない場合は低くなる傾向があった。

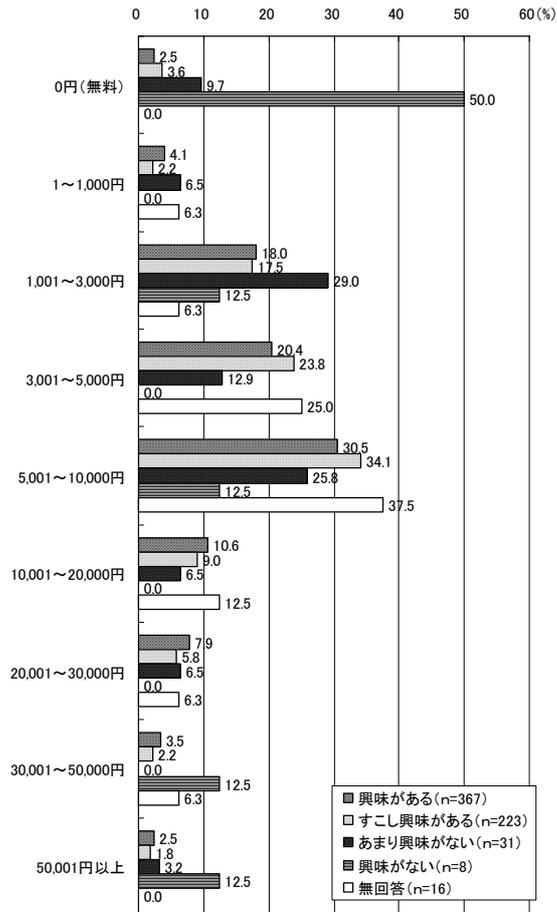
表 22 がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔健康情報への関心別〕
（上位3位）

		1位	2位	3位
男性	興味がある	5,001～10,000円 30.5%	3,001～5,000円 20.4%	1,001～3,000円 18.0%
	すこし興味がある	5,001～10,000円 34.1%	3,001～5,000円 23.8%	1,001～3,000円 17.5%
	あまり興味がない	1,001～3,000円 29.0%	5,001～10,000円 25.8%	3,001～5,000円 12.9%
	興味がない	0円（無料） 50.0%	1,001～3,000円 12.5%	
			5,001～10,000円 12.5%	
女性	興味がある	5,001～10,000円 34.2%	3,001～5,000円 24.7%	1,001～3,000円 11.6%
	すこし興味がある	5,001～10,000円 31.9%	3,001～5,000円 25.8%	1,001～3,000円 14.6%
	あまり興味がない	1,001～3,000円 23.4%	5,001～10,000円 19.1%	0円（無料） 10.6%
		3,001～5,000円 23.4%		10,001～20,000円 10.6%
	興味がない	1～1,000円 33.3%	0円（無料） 16.7%	
		5,001～10,000円 33.3%	1,001～3,000円 16.7%	

図 58 がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔健康情報への興味別〕

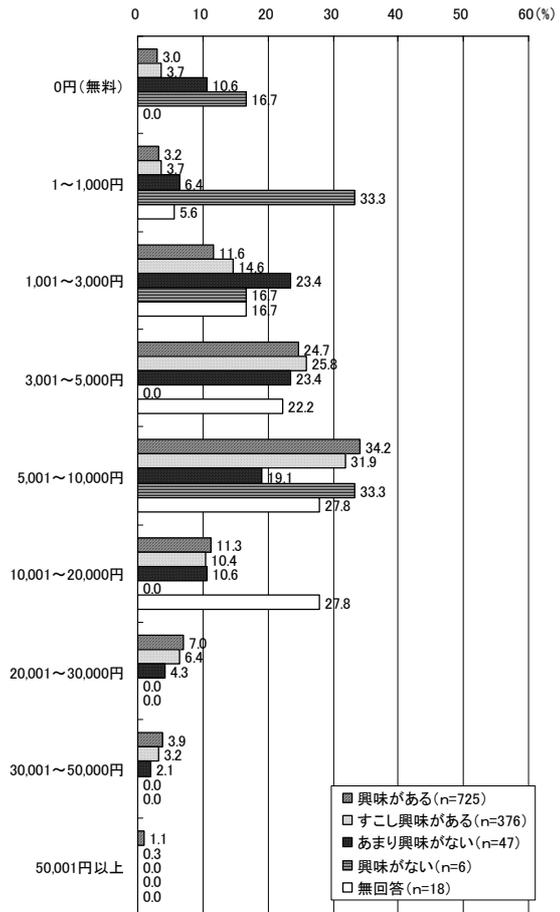
【男性】

胃がん・肺がん・大腸がん
3つのがん検診



【女性】

胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・
乳がん5つのがん検診



(4) がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔仕事の有無別〕

- ・ 男性の「仕事あり」では、「5,001～10,000 円」が最も多く、次いで「1,001～3,000 円」であった。
- ・ 男性の「仕事なし」では、「5,001～10,000 円」が最も多く、次いで「3,001～5,000 円」であった。
- ・ 女性は「仕事あり」及び「仕事なし」とともに、「5,001～10,000 円」が最も多く、次いで「3,001～5,000 円」であった。
- ・ 男女ともに仕事の有無での、受容できる総額に大きな差は無かった。

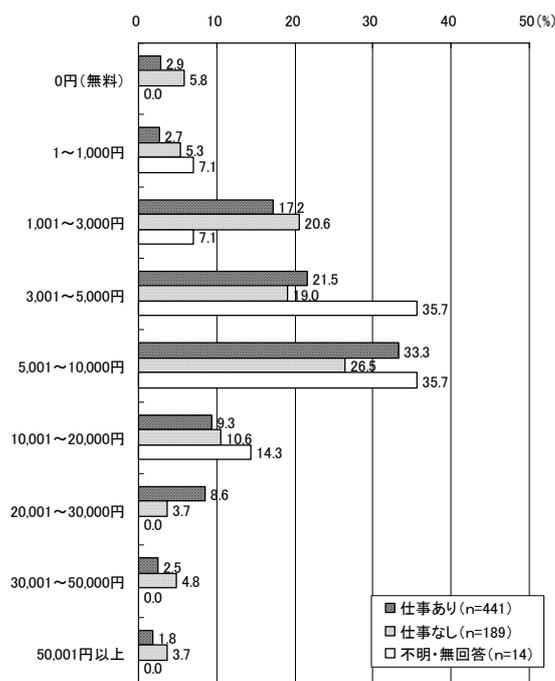
表 23 がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額（上位 3 位）〔仕事の有無別〕

		1 位	2 位	3 位
男性	仕事あり	5,001～10,000 円 33.3%	3,001～5,000 円 21.5%	1,001～3,000 円 17.2%
	仕事なし	5,001～10,000 円 26.5%	1,001～3,000 円 20.6%	3,001～5,000 円 19.0%
女性	仕事あり	5,001～10,000 円 32.0%	3,001～5,000 円 26.8%	1,001～3,000 円 14.2%
	仕事なし	5,001～10,000 円 33.8%	3,001～5,000 円 22.9%	1,001～3,000 円 11.7%

図 59 がん検診費用（自己負担額）として受容できる総額〔仕事の有無別〕

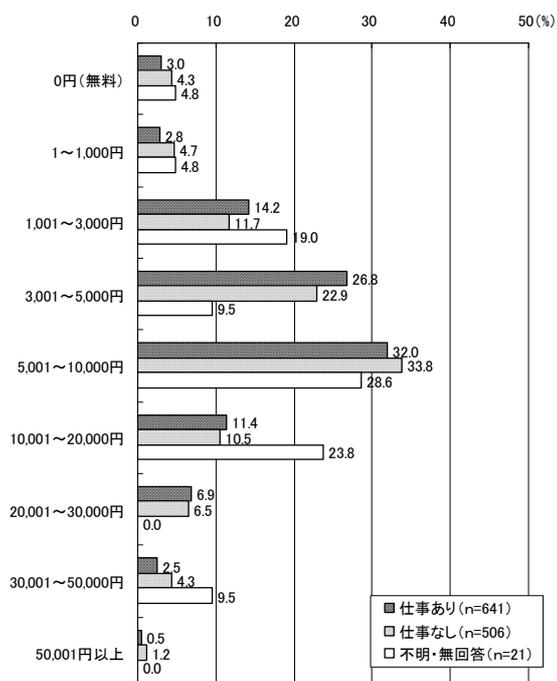
【男性】

胃がん・肺がん・大腸がん
3 つのがん検診



【女性】

胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・
乳がん 5 つのがん検診



9 がん検診制度についての意見等（問 13）

がん検診制度についての意見等（自由記述）の主な回答を以下に示す。

がん検診制度についての意見として、「がん検診制度全般に関すること」、「検診内容・検診の受けやすさに関すること」、「普及・啓発に関する要望」に大きく分類された。

がん検診制度についての意見等（自由記述）

〈がん検診制度全般に関すること〉

- ・ がんという病気は大変身近なものでありますが、中小零細企業等（個人経営）の会社に勤めている人は、なかなか受診する機会がないように思います。その場合、地方自治体の検診が頼りになるわけですが、残念ながら各地方自治体（区市町村）により受診資格条件がバラバラのようです。このアンケートにより万人平等で全員が受診できることを願います。
- ・ （区市町村で）受けるがん検診の情報が何も分からない。受けるのに先着順や抽選で受けられるというのはおかしい。誰でも受けられるべきです。区によって違うのもおかしい。
- ・ 住民健診の中に入れてもらいたい。
- ・ がん検診の受診対象年齢である人のほとんどは働いている人だと思うので、そういった人たちが気軽に受けに行けるような検診が増えたら受診率が上がると思います。そのような制度ができるよう、よろしく願います。
- ・ 検査を行う機関の検査精度等を数値化して公表して欲しい。受ければ安心という訳ではないと思う。確かな技術を持っている検査機関で検査を受けたいと思います。

〈検診内容・検診の受けやすさに関すること〉

■ 費用について

- ・ 5種類のがん検診を同時に一カ所の病院で受診する場合は、相当な金額になると思いますので、特に高齢者にとっては負担が大変になります。行政の方で無料又は安い金額で検診できるような制度をお願いしたいと思います。
- ・ 働いていない人の検診費用が高すぎて、受けたくてもなかなか受けられないので少しでも安く受診できたらと思います（無料は特別な人を除いて良くないと思います）。
- ・ もっと気軽にがん検診が受けられるように費用を安くしてほしい。
- ・ 「国が推奨する年齢」になったら費用を安くする（できれば無料）等の補助があるとよい。そしてそれをきちんと伝えてほしい。

- ・ がん検診は無料で受けられるようにしてほしい。(同様、他 1 件)
- 検診施設の受けやすさについて
- ・ 各区市町村において、がん検診を受けることのできる病院をわかりやすく明記して欲しい。一日ドック、半日ドック等も受けることができる病院は明記して欲しい。
 - ・ 23 区どこでも受診できるようになったら良いと思います(指定病院内で)。
 - ・ 検診会場に託児所があると受診しやすい。(同様、他 1 件)
 - ・ なかなか休みが取りにくい職場のため、健康診断(がん検診も含む)に行くのが大変です。平日ではなく土・日・夜間でも行けるところが増えればと思います。(同様、他 4 件)
 - ・ がんによって、あちこちの病院に行かなければならないのは面倒なので、まとめてできれば助かります(同様、他 2 件)。また、がん手帳のようなものがあればやりやすいのでは？
 - ・ 人によって心配な部位が違うと思うので、ここにある 5 つのがん検診全ては無理でも 2 つか 3 つを選んで受診できるといいと思いました。
 - ・ 会社の健康診断にがん検診の項目も増やしてほしい。
- 検査説明・検査項目の選択について
- ・ がん検診の方法も分からないので、詳しく知らせていただければありがたいです。初期で発見できたら、死亡しないで済む方が沢山いると思います。
 - ・ がんにかかるかもしれないという不安はあるから、やはり定期的に検診した方がよいと思う。けれど、検診自体にも不安があるので受けられない。検診を早期発見のために推奨しているけれど、どんな検査をするのか具体的に分かれば検診できる(検診しようと思える)。
 - ・ 精検をする時に何故するか、どのような検査をするかをしっかり分かりやすく説明が必要ではないのか？現在どの様な状態になっているので、精検をするか、疑わしいところがどこなのですか、本人にとっては、一番不安なのではっきり伝えて欲しい。
- 検診の案内方法について
- ・ 40 歳になり、胃がん、肺がん、大腸がんの検診の案内がきたが回答締め切りが短くて間に合わず、受けたかったが受けられなかった。受診していない人には再度案内を通知するなどのフォローをお願いしたい。
 - ・ がん検診が必要な年齢(対象となる年齢)になったら、市や都などで勧める通知などが届くと意識が高まると思う。受けられる場所(地域)を載せると

分かりやすいと思います。(同様、他 2 件)

〈普及・啓発に関する要望〉

- ・ がん検診の重要性をもっと P R する等、意識向上運動があってもよいと思う。(同様、他 4 件)
- ・ がん検診自体について、現状何も詳しく知らないという状況です。どうすれば受診できるのか、どんな内容なのか、所要時間はどれくらいなのか等、「基本的な知識は誰でも知っている」くらいの認知度は必要だと思います。
- ・ がん検診制度が金銭的にも、時間的にも、情報的にももっと身近になるといいなと思います。都民の意識がもっと反映されることを望みます。
- ・ がん予防の方法を各がん毎に説明しているものを身近なところにもっと置くべきだ。精神的な部分(心の持ち方なども含めて)も、P R した方が良いのではないか。
- ・ T V などでも最近では広報活動に力を入れているのを感じ、職場でも若い女性が乳、子宮がん検診を受ける姿を目にします。しかし、全体からはまだすごく少数です。社会人になってからでは遅い、例えば子宮頸がんなど高校生(中学生?)からでも広報の対象にしていても良いのでは、と感じます。まずは知識を!と思います。(同様、他 1 件)

〈肝炎検診について〉

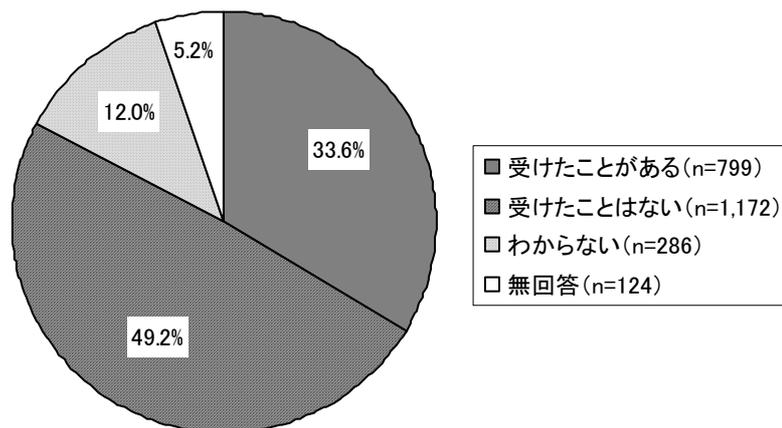
- ・ B 型肝炎の予防接種があるのを今年知って受けたのですが、その様な予防情報は積極的に P R してほしいです。

10 肝炎ウイルス検診の実施状況及び受診状況等

(1) 肝炎ウイルス検診受診の有無

- ・ 肝炎ウイルス検診を「受けたことがある」が 33.6%、「受けたことはない」が 49.2%であった。

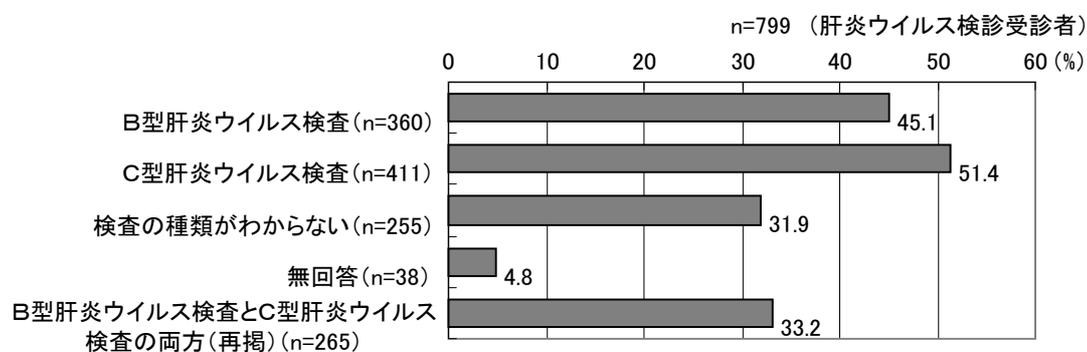
図 60 肝炎ウイルス検診受診の有無



(2) 肝炎ウイルス検査の種類

- ・ 受診した肝炎ウイルス検査の種類は、「C型肝炎ウイルス検査」が 51.4%、「B型肝炎ウイルス検査」が 45.1%であった。「C型肝炎ウイルス検査と B型肝炎ウイルス検査の両方」と回答した人は 33.2%であった。
- ・ 受診はしたが、「検査の種類がわからない」が 31.9%であった。

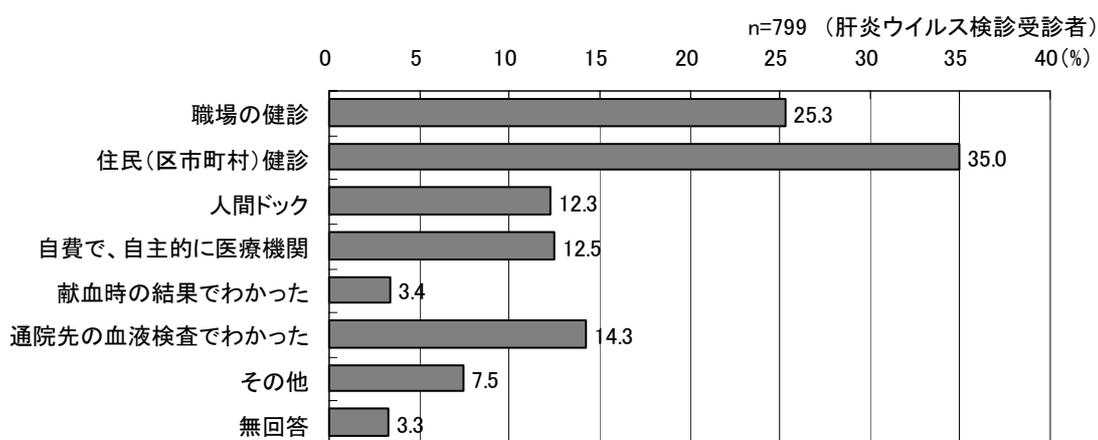
図 61 肝炎ウイルス検査の種類（複数回答）



(3) 肝炎ウイルス検診の受診機会

- 肝炎ウイルス検診の受診機会は、「住民（区市町村）健診」が35.0%と最も多く、次いで「職場の健診」（25.3%）、「通院先の血液検査」（14.3%）であった。
- 「その他」の機会としては、「手術前検査」、「内視鏡検査の事前検査」、「急性肝炎で入院した際」、「輸血時」などであった。

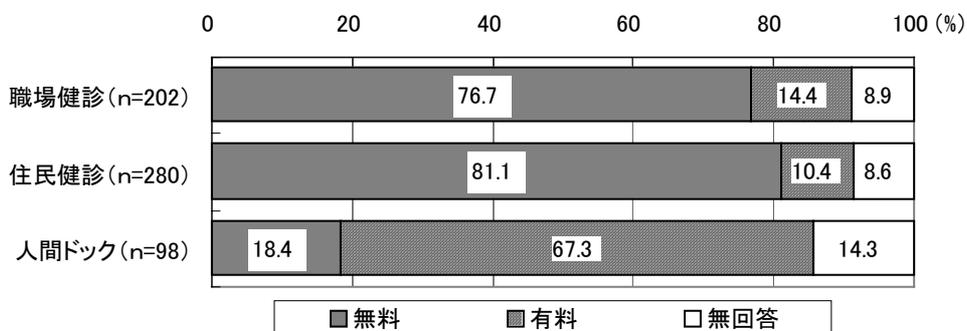
図 62 肝炎ウイルス検診の受診機会（複数回答）



(4) 肝炎ウイルス検査の費用

- 肝炎ウイルス検査の検査費用は、職場健診・住民健診では「無料」が8割、有料が1割であった。

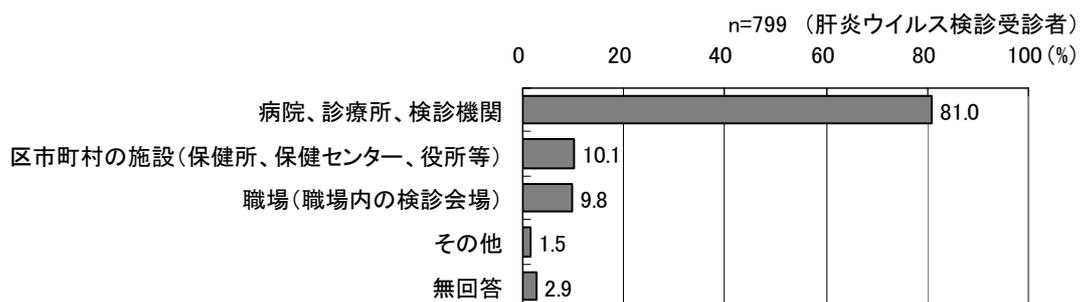
図 63 肝炎ウイルス検査の費用



(5) 肝炎ウイルス検査の場所

- 肝炎ウイルス検査の場所は、「病院、診療所、検診機関」が 81.0%と最も多く、次いで「区市町村の施設（保健所、保健センター、役所等）」（10.1%）、「職場（職場内の検診会場）」（9.8%）であった。

図 64 肝炎ウイルス検査の場所（複数回答）



第2章 職域を対象とした調査

第2章 職域調査

第1 調査方法

1 調査対象

都内の事業所及び健康保険組合を調査対象とした。

事業所については、都内の事業所を対象に、日本標準産業分類に従い、産業分類7区分（表24）、事業所規模3区分（表25）に分類し、計2,625事業所を無作為抽出した。抽出にあたっては、都内の業種別事業所割合を考慮し、抽出した。

健康保険組合については、都内に本部を置く健康保険組合を対象に、100団体を無作為抽出した。

表24 産業分類

分類番号	業種
1	農林、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
2	建設業、運輸業、郵便業
3	製造業
4	電気・ガス・熱供給・水道業
5	情報通信業、金融業、保険業
6	不動産業、物品賃貸業
7	サービス業、その他（1～6に属さないもの）

表25 事業所規模

分類番号	従業員規模
1	5人～49人
2	50人～499人
3	500人～

2 調査期間

平成20年8月19日から同年9月1日まで

3 調査方法

調査票の郵送配布・郵送回収により実施した。

4 回答状況

事業所の 994 ケ所から有効回答を得た。有効回答率は 37.9%であった。

健康保険組合の 71 組合から有効回答を得た。有効回答率は 71.0%であった。

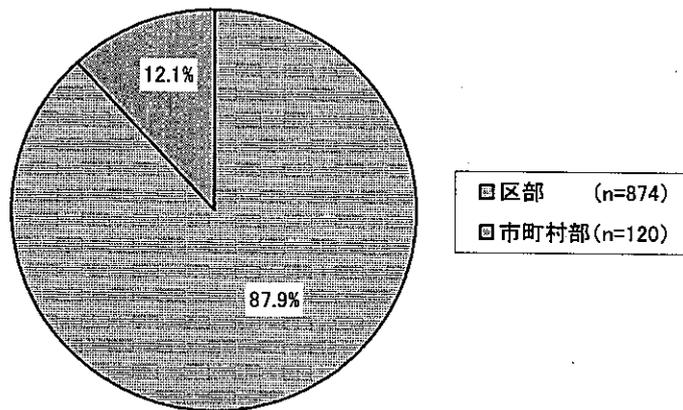
第2 調査結果

1 事業所の属性（問1）

(1)所在地

- ・ 事業所の所在地は、「区部」874ヶ所（87.9%）、「市町村部」120ヶ所（12.1%）であった。

図 65 事業所所在地

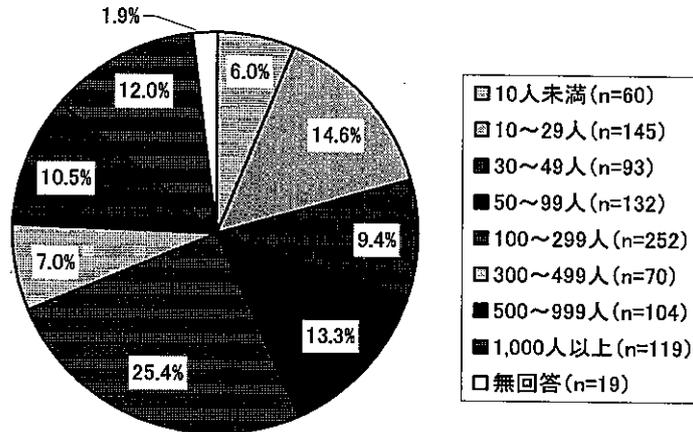


(2) 事業所の規模と正社員数

① 事業所規模

・ 事業所規模は、従業員数「100～299人」が25.4%と最も多く、次いで「10～29人」(14.6%)、「50～99人」(13.3%)であった。

図 66 事業所規模 (従業員数)



② 正社員数

・ 正社員数の平均は387人であった。

表 26 正社員数

(n=845: 無回答149を除く。)[人]

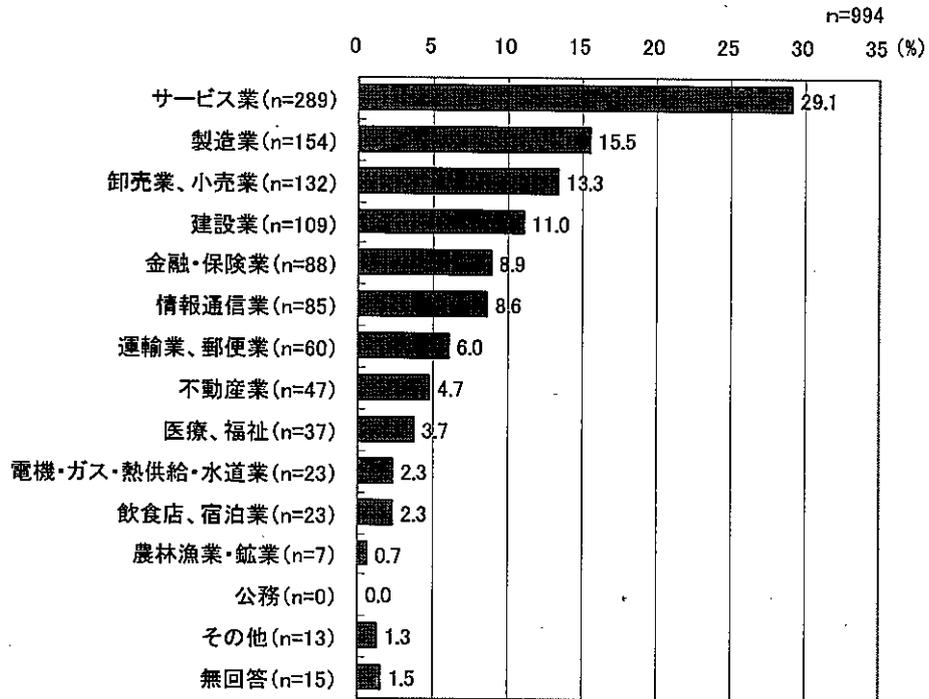
平均	最小	最大
387	0	12,659

注) 正社員数0の事業所は、契約社員及びアルバイトのみの事業所であった。

(3) 業種

・ 事業所の主たる業種は、「サービス業」が 29.1%と最も多く、次いで「製造業」(15.5%)、「卸売業、小売業」(13.3%)であった。

図 67 事業所の主たる業種 (複数回答)

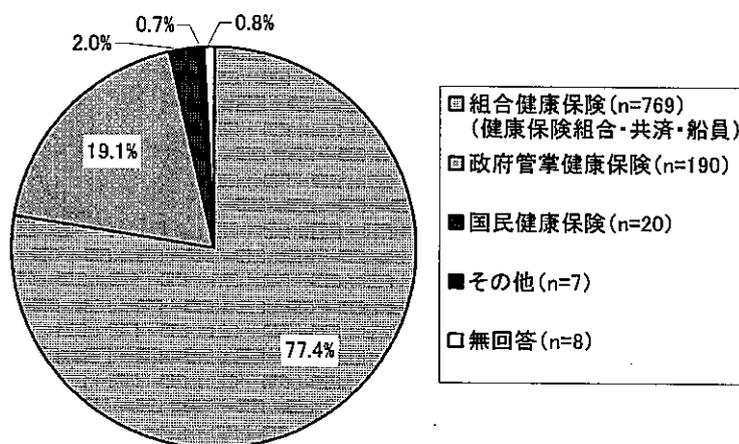


注) 設問で事業所が回答した業種の分類であり、P.75「1 調査対象」での産業分類とは異なる。

(4) 医療保険の種類

- ・ 事業所が加入している医療保険の種類は、「組合健康保険（健康保険組合・共済・船員）」が77.4%と最も多く、次いで「政府管掌健康保険」（19.1%）、「国民健康保険」（2.0%）であった。

図 68 加入している医療保険の種類

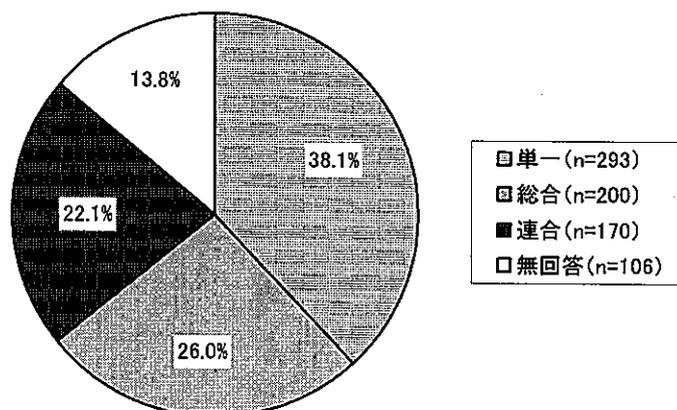


注) 「政府管掌健康保険」は、平成20年10月より「全国健康保険協会管掌健康保険」に移管

(5) 組合健康保険の設立形態

- ・ 組合健康保険（健康保険組合・共済・船員）の設立形態は、「単一」が38.1%と最も多く、次いで「総合」（26.0%）、「連合」（22.1%）であった。

図 69 組合健康保険（健康保険組合・共済・船員）の設立形態



注) 「単一」は事業主が設立、「総合」は同種・同業の事業主が共同して設立、「連合」は子会社等を含めて事業主が設立する健康保険組合

(6) 保健事業の専門スタッフ

- ・ 保健事業の専門スタッフの配置については、「医師」の平均は 2.3 人、「保健師」の平均は 0.6 人、「看護師」の平均は 1.0 人、「管理栄養士・栄養士」の平均は 0.2 人であった。

表 27 保健事業の専門スタッフ数

(n=422 : 無回答572を除く)

	平均 (人)	最小 (人)	最大 (人)	1名以上配置 している事 業所の数 (%)
医師	2.3	0	43	369 (87.4)
保健師	0.6	0	16	121 (28.7)
看護師	1.0	0	11	147 (34.8)
管理栄養士・栄養士	0.2	0	2	52 (12.3)
その他	0.9	0	14	118 (28.0)

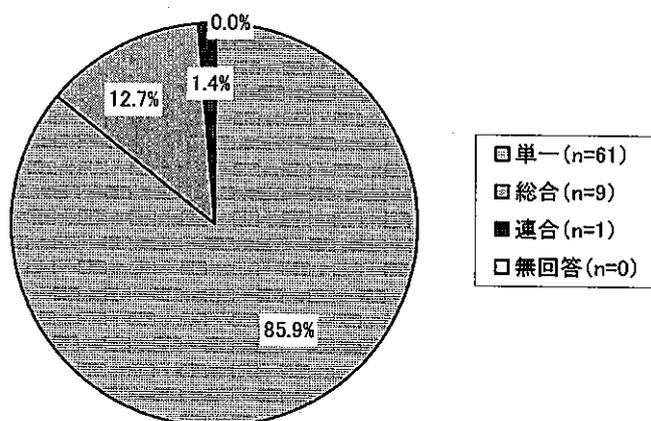
注) 常勤・非常勤を問わず、また、本社等も含めた企業全体としての保健事業専門スタッフ数を回答した事業所を含む。

2 健康保険組合の属性（問1）

(1) 設立形態

- ・ 設立形態は、「単一」が85.9%と最も多く、次いで「総合」（12.7%）、「連合」（1.4%）であった。

図 70 設立形態



注) 「単一」は事業主が設立、「総合」は同種・同業の事業主が共同して設立、「連合」は子会社等を含めて事業主が設立する健康保険組合

(2) 加入事業所数

- ・ 加入事業所数の平均は95ヶ所であった。

表 28 加入事業所数

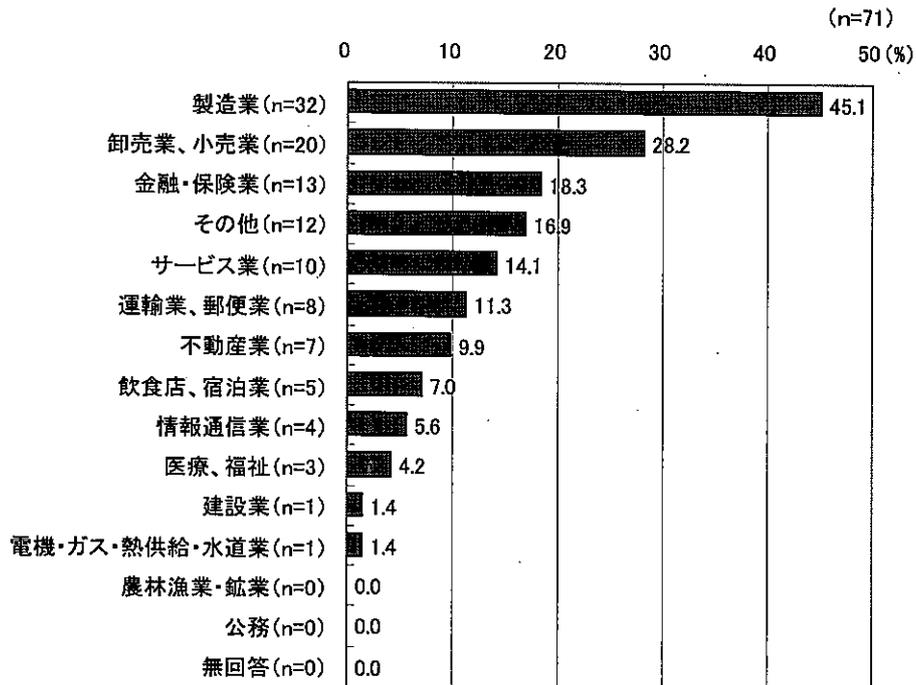
(n=68)

平均	最小	最大
95	2	1,240

(3) 加入事業所の主たる業種

・ 事業所の主たる業種は、「製造業」が 45.1%と最も多く、次いで「卸売業、小売業」(28.2%)、「金融・保険業」(18.3%)であった。

図 71 加入事業所の主たる業種 (複数回答)



(4)被保険者について

① 被保険者数

- ・ 被保険者数の平均は 19,990 人であった。
- ・ 男女別に見ると、「男性」の平均は 15,188 人、「女性」の平均は 5,070 人であった。

表 29 被保険者数

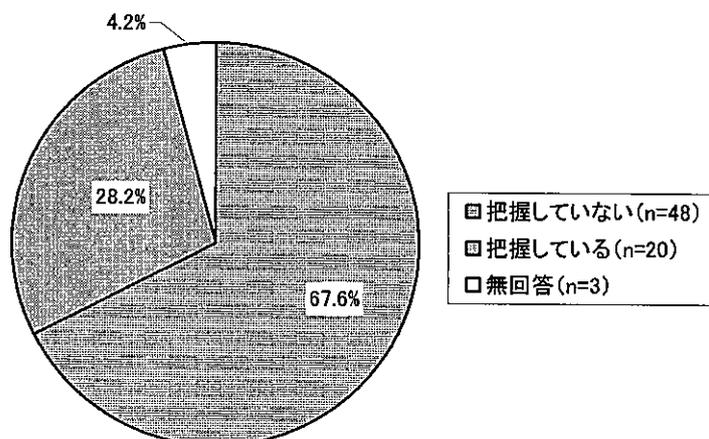
(n=71) [人]

	平均	最小	最大
男 性	15,188	143	191,284
女 性	5,070	48	46,301
合計	19,990	202	221,034

② 被保険者の都内在住者数の把握の有無

- ・ 被保険者の都内在住者数の把握の有無については、「把握している」が 28.2%、「把握していない」が 67.6%であった。

図 72 被保険者の都内在住者数の把握の有無



③ 被扶養者数

- 被扶養者数の平均は 20,297 人であった。

表 30 被扶養者数

(n=70 : 無回答1を除く) [人]

平均	最小	最大
20,297	150	256,405

④ 任意継続の被保険者数

- 任意継続の被保険者数の平均は 838 人であった。

表 31 任意継続被保険者数

(n=71) [人]

平均	最小	最大
838	2	35,434

正社員及び被保険者

3 正社員又は被保険者のがん検診の実施状況等 (問 2-1)

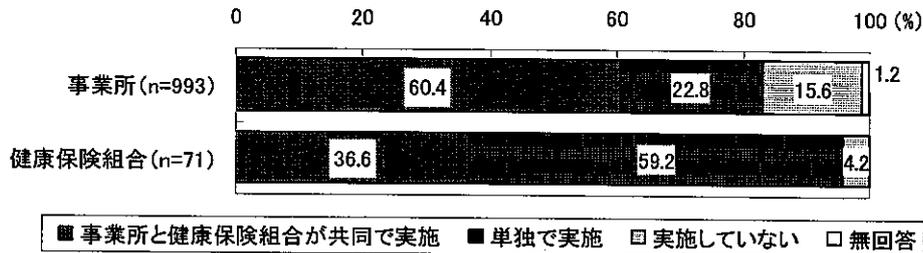
事業所に対しては正社員のがん検診の実施状況を、健康保険組合に対しては被保険者のがん検診の実施状況を調査した。

(1) 胃がん検診

① 胃がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が 60.4%と最も多く、次いで「単独で実施」(22.8%)、「実施していない」(15.6%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が 59.2%と最も多く、次いで「事業所と健康保険組合が共同で実施」(36.6%)、「実施していない」(4.2%)であった。

図 73 胃がん検診の実施状況

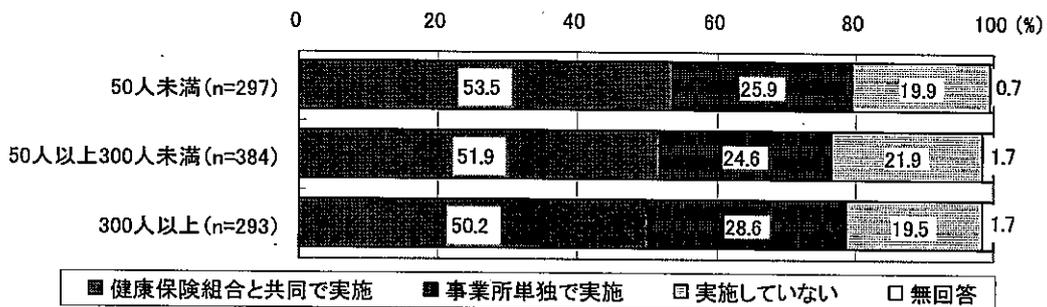


② 胃がん検診の事業所規模別実施率

〔胃がん検診の実施状況を従業員数の規模別に集計〕

- ・ 全ての事業所規模において、「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「事業所単独で実施」であった。

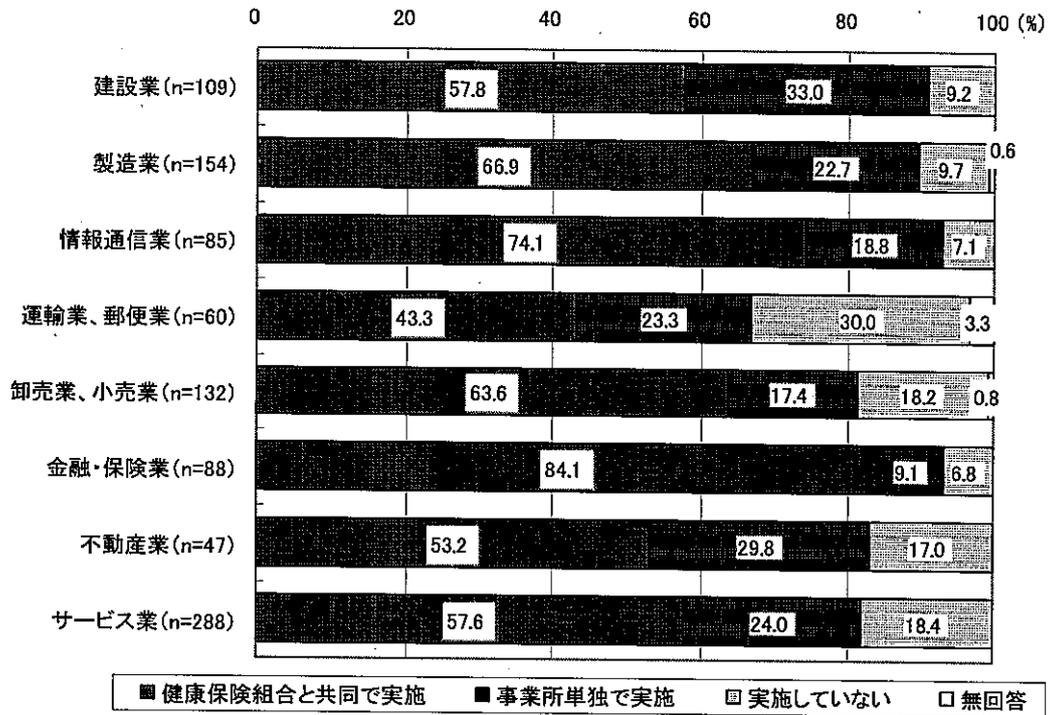
図 74 胃がん検診：事業所規模別実施率



③ 胃がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

- ・ 8業種において、「健康保険組合と共同で実施」が最も多かった。

図 75 胃がん検診：事業所の主たる業種別実施率（抜粋）



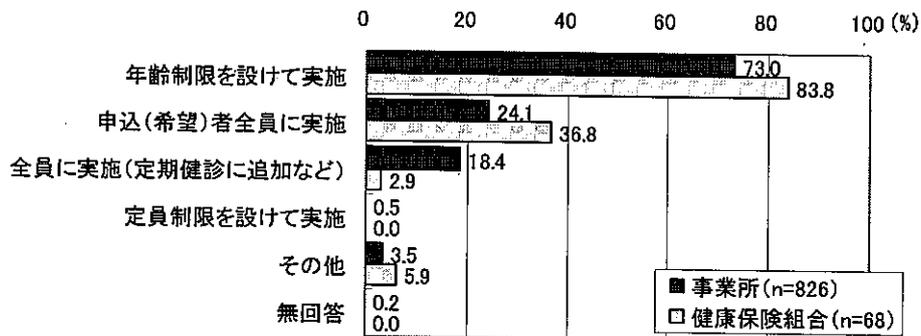
注) 回答数が少ない業種については除外した。

正社員及び被保険者

④ 胃がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「年齢制限を設けて実施」が73.0%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(24.1%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が83.8%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(36.8%)であった。

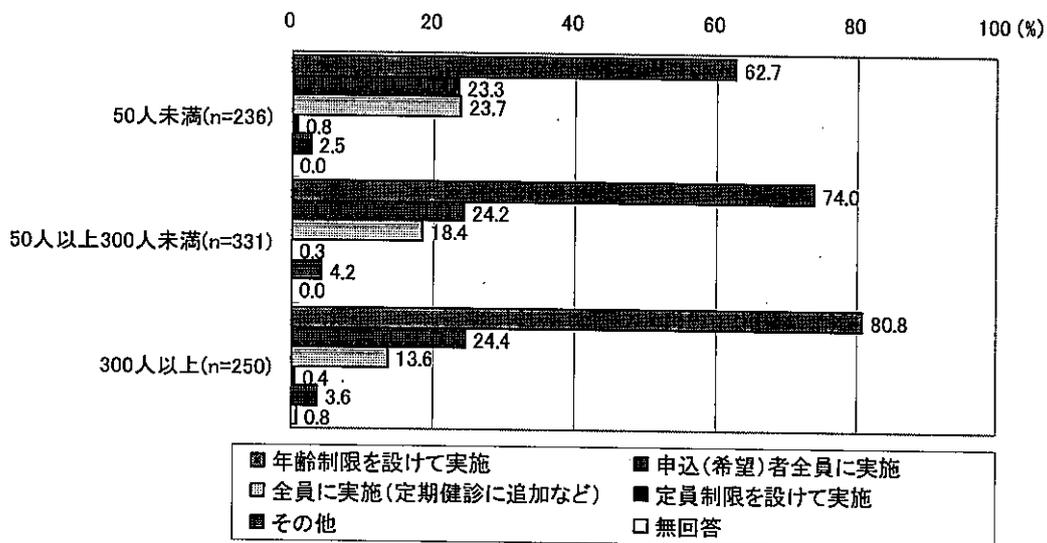
図 76 胃がん検診の対象者(複数回答)



⑤ 胃がん検診の実施方法 [事業所規模別]

- ・ 全ての事業所規模において、「年齢制限を設けて実施」が最も多かった。

図 77 胃がん検診：事業所規模別実施方法(複数回答)

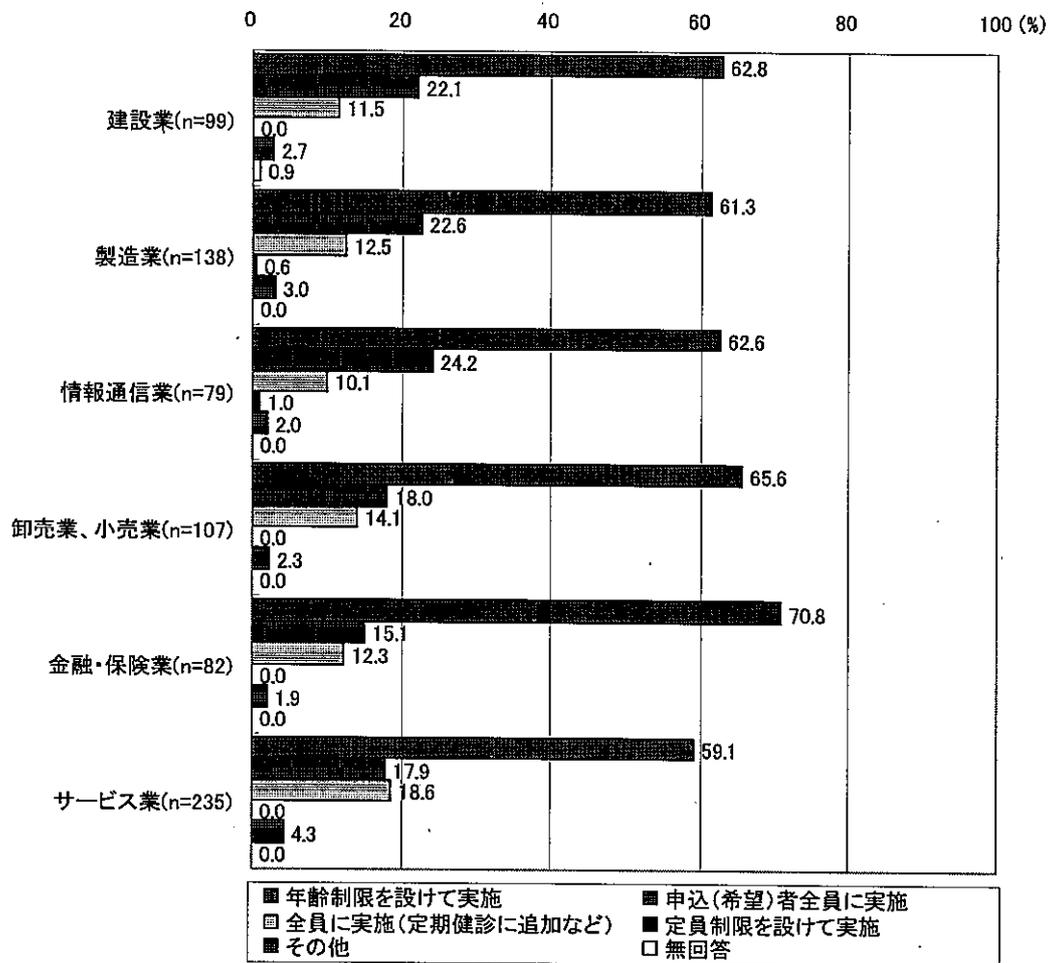


⑥ 胃がん検診の実施方法〔業種別〕（抜粋）

〔胃がん検診の実施方法を業種別に集計〕

- ・ 6業種全てにおいて、「年齢制限を設けて実施」が最も多く、次いで「サービス業」を除く5業種で「申込（希望）者全員に実施」であった。

図 78 胃がん検診：事業所の主たる業種別実施方法（抜粋）



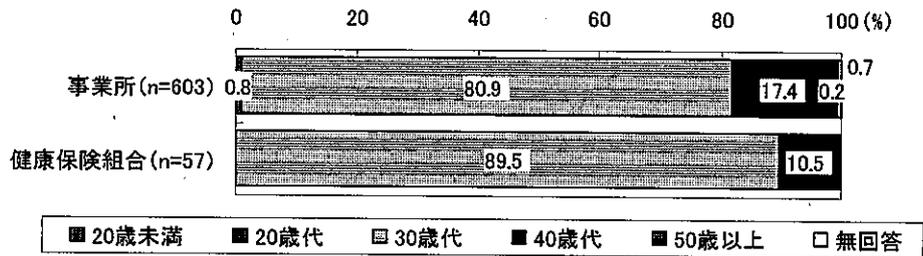
注) 回答数が少ない業種については除外した。

正社員及び被保険者

⑦ 胃がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が80.9%と最も多く、次いで「40歳代」(17.4%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が89.5%と最も多く、次いで「40歳代」(10.5%)であった。

図 79 胃がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



⑧ 胃がん検診の受診対象者 [事業所規模別]

職域で実施されているがん検診が、国が推奨する検診（国指針）の対象年齢（40歳以上）と比較し、どのような違いがあるかを確認するため、便宜的に調査票の回答内容を下記のとおり区分し、分析を行った。

事業所における受診対象者の基準を以下の3つに区分し、該当する事業所数を算出した。

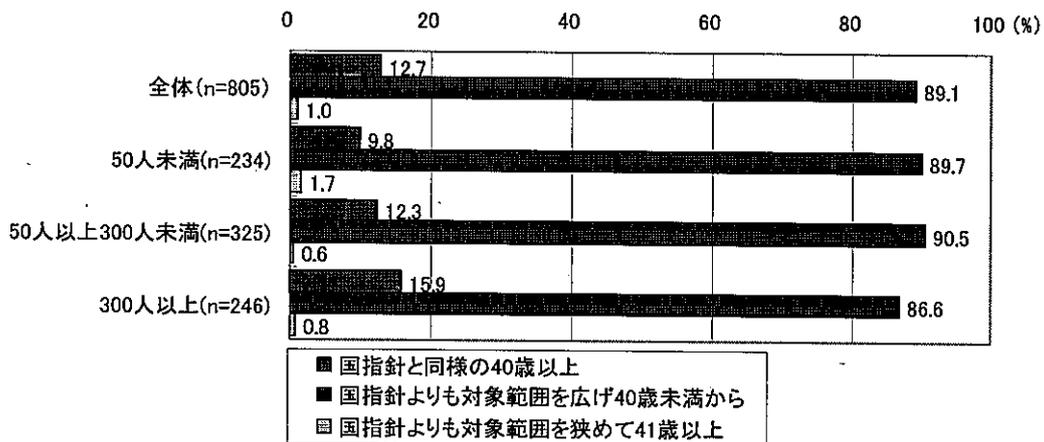
- ① 国指針と同様の40歳以上
対象年齢が40歳以上
- ② 国指針よりも対象範囲を広げ40歳未満から
対象者を全員または申込(希望)者全員としている事業所と、受診対象年齢が40歳未満の事業所の和
- ③ 国指針よりも対象範囲を狭めて40歳以上
対象年齢を41歳以上

※ 職域におけるがん検診は、医療保険各法の保険者及び事業者に実施が義務づけられているため、国指針と異なるからといって一概に適切でないとは判断できない。

[胃がん検診の受診対象者を従業員数の規模別に集計]

- ・ 全ての事業所規模において、「国指針よりも対象範囲を広げて実施」が最も多く、次いで「国指針と同等の条件で実施」であった。

図 80 胃がん検診：事業所規模別受診対象の範囲（複数回答）

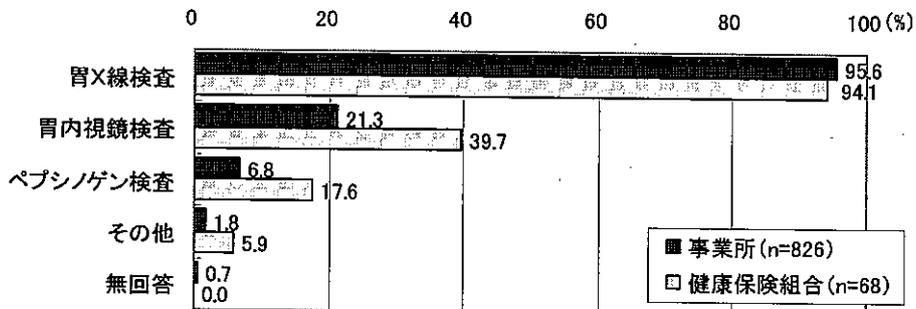


正社員及び被保険者

⑨ 胃がん検診の検査方法

- ・ 事業所では「胃X線検査」が95.6%と最も多く、次いで「胃内視鏡検査」(21.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「胃X線検査」が94.1%と最も多く、次いで「胃内視鏡検査」(39.7%)であった。

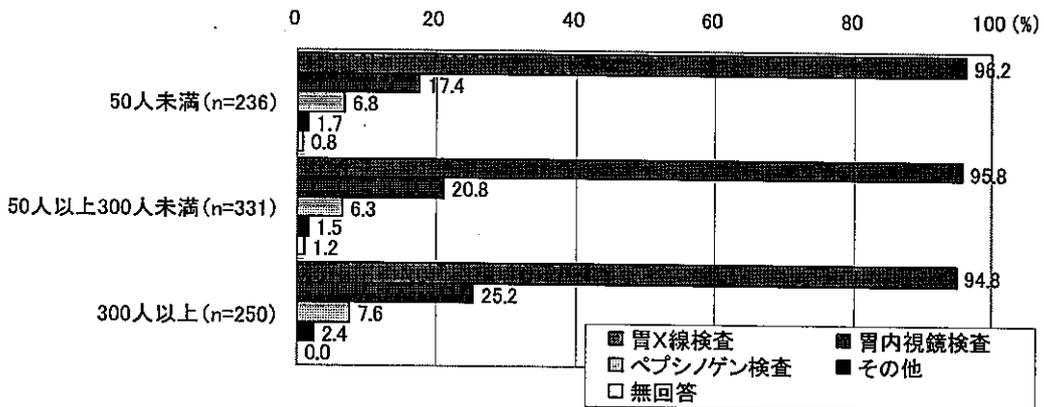
図 81 胃がん検診の検査方法 (複数回答)



⑩ 胃がん検診の事業所規模別検査方法

- ・ 全ての事業所規模で「胃X線検査」が最も多く、9割以上であった。
- ・ 胃内視鏡検査では「300人以上」が25.2%と最も多く、次いで「50人以上300人未満」(20.8%)であった。

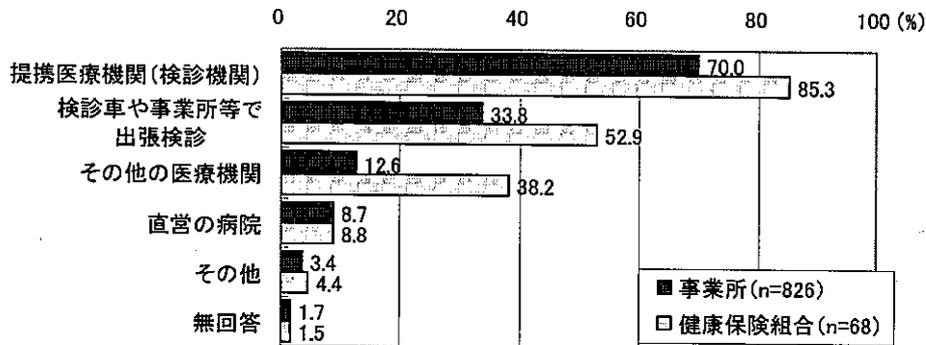
図 82 胃がん検診：事業所規模別の検査方法 (複数回答)



⑪ 胃がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が 70.0%と最も多く、次いで「検診車や事業所等で出張検診」（33.8%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が 85.3%と最も多く、次いで「検診車や事業所等で出張検診」（52.9%）であった。

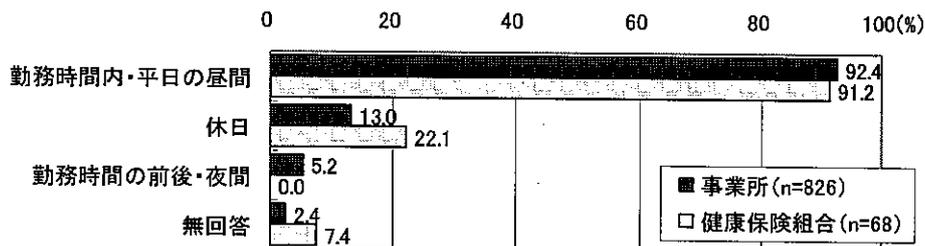
図 83 胃がん検診の実施場所（複数回答）



⑫ 胃がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「勤務時間内」が 92.4%と最も多く、次いで「休日」（13.0%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 91.2%と最も多く、次いで「休日」（22.1%）であった。

図 84 胃がん検診の時間帯（複数回答）



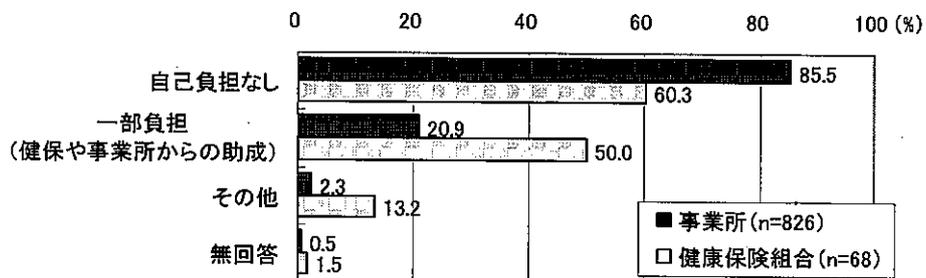
注) 事業所票では「勤務時間内」、「勤務時間の前後」、「休日」、健康保険組合票では「平日の昼間」、「夜間」、「休日」の選択肢である。

正社員及び被保険者

⑬ 胃がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所は「自己負担なし」が 85.5%と最も多く、次いで「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」（20.9%）であった。
- ・ 健康保険組合は「自己負担なし」が 60.3%と最も多く、次いで「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」（50.0%）であった。

図 85 胃がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

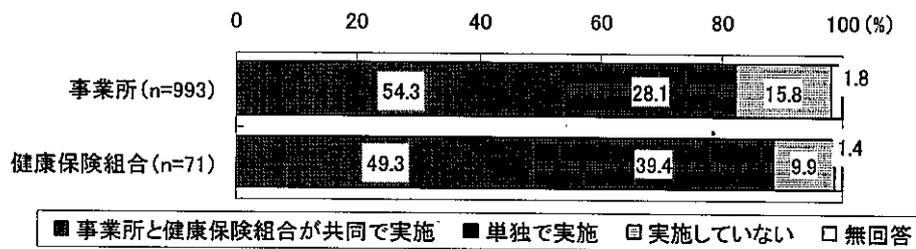


(2) 肺がん検診

① 肺がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が54.3%と最も多く、次いで「単独で実施」(28.1%)、「実施していない」(15.8%)であった。
- ・ 健康保険組合では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が49.3%と最も多く、次いで「単独で実施」(39.4%)、「実施していない」(9.9%)であった。

図 86 肺がん検診の実施状況

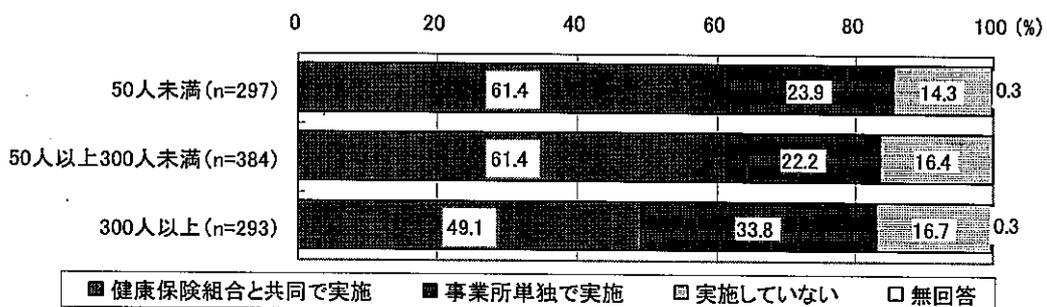


② 肺がん検診の事業所規模別実施率

[肺がん検診の実施状況を従業員数の規模別に集計]

- ・ 全ての事業所規模において、「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「事業所単独で実施」であった。

図 87 肺がん検診：事業所規模別実施率

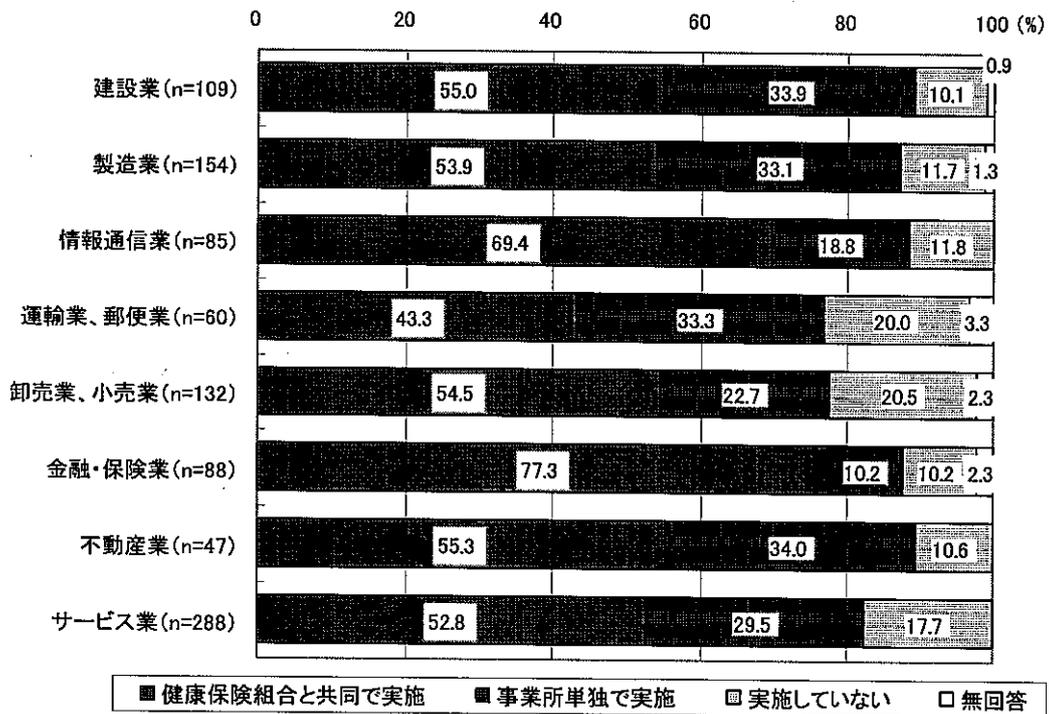


正社員及び被保険者

③ 肺がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

- ・ 8業種全てにおいて、「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「事業所単独で実施」であった。
- ・ 特に「金融・保険業」は「健康保険組合と共同で実施」の割合が高く、77.3%であった。

図 88 肺がん検診：事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

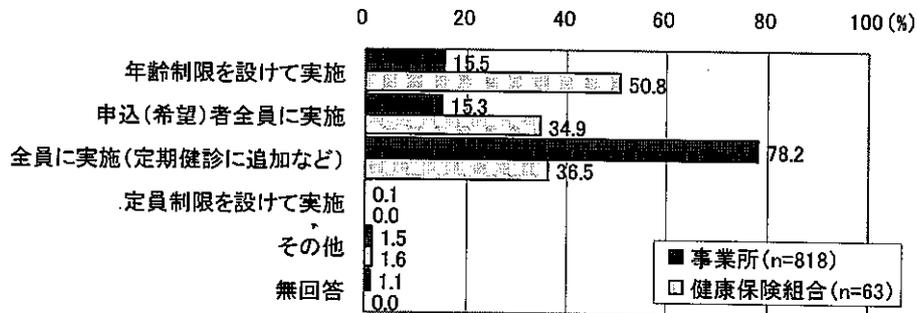


注) 回答数が少ない業種については除外した。

④ 肺がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「全員に実施（定期健康診断に追加など）」が78.2%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」（15.5%）であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が50.8%と最も多く、次いで「全員に実施（定期健康診断に追加など）」（36.5%）であった。

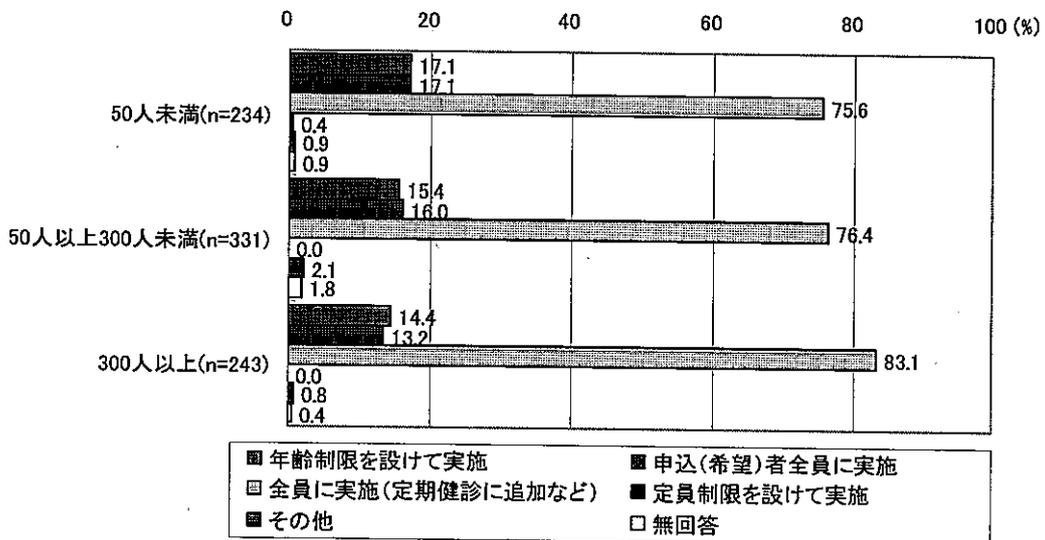
図 89 肺がん検診の実施方法（複数回答）



⑤ 肺がん検診の実施方法【事業所規模別】

- ・ 全ての事業所規模において、「全員に実施（定期健康診断に追加など）」が最も多かった。

図 90 肺がん検診：事業所規模別実施方法（複数回答）



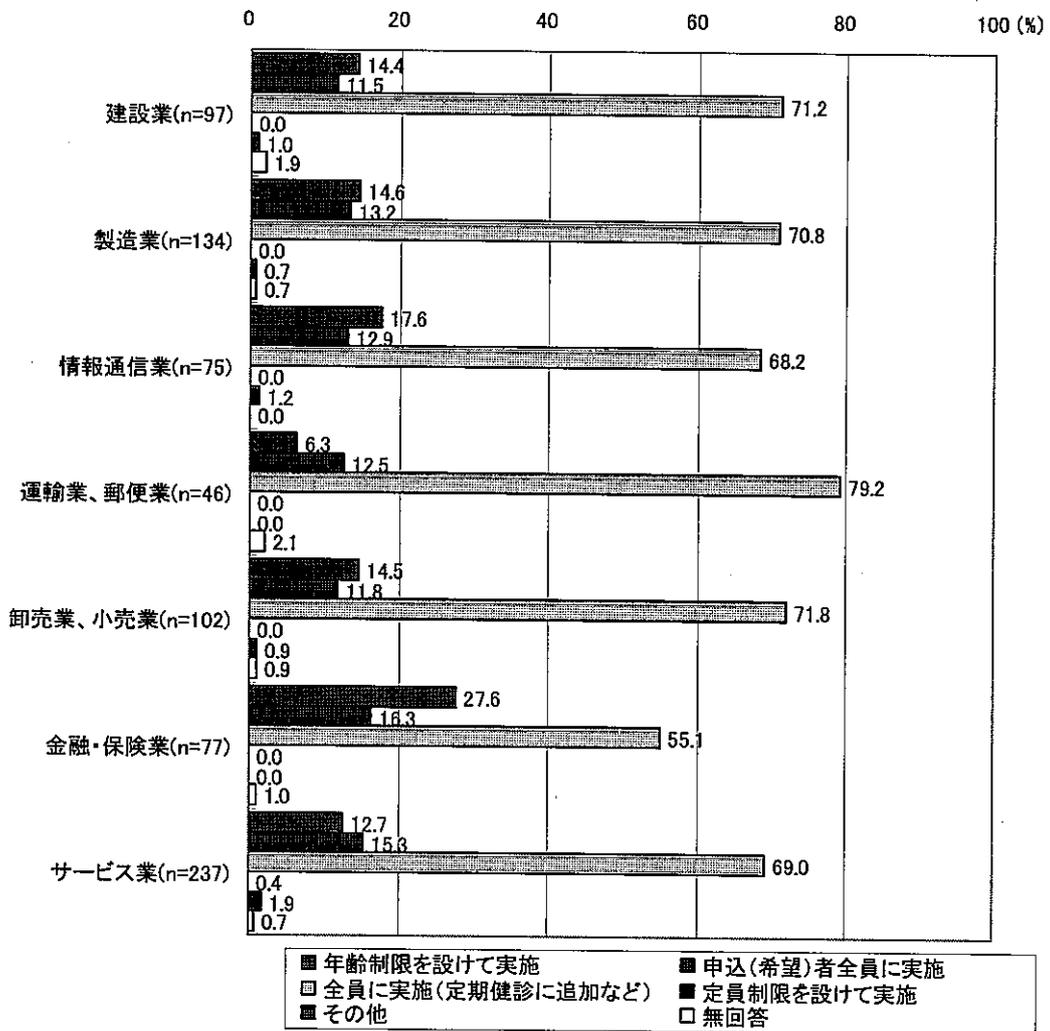
正社員及び被保険者

⑥ 肺がん検診の実施方法〔業種別〕（抜粋）

〔肺がん検診の実施方法を業種別に集計〕

・ 7業種全てにおいて、「全員に実施（定期健診に追加など）」が最も多く、次いで「運輸業、郵便業」と「サービス業」を除く5業種で「年齢制限を設けて実施」であった。

図 91 肺がん検診：事業所の主たる業種別実施方法（抜粋）

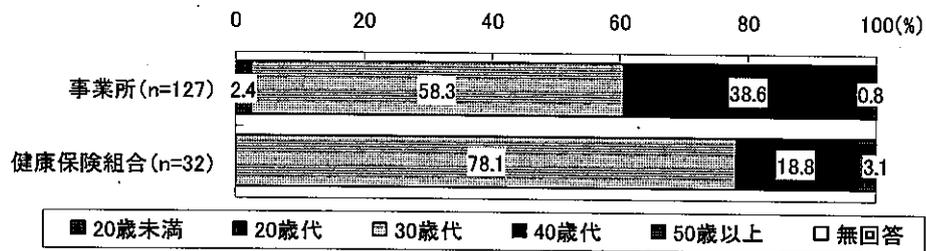


注) 回答数が少ない業種については除外した。

⑦ 肺がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が58.3%と最も多く、次いで「40歳代」(38.6%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が78.1%と最も多く、次いで「40歳代」(18.8%)であった。

図 92 肺がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



正社員及び被保険者

⑧ 肺がん検診の受診対象者【事業所規模別】

職域で実施されているがん検診が、国が推奨する検診対象年齢（40歳以上）と比較し、どのような違いがあるかを確認するため、便宜的に調査票の回答内容を下記のとおり区分し、分析を行った。

事業所における受診対象者の基準を以下の3つに区分し、該当する事業所数を算出した。

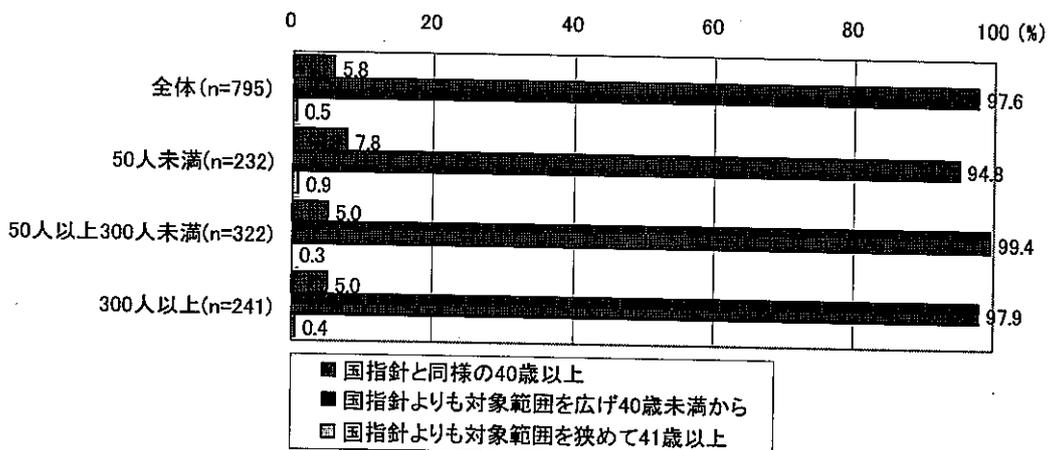
- ① 国指針と同様の40歳以上
対象年齢が40歳以上
- ② 国指針よりも対象範囲を広げ40歳未満から
対象者を全員または申込(希望)者全員としている事業所と、受診対象年齢が40歳未満の事業所の和
- ③ 国指針よりも対象範囲を狭めて40歳以上
対象年齢を41歳以上

※ 職域におけるがん検診は医療保険各法の保険者及び事業者に実施が義務付けられているため、国指針と異なるからといって一概に適切でないとは判断できない。

【肺がん検診の受診対象者を従業員数の規模別に集計】

・ 全ての事業所規模において、「国指針よりも対象範囲を広げて実施」が最も多く、次いで「国指針と同等の条件で実施」であった。

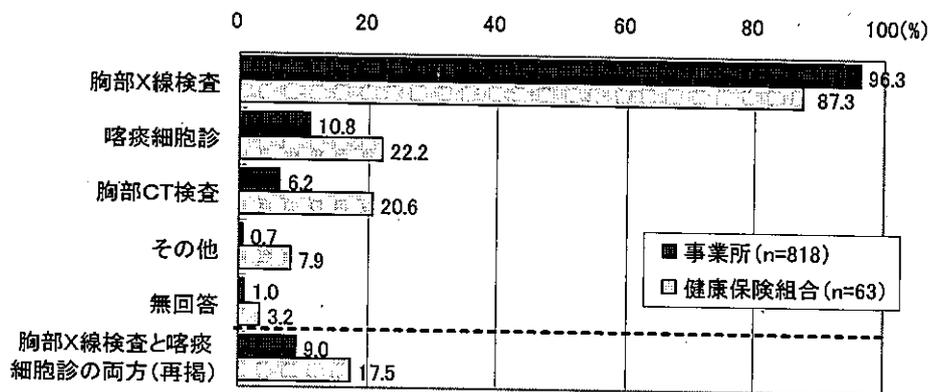
図 93 肺がん検診：事業所規模別受診対象の範囲（複数回答）



⑨ 肺がん検診の検査方法

- ・ 「胸部X線検査と喀痰細胞診の両方」を実施する事業所は9.0%、健康保険組合は17.5%であった。
- ・ 事業所では「胸部X線検査」が96.3%と最も多く、次いで「喀痰細胞診」(10.8%)であった。
- ・ 健康保険組合では「胸部X線検査」が87.3%と最も多く、次いで「喀痰細胞診」(22.2%)であった。

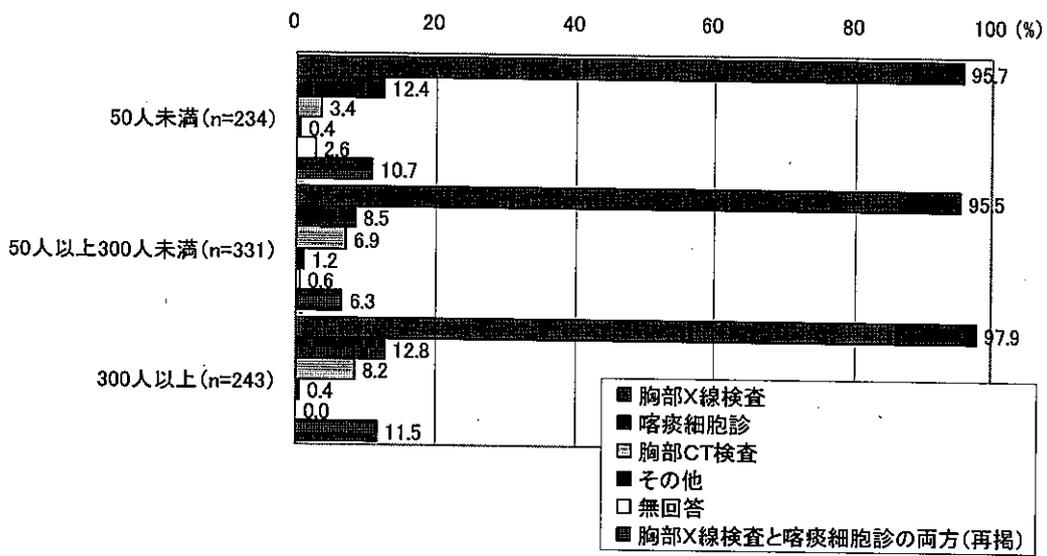
図 94 肺がん検診の検査方法 (複数回答)



⑩ 肺がん検診の事業所規模別検査方法

- ・ 「胸部X線検査と喀痰細胞診の両方」では、「300人以上」が11.5%と最も多く、次いで「50人未満」(10.7%)であった。
- ・ 全ての事業所規模で、「胸部X線検査」が最も多く、9割以上であった。
- ・ 「喀痰細胞診」では、「300人以上」が12.8%と最も多く、次いで「50人未満」(12.4%)であった。

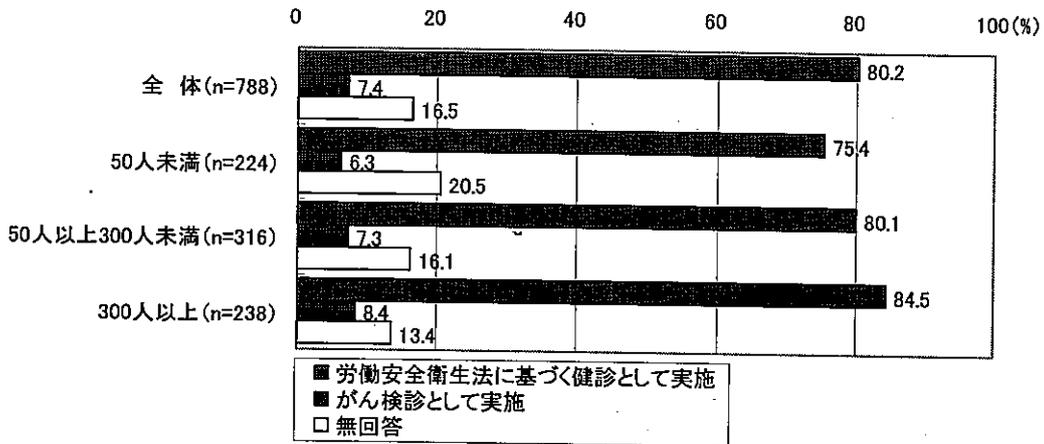
図 95 肺がん検診：事業所規模別の検査方法（複数回答）



⑪ 肺がん検診の事業所規模別・胸部X線検査の実施の位置づけ

- ・ 全ての事業所規模において、「労働安全衛生法に基づく健診として実施」が7割～8割と多く、「がん検診として実施」が1割～2割と少なかった。

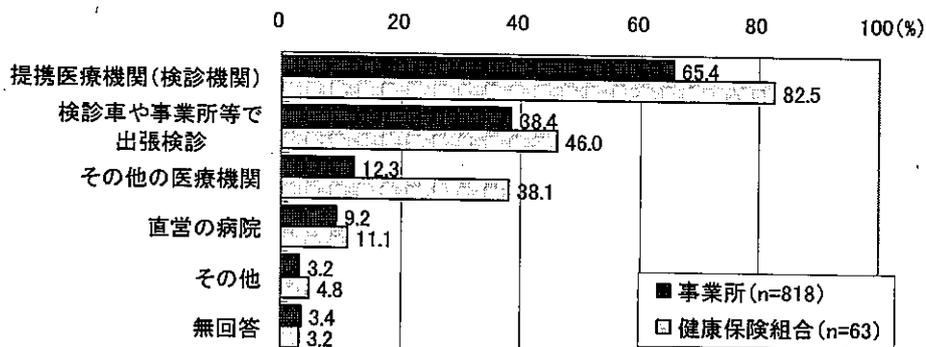
図 96 肺がん検診：事業所規模別・胸部X線検査の実施の位置づけ（複数回答）



⑫ 肺がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が65.4%と最も多く、次いで「検診車や事業所等出張検診」(38.4%)であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が82.5%と最も多く、次いで「検診車や事業所等出張検診」(46.0%)であった。

図 97 肺がん検診の実施場所（複数回答）

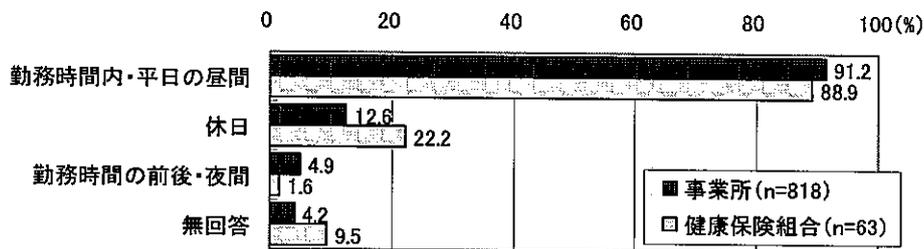


正社員及び被保険者

⑬ 肺がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「勤務時間内」が 91.2%と最も多く、次いで「休日」(12.6%)であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 88.9%と最も多く、次いで「休日」(22.2%)であった。

図 98 肺がん検診の時間帯 (複数回答)

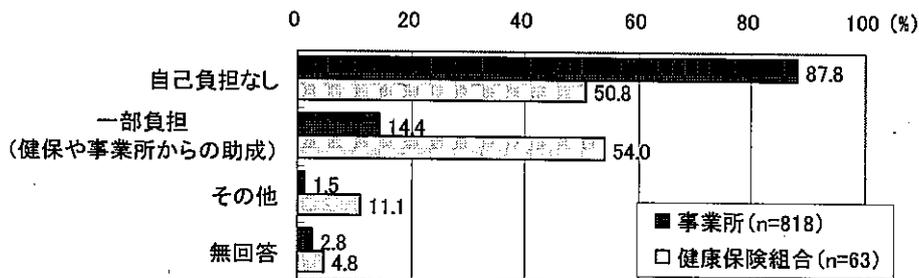


注) 事業所票では「勤務時間内」、「勤務時間の前後」、「休日」、健康保険組合票では「平日の昼間」、「夜間」、「休日」の選択肢である。

⑭ 肺がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「自己負担なし」が 87.8%と最も多く、次いで「一部負担 (健康保険組合や事業所からの助成)」(14.4%)であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担 (健康保険組合や事業所からの助成)」が 54.0%と最も多く、次いで「自己負担なし」(50.8%)であった。

図 99 肺がん検診費用の自己負担の状況 (複数回答)

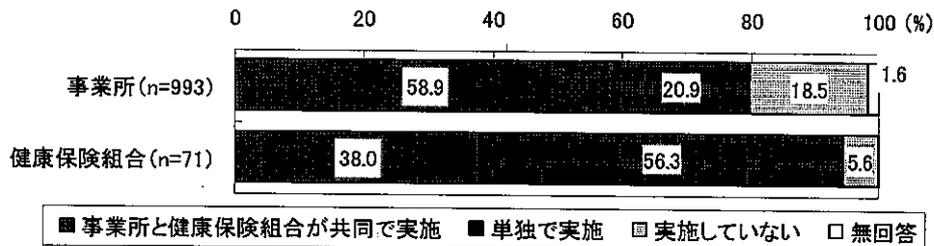


(3) 大腸がん検診

① 大腸がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が 58.9%と最も多く、次いで「単独で実施」(20.9%)、「実施していない」(18.5%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が 56.3%と最も多く、次いで「事業所と健康保険組合が共同で実施」(38.0%)、「実施していない」(5.6%)であった。

図 100 大腸がん検診の実施状況

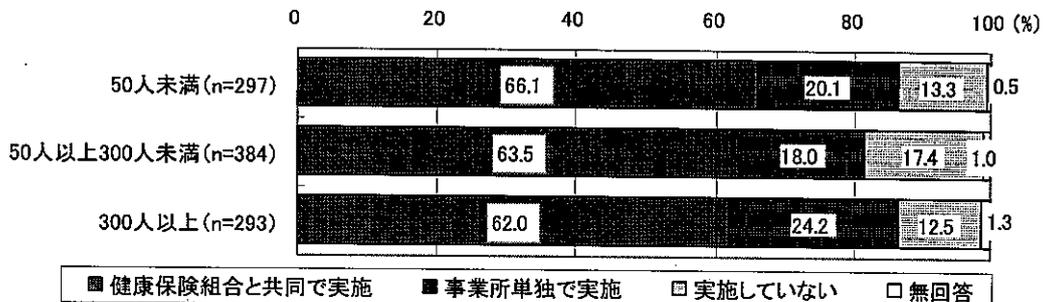


② 大腸がん検診の事業所規模別実施率

[大腸がん検診の実施状況を従業員数の規模別に集計]

- ・ 全ての事業所規模において、「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、規模による差はほとんどなかった。

図 101 大腸がん検診：事業所規模別実施率

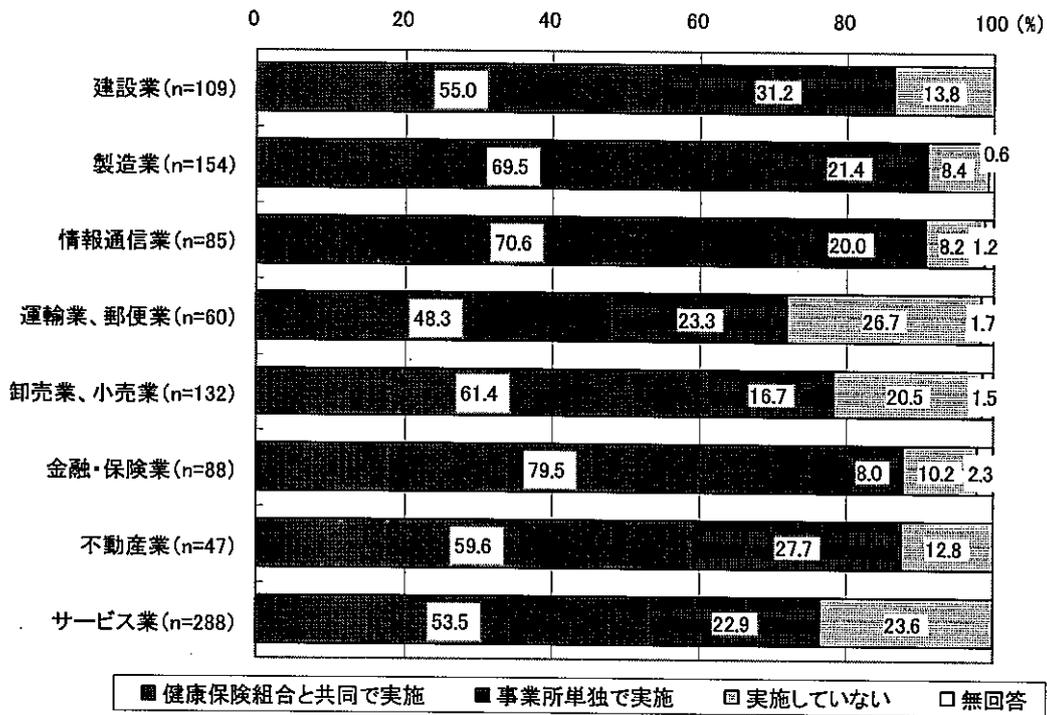


正社員及び被保険者

③ 大腸がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

- ・ 8業種全てにおいて、「健康保険組合と共同で実施」が最も多かった。
- ・ 特に「金融・保険業」と「情報通信業」では、「健康保険組合と共同で実施」の割合が高かった。（金融・保険業 79.5%、情報通信業 70.6%）

図 102 大腸がん検診：事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

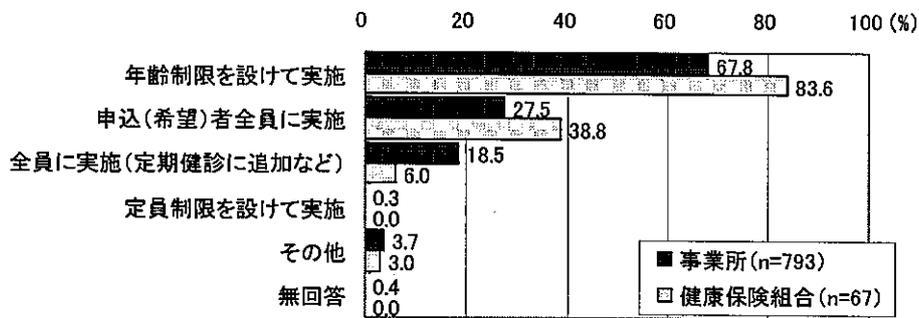


注) 回答数が少ない業種については除外した。

④ 大腸がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「年齢制限を設けて実施」が67.8%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(27.5%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が83.6%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(38.8%)であった。

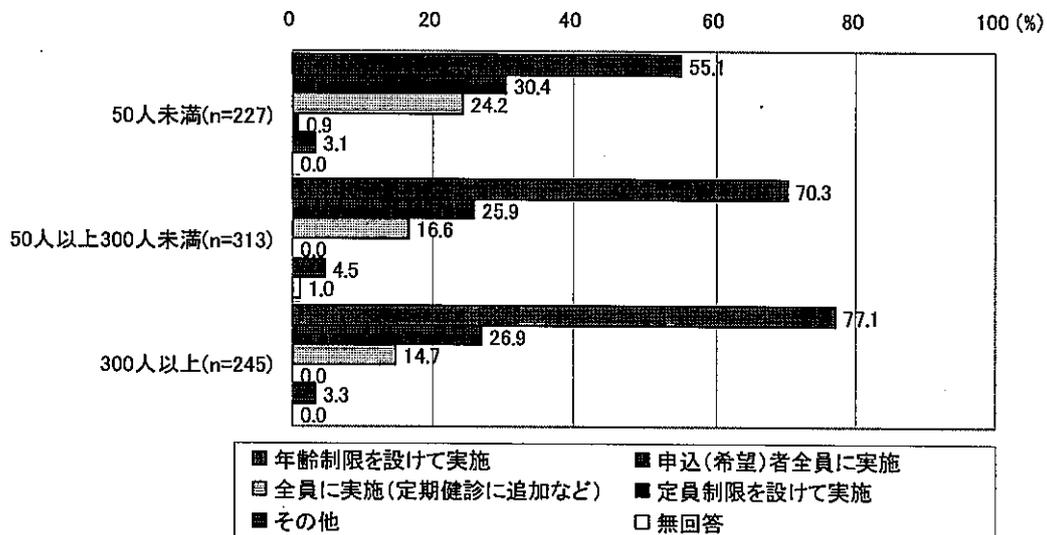
図 103 大腸がん検診の対象者(複数回答)



⑤ 大腸がん検診の実施方法 [事業所規模別]

- ・ 全ての事業所規模において、「年齢制限を設けて実施」が最も多かった。

図 104 大腸がん検診：事業所規模別受診対象者(複数回答)



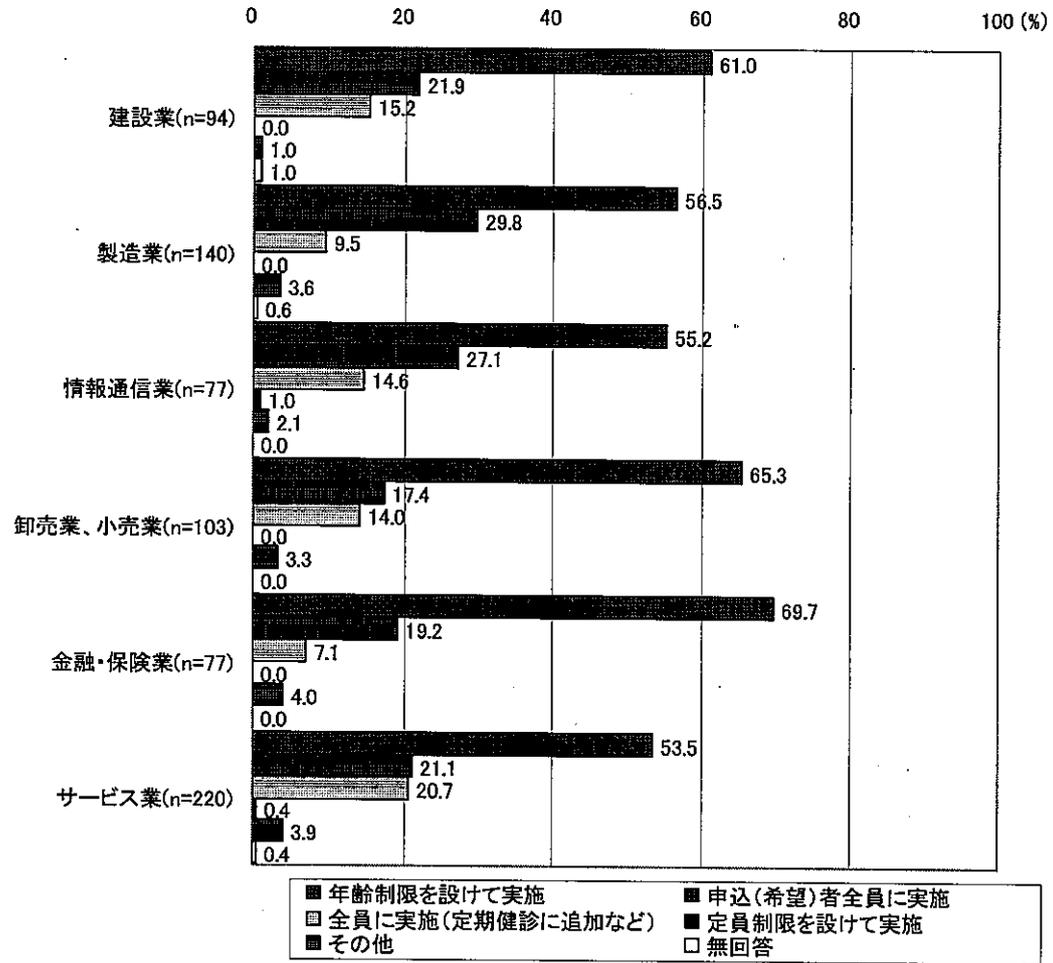
正社員及び被保険者

⑥ 大腸がん検診の対象者〔業種別〕（抜粋）

〔大腸がん検診の受診方法を業種別に集計〕

・ 6 業種全てにおいて、「年齢制限を設けて実施」が最も多く、次いで「申込（希望）者全員に実施」であった。

図 105 大腸がん検診：事業所の主たる業種別実施方法（抜粋）

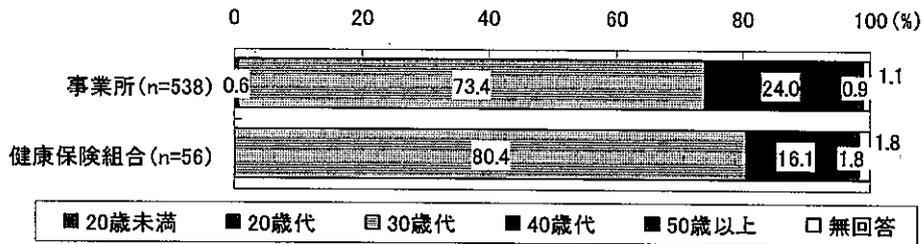


注) 回答数が少ない業種については除外した。

⑦ 大腸がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が73.4%と最も多く、次いで「40歳代」(24.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が80.4%と最も多く、次いで「40歳代」(16.1%)であった。

図 106 大腸がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



⑧ 大腸がん検診の対象年齢の比較 [事業所規模別]

職域で実施されているがん検診が、国が推奨する検診（国指針）の対象年齢（40歳以上）と比較し、どのような違いがあるかを確認するため、便宜的に調査票の回答内容を下記のとおり区分し、分析を行った。

事業所における受診対象者の基準を以下の3つに区分し、該当する事業所数を算出した。

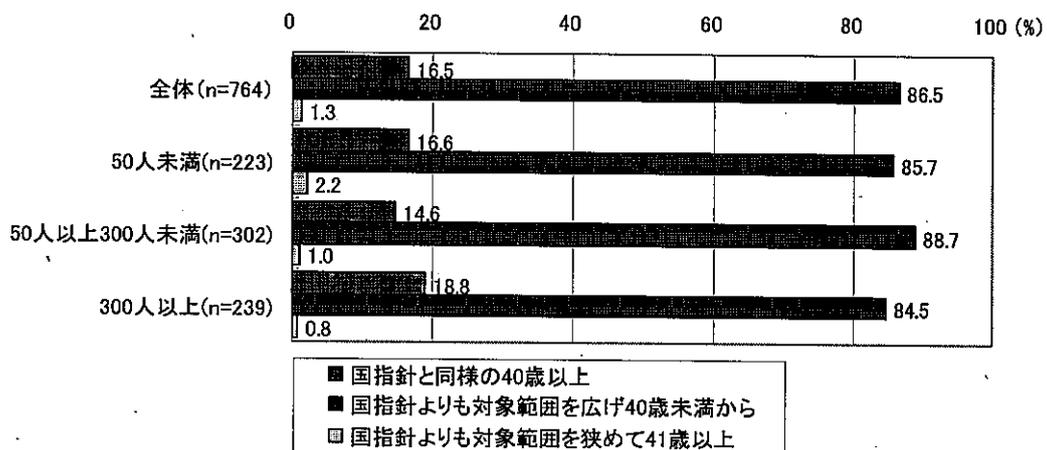
- ① 国指針と同様の40歳以上
対象年齢が40歳以上
- ② 国指針よりも対象範囲を広げ40歳未満から
対象者を全員または申込(希望)者全員としている事業所と、受診対象年齢が40歳未満の事業所の和
- ③ 国指針よりも対象範囲を狭めて40歳以上
対象年齢を41歳以上

※ 職域におけるがん検診は、医療保険各法の保険者及び事業者には実施が義務付けられているため、国指針と異なるからといって一概に適切でないとは判断できない。

[大腸がん検診の受診対象者を従業員数の規模別に集計]

・ 全ての事業所規模において、「国指針よりも対象範囲を広げて実施」が最も多く、次いで「国指針と同等の条件で実施」であった。

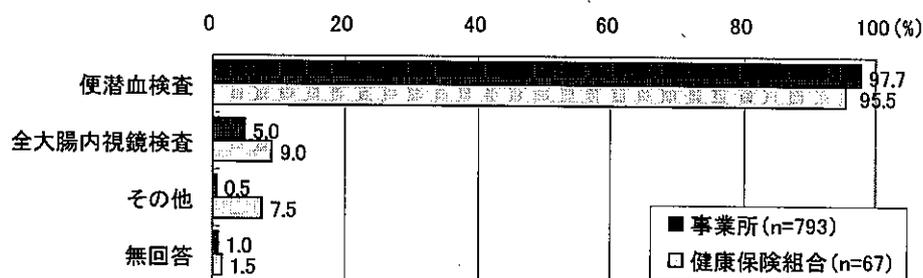
図 107 大腸がん検診：事業所規模別の対象年齢比較（複数回答）



⑨ 大腸がん検診の検査方法

- ・ 事業所では「便潜血検査」が97.7%と最も多く、次いで「全大腸内視鏡検査」(5.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「便潜血検査」が95.5%と最も多く、次いで「全大腸内視鏡検査」(9.0%)であった。

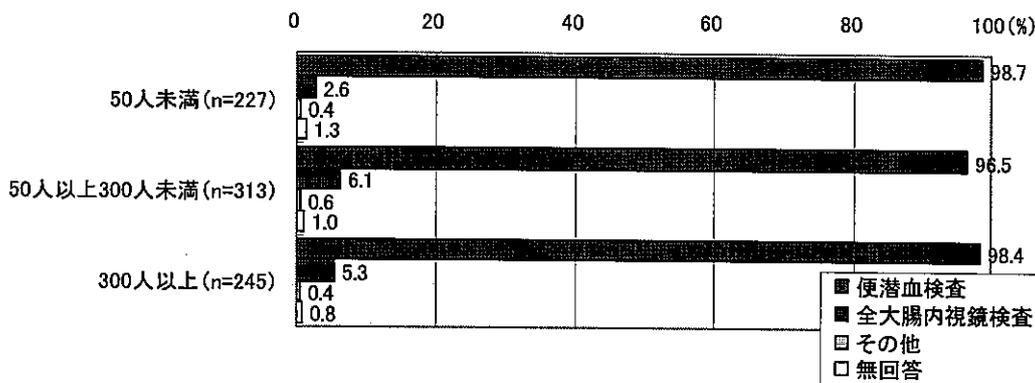
図 108 大腸がん検診の検査方法 (複数回答)



⑩ 大腸がん検診の事業所規模別検査方法

- ・ 全ての事業所規模で「便潜血検査」が最も多く、9割以上であった。

図 109 大腸がん検診：事業所規模別の検査方法 (複数回答)

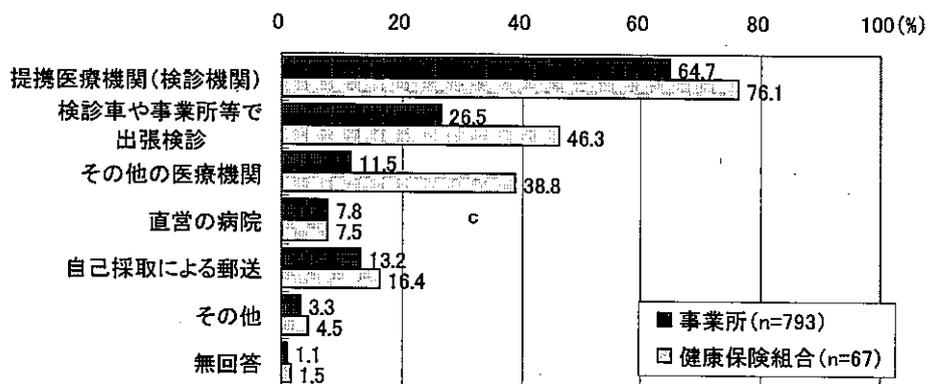


正社員及び被保険者

⑪ 大腸がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が64.7%と最も多く、次いで「検診車や事業所等出張検診」（26.5%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が76.1%と最も多く、次いで「検診車や事業所等出張検診」（46.3%）であった。

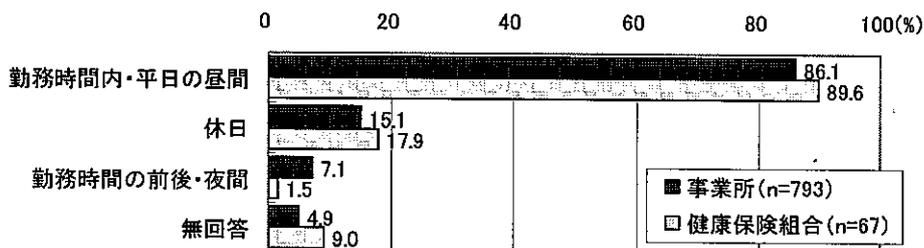
図 110 大腸がん検診の実施場所（複数回答）



⑫ 大腸がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「勤務時間内」が86.1%と最も多く、次いで「休日」（15.1%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が89.6%と最も多く、次いで「休日」（17.9%）であった。

図 111 大腸がん検診の時間帯（複数回答）

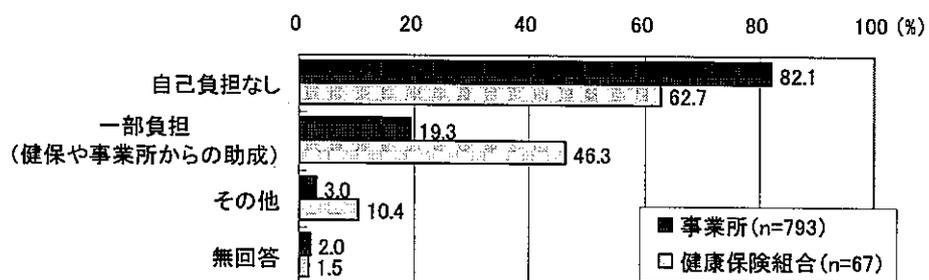


注) 事業所票では「勤務時間内」、「勤務時間の前後」、「休日」、健康保険組合票では「平日の昼間」、「夜間」、「休日」の選択肢である。

⑬ 大腸がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「自己負担なし」が82.1%と最も多く、次いで「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」（19.3%）であった。
- ・ 健康保険組合では「自己負担なし」が62.7%と最も多く、次いで「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」（46.3%）であった。

図 112 大腸がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

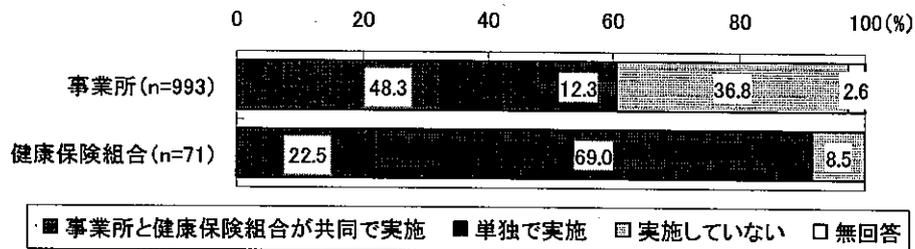


(4) 子宮がん検診

① 子宮がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が48.3%と最も多く、次いで「実施していない」(36.8%)、「単独で実施」(12.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が69.0%と最も多く、次いで「事業所と健康保険組合が共同で実施」(22.5%)、「実施していない」(8.5%)であった。

図 113 子宮がん検診の実施状況

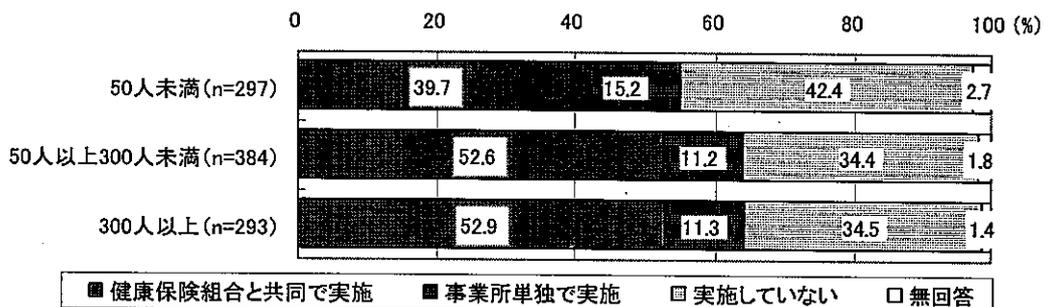


② 子宮がん検診の事業所規模別実施率

[子宮がん検診の実施状況を従業員数の規模別に集計]

- ・ 50人未満の事業所では「実施していない」が42.4%と最も多く、次いで「健康保険組合と共同で実施」(39.7%)であった。
- ・ 50人以上300人未満及び300人以上の事業所では「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「実施していない」であった。

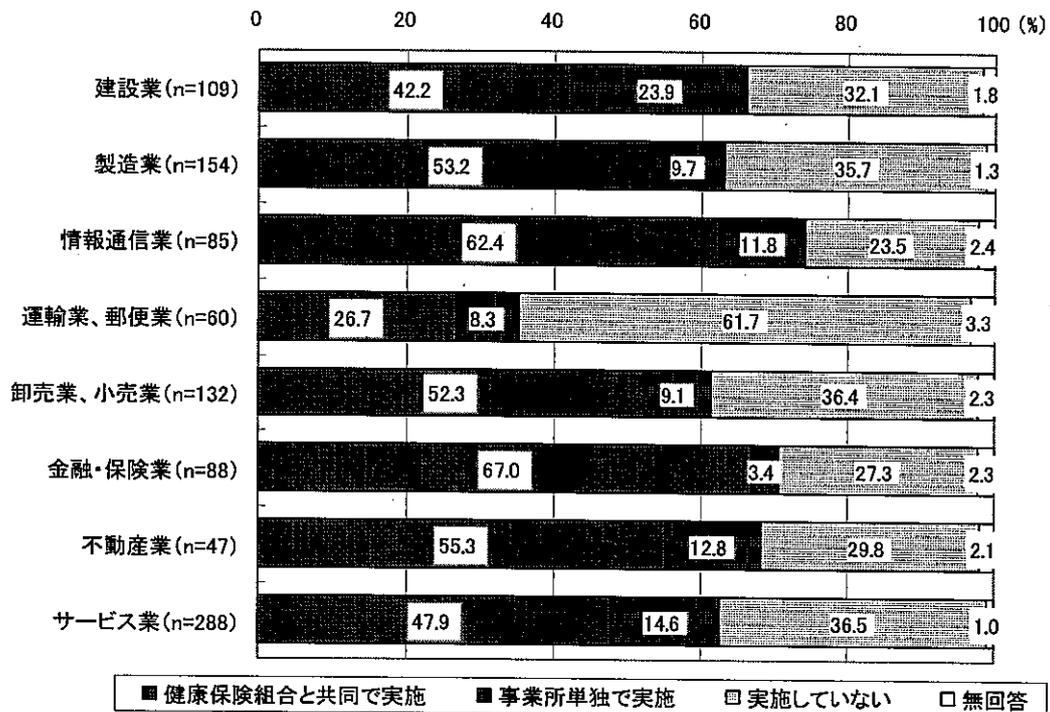
図 114 子宮がん検診：事業所規模別実施率



③ 子宮がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

- ・ 「運輸業、郵便業」を除く業種では、「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「実施していない」であった。
- ・ 「運輸業、郵便業」は、「実施していない」が61.7%と最も多く、次いで「健康保険組合と共同で実施」（26.7%）であった。

図 115 子宮がん検診：事業所の主たる業種別実施率（抜粋）



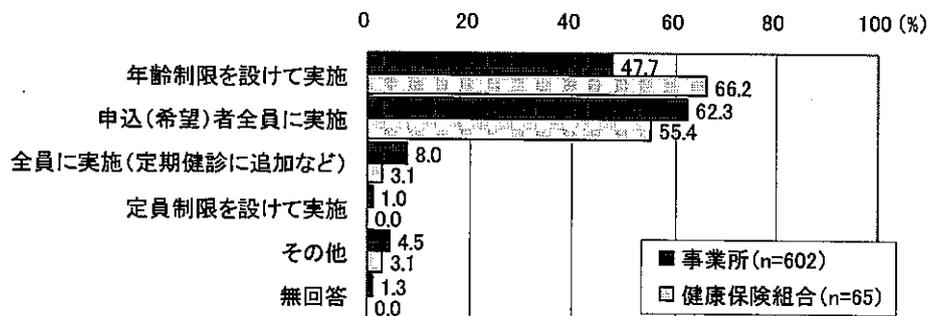
注) 回答数が少ない業種については除外した。

正社員及び被保険者

④ 子宮がん検診の対象者

- ・ 事業所では「申込（希望）者全員に実施」が62.3%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」（47.7%）であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が66.2%と最も多く、次いで「申込（希望）者全員に実施」（55.4%）であった。

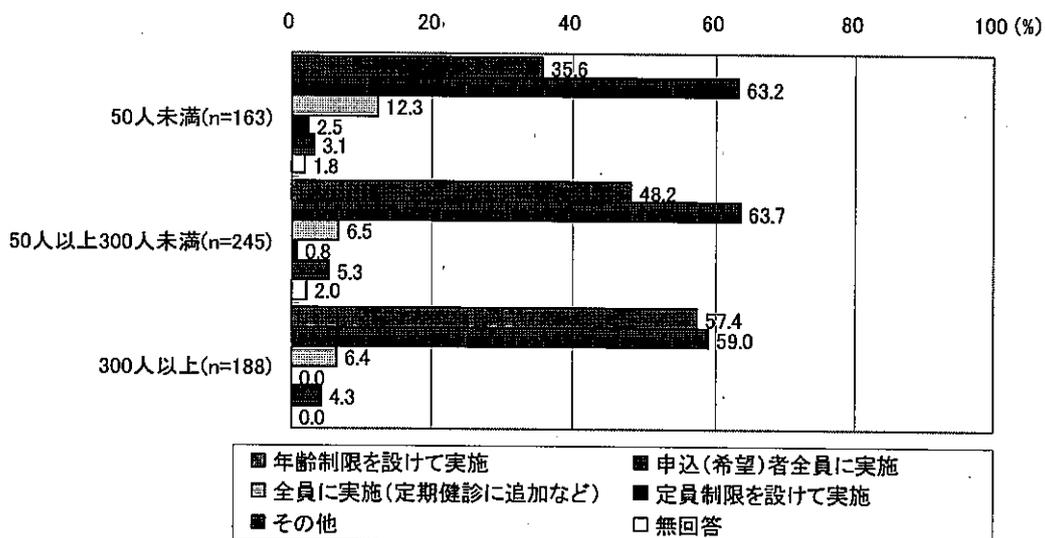
図 116 子宮がん検診の実施方法（複数回答）



⑤ 子宮がん検診の実施方法【事業所規模別】

- ・ 全ての事業所規模において、「申込（希望）者全員に実施」が最も多かった。

図 117 子宮がん検診：事業所規模別実施方法（複数回答）

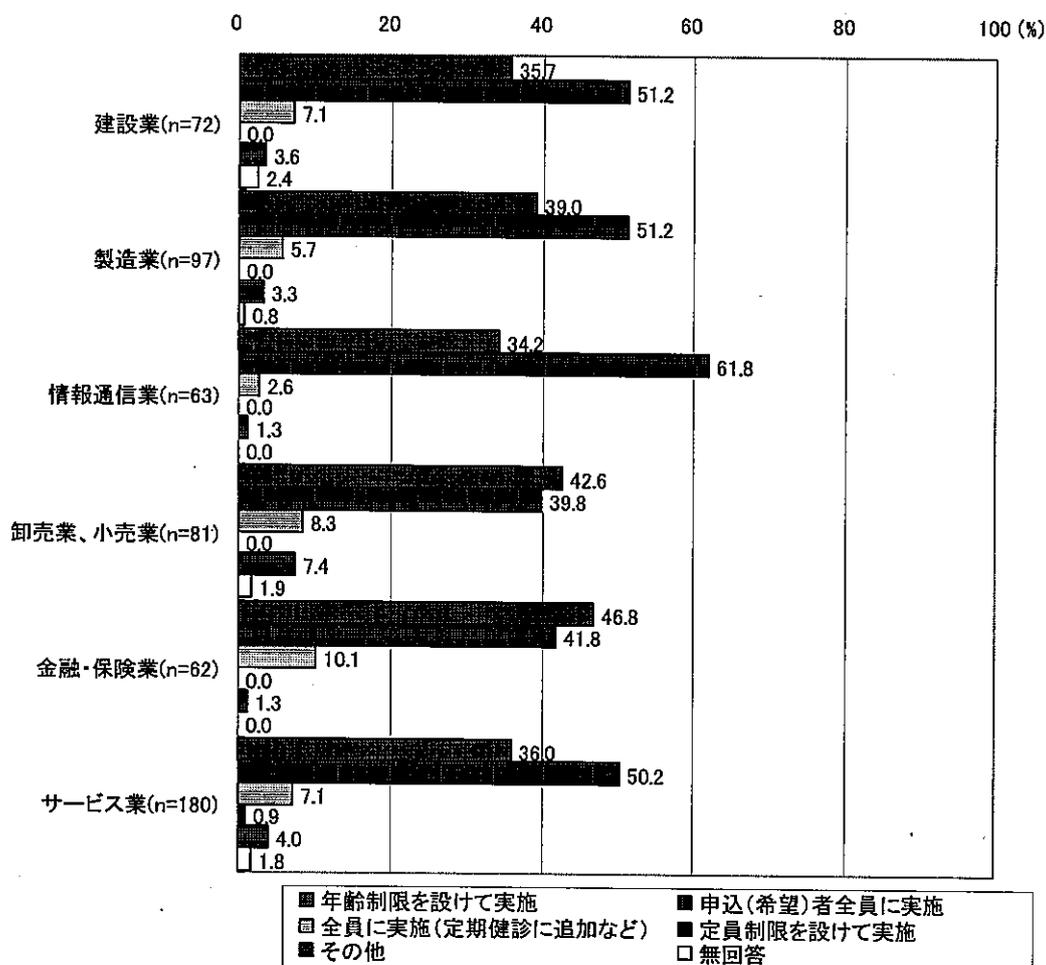


⑥ 子宮がん検診の方法〔業種別〕（抜粋）

〔子宮がん検診の実施方法を業種別に集計〕

- ・ 「卸売業、小売業」及び「金融・保険業」を除く4業種では、「申込（希望）者全員に実施」が最も多くかった。
- ・ 「卸売業、小売業」及び「金融・保険業」では、「年齢制限を設けて実施」が最も多かった。

図 118 子宮がん検診：事業所の主たる業種別実施方法（抜粋）

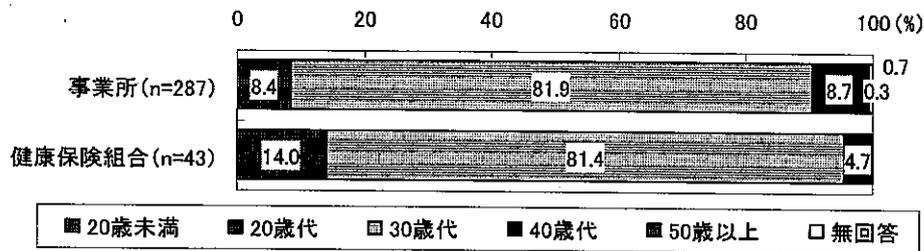


注) 回答数が少ない業種については除外した。

⑦ 子宮がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が81.9%と最も多く、次いで「40歳代」(8.7%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が81.4%と最も多く、次いで「20歳代」(14.0%)であった。

図 119 子宮がん検診の対象年齢の下限



⑧ 子宮がん検診の受診対象者〔事業所規模別〕

職域で実施されているがん検診が、国が推奨する検診対象年齢（20歳以上）と比較し、どのような違いがあるかを確認するため、便宜的に調査票の回答内容を下記のとおり区分し、分析を行った。

事業所における受診対象者の基準を以下の3つに区分し、該当する事業所数を算出した。

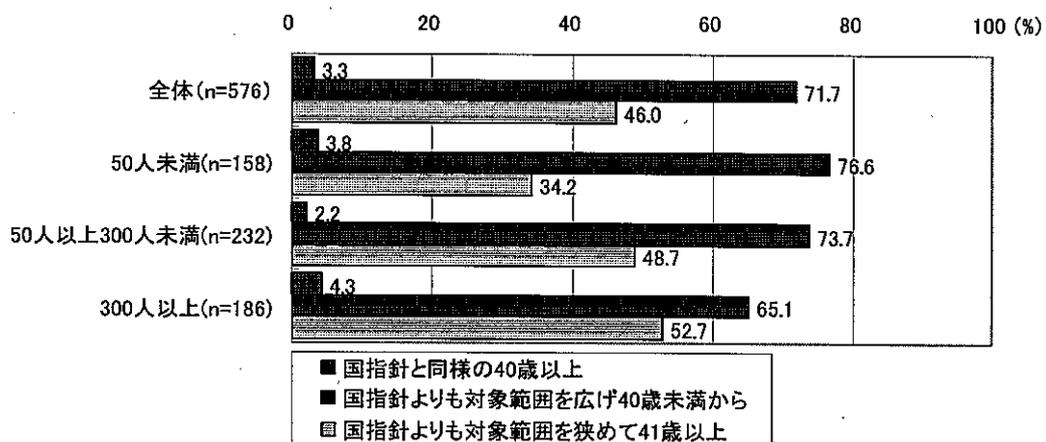
- ① 国指針と同様の20歳以上
対象年齢が20歳以上
- ② 国指針よりも対象範囲を広げ20歳未満から
対象者を全員または申込(希望)者全員としている事業所と、受診対象年齢が20歳未満の事業所の和
- ③ 国指針よりも対象範囲を狭めて21歳以上
対象年齢を21歳以上

※ 職域におけるがん検診は、医療保険各法の保険者及び事業者に実施が義務付けられているため、国指針と異なるからといって一概に適切でないとは判断できない。

〔子宮がん検診の受診対象者を従業員数の規模別に集計〕

- ・ 全ての事業所規模において、「国指針よりも対象範囲を広げて実施」が最も多く、次いで「国指針よりも対象範囲を狭めて実施」であった。

図 120 子宮がん検診（正社員）：事業所規模別受診対象の範囲（複数回答）

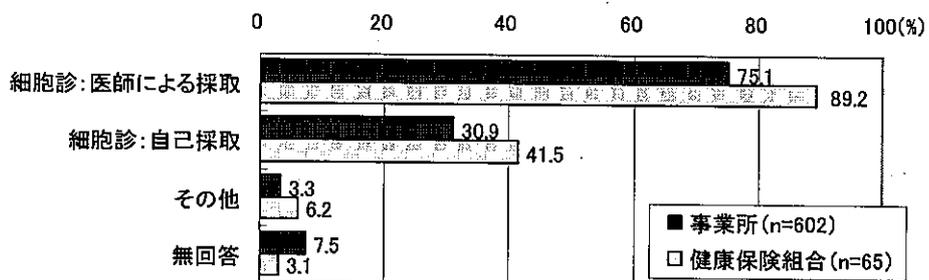


正社員及び被保険者

⑨ 子宮がん検診の検査方法

- ・ 事業所では「細胞診：医師による採取」が75.1%と最も多く、次いで「細胞診：自己採取」(30.9%)であった。
- ・ 健康保険組合では「細胞診：医師による採取」が89.2%と最も多く、次いで「細胞診：自己採取」(41.5%)であった。

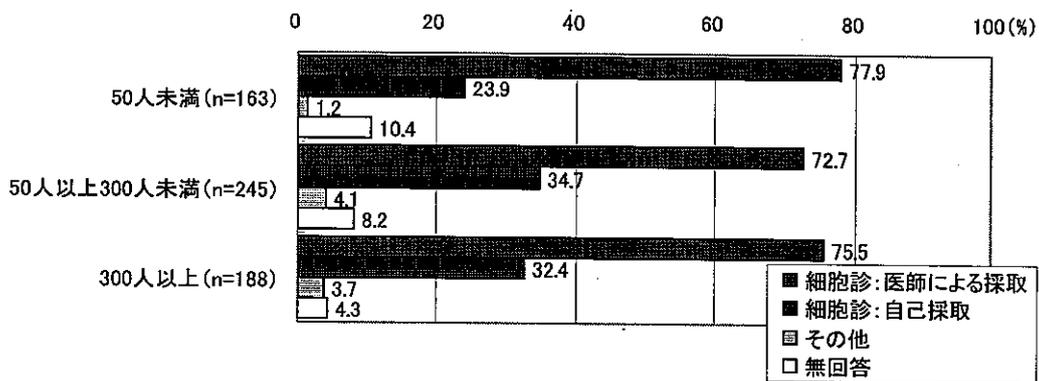
図 121 子宮がん検診の検査方法 (複数回答)



⑩ 子宮がん検診の事業所規模別検査方法

- ・ 全ての事業所規模で、「細胞診：医師による採取」が最も多く、7割以上であった。
- ・ 「細胞診：自己採取」では、「50人以上300人未満」が34.7%と最も多く、次いで「300人以上」(32.4%)であった。

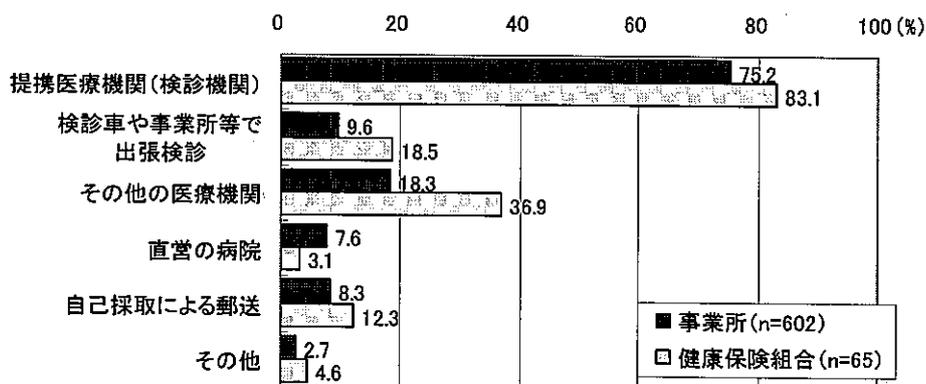
図 122 子宮がん検診：事業所規模別の検査方法 (複数回答)



⑪ 子宮がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が75.2%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（18.3%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が83.1%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（36.9%）であった。

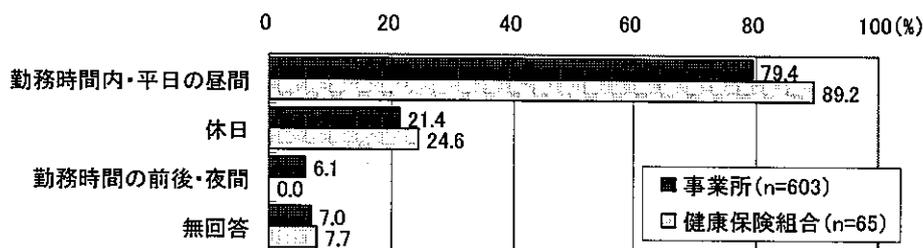
図 123 子宮がん検診の実施場所（複数回答）



⑫ 子宮がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「勤務時間内」が79.4%と最も多く、次いで「休日」（21.4%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が89.2%と最も多く、次いで「休日」（24.6%）であった。

図 124 子宮がん検診の時間帯（複数回答）



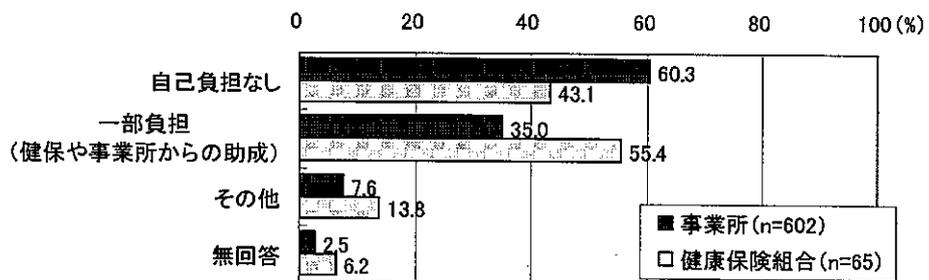
注) 事業所票では「勤務時間内」、「勤務時間の前後」、「休日」、健康保険組合票では「平日の昼間」、「夜間」、「休日」の選択肢である。

正社員及び被保険者

⑬ 子宮がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「自己負担なし」が60.3%と最も多く、次いで「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」（35.0%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が55.4%と最も多く、次いで「自己負担なし」（43.1%）であった。

図 125 子宮がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

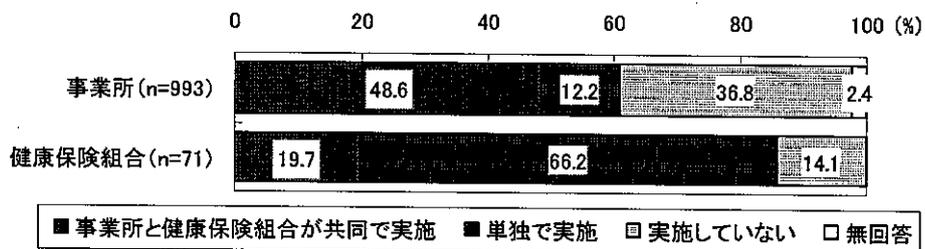


(5) 乳がん検診

① 乳がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が48.6%と最も多く、次いで「実施していない」(36.8%)、「単独で実施」(12.2%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が66.2%と最も多く、次いで「事業所と健康保険組合が共同で実施」(19.7%)、「実施していない」(14.1%)であった。

図 126 乳がん検診の実施状況

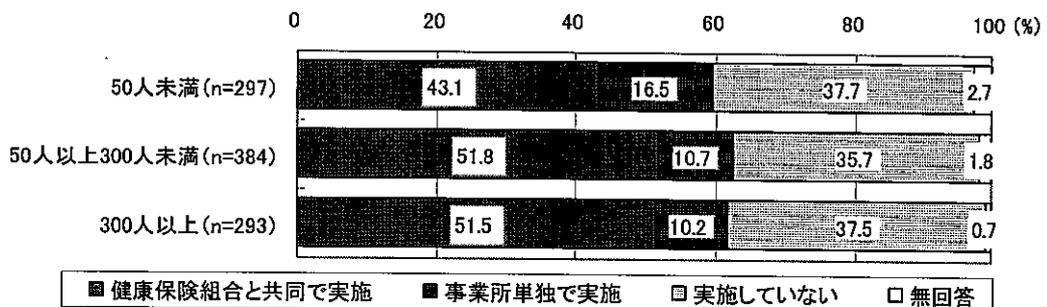


② 乳がん検診の事業所規模別実施率

[乳がん検診の実施状況を従業員数の規模別に集計]

- ・ 全ての事業所規模において「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「実施していない」であった。

図 127 乳がん検診：事業所規模別実施率

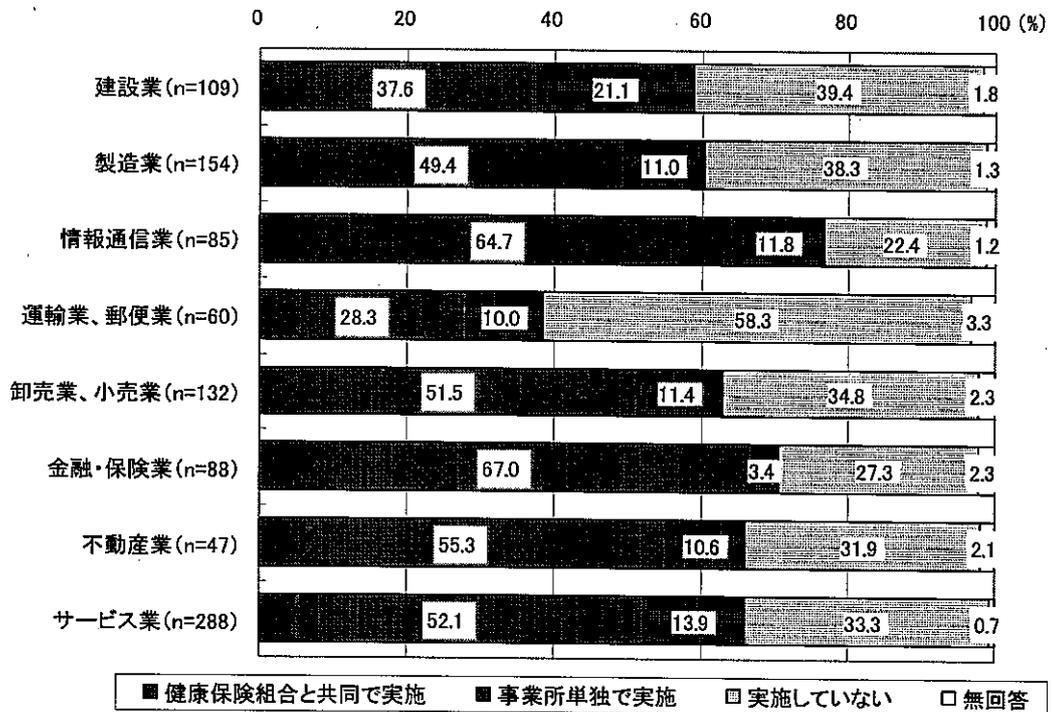


正社員及び被保険者

③ 乳がん検診の事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

- ・ 「建設業」及び「運輸業、郵便業」を除く6業種では、「健康保険組合と共同で実施」が最も多く、次いで「実施していない」であった。
- ・ 「建設業」及び「運輸業、郵便業」は、「実施していない」が最も多く、次いで「健康保険組合と共同で実施」であった。

図 128 乳がん検診：事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

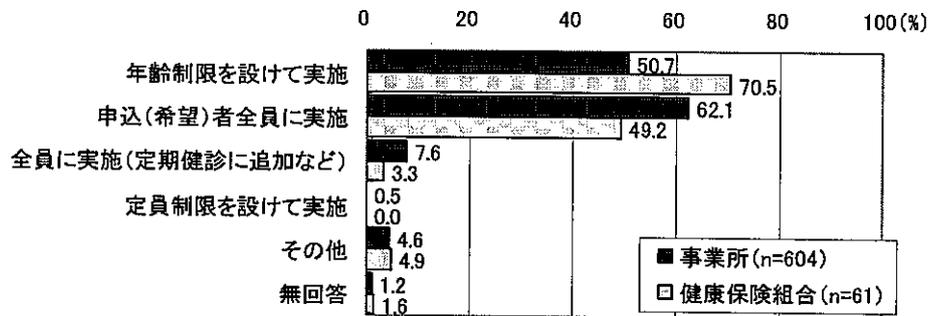


注) 回答数が少ない業種については除外した。

④ 乳がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「申込（希望）者全員に実施」が62.1%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」（50.7%）であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が70.5%と最も多く、次いで「申込（希望）者全員に実施」（49.2%）であった。

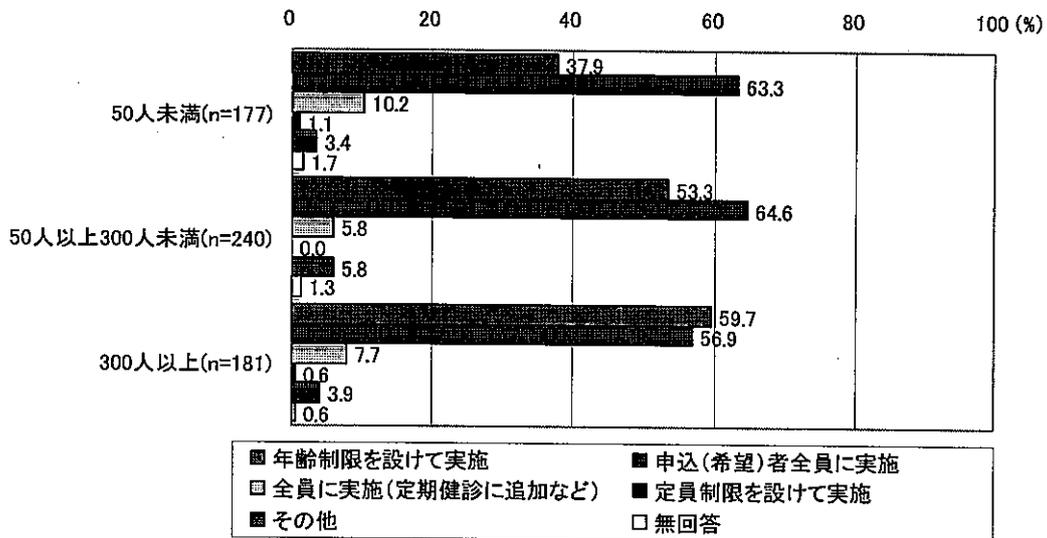
図 129 乳がん検診の対象者（複数回答）



⑤ 乳がん検診の実施方法 [事業所規模別]

- ・ 「50人未満」及び「50人以上300人未満」では、「申込（希望）者全員に実施」が最も多かった。
- ・ 「300人以上」では「年齢制限を設けて実施」が最も多かった。

図 130 乳がん検診：事業所規模別実施方法（複数回答）



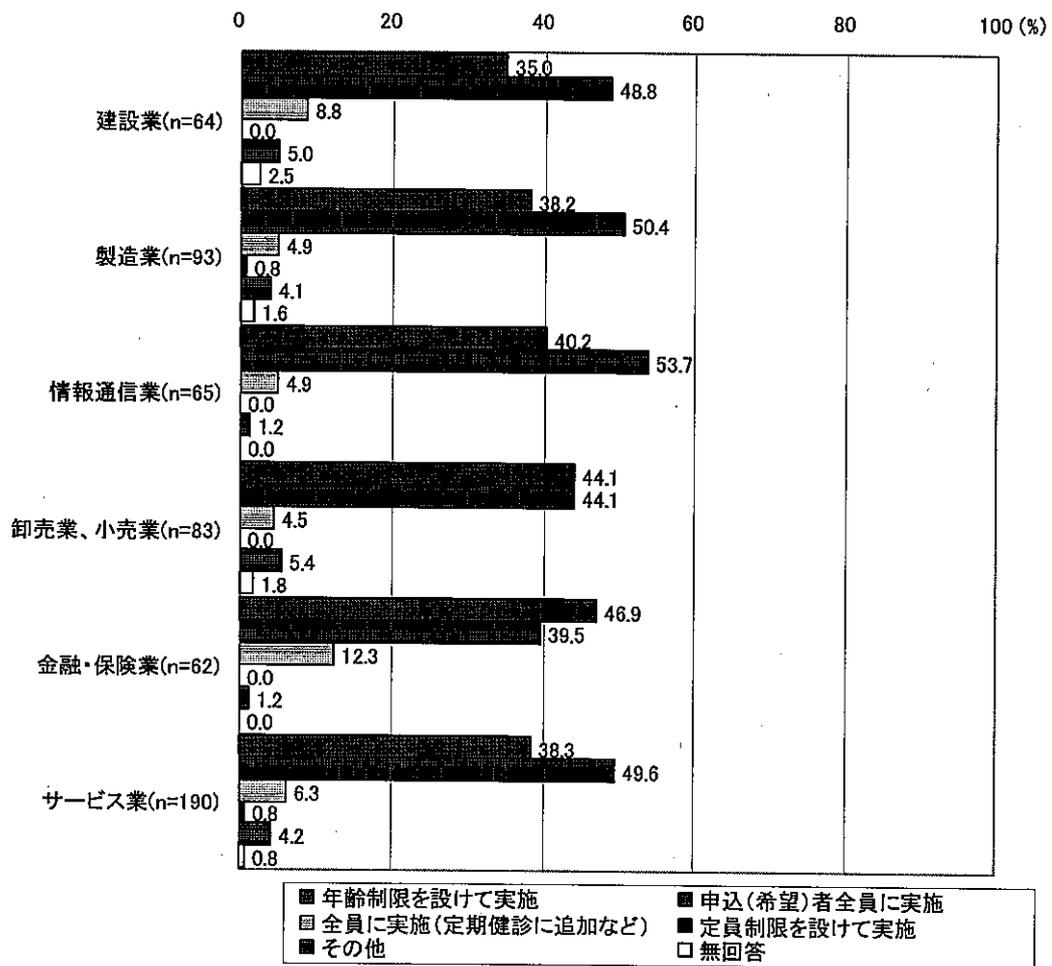
正社員及び被保険者

⑥ 乳がん検診の実施方法〔業種別〕（抜粋）

〔乳がん検診の実施方法を業種別に集計〕

- ・ 「卸売業、小売業」及び「金融・保険業」を除く4業種では、「申込（希望）者全員に実施」が最も多く、次いで「申込（希望）者全員に実施」であった。
- ・ 「卸売業、小売業」は、「年齢制限を設けて実施」と「申込（希望）者全員に実施」の割合が等しく、「金融・保険業」では、「年齢制限を設けて実施」が最も多かった。

図 131 乳がん検診：事業所の主たる業種別実施方法（抜粋）

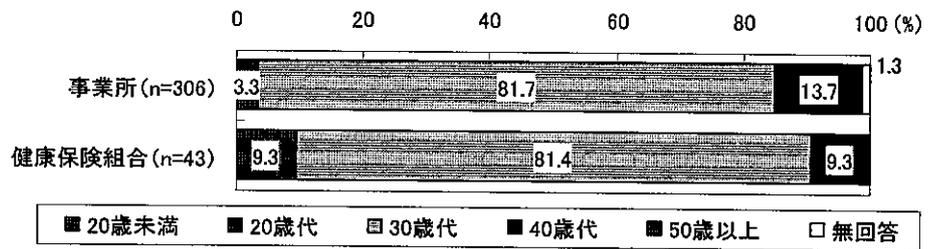


注) 回答数が少ない業種については除外した。

⑦ 乳がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が81.7%と最も多く、次いで「40歳代」(13.7%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が81.4%と最も多く、次いで「20歳代」(9.3%)、「40歳代」(9.3%)であった。

図 132 乳がん検診の対象年齢の下限



正社員及び被保険者

⑧ 乳がん検診の受診対象者〔事業所規模別〕

職域で実施されているがん検診が、国が推奨する検診対象年齢（40歳以上）と比較し、どのような違いがあるかを確認するため、便宜的に調査票の回答内容を下記のとおり区分し、分析を行った。

事業所における受診対象者の基準を以下の3つに区分し、該当する事業所数を算出した。

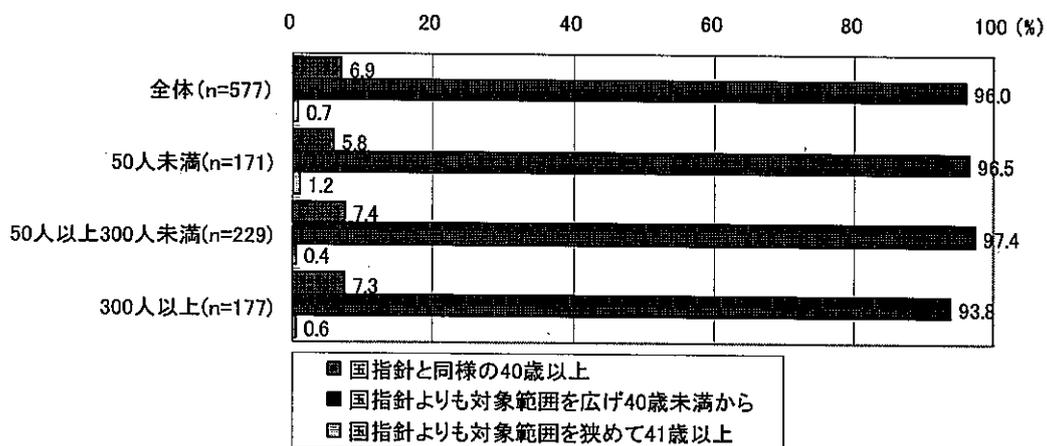
- ① 国指針と同等の条件で実施
受診対象年齢を40歳以上としている事業所
- ② 国指針よりも対象範囲を広げて実施
受診対象者を全員または申込(希望)者全員としている事業所と、受診対象年齢が40歳未満の事業所の和
- ③ 国指針よりも対象範囲を狭めて実施
受診対象年齢を41歳以上としている事業所

※ 職域におけるがん検診は、医療保険各法の保険者及び事業者に実施が義務付けられているため、国指針と異なるからといって一概に適切でないとは判断できない。

〔乳がん検診の受診対象者を従業員数の規模別に集計〕

・ 全ての事業所規模において、「国指針よりも対象範囲を広げて実施」が最も多く、次いで「国指針と同等の条件で実施」であった。

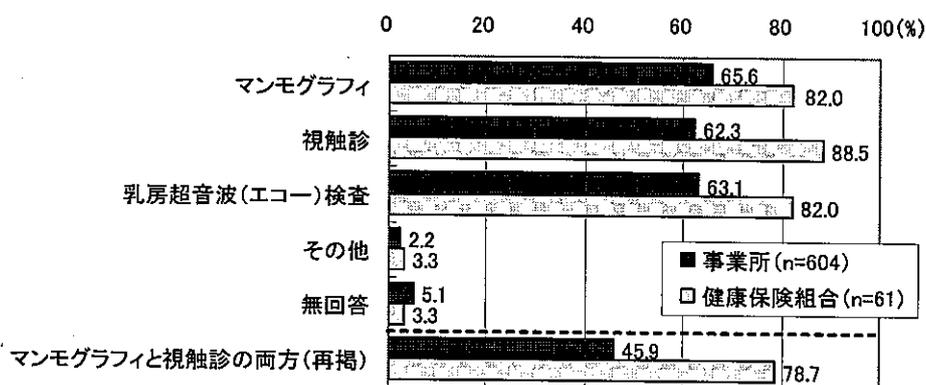
図 133 乳がん検診：事業所規模別受診対象の範囲（複数回答）



⑨ 乳がん検診の検査方法

- ・ 「マンモグラフィと視触診の両方」を実施する事業所は45.9%、健康保険組合は78.7%であった。
- ・ 事業所では「マンモグラフィ」が65.6%と最も多く、次いで「乳房超音波（エコー）検査」（63.1%）であった。
- ・ 健康保険組合では「視触診」が88.5%と最も多く、次いで「マンモグラフィ」（82.0%）、「乳房超音波（エコー）検査」（82.0%）であった。

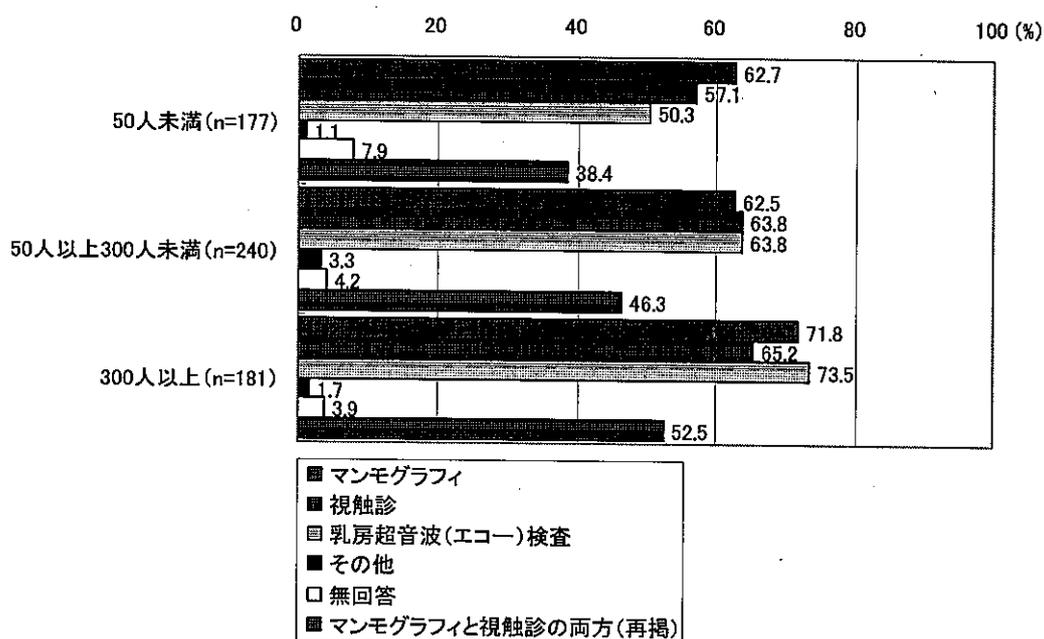
図 134 乳がん検査方法（複数回答）



⑩ 乳がん検診の事業所規模別検査方法

- ・ 「マンモグラフィと視触診の両方」は、「300人以上」が52.5%と最も多く、次いで「50人以上300人未満」(46.3%)であった。
- ・ 「マンモグラフィ」は「300人以上」が71.8%と最も多く、次いで「50人未満」(62.7%)であった。
- ・ 「視触診」は、「300人以上」が65.2%と最も多く、次いで「50人以上300人未満」(63.8%)であった。
- ・ 「乳房超音波(エコー)検査」は、「300人以上」が73.5%と最も多く、次いで「50人以上300人未満」(63.8%)であった。

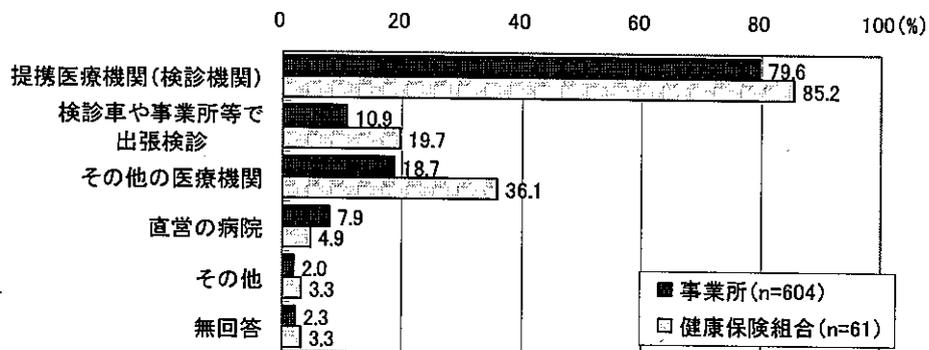
図 135 乳がん検診：事業所規模別の検査方法（複数回答）



⑪ 乳がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が79.6%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（18.7%）であった。
- ・ 健康保険組合は、「提携医療機関（検診機関）」が85.2%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（36.1%）であった。

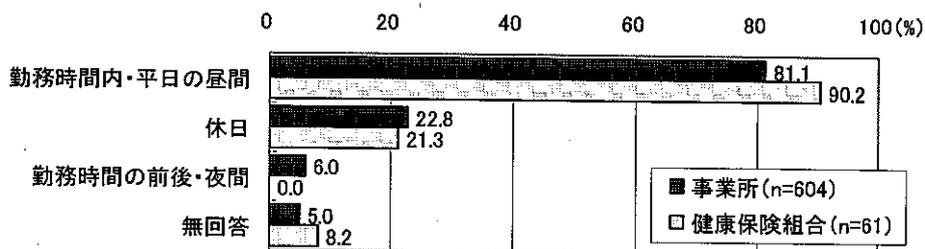
図 136 乳がん検診の実施場所（複数回答）



⑫ 乳がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「勤務時間内」が81.1%と最も多く、次いで「休日」（22.8%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が90.2%と最も多く、次いで「休日」（21.3%）であった。

図 137 乳がん検診の時間帯（複数回答）

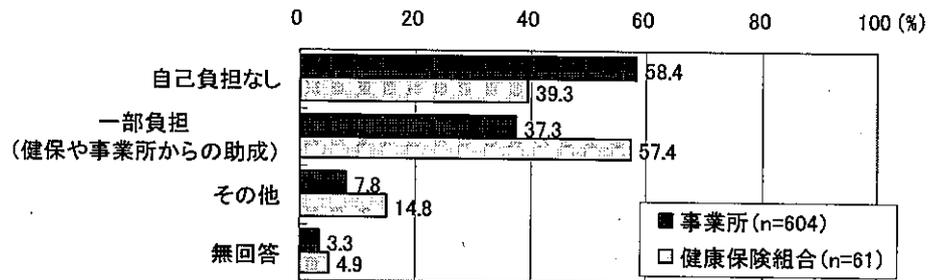


注) 事業所票では「勤務時間内」、「勤務時間の前後」、「休日」、健康保険組合票では「平日の昼間」、「夜間」、「休日」の選択肢である。

⑬ 乳がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「自己負担なし」が58.4%と最も多く、次いで「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」（37.3%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が57.4%と最も多く、次いで「自己負担なし」（39.3%）であった。

図 138 乳がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）



4 正社員の家族又は被扶養者に対するがん検診の実施状況等（問 2-1）

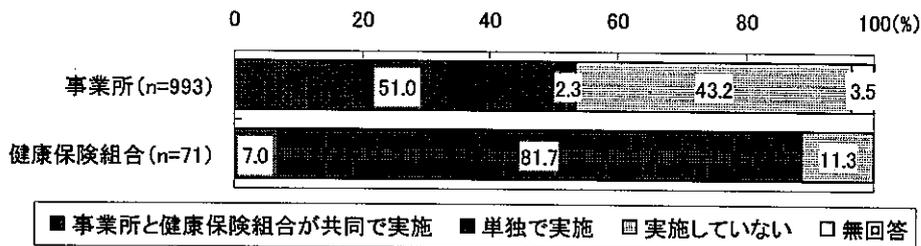
事業所に対しては正社員の家族のがん検診の実施状況を、健康保険組合に対しては被扶養者のがん検診の実施状況を調査した。

(1) 胃がん検診

① 胃がん検診の実施状況等

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が 51.0%と最も多く、次いで「実施していない」(43.2%)、「単独で実施」(2.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が 81.7%と最も多く、次いで「実施していない」(11.3%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(7.0%)であった。

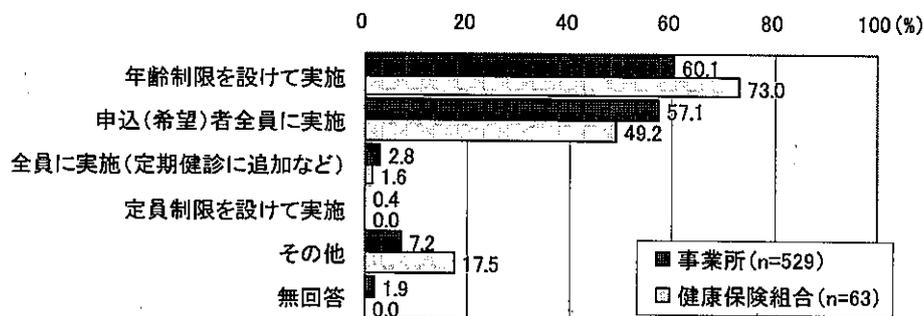
図 139 胃がん検診の実施状況



② 胃がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「年齢制限を設けて実施」が 60.1%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(57.1%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が 73.0%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(49.2%)であった。

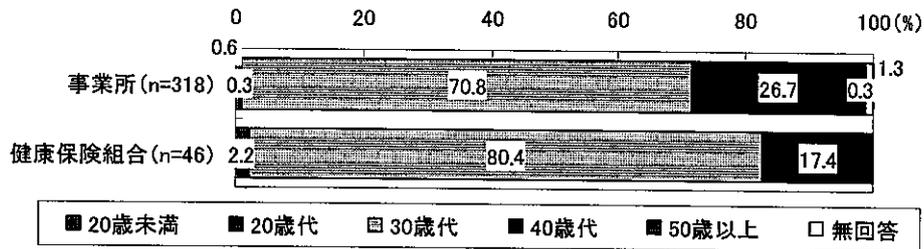
図 140 胃がん検診の受診対象（複数回答）



③ 胃がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が70.8%と最も多く、次いで「40歳代」(26.7%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が80.4%と最も多く、次いで「40歳代」(17.4%)であった。

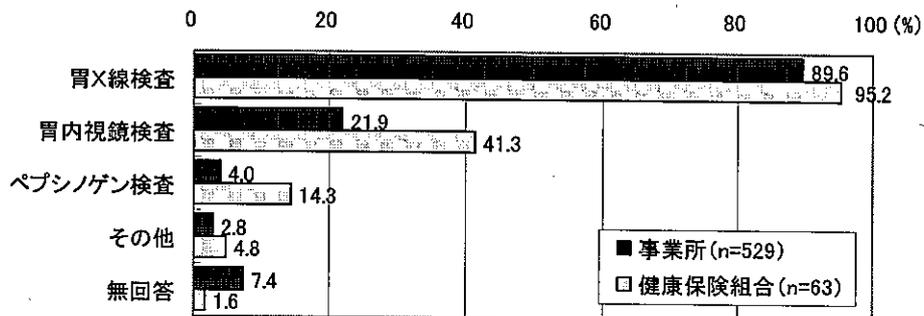
図 141 胃がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



④ 胃がん検診の検査方法

- ・ 事業所では「胃X線検査」が89.6%と最も多く、次いで「胃内視鏡検査」(21.9%)であった。
- 健康保険組合では「胃X線検査」が95.2%と最も多く、次いで「胃内視鏡検査」(41.3%)であった。

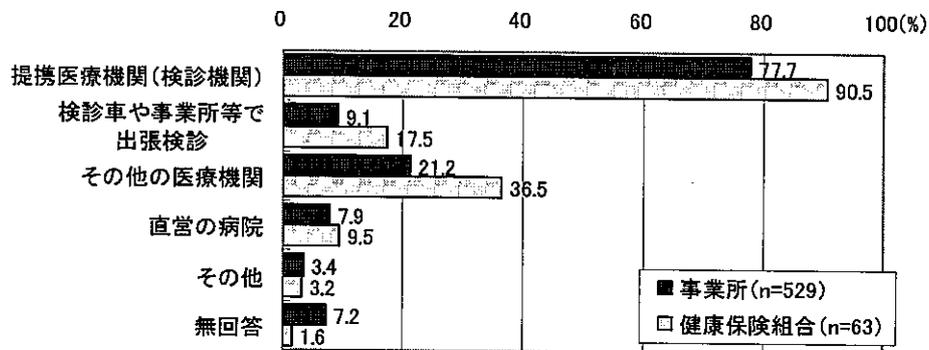
図 142 胃がん検診の検査方法 (複数回答)



⑤ 胃がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が 77.7%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（21.2%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が 90.5%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（36.5%）であった。

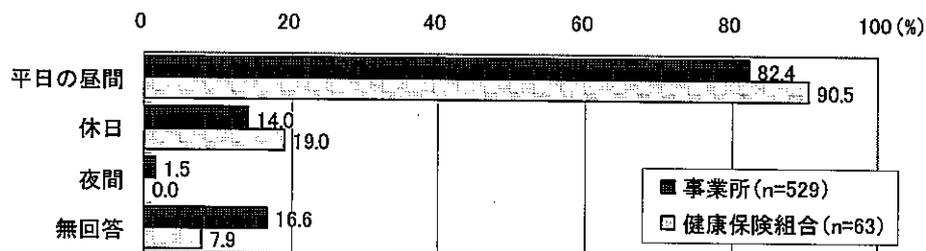
図 143 胃がん検診の実施場所（複数回答）



⑥ 胃がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「平日の昼間」が 82.4%と最も多く、次いで「休日」（14.0%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 90.5%と最も多く、次いで「休日」（19.0%）であった。

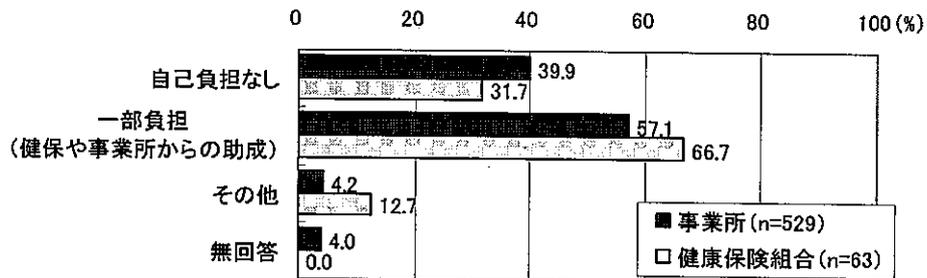
図 144 胃がん検診の時間帯（複数回答）



⑦ 胃がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 57.1%と最も多く、次いで「自己負担なし」（39.9%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 66.7%と最も多く、次いで「自己負担なし」（31.7%）であった。

図 145 胃がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

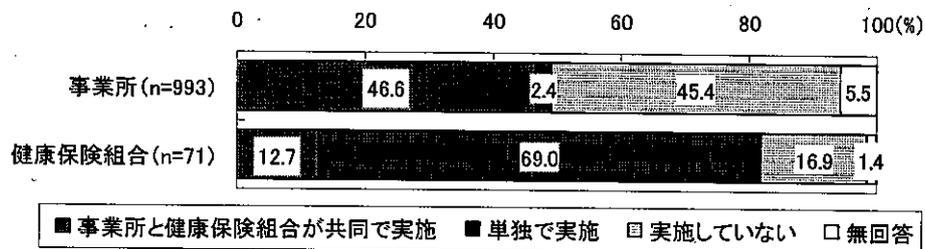


(2) 肺がん検診

① 肺がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が 46.6%と最も多く、次いで「実施していない」(45.4%)、「単独で実施」(2.4%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が 69.0%と最も多く、次いで「実施していない」(16.9%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(12.7%)であった。

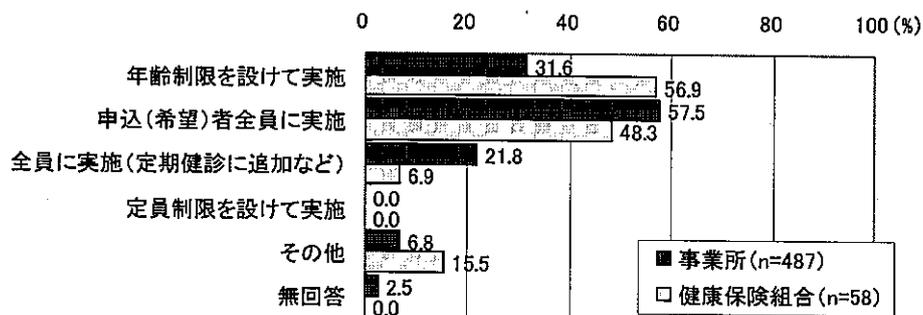
図 146 肺がん検診の実施状況



② 肺がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「申込(希望)者全員に実施」が 57.5%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」(31.6%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が 56.9%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(48.3%)であった。

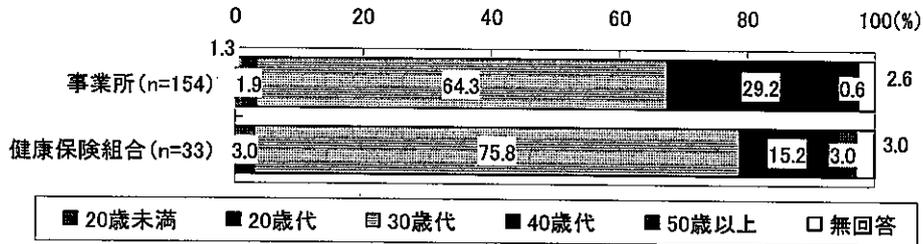
図 147 肺がん検診の受診対象(複数回答)



③ 肺がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が64.3%と最も多く、次いで「40歳代」(29.2%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が75.8%と最も多く、次いで「40歳代」(15.2%)であった。

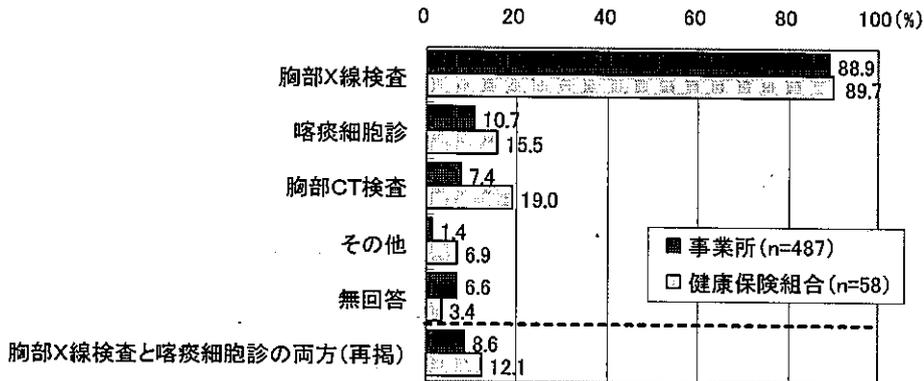
図 148 肺がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



④ 肺がん検診の検査方法

- ・ 「胸部X線検査と喀痰細胞診の両方」を実施する事業所は8.6%、健康保険組合は12.1%であった。
- ・ 事業所では「胸部X線検査」が88.9%と最も多く、次いで「喀痰細胞診」(10.7%)であった。
- ・ 健康保険組合では「胸部X線検査」が89.7%と最も多く、次いで「胸部CT検査」(19.0%)であった。

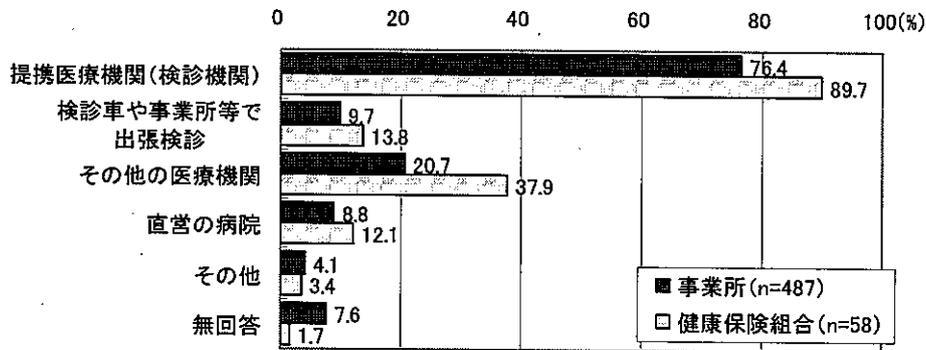
図 149 肺がん検診の検査方法 (複数回答)



⑤ 肺がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が76.4%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（20.7%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が89.7%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（37.9%）であった。

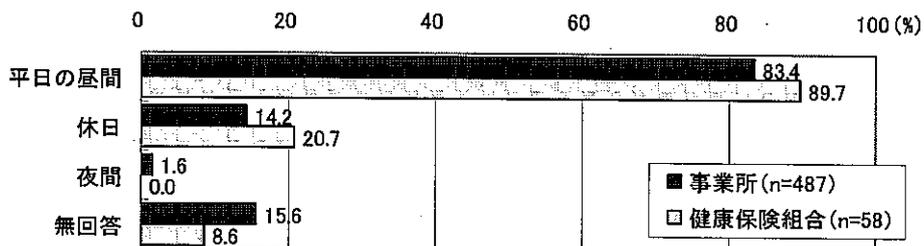
図 150 肺がん検診の実施場所（複数回答）



⑥ 肺がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「平日の昼間」が83.4%と最も多く、次いで「休日」（14.2%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が89.7%と最も多く、次いで「休日」（20.7%）であった。

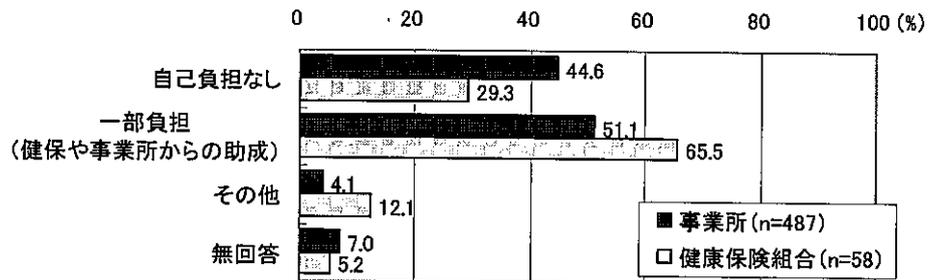
図 151 肺がん検診の時間帯（複数回答）



⑦ 肺がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 51.1%と最も多く、次いで「自己負担なし」（44.6%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 65.5%と最も多く、次いで「自己負担なし」（29.3%）であった。

図 152 肺がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

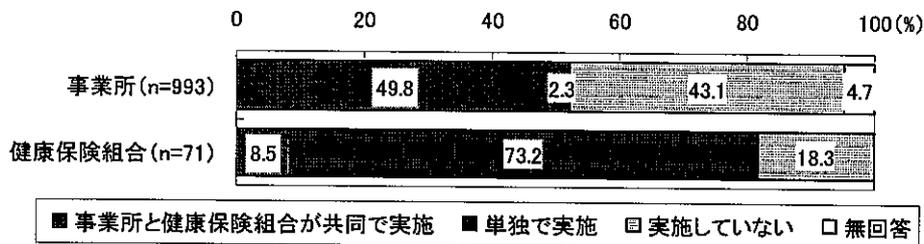


(3) 大腸がん検診

① 大腸がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「事業所と健康保険組合が共同で実施」が49.8%と最も多く、次いで「実施していない」(43.1%)、「単独で実施」(2.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が73.2%と最も多く、次いで「実施していない」(18.3%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(8.5%)であった。

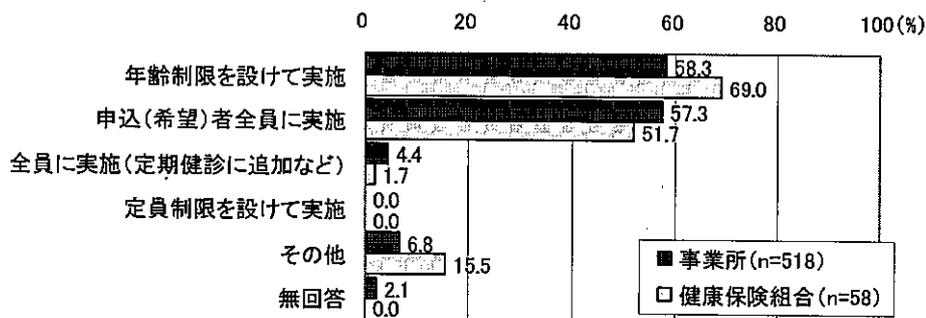
図 153 大腸がん検診の実施状況



② 大腸がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「年齢制限を設けて実施」が58.3%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(57.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が69.0%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(51.7%)であった。

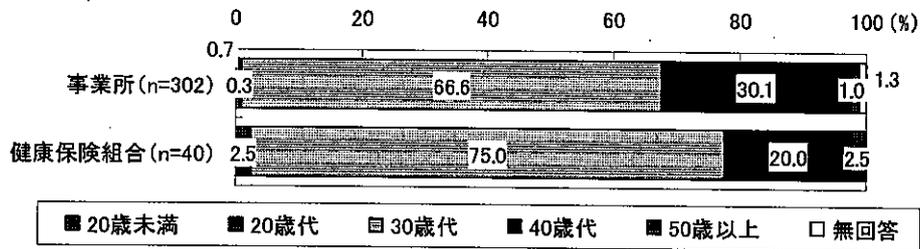
図 154 大腸がん検診の受診対象 (複数回答)



③ 大腸がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が66.6%と最も多く、次いで「40歳代」(30.1%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が75.0%と最も多く、次いで「40歳代」(20.0%)であった。

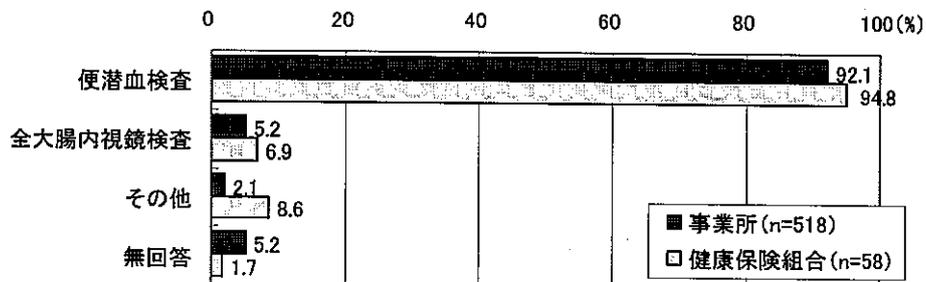
図 155 大腸がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



④ 大腸がん検診の検査方法

- ・ 事業所では「便潜血検査」が92.1%と最も多く、次いで「全大腸内視鏡検査」(5.2%)であった。
- ・ 健康保険組合では「便潜血検査」が94.8%と最も多く、次いで「その他」(8.6%)、「全大腸内視鏡検査」(6.9%)であった。

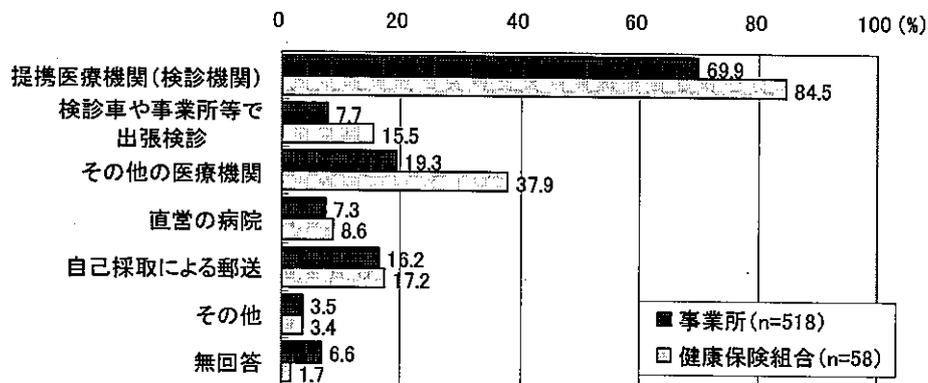
図 156 大腸がん検診の検査方法 (複数回答)



⑤ 大腸がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が 69.9%と最も多く、次いで「その他の医療機関で実施」（19.3%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が 84.5%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（37.9%）であった。

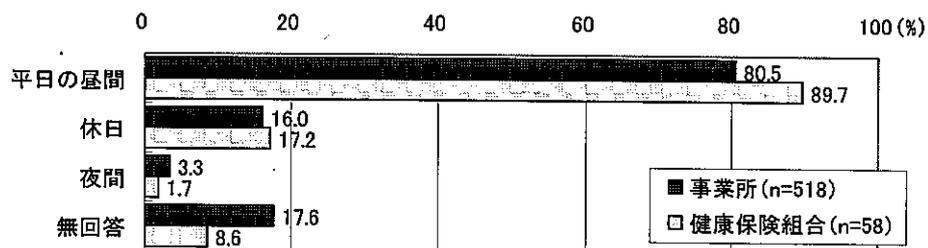
図 157 大腸がん検診の実施場所（複数回答）



⑥ 大腸がん検診の時間帯

- ・ 大腸がん検診の時間帯は、事業所では「平日の昼間」が 80.5%と最も多く、次いで「休日」（16.0%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 89.7%と最も多く、次いで「休日」（17.2%）であった。

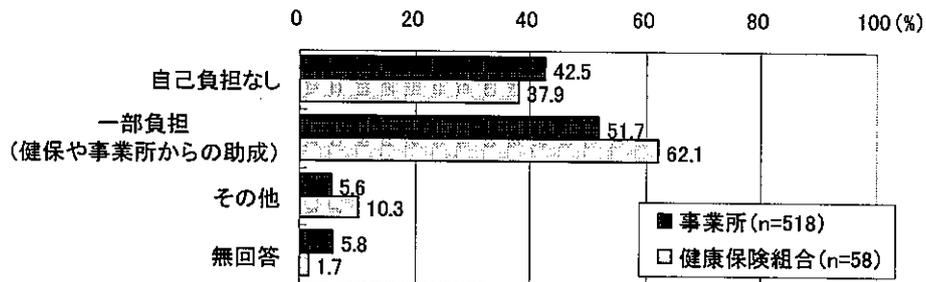
図 158 大腸がん検診の時間帯（複数回答）



⑦ 大腸がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 51.7%と最も多く、次いで「自己負担なし」（42.5%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 62.1%と最も多く、次いで「自己負担なし」（37.9%）であった。

図 159 大腸がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

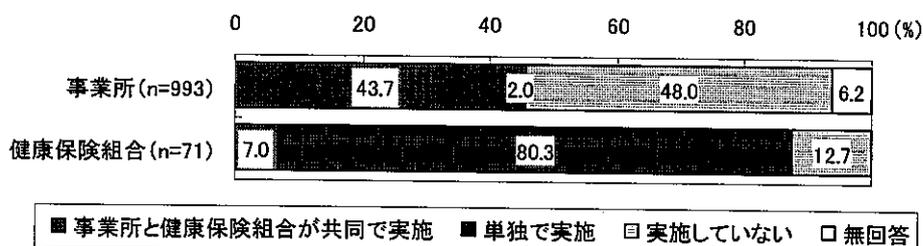


(4) 子宮がん検診

① 子宮がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「実施していない」が48.0%、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(43.7%)、「単独で実施」(2.0%)の順であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が80.3%と最も多く、次いで「実施していない」(12.7%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(7.0%)であった。

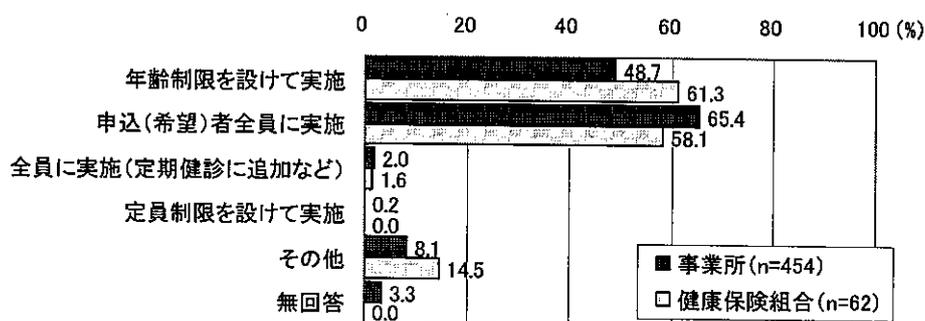
図 160 子宮がん検診の実施状況



② 子宮がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「申込(希望)者全員に実施」が65.4%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」(48.7%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が61.3%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(58.1%)であった。

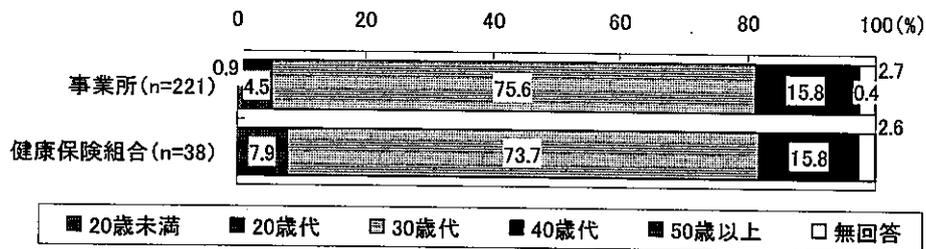
図 161 子宮がん検診の受診対象(複数回答)



③ 子宮がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が75.6%と最も多く、次いで「40歳代」(15.8%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が73.7%と最も多く、次いで「40歳代」(15.8%)であった。

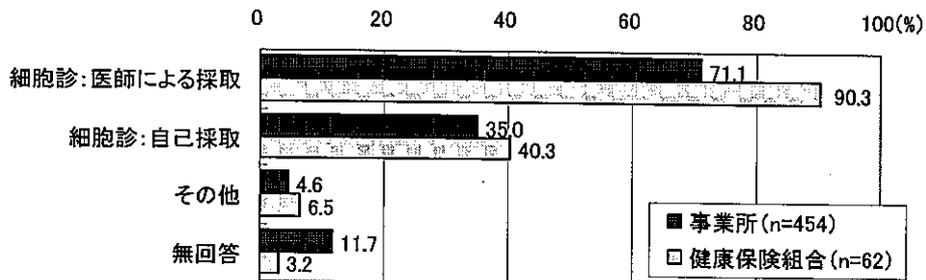
図 162 子宮がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



④ 子宮がん検診の検査方法

- ・ 事業所では「細胞診：医師による採取」が71.1%と最も多く、次いで「細胞診：自己採取」(35.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「細胞診：医師による採取」が90.3%と最も多く、次いで「細胞診：自己採取」(40.3%)であった。

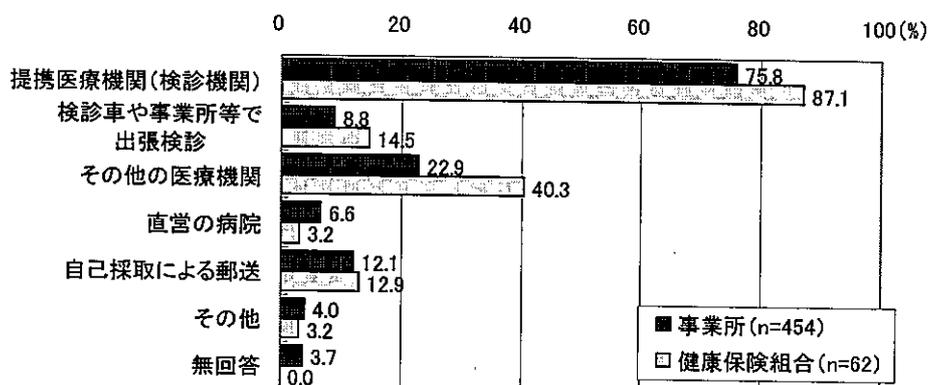
図 163 子宮がん検診の検査方法 (複数回答)



⑤ 子宮がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が75.8%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（22.9%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が87.1%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（40.3%）であった。

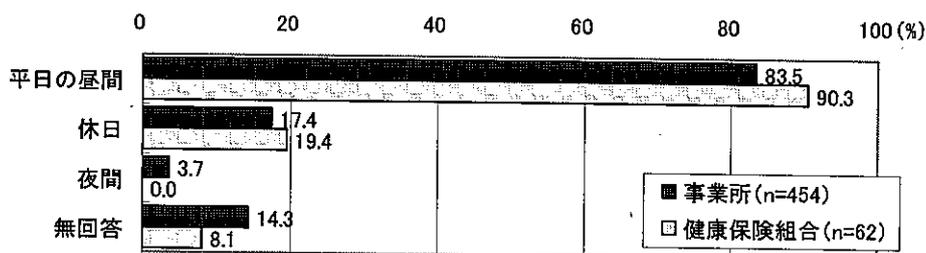
図 164 子宮がん検診の実施場所（複数回答）



⑥ 子宮がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「平日の昼間」が83.5%と最も多く、次いで「休日」（17.4%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が90.3%と最も多く、次いで「休日」（19.4%）であった。

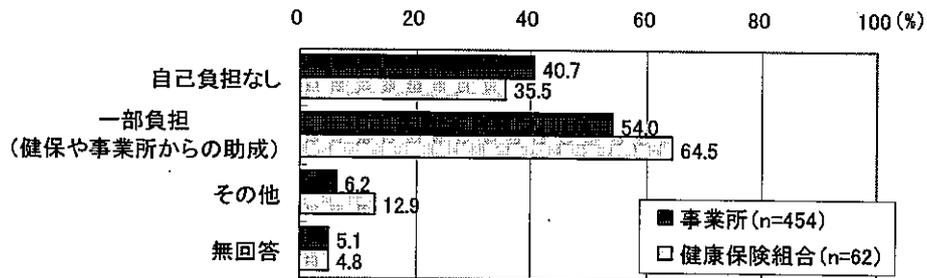
図 165 子宮がん検診の時間帯（複数回答）



⑦ 子宮がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 54.0%と最も多く、次いで「自己負担なし」（40.7%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 64.5%と最も多く、次いで「自己負担なし」（35.5%）であった。

図 166 子宮がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

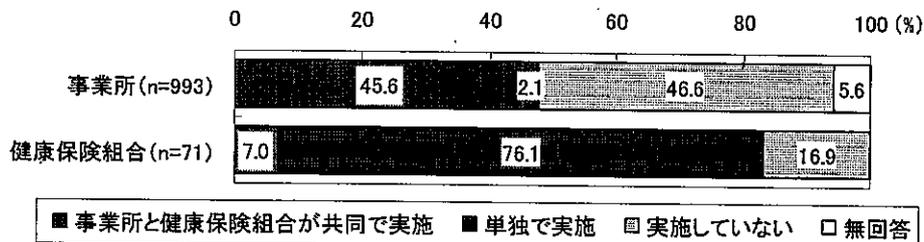


(5) 乳がん検診

① 乳がん検診の実施状況

- ・ 事業所では「実施していない」が46.6%、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(45.6%)、「単独で実施」(2.1%)であった。
- ・ 健康保険組合では「単独で実施」が76.1%と最も多く、次いで「実施していない」(16.9%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(7.0%)であった。

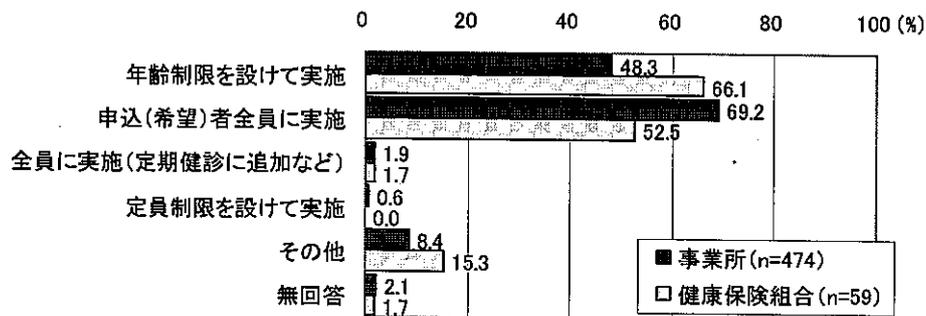
図 167 乳がん検診の実施状況



② 乳がん検診の実施方法

- ・ 事業所では「申込(希望)者全員に実施」が69.2%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」(48.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が66.1%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(52.5%)であった。

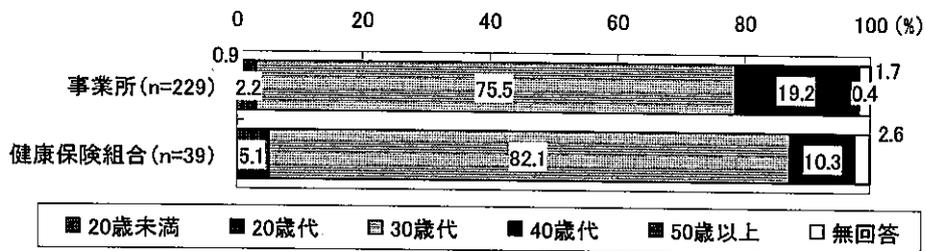
図 168 乳がん検診の受診対象(複数回答)



③ 乳がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が75.5%と最も多く、次いで「40歳代」(19.2%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が82.1%と最も多く、次いで「40歳代」(10.3%)であった。

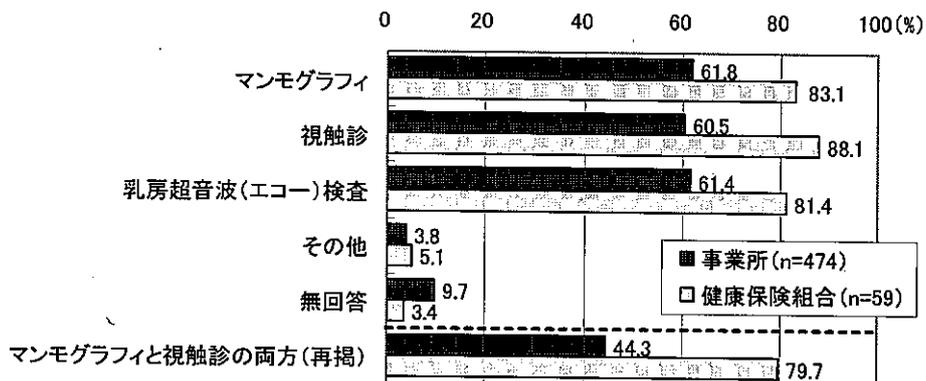
図 169 乳がん検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



④ 乳がん検診方法

- ・ 「マンモグラフィと視触診の両方」を実施する事業所は44.3%、健康保険組合は79.7%であった。
- ・ 事業所では「マンモグラフィ」が61.8%と最も多く、次いで「乳房超音波(エコー)検査」(61.4%)であった。
- ・ 健康保険組合では「視触診」が88.1%と最も多く、次いで「マンモグラフィ」(83.1%)であった。

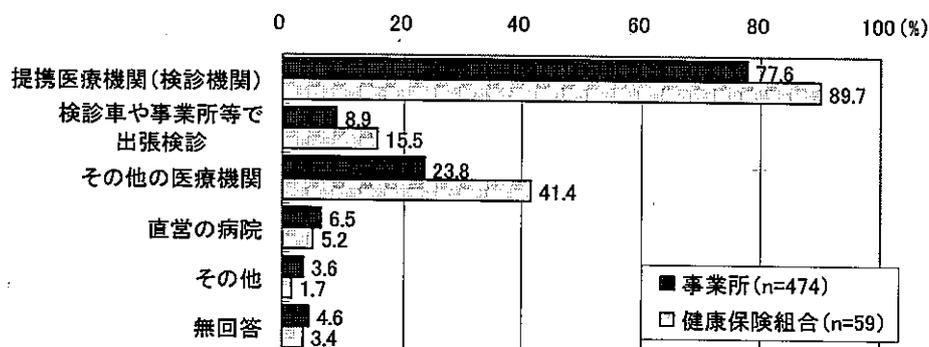
図 170 乳がん検査方法 (複数回答)



⑤ 乳がん検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が 77.6%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（23.8%）であった。
- ・ 健康保険組合は「提携医療機関（検診機関）」が 89.7%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（41.4%）であった。

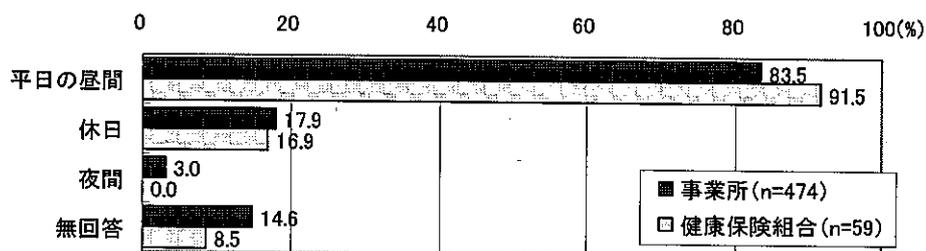
図 171 乳がん検診の実施場所（複数回答）



⑥ 乳がん検診の時間帯

- ・ 事業所では「平日の昼間」が 83.5%と最も多く、次いで「休日」（17.9%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 91.5%と最も多く、次いで「休日」（16.9%）であった。

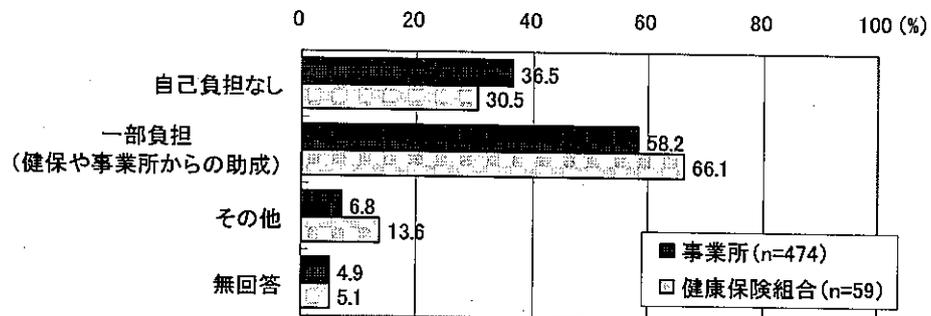
図 172 乳がん検診の時間帯（複数回答）



⑦ 乳がん検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 58.2%と最も多く、次いで「自己負担なし」（36.5%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 66.1%と最も多く、次いで「自己負担なし」（30.5%）であった。

図 173 乳がん検診費用の自己負担の状況（複数回答）

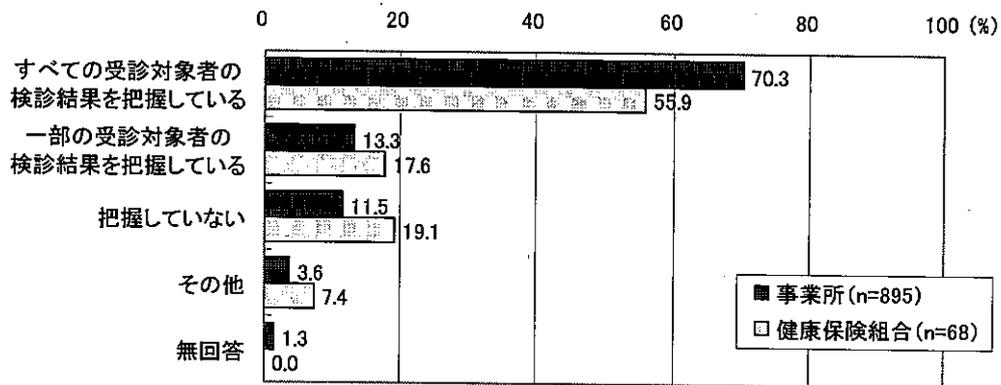


5 正社員又は被保険者への結果通知と精密検査の受診勧奨（問 2-3）

(1) 個人の検診結果の把握の有無

- ・ 事業所では「全ての受診対象者の検診結果を把握している」が 70.3%と最も多く、次いで「一部の受診対象者の検診結果を把握している」(13.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「全ての受診対象者の検診結果を把握している」が 55.9%と最も多く、次いで「把握していない」(19.1%)であった。

図 174 個人の検診結果の把握の有無

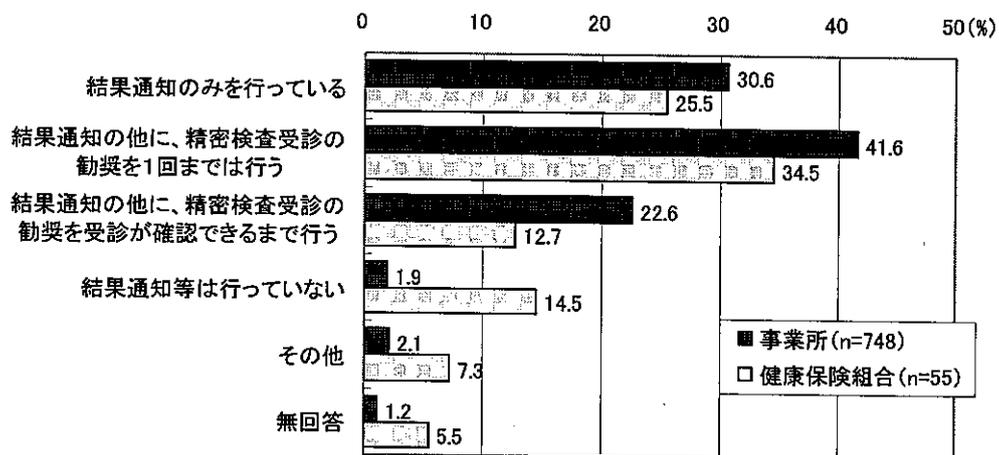


(2) 要精密検査の該当者への対応状況

〔検診結果を把握している場合の要精密検査該当者への対応〕

- ・ 事業所では「結果通知の他に、精密検査受診の勧奨を1回までは行う」が41.6%と最も多く、次いで「結果通知のみを行っている」(30.6%)であった。
- ・ 健康保険組合では「結果通知の他に、精密検査受診の勧奨を1回までは行う」が34.5%と最も多く、次いで「結果通知のみを行っている」(25.5%)であった。

図 175 要精密検査の該当者への対応状況

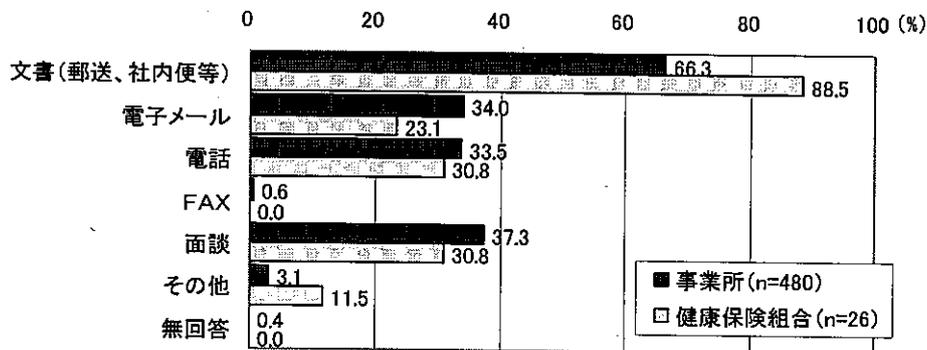


(3) 精密検査の受診勧奨方法

〔精密検査該当者への受診勧奨〕

- ・ 事業所では「文書（郵送、社内便等）」が 66.3%と最も多く、次いで「面談」（37.3%）であった。
- ・ 健康保険組合では「文書（郵送、社内便等）」が 88.5%と最も多く、次いで「電話」（30.8%）、「面談」（30.8%）であった。

図 176 精密検査の受診勧奨等の実施方法

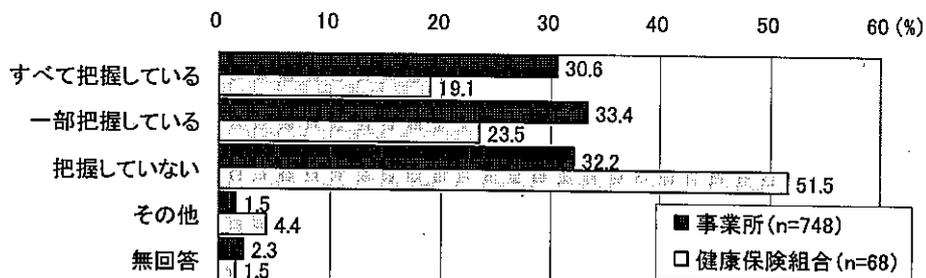


(4) 精密検査結果の把握の有無

〔個人の精密検査結果の把握状況〕

- ・ 事業所では「一部把握している」が 33.4%と最も多く、次いで「把握していない」（32.2%）であった。
- ・ 健康保険組合では「把握していない」が 51.5%と最も多く、次いで「一部把握している」（23.5%）であった。

図 177 個人の精密検査結果の把握の有無



6 がん検診の取り組み状況等 (問 4)

(1) がん検診の取り組み状況

① がん検診の受診率向上への取り組み

- ・ 事業所では「積極的に取り組んでいる」が 53.4%で、「積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない」が 44.3%であった。
- ・ 健康保険組合では「積極的に取り組んでいる」が 77.5%で、「積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない」が 21.1%であった。
- ・ 事業所規模別でも「積極的に取り組んでいる」と「積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない」の割合に差は見られなかった。

図 178 がん検診の受診率向上への取り組み

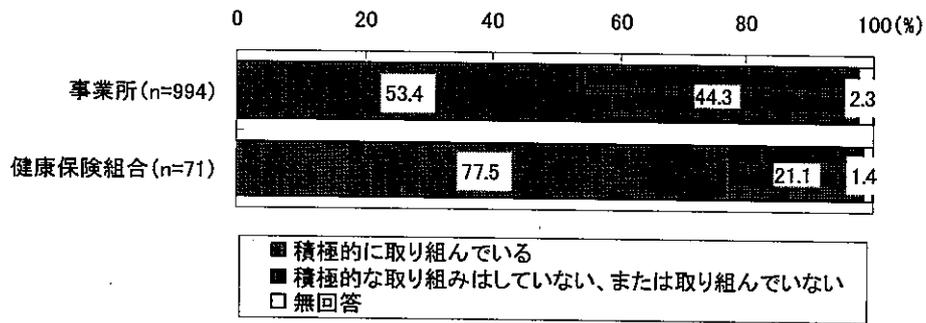
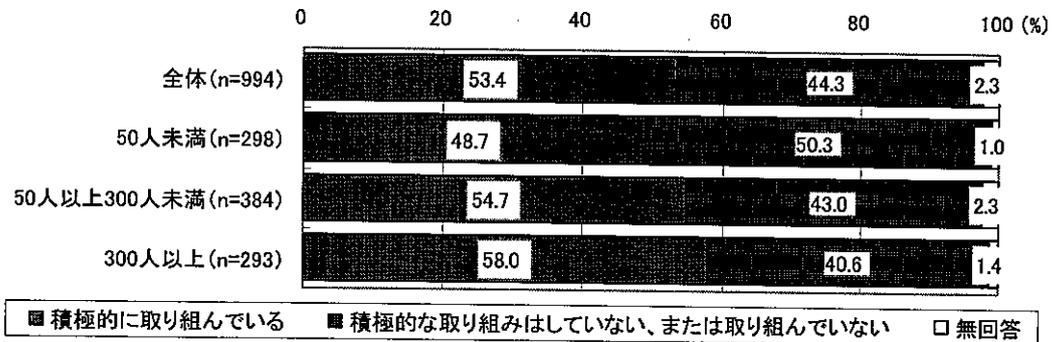


図 179 事業所規模別がん検診の受診率向上への取り組み

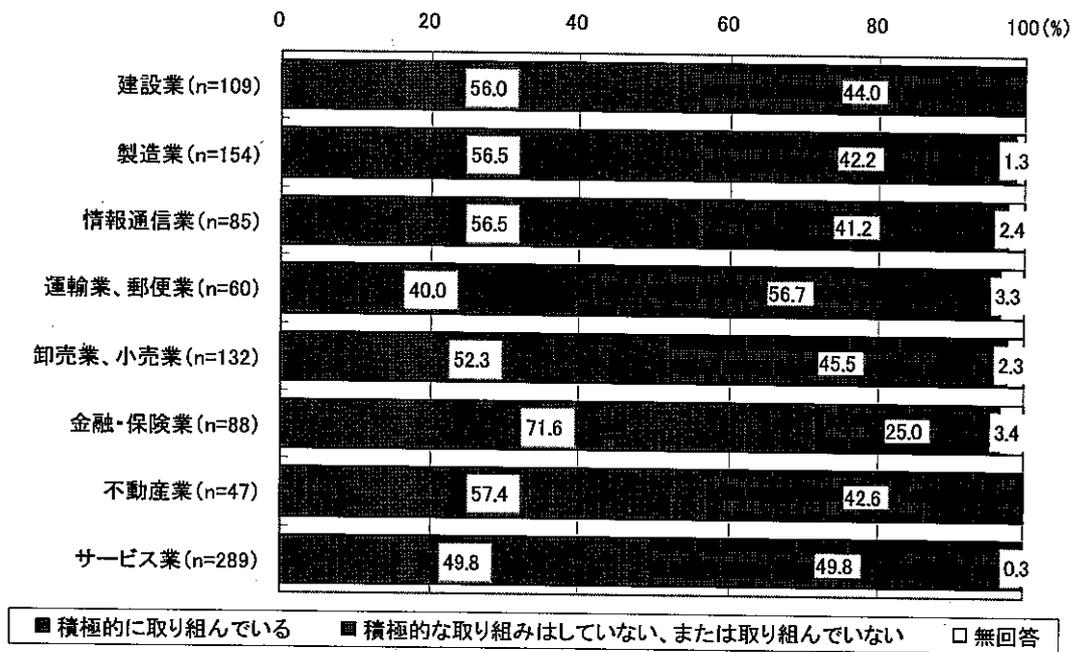


② 業種別のがん検診の受診率向上への取り組み（抜粋）

〔事業所のがん検診への取り組み意識を主たる業種別に集計〕

- ・ 「金融・保険業」は、「積極的に取り組んでいる」が71.6%と多かった。
- ・ 「運輸業、郵便業」では、「積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない」が56.7%と多かった。

図 180 業種別・がん検診の受診率向上への取り組み（抜粋）



注) 回答数が少ない業種については除外した。

③ 積極的に取り組んでいる理由

[P.156 ①で積極的に取り組んでいると回答した場合]

- ・ 事業所では「健康保険組合の意識が高く、連携した取り組みを求められた」が 50.8%と最も多く、次いで「企業が社会的責任の一つとしてがん検診等の実施を捉えている」(44.8%)であった。
- ・ 健康保険組合では「健保組合として、がん検診等の受診の重要性を理解している」が 90.9%と最も多く、次いで「保険給付費が増大しており、がん予防の重要性が認識されている」(38.2%)であった。

図 181 事業所：積極的に取り組んでいる理由（複数回答）

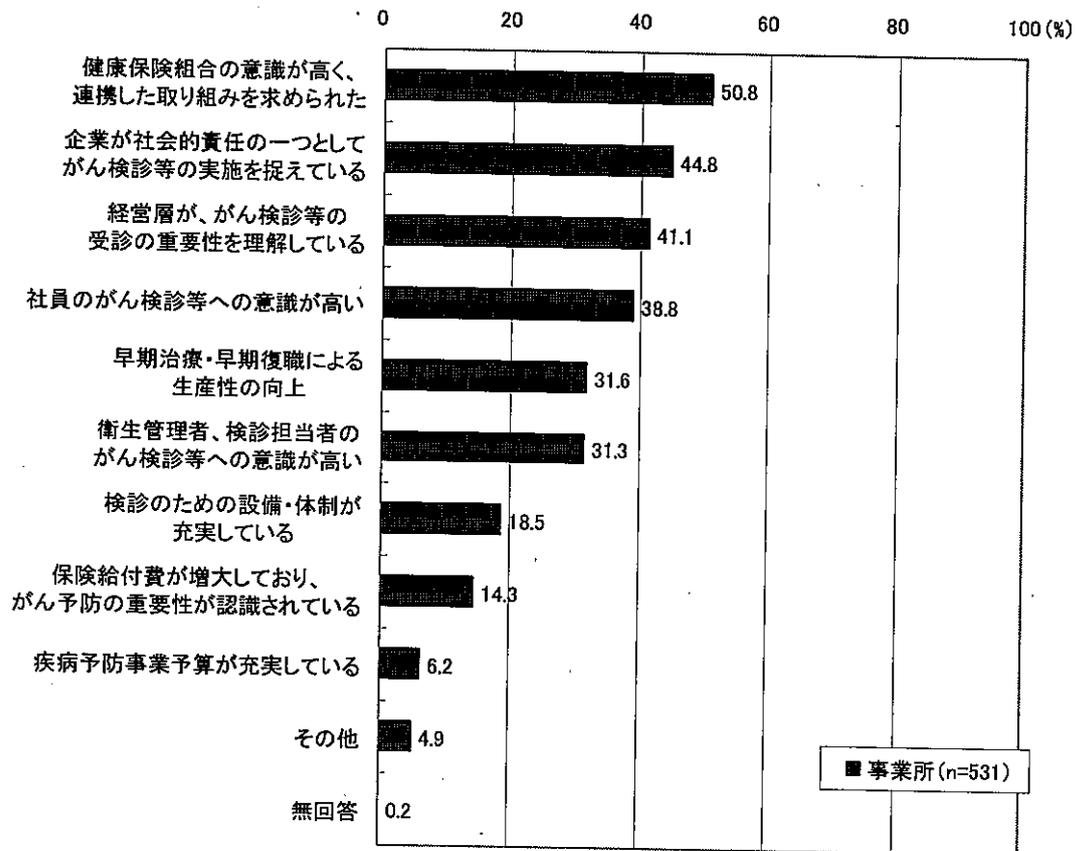
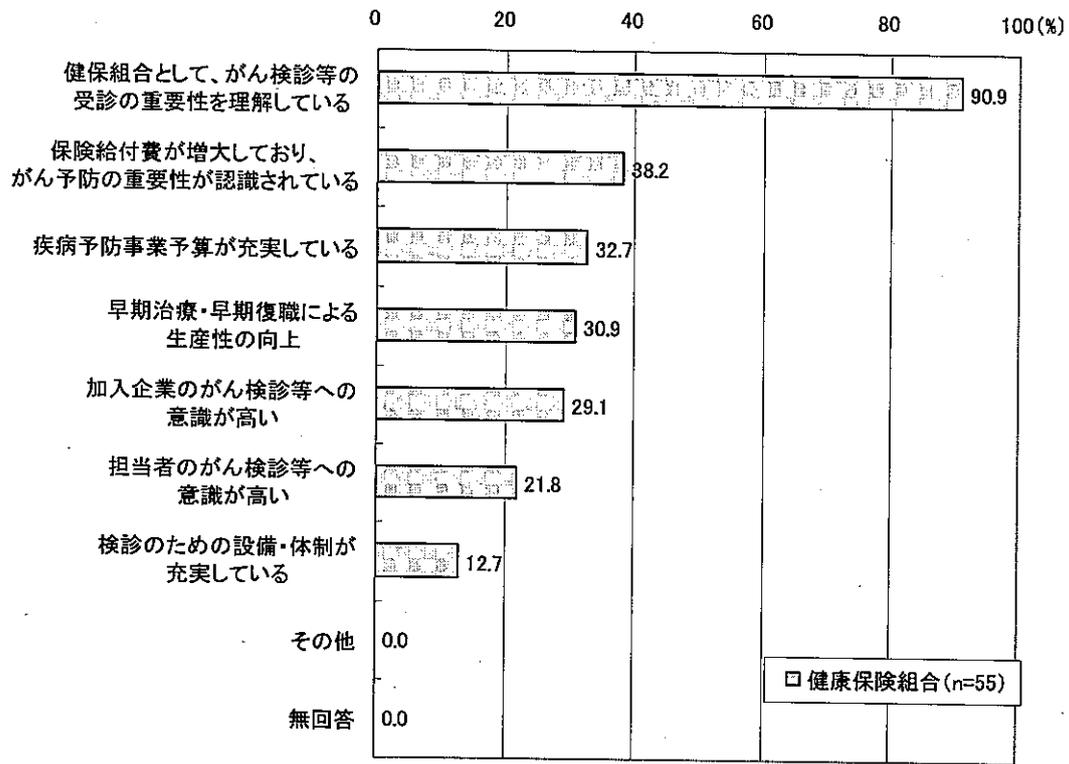


図 182 健康保険組合：積極的に取り組んでいる理由（複数回答）

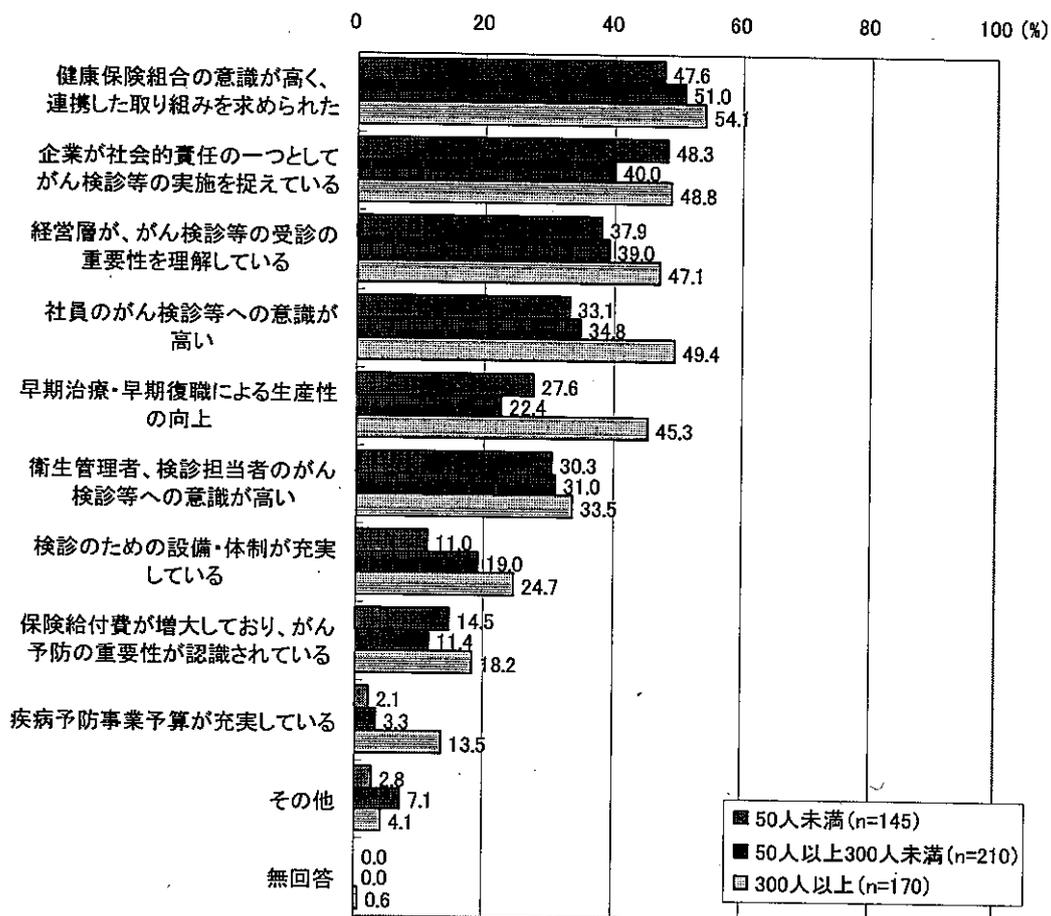


④ 積極的に取り組んでいる理由 [事業所規模別]

[P.156 ①で積極的に取り組んでいると回答した場合]

- ・ 50 人未満では「企業が社会的責任の一つとしてがん検診等の実施を捉えている」が 48.3%と最も多く、次いで「健康保険組合の意識が高く、連携した取り組みを求められた」(47.6%) であった。
- ・ 50 人以上 300 人未満では「健康保険組合の意識が高く、連携した取り組みを求められた」が 51.0%と最も多く、次いで「会社が社会的責任の一つとしてがん検診等の実施を捉えている」(40.0%) であった。
- ・ 300 人以上では「健康保険組合の意識が高く、連携した取り組みを求められた」が 54.1%と最も多く、次いで「社員のがん検診等への意識が高い」(49.4%) であった。

図 183 事業所規模別の積極的に取り組んでいる理由 (複数回答)

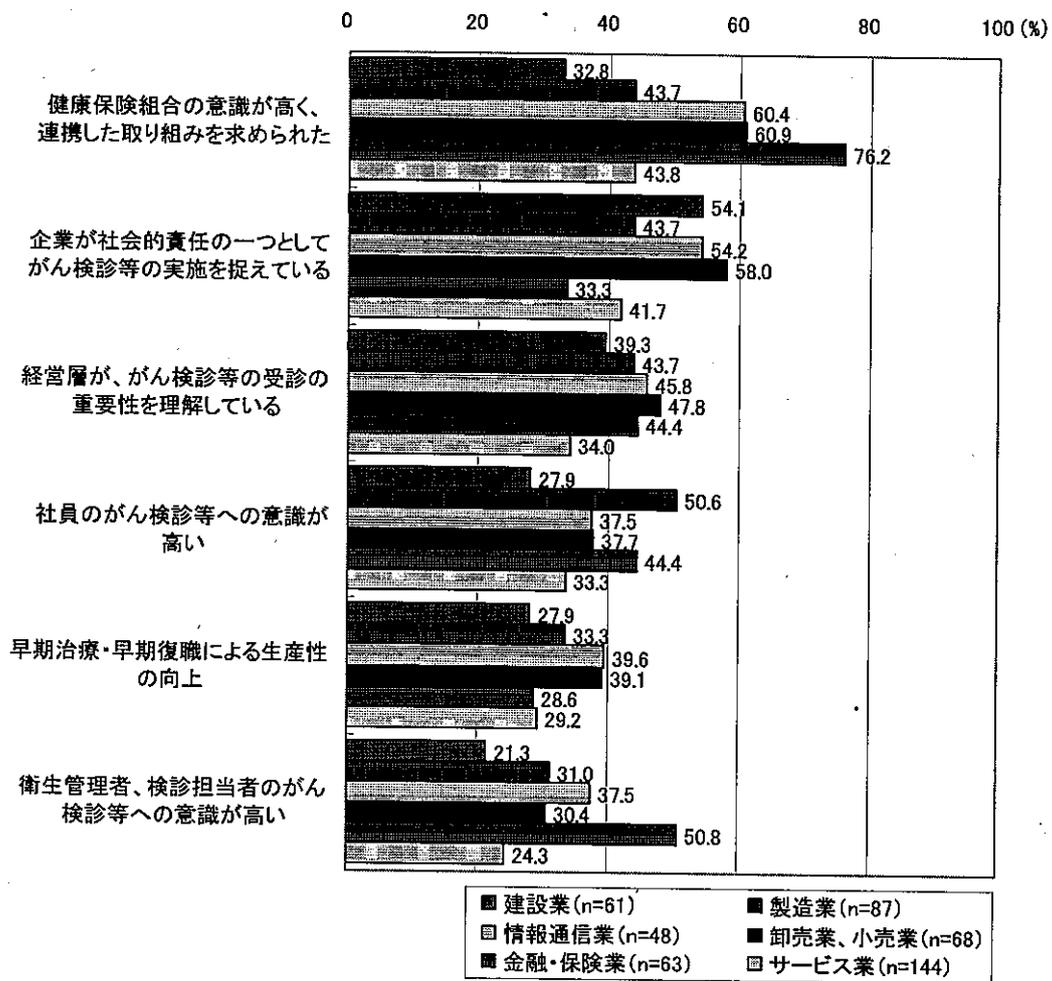


⑤ 積極的に取り組んでいる理由〔業種別〕（抜粋）

〔P.156 ①で積極的に取り組んでいると回答した場合〕

- ・ 「建設業」と「製造業」を除く4業種では、「健康保険組合の意識が高く、連携した取り組みを求められた」が最も多く、次いで、「情報通信業」、「卸売業、小売業」及び「サービス業」は「企業が社会的責任の一つとしてがん検診等の実施を捉えている」であり、「金融・保険業」は「衛生管理者、検診担当者のがん検診等への意識が高い」であった。
- ・ 「建設業」では、「企業が社会的責任の一つとしてがん検診等の実施を捉えている」が最も多く、次いで、「経営層が、がん検診等の受診の重要性を理解している」であった。
- ・ 「製造業」では、「社員のがん検診等への意識が高い」が最も多かった。

図 184 業種別の積極的に取り組んでいる理由（抜粋）



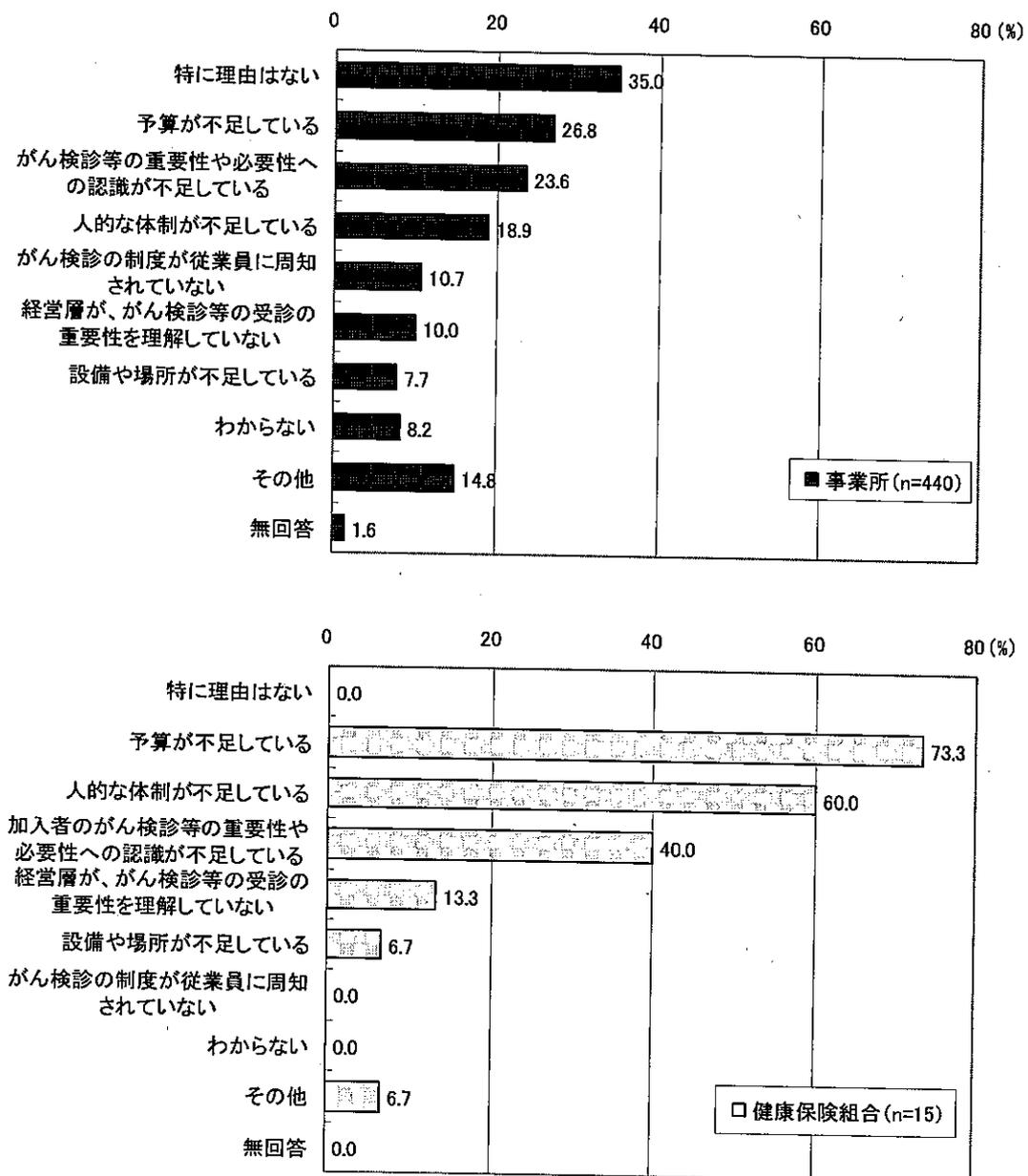
注) 回答数が少ない業種については除外した。

⑥ 取り組みに消極的、または、取り組んでいない理由

[P.156 ①で積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいないと回答した場合]

- ・ 事業所では「特に理由はない」が 35.0%と最も多く、次いで「予算が不足している」(26.8%)であった。
- ・ 健康保険組合では「予算が不足している」が 73.3%と最も多く、次いで「人的な体制が不足している」(60.0%)であった。

図 185 取り組みに消極的、または、取り組んでいない理由 (複数回答)

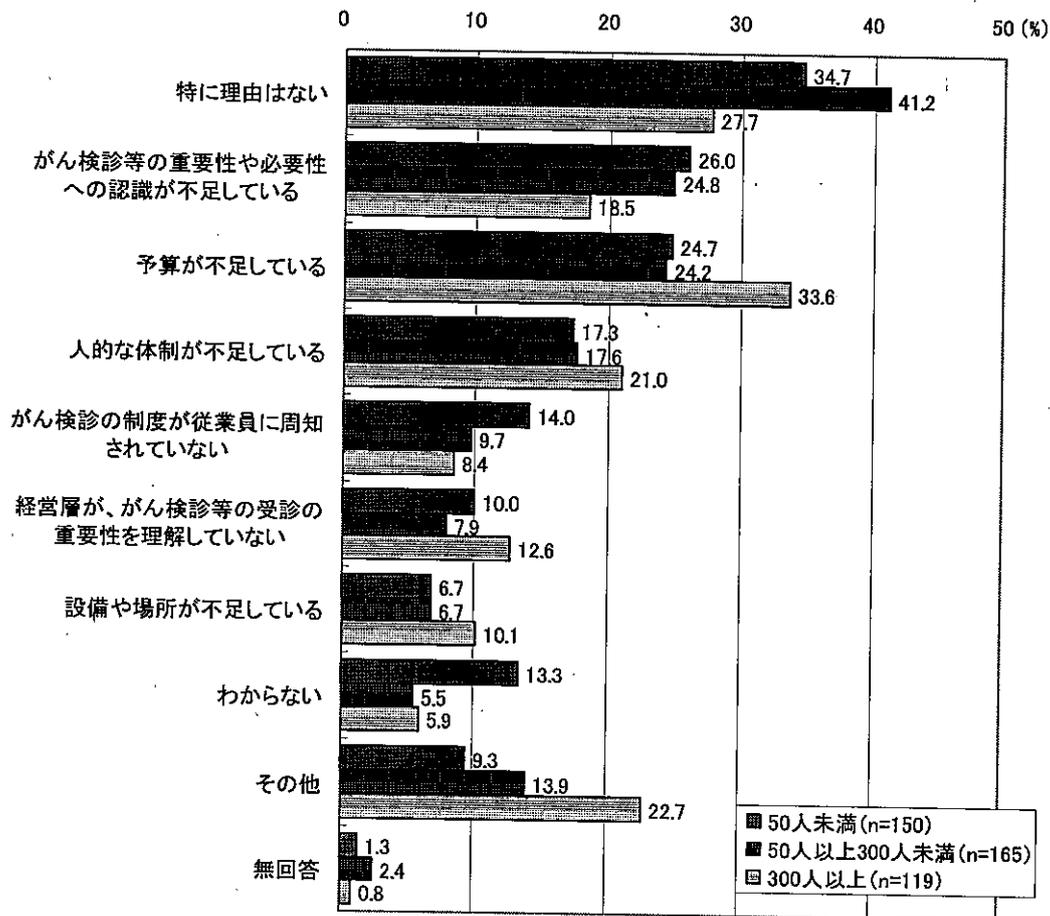


⑦ 取り組みに消極的、または、取り組んでいない理由 [事業所規模別]

[P.156 ①で積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいないと回答した場合]

- ・ 「50人未満」および「50人以上300人未満」では「特に理由はない」が最も多く、次いで「がん検診等の重要性や必要性への認識が不足している」であった。
- ・ 「300人以上」では「予算が不足している」が33.6%と最も多く、次いで「特に理由はない」(27.7%)であった。

図 186 事業所規模別の取り組みに消極的、または、取り組んでいない理由 (複数回答)

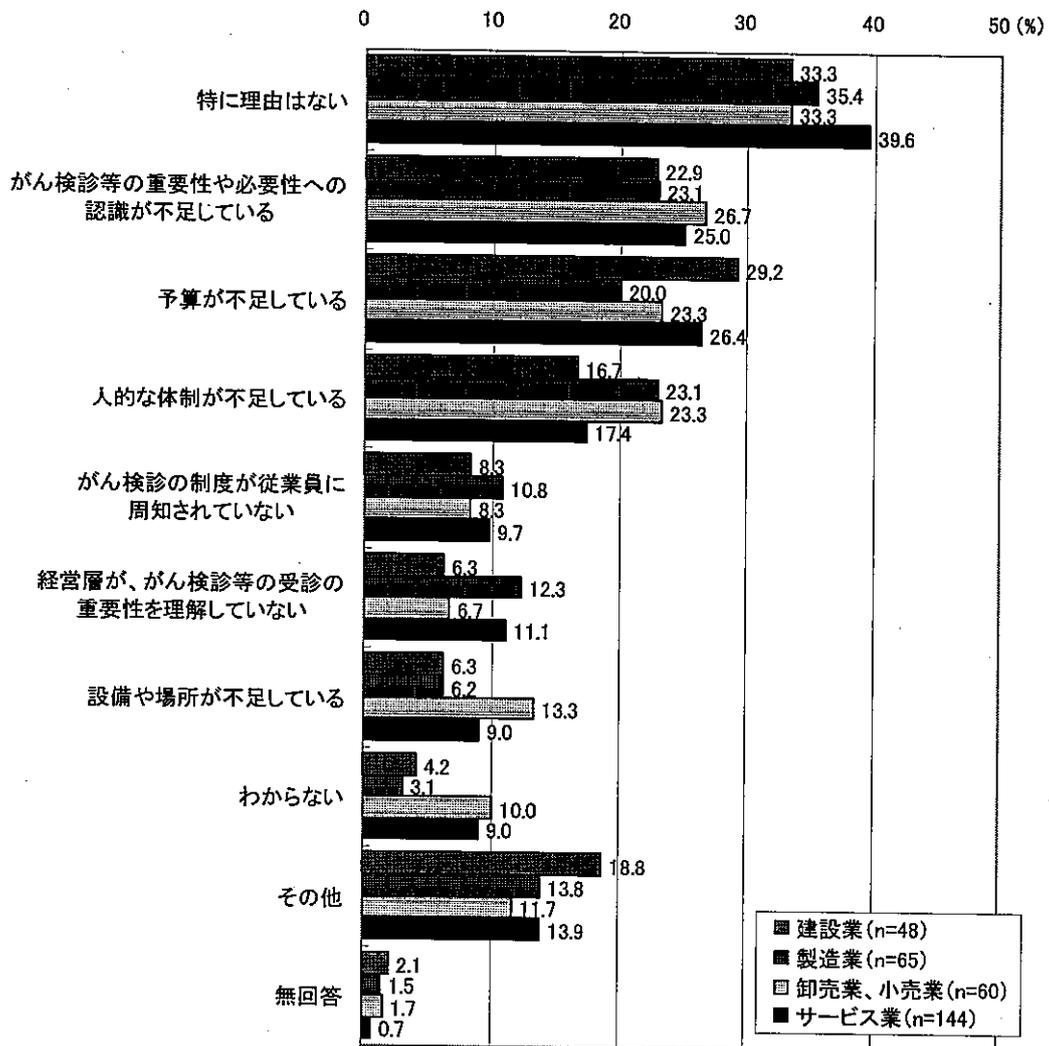


⑧ 取り組みに消極的、または取り組んでいない理由【業種別】（抜粋）

[P.156 ①で積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいないと回答した場合]

・ 全ての業種において、「特に理由はない」が3割～4割と最も多く、次いで、「製造業」及び「卸売業、小売業」は、「がん検診等の重要性や必要性への認識が不足している」であり、「建設業」及び「サービス業」は、「予算が不足している」であった。

図 187 業種別のがん検診に消極的、または、取り組んでいない理由（抜粋）



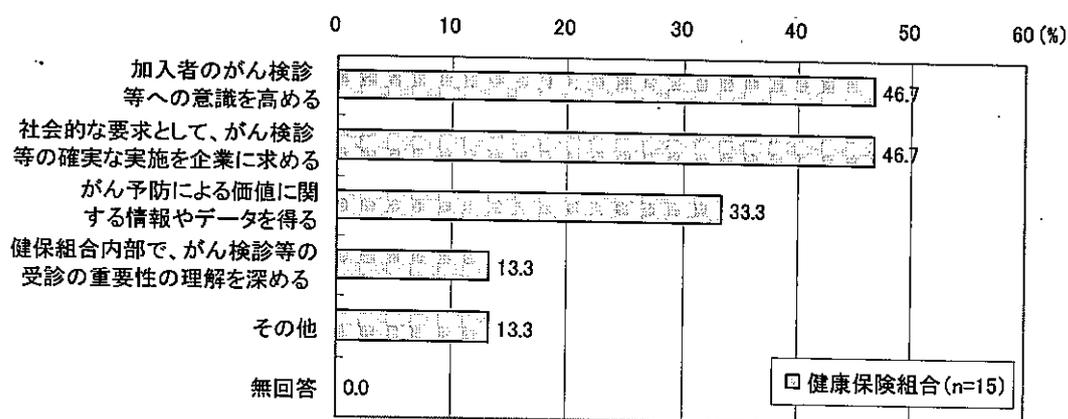
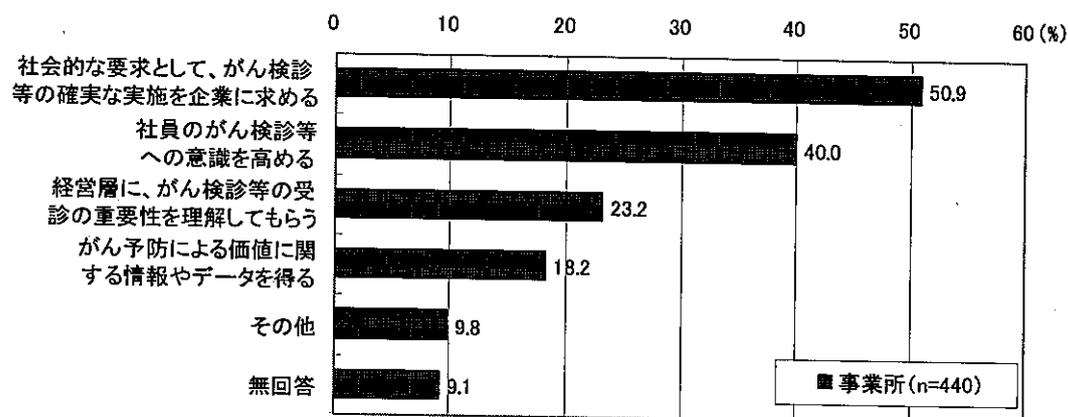
注) 回答数が少ない業種については除外した。

⑨ より積極的に取り組むために有効と思われる支援条件

[P.156 ①で積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいないと回答した場合]

- ・ 事業所では「社会的な要求として、がん検診等の確実な実施を企業に求める」が50.9%と最も多く、次いで「社員のがん検診等への意識を高める」(40.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「加入者のがん検診等への意識を高める」が46.7%、「社会的な要求として、がん検診等の確実な実施を企業に求める」が46.7%と多く、次いで「がん予防による価値に関する情報やデータを得る」(33.3%)であった。

図 188 より積極的に取り組むために有効と思われる支援条件 (複数回答)



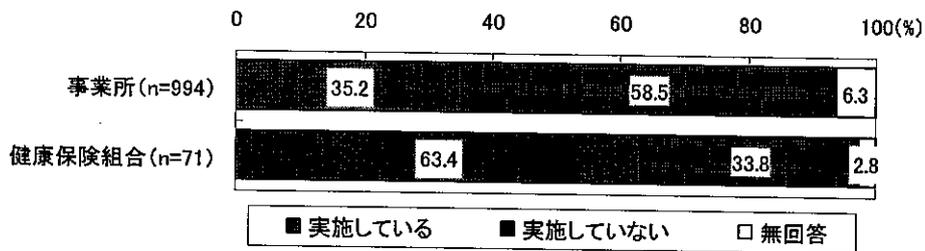
注) がん予防による価値とは、社員満足度向上、休業疾病による社会的損失の抑制、科学的効果等。

(2) がん検診の広報・普及啓発について

① 広報・普及啓発の実施状況

・ 事業所では「実施している」が35.2%で、「実施していない」が58.5%であった。
 ・ 健康保険組合では「実施している」が63.4%で、「実施していない」が33.8%であった。

図 189 広報・普及啓発の実施状況

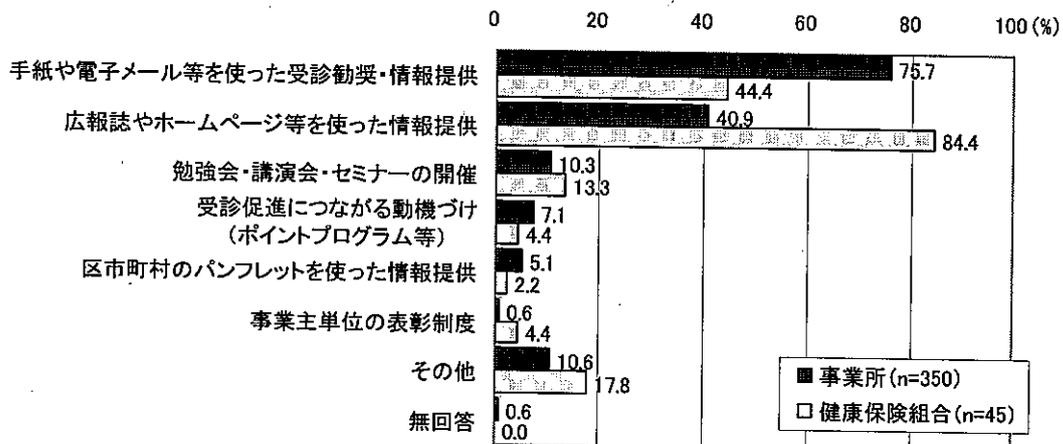


② 広報・普及啓発の方法

[広報・普及啓発を実施している場合]

・ 事業所では「手紙や電子メール等を使った受診勧奨・情報提供」が75.7%と最も多く、次いで「広報誌やホームページ等を使った情報提供」(40.9%)であった。
 ・ 健康保険組合では「広報誌やホームページ等を使った情報提供」が84.4%と最も多く、次いで「手紙や電子メール等を使った受診勧奨・情報提供」(44.4%)であった。

図 190 広報・普及啓発の方法 (複数回答)

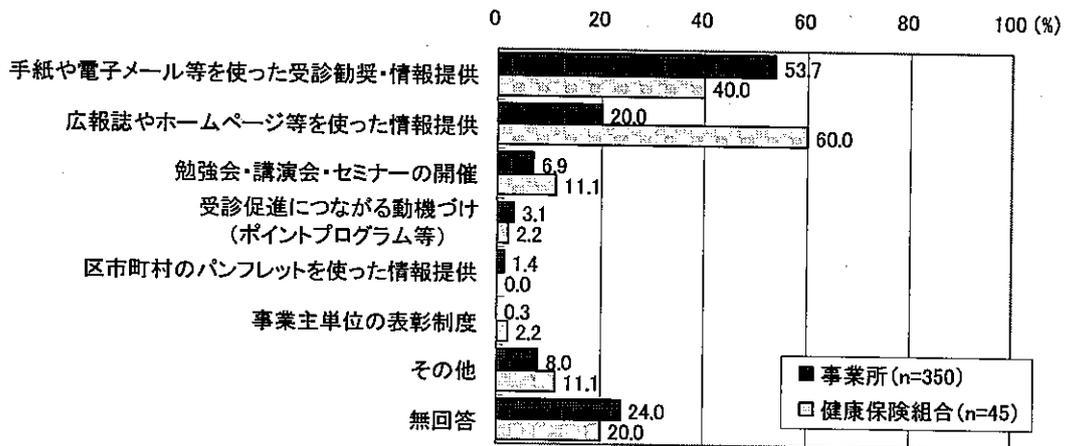


③ 特に効果的だと思われる普及啓発の方法

[広報・普及啓発を実施している場合、特に効果的だと思う方法]

- ・ 事業所では「手紙や電子メール等を使った受診勧奨・情報提供」が 53.7%と最も多く、次いで「広報誌やホームページ等を使った情報提供」(20.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「広報誌やホームページ等を使った情報提供」が 60.0%と最も多く、次いで「手紙や電子メール等を使った受診勧奨・情報提供」(40.0%)であった。

図 191 特に効果的だと思われる普及啓発の方法 (複数回答)

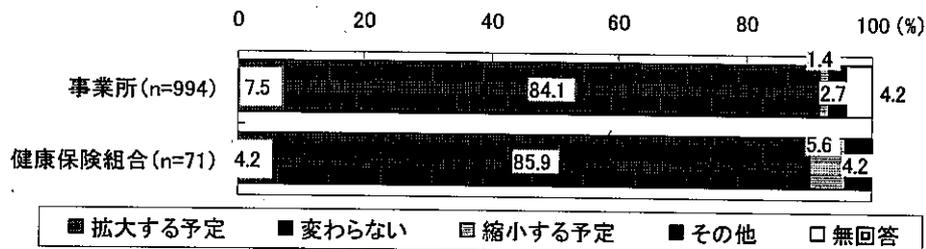


7 今後のがん検診について（問5）

(1) 今後のがん検診に関する事業の予定

- ・ 事業所では「変わらない」が 84.1%と最も多く、次いで「拡大する予定」(7.5%)であった。
- ・ 健康保険組合では「変わらない」が 85.9%と最も多く、次いで「縮小する予定」(5.6%)であった。

図 192 今年度のがん検診に関する事業の状況



(2) がん検診に関する事業を縮小する理由

〔(1) で今後のがん検診に関する事業を「縮小する予定」だった場合〕

- ・ 事業所では「特定健診・特定保健指導を実施するから」が 71.4%と最も多く、次いで「予算縮小のため」(50.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「予算縮小のため」が 75.0%と最も多く、次いで「特定健診・特定保健指導を実施するから」(50.0%)であった。

表 32 がん検診に関する事業を縮小する理由（複数回答）

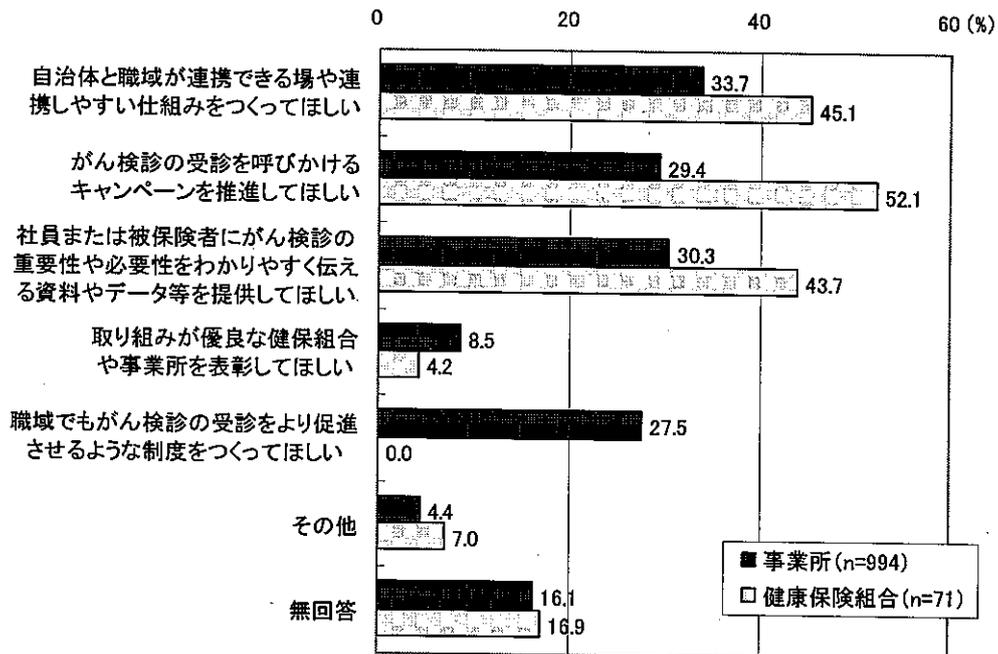
	件数	特定健診・ 特定保健指 導を実施す るから	予算縮小 のため	マンパワ ーの不足	その他	無回答
事業所	14	10 (71.4)	7 (50.0)	- (-)	- (-)	- (-)
健康保険組合	4	2 (50.0)	3 (75.0)	- (-)	- (-)	- (-)

8 がん検診に関する行政への要望（問6）

〔がん検診に関する都や区市町村に対する要望〕

- ・ 事業所では「自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みをつくってほしい」が33.7%と最も多く、次いで「社員にがん検診の重要性や必要性をわかりやすく伝える資料やデータ等を提供してほしい」（30.3%）であった。
- ・ 健康保険組合では「がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンを推進してほしい」が52.1%と最も多く、次いで「自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みをつくってほしい」（45.1%）であった。

図 193 がん検診に関する都や区市町村に対する要望（複数回答）



9 正社員の受診状況について [参考]

(1) 算定方法

がん検診を実施している事業所における、正社員の受診状況を以下のように算出し比較した。

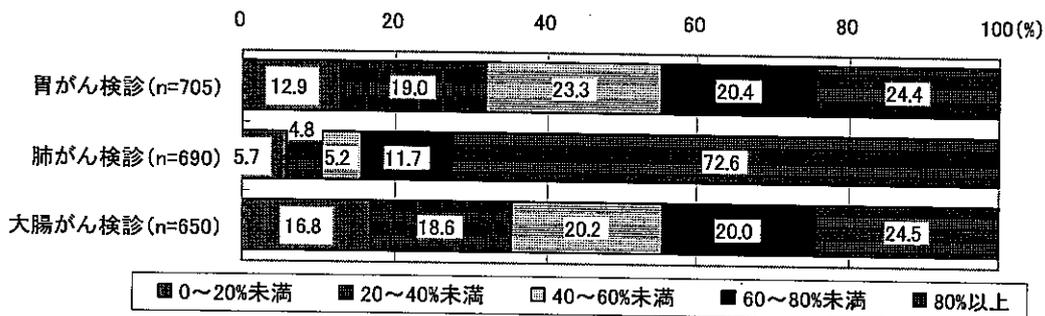
$$\text{受診状況(\%)} = \frac{\text{2007年度の受診者数(人)}}{\text{受診対象人数(人)}} \times 100$$

- ※ 年齢制限を設けて実施しており、かつ40歳以上を対象としている事業所を抽出し、その対象人数を「受診対象人数」とみなして算出した。
- ※ 事業所規模が小さいほど（受診対象人数が小さいほど）、受診状況の変動幅が大きくなるため結果の解釈に当たっては注意が必要である。
- ※ 女性のみを対象とした子宮がん検診、乳がん検診については、本調査において女性受診対象者数を把握していないため分析の対象としていない。

(2) 胃・肺・大腸がん検診（正社員）の受診状況

- ・ 胃がん検診は、「80%以上」が24.4%と最も多く、次いで「40～60%未満」(23.3%)であった。
- ・ 肺がん検診は、「80%以上」が72.6%と最も多く、次いで「60～80%未満」(11.7%)であった。
- ・ 大腸がん検診は、「80%以上」が24.5%と最も多く、次いで「40～60%未満」(20.2%)であった。

図 194 胃・肺・大腸がん検診（正社員）の受診状況



10 肝炎ウイルス検診の実施状況及び受診状況等 (問3)

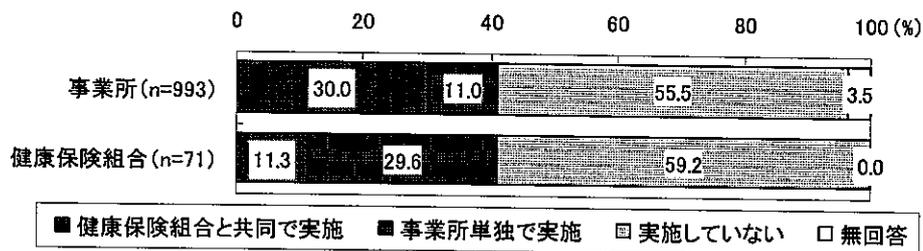
(1) 正社員又は被保険者について

事業所に対しては正社員の肝炎ウイルス検診の実施状況の実施状況を、健康保険組合に対しては被保険者の肝炎ウイルス検診の実施状況を調査した。

① 肝炎ウイルス検診の実施状況

- ・ 事業所では「実施していない」が55.5%と最も多く、次いで「事業所と健康保険組合が共同で実施」(30.0%)、「単独で実施」(11.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「実施していない」が59.2%と最も多く、次いで「単独で実施」(29.6%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(11.3%)であった。

図 195 肝炎ウイルス検診の実施状況

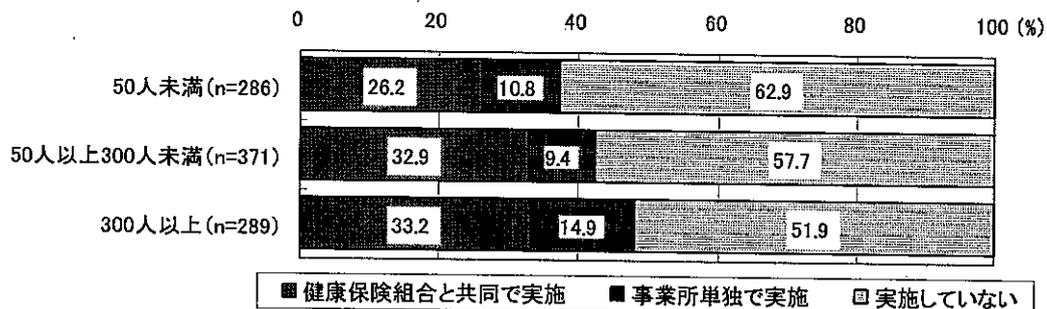


② 肝炎ウイルス検診の事業所規模別実施率

[肝炎ウイルス検診の実施率を業種別に集計]

- ・ 全ての事業所規模で、「実施していない」が最も多く、次いで「健康保険組合と共同で実施」であった。

図 196 肝炎ウイルス検診：事業所規模別実施率



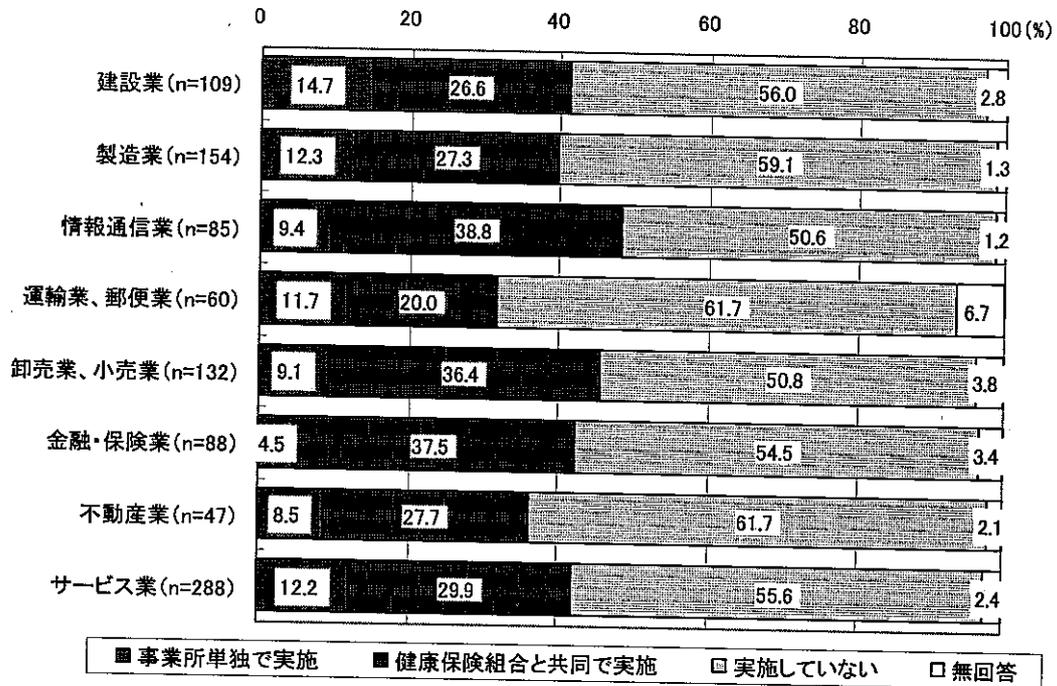
正社員及び被保険者

③ 肝炎ウイルス検診の主たる業種別実施率（抜粋）

〔肝炎ウイルス検診の実施率を業種別に集計〕

- ・ 8 業種全てにおいて、「実施していない」が最も多く、次いで「健康保険組合と共同で実施」であった。

図 197 肝炎ウイルス検診：事業所の主たる業種別実施率（抜粋）

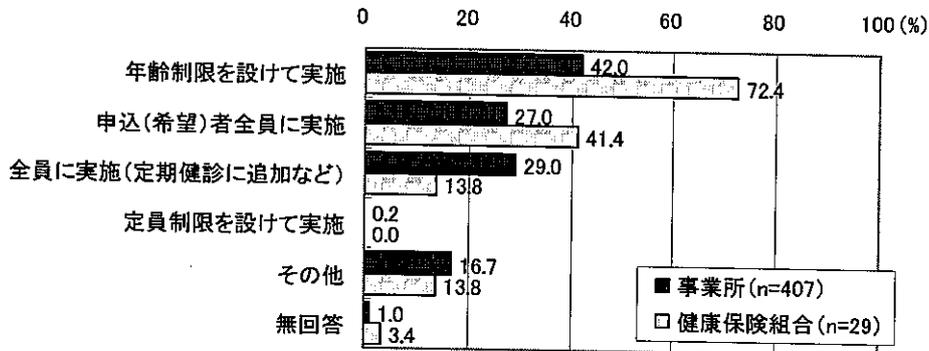


注) 回答数が少ない業種については除外した。

④ 肝炎ウイルス検診の受診対象

- ・ 事業所では「年齢制限を設けて実施」が42.0%と最も多く、次いで「全員に実施（定期健康診断に追加など）」（29.0%）であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が72.4%と最も多く、次いで「申込（希望）者全員に実施」（41.4%）であった。

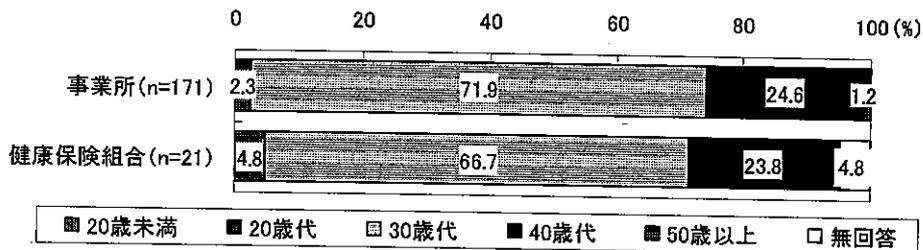
図 198 肝炎ウイルス検診の受診対象（複数回答）



⑤ 肝炎ウイルス検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が71.9%と最も多く、次いで「40歳代」（24.6%）であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が66.7%と最も多く、次いで「40歳代」（23.8%）であった。

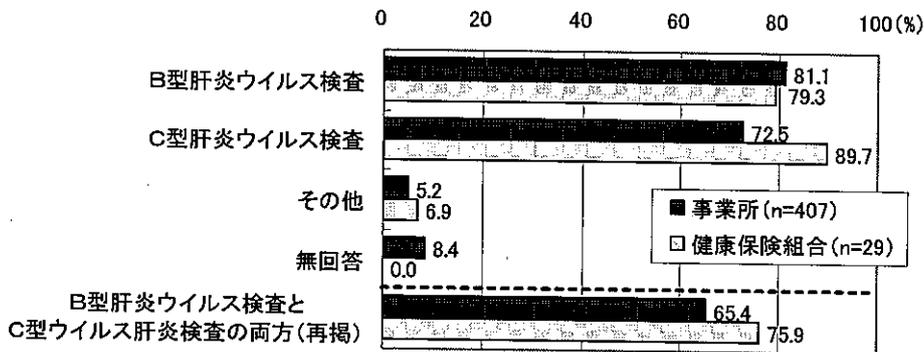
図 199 肝炎ウイルス検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



⑥ 肝炎ウイルス検診の検査項目

- ・ 事業所では「B型肝炎ウイルス検査」が81.1%と多く、次いで「C型肝炎ウイルス検査」(72.5%)であった。
- ・ 健康保険組合では「C型肝炎ウイルス検査」が89.7%と多く、次いで「B型肝炎ウイルス検査」(79.3%)であった。
- ・ 「B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査の両方」を実施する事業所は65.4%、健康保険組合では75.9%であった。

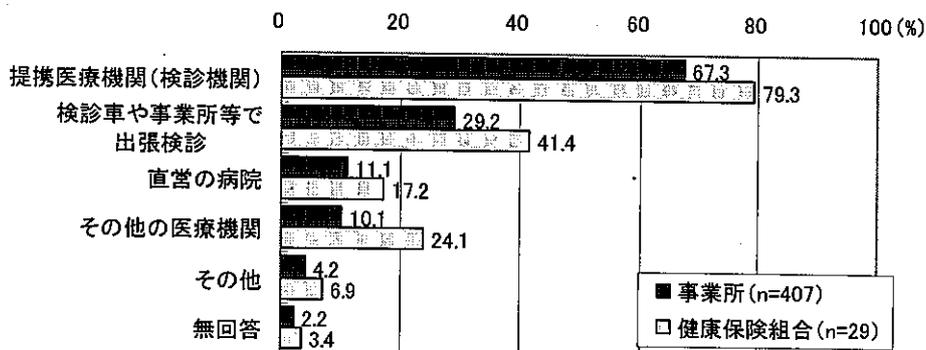
図 200 肝炎ウイルス検診の検査項目 (複数回答)



⑦ 肝炎ウイルス検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関 (検診機関)」が67.3%と最も多く、次いで「検診車や事業所等出張検診」(29.2%)であった。
- ・ 健康保険組合では「提携医療機関 (検診機関)」が79.3%と最も多く、次いで「検診車や事業所等出張検診」(41.4%)であった。

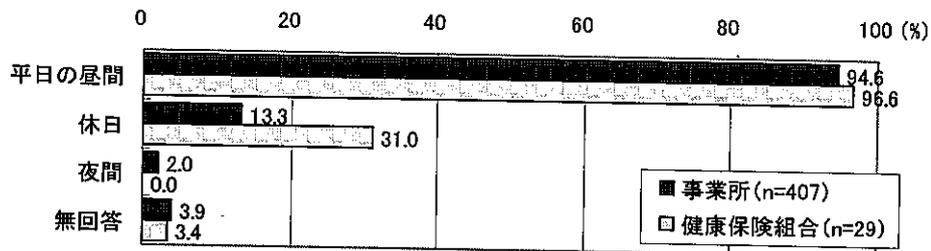
図 201 肝炎ウイルス検診の実施場所 (複数回答)



⑧ 肝炎ウイルス検査を受診できる時間帯

- ・ 事業所では「平日の昼間」が 94.6%と最も多く、次いで「休日」(13.3%)であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 96.6%と最も多く、次いで「休日」(31.0%)であった。

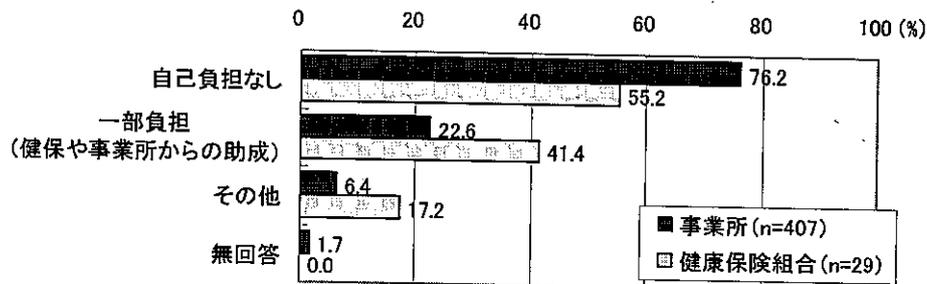
図 202 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯 (複数回答)



⑨ 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「自己負担なし」が 76.2%と最も多く、次いで「一部負担 (健康保険組合や事業所からの助成)」(22.6%)であった。
- ・ 健康保険組合では「自己負担なし」が 55.2%と最も多く、次いで「一部負担 (健康保険組合や事業所からの助成)」(41.4%)であった。

図 203 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況 (複数回答)



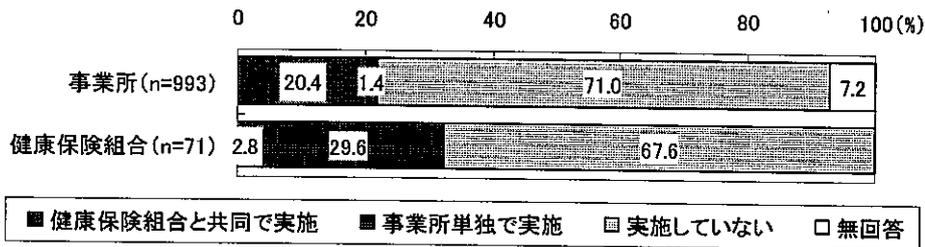
(2) 正社員の家族または被扶養者について

事業所に対しては正社員の家族の肝炎ウイルス検診の実施状況の実施状況を、健康保険組合に対しては被扶養者の肝炎ウイルス検診の実施状況を調査した。

① 肝炎ウイルス検診の実施状況

- ・ 事業所では「実施していない」が71.0%と最も多く、次いで「事業所と健康保険組合が共同で実施」(20.4%)、「単独で実施」(1.4%)であった。
- ・ 健康保険組合では「実施していない」が67.6%と最も多く、次いで「単独で実施」(29.6%)、「事業所と健康保険組合が共同で実施」(2.8%)であった。

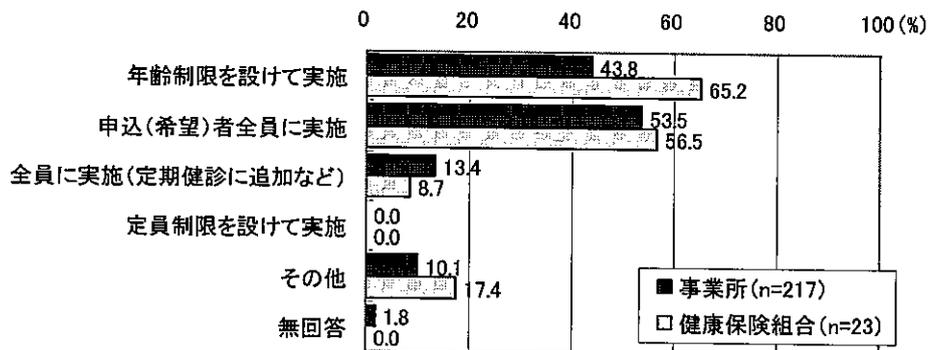
図 204 肝炎ウイルス検診の実施状況



② 肝炎ウイルス検診の受診対象

- ・ 事業所では「申込(希望)者全員に実施」が53.5%と最も多く、次いで「年齢制限を設けて実施」(43.8%)であった。
- ・ 健康保険組合では「年齢制限を設けて実施」が65.2%と最も多く、次いで「申込(希望)者全員に実施」(56.5%)であった。

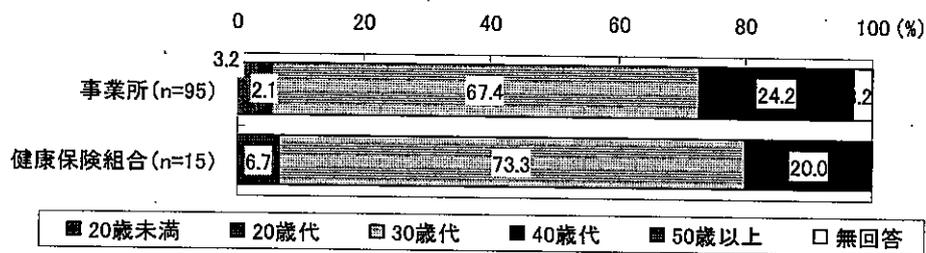
図 205 肝炎ウイルス検診の受診対象 (複数回答)



③ 肝炎ウイルス検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限

- ・ 事業所では「30歳代」が67.4%と最も多く、次いで「40歳代」(24.2%)であった。
- ・ 健康保険組合では「30歳代」が73.3%と最も多く、次いで「40歳代」(20.0%)であった。

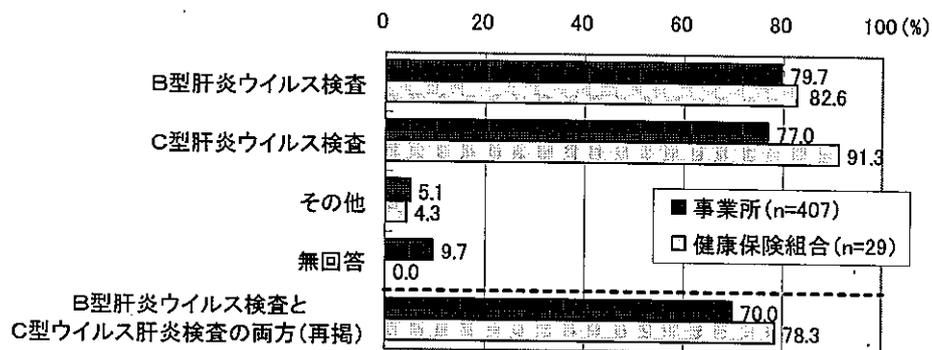
図 206 肝炎ウイルス検診に年齢制限を設けて実施する場合の対象年齢の下限



④ 肝炎ウイルス検診の検査方法

- ・ 事業所では「B型肝炎ウイルス検査」が79.7%と多く、次いで「C型肝炎ウイルス検査」(77.0%)であった。
- ・ 健康保険組合では「C型肝炎ウイルス検査」が91.3%と多く、次いで「B型肝炎ウイルス検査」(82.6%)であった。
- ・ 「B型肝炎ウイルス検査とC型肝炎ウイルス検査の両方」を実施する事業所は70.0%、健康保険組合では78.3%であった。

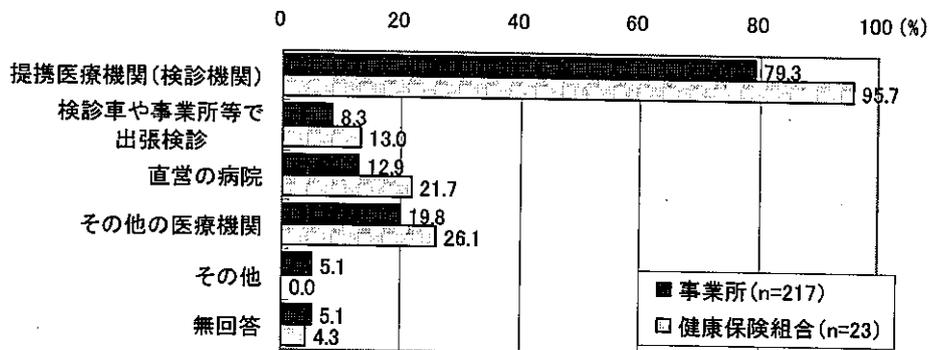
図 207 肝炎ウイルス検診の検査方法 (複数回答)



⑤ 肝炎ウイルス検診の実施場所

- ・ 事業所では「提携医療機関（検診機関）」が 79.3%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（19.8%）であった。
- ・ 健康保険組合では「提携医療機関（検診機関）」が 95.7%と最も多く、次いで「その他の医療機関」（26.1%）であった。

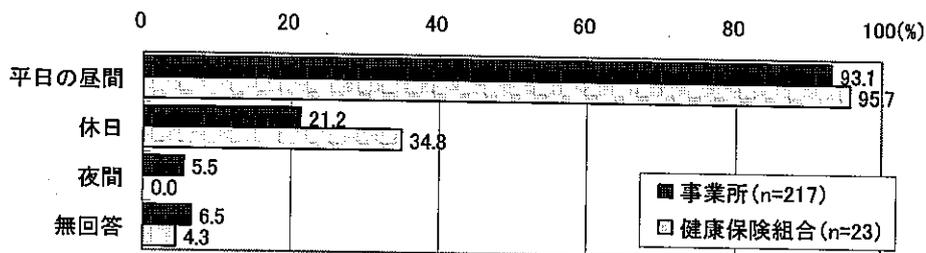
図 208 肝炎ウイルス検診の実施場所



⑥ 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯

- ・ 事業所では「平日の昼間」が 93.1%と最も多く、次いで「休日」（21.2%）であった。
- ・ 健康保険組合では「平日の昼間」が 95.7%と最も多く、次いで「休日」（34.8%）であった。

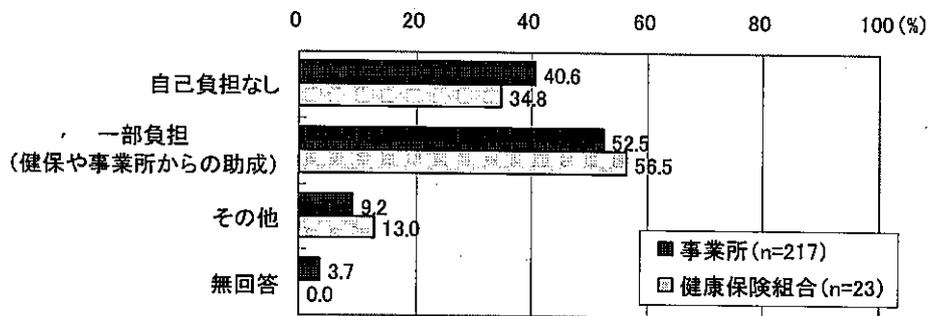
図 209 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯（複数回答）



⑦ 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況

- ・ 事業所では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 52.5%と最も多く、次いで「自己負担なし」（40.6%）であった。
- ・ 健康保険組合では「一部負担（健康保険組合や事業所からの助成）」が 56.5%と最も多く、次いで「自己負担なし」（34.8%）であった。

図 210 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況（複数回答）



第 3 章 事例紹介

第3章 事例紹介

事例 1

1. 事業所概要

- 主な事業内容：電気供給業
- 事業所規模：東京支社 従業員数35人

※ 事業所でのがん検診の位置づけが健診であるため、表記を「健診」としています。

2. 健診に対する取り組み内容

(1) 健診の実施体制

◎ 本社・支社で連携した健診実施

健診のお知らせは、メールと文書で送付される。

受診時に必要な大腸がん健診のキット等は、提携医療機関から支社の健康管理部門担当者へ送付され、受診対象の社員へ渡される。

支社において、日程を調整して提携医療機関へ予約を行い、社員の健診日時を決定する。

東京支社は、全員が同じ月（1ヶ月以内）に健診日が設けられていることで、社員の受診意識も高まっている。

◎ システムにおける一元管理

健診結果は、実施医療機関から本社の健康管理部門へ送付され、健康管理ソフトに反映後、各支社の担当者を通じて、社員へ渡される。

また、システムで未受診者の管理や健康状態の確認、要精密検査となった場合のデータ活用をする。

(2) 精密検査への対応方法

◎ 精密検査へのフォロー体制

精密検査の対象者へは、検査内容が対応している場合は提携医療機関での受診を勧め、対応できない場合は、別の専門医療機関での受診を勧めている。

精密検査についても、「健診」として位置づけ、会社で健診費用を負担している。

ただし、検査と同時に治療が行われる場合もあるため、社員への精密検査の案内に医療内容によっては、医療保険の範囲の自己負担が生じることを明記している。

◎ 精密検査の結果把握

一次検診と同様に、提携医療機関で受診した場合は、健診結果が本社の健康管理部門に通知される。

また、別の医療機関で受診した場合は、会社に精密検査費用を請求する際に健診結果を添付して提出し、償還払いすることで把握している。

(3) 保健専門スタッフによるサポート

◎ 定期的な保健師のサポート

本社健康管理部門の保健師が月1回、支社へ出張し、定期的に健康相談や未受診者への受診勧奨等を行い、社員のケアを実施している。

保健専門スタッフから継続的に受診勧奨することで、健診受診率の向上に結びついていると思われる。

◎ 健康情報の発信

提携医療機関の保健師が作成する健康便り（健康に関するトピックスを掲載）を毎月全社員へ配信し、健康意識を高める取組みを行なっている。

◎ 産業医と健診の医師が同一であることのメリット

東京支社においては、産業医と健診医が同一であるため、速やかに総合的な判断、対応ができる。

検診の基本情報

◇ 検診を実施している対象者（正社員・家族）

【社員の健康管理の観点からがん検診を実施】

がん検診の種類	正社員	家族
胃がん検診	35歳と40歳以上全員	健康保険組合で40歳以上に実施
肺がん検診	社員全員	
大腸がん検診	30歳以上	健康保険組合で年齢制限なしで実施（任意）
子宮がん検診 乳がん検診	女性社員全員（任意）	健康保険組合において一定額まで補助
前立腺がん検診	50歳以上の男性社員全員（任意）	なし
検診費用の自己負担	自己負担なし（腫瘍マーカー等の検査は自己負担あり）	健康保険組合において補助（自己負担あり）

◇ 検診機関及び実施場所等

①検診実施機関と規模	提携する医療機関（東京支社1ヶ所 家族も同じ医療機関で受診可能）
②検診機関の選定基準	本社が統一的に示す健診項目が実施可能な医療機関であること。 健診結果を健康管理部門へ通知することが可能であること。
③検診項目とその決定方法	産業医が前年度の健診結果等から判断し、追加の検診項目を個別に実施する場合がある（例えば、内視鏡検査を追加する等）。
④時間帯	勤務時間内
⑤実施期間	4月

◇ 個人情報の取扱い

健診結果を会社に通知するため、委託する提携医療機関と守秘義務について契約事項に含めている。

事例 2

1. 事業所概要

- 主な事業内容：金融業（銀行）
- 事業所規模：本社 従業員数2,500人（平成20年12月現在）

2. 検診に対する取組み内容

(1) 検診の実施体制

◎ Eメールでのお知らせと申込み

検診の担当部署から社員各自の誕生日の2ヶ月前に、受診可能な医療機関及び予約可能日が記されたエクセルデータを添付し、Eメールで通知する。

エクセルデータには、婦人科・乳房検査（子宮がん・乳がん検診）を担当する医師、技師の性別及び健診医療機関ホームページ情報も付記されている。

Eメールを受信した社員は、メールに添付されたエクセルデータから、自宅や事業所から行きやすい検診機関、業務のスケジュール上受診可能な日程を選び、第3希望までを入力し、返信する。

◎ 利便性等の配慮

受診場所を配慮し、事業所の近接地又はターミナル駅近辺の医療機関と契約している。

◎ 受診忘れ防止策

誕生日に合わせた検診のお知らせは、社員に「誕生日＝検診」という意識が浸透し、受診忘れを防止する効果があると思われる。

各自の利便性の高い場所や希望する日時・検診項目等を選択し、検診が受診できるよう工夫していることが、高い受診率に繋がっている。

(2) 受診勧奨の方法

◎ 未受診者への対応

未受診の社員に対しては、メールにより繰り返し受診を呼びかける。

また、メールによる受診勧奨で受診しない社員には、上司からの受診勧奨を行っている。これらの粘り強い対応は、受診率の向上だけでなく社員の意識変容も促すものと思われる。

(3) 受診後のフォローアップ

◎ 産業医による確認

検診の結果は、産業医が詳細を確認後、本人に渡される。

各社員の検診結果は、個人ごとに時系列でファイリングされる。

(3) 受診後のフォローアップ（続き）

◎ 精密検査受診に向けた細やかな対応

要精密検査となった社員に対しては、原則一次検診と同様に、Eメールで通知されるが、検診結果に緊急性がある場合、直接本人へ電話連絡する。

その際、個人の機微情報を含むため、社員が電話口で「はい」「いいえ」だけで答えられるよう内容に留意し、面談日時を決定する。面談は、保健事業専門スタッフが20分～40分程度行い、精密検査受診を勧める。

時系列で検診結果を把握しているため、重篤なリスク発見時にいつから数値的な変化が生じていたか等、保健事業専門スタッフのきめ細かい対応が可能となっている。

◎ 検診費用のサポート

社員の精密検査に要する費用についても会社が負担し、精密検査を受診しやすい環境を整備している。

3. 職域のがん検診体制整備に必要な事項・行政に期待する支援

がん検診に特化した検診ではなく、あくまでも特定健診などを土台とした支援が有効だと思う。健康保険組合に資金的援助を行い、活力を与えると企業はがん検診に対応しやすくなるのではないかと。

また、東京都で検診センターを設けて、一元管理し、企業は社員の検診費用を支払うといった体制整備も有効だと思う。健康管理・検診結果を管理するシステムへの支援も良いと思う。

検診の基本情報

◇ 検診を実施している対象者（正社員・家族）

【人間ドックとして特定健診項目・がん検診を追加して実施】

がん検診の種類	正社員	家族
胃がん検診 肺がん検診 大腸がん検診	30歳以上（日帰りの人間ドックとして）	正社員と同じ
子宮がん検診	女性社員は希望者全員（年齢制限なし）	正社員と同じ
乳がん検診	30歳以上の女性社員希望者全員（マンモグラフィとエコーを選択）	正社員と同じ
検診費用の自己負担	自己負担なし	自己負担なし （領収書と検診結果を提出後、全額償還払い）

◇ 検診機関及び実施場所等

①検診実施機関と規模	都内は20箇所程度の医療機関
②検診機関の選定基準	産業医と検討して決めた基準を満たし検診項目の実施が可能な医療機関であること。 誕生日月の受診を勧めているため、毎月ほぼ同人数の受入れ可能な医療機関であること。
③検診項目とその決定方法	産業医と相談して本社で決めた、労働安全衛生法に基づく項目及び追加項目
④時間帯	勤務時間内中心だが土日也可
⑤実施期間	通年

◇ 個人情報の取扱い

個人情報の取扱いについては、各社員と文書による合意の上、健康管理部門が検診結果を把握している。

事例 3

1. 事業所概要

- 主な事業内容 : 総合建設業
- 事業所規模 : 本社 従業員数2,900人(平成20年12月現在)

2. 検診に対する取組み内容

(1) システムを活用した健診体制(健康管理システムは1999年より導入)

◎ 健康管理システムとイントラネットの連動した活用

本社配属の社員は、原則として誕生月に本社健康管理センターにて健康診断を受診する。

誕生月前月に健康管理システムによって、受診案内が文書及び電子メールで通知される。

通知された健診日に受診ができない社員は、健康管理システム、あるいは電話で健康管理室に連絡し、変更を行う。

健診受診後は、各自、イントラネットにて検診結果を確認することができ、また過去からの経年的な健診結果推移の確認が可能である。

本社健康管理センターだけでなく、他の医療機関で人間ドックを受診することも可能であり、受診結果を健康管理室に提出することにより、健康管理システムにデータ化される。

◎ システム化された受診勧奨

健康管理システムによって未受診を把握し、受診勧奨の電子メールが本人及び上司に対して自動的に配信され、効率的・効果的な受診勧奨を行っている。

(2) 社員の環境に応じた健診のフォロー体制

◎ 健診機会の配慮

海外赴任者は、赴任地域の状況を考慮し、赴任時、帰国時だけでなく、休暇帰国時に日本で検診が受診できるよう定め、社員の健康維持に努めている。

また、業務の関係などで平日に受診できない社員に対しては、別途外部の診療所へ委託し、土曜日に検診が受けられるよう、個別的な対応を行っている。

◎ 「健康」のための徹底したフォロー体制

過重労働者(1ヵ月80時間以上超過勤務者)に対しては、健康管理システムにより健診結果を経年的に確認し、産業医との面談を行っている。

また、健診の結果、精密検査の対象となった社員に対しては、専門医への受診、治療等を推奨し、年2回、メールなどにより、精密検査の受診状況や治療状況を確認している。

(3) 会社全体での健診取組み意識

◎ 未受診者へは上司からの直接受診勧奨

受診勧奨メールを配信してもなお未受診の社員に対しては、健康管理部門又は上司から受診勧奨を行う。

◎ 会社として一丸となった取組み

会社上層部を含め、社員の健康を守ることが会社としての責任であり、休業疾病等による社会的損失の抑制を認識している。（心疾患等と過重労働との関連など）

そのため、予防の観点から健康診断受診の重要性を強く認識し、社内規定でも定め、健診受診率100%を目標に徹底した受診勧奨を行っている。

健診受診は必須であるという認識が社員に浸透し、高い受診率に繋がっている。

3. 職域のがん検診体制整備に必要な事項・行政に期待する支援

事業主検診に関し、人事部門だけが熱心な受診勧奨を行ったとしても限界があり、会社上層部の十分な理解・会社方針として検診受診を位置づけることで、社員全体の意識が変わると思われる。

また、社員の自発的な意識変容も重要であり、社内の健康イベントを通じて、健康の大切さを認識する機会を設けることも有効な働きかけであると思われる。

がん検診に関し、国や地方公共団体から検診実施企業への助成があれば、さらに検診対象者の範囲を拡大することができ、早期発見に繋がると思う。

検診の基本情報

◇ 検診を実施している対象者（正社員・家族）

【労働安全衛生法に基づく健診にがん検診を追加して実施】

がん検診の種類	正社員	家族
胃がん検診	35歳以上（外勤の社員は30歳以上）	健康保険組合で30歳以上を対象に人間ドックとして実施
肺がん検診	全社員	
大腸がん検診	35歳以上（外勤の社員は30歳以上）	
前立腺がん検診	45歳以上の男性	
子宮がん検診 乳がん検診	30歳以上女性社員を対象とした人間ドック（希望者）のオプション項目	健康保険組合で30歳以上を対象に人間ドックとして実施（オプション項目）
検診費用の自己負担	自己負担なし（人間ドックは健保より補助あり、一部自己負担）	一部自己負担あり

※ 人間ドックは、健康保険組合が実施し、30歳以上が受診可能

◇ 検診機関及び実施場所等

①検診実施機関と規模	本社は自社内にある診療室（他府県の事業所と人間ドックは、提携医療機関へ委託して実施）
②検診機関の選定基準	他府県等で委託する場合は、本社が統一的に示す検診項目が実施可能な医療機関であること。
③検診項目とその決定方法	産業医と上記②の検査項目の検査方法の正確性、信頼性を確認し、決定する。 また、他府県等の事業所等では、上記②に加えた検診項目を実施している。
④時間帯	勤務時間内が原則。
⑤実施期間	通年

事例 4

1. 事業所概要

- 主な事業内容：生命保険業
- 事業所規模：従業員数 12,131人、うち本社従業員数 1,407人（平成20年12月現在）

2. 健診に対する取組み内容

(1) 健診の実施体制

◎ 全国統一的な内容での実施

本社及び各支社に健康診断担当者を置き、連携した健診実施を行っている。

本社の健康管理部門担当者は、業務の繁忙期を避けたスケジュールで健診が実施できるよう、各支社と実施スケジュールの調整を行い、健診実施機関を決定し、申込みを行う。

支社ごとに健診日程が一定期間決まるため、個人での予約は不要。（人間ドックを選択する場合は、各自が直接医療機関へ予約する。）

また、本社において健診のお知らせのポスターを作成し、各支社へ配布。各支社では、ポスターに健診日程を記載して掲示し、従業員に周知している。

その後、本社から各支社の健康管理担当者宛に受診票等を送付し、健診対象の各社員へ渡される。

◎ 各支社の立地条件に応じた健診の実施

支社の立地条件や従業員数の規模によっては、事業所の近くで健診車による健診を実施。

都心部の事業所で駐車場が無い場合は、近くのコインパーキングを活用するなど、従業員が時間をかけずに受診しやすい健診体制を確保している。

(2) 統一的な健診結果把握とデータ管理

◎ 統一的なデータ管理

健診委託先の医療機関へは、フロッピーディスクを渡し、受診者の健診結果の入力を依頼している。

そのデータは、そのまま社内のシステムに対応できるフォーマットになっているため、入力作業等を伴わず、効率的に健診結果を把握している。（システムは社内システムと連動）健診結果の入力を含めて、医療機関と契約しているため、健診の結果が把握できない等の問題が無く、受診した全ての社員の健診結果が医療機関から健康管理部門へ送付される。

健診結果は、個人宛に郵送されるとともに、健康管理部門の担当者が確認後、看護師及び産業医が詳細に内容を確認して、再検査の案内が渡される。過去から時系列なデータで蓄積しており、数値傾向の把握に活用している。

(2) 統一的な健診結果把握とデータ管理（続き）**◎ 精密検査結果の把握**

本社常勤看護師は、健康管理システムより精密検査の対象者を確認し、かかりつけ医や一般の医療機関で精密検査を受診するよう封書で受診勧奨を行う。

封書には、精密検査結果を記入する用紙を同封しており、受診後、「異常なし」「治療」等の結果を記入し、提出してもらう。

個人情報であるため、提出方法を配慮し、各支社の健康管理部門担当者へ提出、若しくは、本社の健康管理部門へ直接送付いずれかを選択して提出する方法としている。

(3) 受診促進への取組み**◎ 本社、各支社の担当者及び上層部の連携した受診勧奨**

健康管理システムで健診の未受診者を把握し、各支社の所属長宛に未受診者を連絡し、管理者から受診勧奨を行う。

また、12月時点で受診していない従業員へは、再度案内を送付している。

健診の実施から受診勧奨、精密健査の結果把握まで、本社の健康管理グループから各支社の担当者へ、また各支社の所属長へ働きかけることにより、健診受診の重要性を共通して認識している。

◎ 精密検査費用の支援

精密検査は、健診の位置づけで実施し、上限1万円まで会社が負担している。

前述の同封された用紙に健診結果を記入して領収書と一緒に提出後、償還払いされる。（投薬等は治療の扱いとなり、自己負担となる。）

◎ 職域での健診受診メリットの周知

従業員に対して、区市町村健診や別途医療機関で受診した場合は、会社では定期健康診断と同一の項目を提出の場合のみ健診結果を受取り、産業医と看護師がフォロー、一にあたる。項目未了であると総合的判断が困難なこともあり全従業員同一の結果の提出厳守とする。

職場の健診を受診すれば産業医による総合的な健診結果の判断と精密健査へのフォローができるメリットを毎年の積み重ねにより浸透させて、意識変容を図っている。

3. 職域のがん検診体制整備に必要な事項・行政に期待する支援

「健診を受けさせられる」という考えから、「自分の体は自分で守る」という意識付けに変え、広めることが大事である。

そのように意識が変わることで、自分の健診結果の数値から、予防への取り組み意識が生まれると思う。

メタボ対策のようにメディアを利用し、健診の興味がある人へもない人へも情報を発信していくことも、動機づけに有効であると思う。

行政に期待する支援として乳がん検診に際して検診費補助にかえて乳がん検診車の増加を図る等取扱いをお願いしたい。

第3章 事例紹介：事例4

検診の基本情報

◇ 検診を実施している対象者（正社員・家族）

【労働安全衛生法に基づく健診にがん検診を追加して実施】

がん検診の種類	正社員	家族
肺がん検診	人間ドック時（オプション）	
胃がん検診 大腸がん検診	35歳以上（管理職の胃がん検診は年齢に関係なく義務化）	当社健康保険組合において実施（加入者対象）
子宮がん検診 乳がん検診	健康保険組合において実施（女性社員の人間ドック希望者のオプション項目若しくは婦人科検診として）	
検診費用の自己負担	<ul style="list-style-type: none"> ○会社での定期健康診断時 <ul style="list-style-type: none"> ・指定項目については負担なし ※人間ドックは健康保険組合より補助あり（35歳以上は2割自己負担） ○契約健診機関での健康診断時 <ul style="list-style-type: none"> ・指定項目については負担なし ○生活習慣病健診 <ul style="list-style-type: none"> ・当社健保組合加入で35歳以上については健保組合8割・会社負担2割 ・当社健保組合未加入で35歳以上については指定項目は負担なし・がん検診項目は自己負担 	当社健康保険組合において実施（2割自己負担）

※人間ドックは、健康保険組合が実施（35歳以上対象）

◇ 検診機関及び実施場所等

①検診実施機関と規模	本社は本社内の直営医療機関 各支店は、選定基準に対応可能な地域の提携医療機関へ委託（検診車による検診も含む）
②検診機関の選定基準	本社が統一的に示す検診項目が実施可能な医療機関であること。 健診結果の入力に対応できる医療機関であること。
③検診項目とその決定方法	本社では、産業医と上記②の健査項目を健話し、決定する。
④時間帯	勤務時間内
⑤実施期間	繁忙期を除いた時期で設定（10月まで）

◇ 個人情報の取扱い

所属長は健診結果をもとに就業上注意を必要とする人を管理する義務があり、このことを従業員に通知している。

事例 5

1. 事業所概要

- 主な事業内容：ビルメンテナンス業
- 事業所規模：東京支社 従業員：1,784人
(事業エリア：東京都(除:町田市)及び山梨県全域)

2. 検診に対する取組み内容

(1) 検診の実施体制

◎ 検診実施方法のマニュアル化

全国展開し、多数の事業所及び従業員数を要する大規模な会社であるが、検診実施方法を本社が社内規則化して、統一的な検診項目等の条件で検診を実施している。

社内規則には、検診項目・検診結果の判定基準・就業可否判定等を詳細に定め、全社一律の検診の運用としている。

また、支社では、マニュアルを遵守し、積極的な取組みにより検診を実施し、100%受診に結びついている。

◎ システムにおける一元管理

健康管理システムを導入し、検診を実施している。

検診結果は、委託する提携医療機関から支社の健康管理部門へ送付される。

健康管理部門では、検診結果の入力を、健康管理システム開発会社へアウトソーシングし、効率的にデータ化して管理している。

ビル設備メンテナンス業として業務上、高所作業などへの配慮が必要となることから、社員の健康管理等に利用している。

(2) 社員の健康管理の重要性の共通認識

◎ 未受診者・精密検査対象者へは、管理職からの受診指示

各所属上長より対象者へ毎月健康診断受診状況を確認し、未受診の社員へは、上司から受診指示を行っている。

また、検診の結果、精密検査が必要な社員に対しても、上司から受診指示を行っている。

高所作業・有機溶剤取扱いなど安全・健康に配慮が必要とされる業務もあることから、管理職は責務として、安全管理の一環としても社員の健康管理を行うという意識が確立している。

◎ 組織的に検診の重要性を認識

安全衛生委員会においても各部門の受診状況を確認するなど、上層部及び労働組合がともに社員の健康のために、検診の重要性を強く認識している。

(3) 精密検査への対応方法

◎ 精密検査のフォロー体制

精密検査の対象者へは、一次検診を受診した提携医療機関で受診することを推奨し、検査項目によってその医療機関に診療科目が無い場合等は、別の医療機関で受診を勧めている。

精密検査を「検診」として位置づけ、精密検査に係る費用は全て会社で負担している。

◎ 精密検査の結果把握

提携医療機関で受診した場合は、一次検診と同様に検診結果が健康管理部門へ送付される。

3. 職域のがん検診体制整備に必要な事項・行政に期待する支援

中小企業では、検診に関するマニュアルが無く、提携医療機関も定まらず、労働安全衛生法の規程項目のみを実施しているといった体制未整備の会社が多いと思われる。

行政は、そのような中小企業に対して支援を行うことが求められていると思う。

検診の基本情報

◇ 検診を実施している対象者（正社員・家族）

【労働安全衛生法に基づく健診にがん検診を含めて実施】

がん検診の種類	正社員	家族
胃がん検診	35歳以上	健康保険組合で30歳以上の 家族の希望者に実施
肺がん検診	社員全員	
大腸がん検診	35歳以上	
子宮がん検診 乳がん検診	女性社員の希望者全員	
検診費用の自己負担	自己負担なし（人間ドックは 健康保険組合より補助あり、 原則3割自己負担あり）	原則3割自己負担あり

※ 40歳以上は健康保険組合で実施する人間ドックも受診可能

◇ 検診機関及び実施場所等

①検診実施機関	提携する医療機関（検診車による検診を含む）
②検診機関の選定基準	会社規則で定められた検診項目が実施可能な医療機関であること。 過重労働の社員面談等可能である医療機関であること。
③検診項目とその決定方法	基準については、本社から統一的に示される。 各支店はその項目を網羅した上で、検査項目の追加設定が可能である。
④時間帯	勤務時間内
⑤実施期間	6月から受診可能 なるべく上半期に受診することを推進（12月時点で99% 受診）

◇ 個人情報の取扱い

労務・人事管理の一環として、会社として社員の検診結果を把握することを承諾書により合意を得ている。

健康管理システムの各社員の検診結果は、極少数の健康管理部門担当者以外アクセスできないよう、厳重に管理している。

第 4 章 調査票

平成 20 年度 東京都がん検診実態調査
都民のがん検診に関する意識調査

- この調査票は、「がん検診」、「肝炎ウイルス検診」に関する意識および受診状況についてお伺いしています。
- 「がん検診」という名称の検診を受けた場合だけではなく、職場などの定期健康診断や人間ドックなどの健診でがんの検査(例:バリウムを飲みX線を撮る検査＝胃がん検診)を受けた場合も含めてお答えください。
- 昨年度(平成 20 年 3 月 31 日まで)の検診状況についてお伺いします。
- 調査票は全部で12ページあります。

ご回答日 (数字をご記入ください)

平成 20 年 月 日

問1. あなたの「がん検診」の受診状況についてお伺いします。

性別により、お答えいただく「がん検診」の種類が異なります。

★**男性**の方は、「がん検診」の種類 123 にお答えください。

★**女性**の方は、「がん検診」の種類 12345 にお答えください。

問 1-1:あなたが受診した「がん検診」の種類ごとに**受診の有無、検査の方法**についてお答えください。(再検査・精密検査ではなく、最初に受ける検査についてお伺いします。)

1	胃がん検診	(国では 40 歳以上の男性・女性が 1 年に 1 回受診することを推奨していますが、ここでは全員の方にお答えいただきます。)
受診の有無	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 昨年度受けた (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日まで) 02 昨年度より以前に受けたことがある (平成 19 年 3 月 31 日よりも前に) 03 受けたことはない・わからない →→→→→→→ 2 ページ <input type="checkbox"/> 2へ	
検査の方法	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 <small>い エックスせんけんさ</small> 胃 X 線検査 胃 X 線検査は、 <u>バリウム (造影剤)</u> と発泡剤 (胃を膨らませる薬) を飲み、おなかの X 線 (レントゲン) を撮る検査です。	
	02 <small>い ない しきょうけんさ</small> 胃内視鏡検査 胃の中を <u>胃カメラ</u> で直接観察する検査です。	
	03 <small>けんさ</small> ペプシノゲン検査 <u>血液検査</u> によって、胃粘膜の老化度 (萎縮度 (いしゅくど)) を調べます。	
	04 その他 (<input type="text"/>)	
	05 受けたが、検査方法がわからない	

2 大腸がん検診 (国では40歳以上の男性・女性が1年に1回受診することを推奨していますが、ここでは全員の方にお答えいただきます。)	
受診の有無	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 昨年度受けた (平成19年4月1日～平成20年3月31日まで) 02 昨年度より以前に受けたことがある (平成19年3月31日よりも前に) 03 受けたことはない・わからない →→→→→→→→→→ 下の 3 へ
検査の方法	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 <small>べんせんけつけんさ</small> 便潜血検査 便を採取して、便に混じった大腸からの出血を調べます。
	02 <small>ぜんだいちょうないしきょうけんさ</small> 全大腸内視鏡検査 内視鏡で大腸すべてを観察する方法です。
	03 その他 ()
	04 受けたが、検査方法がわからない

3 肺がん検診 (国では40歳以上の男性・女性が1年に1回受診することを推奨していますが、ここでは全員の方にお答えいただきます。)	
受診の有無	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 昨年度受けた (平成19年4月1日～平成20年3月31日まで) 02 昨年度より以前に受けたことがある (平成19年3月31日よりも前に) 03 受けたことはない・わからない ↓ { 女性は3ページ 4 へ、 男性は4ページ間1-2へ、 男性で3種類のがん検診の全てに「03 受けたことはない・わからない」と回答された方は7ページの間3へ
検査の方法	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 <small>きょうぶエックスせんけんさ</small> 胸部X線検査 胸のX線(レントゲン)撮影による検査です。
	02 <small>かくたんさいぼうしん</small> 喀痰細胞診 主に喫煙者を対象として「胸部X線検査」に併用して行います。痰を容器に採取して検査します。
	03 <small>きょうぶシーティーけんさ</small> 胸部CT検査 CTスキャナーと呼ばれる検査装置の寝台に横になり、X線を用いて検査します。
	04 その他 ()
	05 受けたが、検査方法がわからない

※ 女性のみお答えください

4	乳がん検診	(国では40歳以上の女性が2年に1回受診することを推奨していますが、ここでは女性全員の方にお答えいただきます。)
受診の有無	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 受けた (過去2年以内) (平成18年4月1日～平成20年3月31日まで) 02 受けたことがある (2年以上前) (平成18年3月31日より前に) 03 受けたことはない・わからない →→→→→→→→→ 下の 5 へ	
検査の方法	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 マンモグラフィ マンモグラフィとは、 <u>乳房X線撮影(レントゲン)</u> のことで、乳房を挟み込んで撮影します。 02 <small>ししょくしん</small> 視触診 医師が乳房の皮膚等を見て、 <u>触って</u> 、乳房にしこりがないかを <u>検査</u> します。 03 <small>にゅうぼうちょうおんぱ</small> 乳房超音波 (エコー) <small>けんさ</small> 検査 <u>超音波(エコー)</u> により、乳房の病変を検査する方法です。 04 その他 () 05 受けたが、検査方法がわからない	

※ 女性のみお答えください

5	子宮(頸)がん検診	(国では20歳以上の女性が2年に1回受診することを推奨していますが、ここでは女性全員の方にお答えいただきます。)
受診の有無	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 受けた (過去2年以内) (平成18年4月1日～平成20年3月31日まで) 02 受けたことがある (2年以上前) (平成18年3月31日より前に) 03 受けたことはない・わからない ↓ { 4ページの間1-2へ 5種類のがん検診の全てに「03受けたことはない・わからない」と回答された方は7ページの間3へ	
検査の方法	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 <small>さいぼうしん</small> 細胞診：医師による採取 婦人科の専門医によって、子宮頸部の <u>粘膜</u> を採取して検査します。 02 <small>さいぼうしん</small> 細胞診：自己採取 自分で子宮頸部の <u>粘膜</u> を採取して容器に入れ、郵送で検査機関に送り検査を依頼する方法です。 03 その他 () 04 受けたが、検査方法がわからない	

問 1-2: 各がん検診について、**検診の機会**など、次の設問A～Cについてお答えください。

→→→いづれのがん検診についても1度も受けたことがない方は、7 ページ、問 3 へ

※ **がん検診の種類ごとに、該当する番号を○(マル)で囲んでください。**

男女とも			女性のみ	
1	2	3	4	5
胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん

A. どのような機会に検査を受けましたか。

	↓	↓	↓	↓	↓
職場の検診で受けた (定期健診、補助を受けての人間ドック、被扶養者としての家族検診等)	01	01	01	01	01
住民(区市町村)検診で受けた	02	02	02	02	02
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)	03	03	03	03	03
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	04	04	04	04	04
その他()	05	05	05	05	05

B. どこで検診を受けましたか。

	↓	↓	↓	↓	↓
病院、診療所、検診機関	01	01	01	01	01
区市町村の施設(保健所、保健センター、役所 等)	02	02	02	02	02
職場(職場内の検診会場)	03	03	03	03	03
その他()	04	04	04	04	04

C. 検診結果とその後について

C-1. 検診結果の通知は、どのような方法でしたか。

	↓	↓	↓	↓	↓
郵送、社内便などの文書	01	01	01	01	01
電話	02	02	02	02	02
電子メール	03	03	03	03	03
面談や保健指導など対面	04	04	04	04	04
その他()	05	05	05	05	05
わからない	06	06	06	06	06

男女とも			女性のみ	
1	2	3	4	5
胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん

C-2. 検診結果の通知に、再検査の勧めや精密検査の受診の勧めがありましたか。

勧めがあった

勧めはなかった → → → → 6 ページの間 2 へ

C-3. 設問C-2. で、通知に「01 勧めがあった」場合、再検査・精密検査(二次検査)を受けましたか。

再検査・精密検査(二次検査)を受けた
→ → → 6 ページの間 2 へ

受けていない

C-4. 設問C-3. で、再検査・精密検査(二次検査)を「02 受けていない」と回答された場合、今後のお考えについてお答えください。

これから再検査・精密検査(二次検査)を受ける予定だ
→ → → 6 ページの間 2 へ

今後も受けるつもりはない

C-5. 設問C-4. で、「02 今後も受けるつもりはない」と回答された場合、その理由をお答えください。

がんが見つかったら怖いから

検査に痛みや苦痛があると思うから

再検査・精密検査(二次検査)をどこで受ければ
よいか分からなかったから

がんや他の病気で、通院中であるから

忙しいから

費用が高いから

その他 ()

問2. 過去に、1 度でもがん検診を受けたことがある方にお伺いします。

※がん検診を受けた方とは、以下に該当する方々を指します。

○ 問1-1 のがん検診の“受診の有無”についての設問で、「01 昨年度受けた」または「02 昨年度より以前に受けたことがある」と1つでも回答した方

→→→ いずれのがん検診についても1度も受けたことがない方は、7 ページ、問3へ

問2-1: がん検診を「受けた」理由についてお答えください。

※ がん検診の種類ごとに、該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

	男女とも			女性のみ	
	1	2	3	4	5
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん
	↓	↓	↓	↓	↓
年齢的に検診の対象だったから	01	01	01	01	01
気になる症状があったから	02	02	02	02	02
職場の検診内容にあったから	03	03	03	03	03
区市町村の検診内容にあったから	04	04	04	04	04
検診のお知らせが来たから	05	05	05	05	05
家族・友人などに受診を勧められたから	06	06	06	06	06
かかりつけ医で受診できたから	07	07	07	07	07
勤務時間中に受けられたから	08	08	08	08	08
検診を勧める情報を見聞きしたから	09	09	09	09	09
媒体: {	テレビ・ラジオ	1)	1)	1)	1)
	インターネット	2)	2)	2)	2)
	区市町村の広報	3)	3)	3)	3)
	職場の広報 (広報紙・電子メール)	4)	4)	4)	4)
	公共施設のポスター (駅・電車・役所等)	5)	5)	5)	5)
	新聞・雑誌・書籍	6)	6)	6)	6)
	その他の媒体 ()	7)	7)	7)	7)
担当が同性の医師だったから	10	10	10	10	10
自宅や職場の近くで受診できたから	11	11	11	11	11
夜間や休日に受診できたから	12	12	12	12	12
最新鋭の設備が整っているから	13	13	13	13	13
費用が安かったから	14	14	14	14	14
その他 ()	15	15	15	15	15

問3. 昨年、1つでもがん検診を受けていない方にお伺いします。

※がん検診を受けていない方とは、以下に該当する方々を指します。

- 問 1 の「がん検診」の“受診の有無”についての設問で、「02 昨年度より以前に受けたことがある」または「03 受けたことはない・わからない」と1つでも回答した方
→→→ それ以外の方は、P8、問 4 へ

問 3-1: がん検診を「受けなかった」理由についてお答えください。

(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)

- 01 受ける意思はあったが、結果として受けられなかった
02 受ける意思はないため、受けなかった
03 なんとなく、受けなかった

問 3-2: 「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由についてお答えください。

※ がん検診の種類ごとに、該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

	男女とも			女性のみ	
	1 胃がん	2 大腸がん	3 肺がん	4 乳がん	5 子宮がん
	↓	↓	↓	↓	↓
がんが見つかったら怖いから	01	01	01	01	01
検査に痛みや苦痛があると思うから	02	02	02	02	02
がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	03	03	03	03	03
恥ずかしいから	04	04	04	04	04
検査方法を知らないから	05	05	05	05	05
がん検診をどこで受ければよいか分からなかったから	06	06	06	06	06
がんにかかって、通院中であるから	07	07	07	07	07
がん検診に対し否定的な意識があるから	08	08	08	08	08
心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	09	09	09	09	09
健康に自信があるから	10	10	10	10	10
面倒くさかったから	11	11	11	11	11
忙しいから (家事、育児、介護、仕事等)	12	12	12	12	12
費用が高いから	13	13	13	13	13
自宅や職場のそばに受診できるところがないから	14	14	14	14	14
夜間や休日などに受診できないから	15	15	15	15	15
会社の検診内容になかったから	16	16	16	16	16
勤務時間中に行けないから	17	17	17	17	17
定員が一杯だから	18	18	18	18	18
その他 ()	19	19	19	19	19

問 3-3: あなたは、次のうちどのようなことがあればがん検診を受診したいと思いますか。
あてはまるものを選んでください。

※ がん検診の種類ごとに、該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

	男女とも			女性のみ	
	1 胃がん	2 大腸がん	3 肺がん	4 乳がん	5 子宮がん
	↓	↓	↓	↓	↓
がん予防や気になる症状について、検診受診時にアドバイス等が受けられる	01	01	01	01	01
がん検診を受診する場合に、休暇を取らずに勤務時間中に受診することができる	02	02	02	02	02
がん検診を職場や自宅の近くで受けられる	03	03	03	03	03
がん検診を、駅などの公共施設で受けられる	04	04	04	04	04
夜間や休日などに受けられる	05	05	05	05	05
すぐにごがん検診の予約ができる	06	06	06	06	06
かかりつけ医のところで、すぐに受けられる	07	07	07	07	07
各がん検診が一度に受けられる	08	08	08	08	08
無料で受けられる	09	09	09	09	09
短い時間で受けられる	10	10	10	10	10
どんな条件でもがん検診を受けようと思わない	11	11	11	11	11
その他 ()	12	12	12	12	12

問4. がん検診の費用(自分で払う費用)についてお伺いします。

がん検診の費用(自分で払う費用)として総額いくらまでなら検診を受けようと思いますか。

※ 男性は胃・肺・大腸がん検診の3種類、女性は胃・肺・大腸・乳・子宮(頸)がんの5種類の検査の総額についてお答えください。

検査費用の総額 ()円 (具体的に、金額をご記入ください)

問5. あなたの「肝炎ウイルス検診」の受診状況についてお伺いします。

<p>（国では特に 40 歳以上の方、40 歳未満の方でも過去に大きな肝炎ウイルス検診手術や輸血を受けた方が受診することを推奨していますが、ここでは全員の方にお答えいただきます。）</p> <p>★ 肝炎ウイルス検診は、血液検査です。</p>	
受診の有無	<p>（該当する番号を <u>1つだけ</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 受けたことがある 02 受けたことはない 03 わからない</p> <p>→→→ 問6へお進みください</p>
検査の種類	<p>（該当する番号を <u>すべて</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 B型肝炎ウイルス検査 02 C型肝炎ウイルス検査 03 (B型肝炎ウイルス検査か、C型肝炎ウイルス検査か) 検査の種類がわからない</p>
検査の機会	<p>（該当する番号を <u>すべて</u>○(マル)で囲んでください。また 01~03 を選択された場合、その検査費用について「無料・有料」の <u>いずれかを</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 職場の健診で受けた → (a 無料・b 有料) 02 住民(区市町村)健診で受けた → (a 無料・b 有料) 03 人間ドックを受けた → (a 無料・b 有料) 04 自費で、自主的に医療機関で受けた 05 献血時の結果でわかった 06 通院先の血液検査でわかった 07 その他 ()</p>
検査した場所	<p>（該当する番号を <u>すべて</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 病院、診療所、検診機関 02 区市町村の施設(保健所、保健センター、役所 等) 03 職場(職場内の検診会場) 04 その他 ()</p>

※ 知らずに感染していることがあります。一生に一度は検査を受けましょう！

問6. あなたの現在の**健康状態**および**健康意識**についてお伺いします。

問 6-1: あなたの現在の**健康状態**をどのように感じていますか。

(該当する番号を 1つだけ○(マル)で囲んでください)

- 01 良い 02 まあ良い 03 ふつう
04 あまり良くない 05 良くない

問 6-2: あなたは、「健康」に関する**情報に興味**がありますか。

(該当する番号を すべて○(マル)で囲んでください)

- 01 興味がある 02 すこし興味がある 03 あまり興味がない
04 興味がない

問7. 「**ピンクリボン運動**」についてお伺いします。

問 7-1: あなたは、「**ピンクリボン運動**」について知っていましたか。

(該当する番号を 1つだけ○(マル)で囲んでください)

- 01 知っていた
02 聞いたことはあるが、内容までは知らなかった
03 まったく知らなかった

※ **ピンクリボン運動**

ピンクリボン運動とは、80年代のアメリカの市民運動が発祥で、乳がんの早期発見の重要性を伝えることを目的とした運動です。

8人に1人は乳がんを患うと言われているアメリカでは、このピンクリボン運動の広がりにより、乳がんに対する意識や乳がん検診の受診率が高まり、死亡率が低下しました。

日本でも近年、乳がんの死亡率が増えていることから、10月の乳がん月間を中心に、企業、NPO法人、東京都他自治体などにより、乳がん検診の大切さを伝えるため、ピンクリボン運動が広く展開されています。

問8. あなたの性別および年齢についてお伺いします。

性別	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください) 01 男 02 女
年齢	(数字をご記入ください) _____歳 (平成20年4月1日現在)
お住まいの区市町村	_____区・市・町・村

問9. あなたの世帯の家族構成等についてお伺いします。

同居家族の人数	(数字をご記入ください) あなたも含めて、合計_____人
同居家族の構成 (複数回答)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 配偶者 02 子 03 父母 04 祖父母 05 兄弟姉妹 06 他の親族 07 一人暮らし 08 その他 (_____)
あなたの身の回りで、 がん にかかった方はいらっしゃいますか (複数回答)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 家族・親戚 (本人含む) 02 友人・知人 03 いない・わからない

問10. あなたの現在の仕事(就学)の有無、形態・種類等についてお伺いします。

主たる仕事(就学)の有無や形態	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください) 01 会社員・公務員 02 派遣・パート・アルバイト 03 自営業 04 家事専業 05 学生 06 無職
お勤めの場合、勤務先の業種	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください) 01 農林漁業、鉱業 02 建設業 03 製造業 04 電気・ガス・熱供給・水道業 05 情報通信業 06 運輸業、郵便業 07 卸売業、小売業 08 金融・保険業 09 不動産業 10 飲食店、宿泊業 11 サービス業 12 医療、福祉 13 公務 14 その他 (_____)



次のページへお進みください

問11. あなたの現在利用できる**医療保険の種類**についてお伺いします。

医療保険の種類	(該当する番号を <u>1つだけ</u> ○(マル)で囲んでください)
	01 国民健康保険 →→→ (a 世帯主 b 世帯主以外の家族)
	02 政府管掌健康保険 → (a 本人 b 家族)
	03 組合健康保険 (健康保険組合・共済・船員) →→→ (a 本人 b 家族)
	04 後期高齢者医療
05 医療保険に加入していない (利用できる医療保険は無い)	

問12. あなたの**喫煙歴**についてお伺いします。

たばこを吸いますか	(該当する番号を <u>1つだけ</u> ○(マル)で囲んでください)
	01 今まで吸ったことがない
	02 1ヶ月以上吸っていない (以前は、1日 約 _____ 本、喫煙期間 約 _____ 年間)
	03 時々吸う (年間 約 _____ 本)
たばこを吸い始めたのは何歳の頃ですか	04 毎日吸う (1日 約 _____ 本)
	(数字をご記入ください) → _____ 歳頃

問13. 本調査又はがん検診制度について、ご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

(自由記述欄)

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。
この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**平成20年9月29日**までにご返送ください。
切手を貼っていただく必要はございません。

東京都福祉保健局保健政策部健康推進課のホームページアドレス
<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/index.html>

平成 20 年度 東京都がん検診実態調査
職域におけるがん検診実施状況調査
健康保険組合向け

この調査は、東京都全域(島しょを除く)に事業所を有する健康保険組合におけるがん検診に関する実施状況についてお伺いするものです。職域のがん検診の検査項目、実施方法等の実態を把握し、がん検診受診率向上に向けた施策に活用するとともに、効果的な検診体制・実施方法を展開している健康保険組合の事例をとりまとめ、区市町村や職域に還元して、がん検診実施体制の整備に寄与することを目的としています。

【実施主体】

東京都福祉保健局

【お問い合わせ先】

本調査お問い合わせ専用番号:株式会社 総合企画

03(3262)7650 (受付時間9:30~17:30)

<記入にあたってのお願い>

- 1 2007年度(平成 19 年度)の状況についてご回答ください。
- 2 「がん検診」という名称の検診だけではなく、職場などの定期健康診断や人間ドックなどの健診で実施したがんの検査も含めて、ご回答ください。
- 3 調査票は全部で 13 ページあります。
- 4 記入にあたり御不明な点がございましたら、上記「お問い合わせ先」までご連絡ください。

※すべて記入が終わりましたら、返信用封筒に入れ投函してください。

切手を貼る必要はありません。

提出締切り 平成20年9月1日(月) 当日消印有効

問1. 該当する選択番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。また、網掛け()の部分に文字、数値をご記入ください。

設立形態	01 単一 02 総合 03 連合
種類	01 政府管掌健康保険 02 組合健康保険（健康保険組合・共済・船員）
加入事業所数	事業所
被保険者数	被保険者数： 人（男性 人、女性 人） ・うち、都内在住者の割合 { 01 把握している（概数でも構いません） 人 02 把握していない
	被扶養者数： 人 任意継続被保険者数： 人
事業所の主たる業種	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 農林漁業、鉱業 02 建設業 03 製造業 04 電気・ガス・熱供給・水道業 05 情報通信業 06 運輸業、郵便業 07 卸売業、小売業 08 金融・保険業 09 不動産業 10 飲食店、宿泊業 11 サービス業 12 医療、福祉 13 公務 14 その他 ()
保健事業の専門スタッフについて (非常勤を含む)	医師： 人 保健師： 人 看護師： 人 管理栄養士・栄養士： 人 その他： 人 ▶ その他の専門スタッフ(具体的に) ()

問2. 貴健康保険組合の「がん検診」の実施状況および受診状況等についてお伺いします。

問 2-1: 次の1～5の「がん検診」の実施状況について、被保険者・被扶養者それぞれについてお答えください。

1 胃がん検診		
被保険者・被扶養者、それぞれについてお答えください。		
※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。 ※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。 ※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。		
	被保険者	被扶養者
検診の実施状況	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 胃X線検査 02 胃内視鏡検査 03 ペプシノゲン検査 04 その他()	01 胃X線検査 02 胃内視鏡検査 03 ペプシノゲン検査 04 その他()

2 大腸がん検診

被保険者・被扶養者、それぞれについてお答えください。

※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	被保険者	被扶養者
検診の実施状況	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 便潜血検査 02 全大腸内視鏡検査 03 その他()	01 便潜血検査 02 全大腸内視鏡検査 03 その他()

3 肺がん検診

被保険者・被扶養者、それぞれについてお答えください。

※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	被保険者	被扶養者
検診の実施状況	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 胸部X線検査 { 1) 労働安全衛生法に基づく健診 として実施 2) がん検診として実施 02 喀痰細胞診 03 胸部CT検査 04 その他()	01 胸部X線検査 { 1) 労働安全衛生法に基づく健診 として実施 2) がん検診として実施 02 喀痰細胞診 03 胸部CT検査 04 その他()

4 乳がん検診

被保険者・被扶養者、それぞれについてお答えください。

※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	被保険者	被扶養者
検診の実施状況	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 マンモグラフィ 02 視触診 03 乳房超音波(エコー)検査 04 その他()	01 マンモグラフィ 02 視触診 03 乳房超音波(エコー)検査 04 その他()

5 子宮頸がん検診

被保険者・被扶養者、それぞれについてお答えください。

- ※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。
- ※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。
- ※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	被保険者	被扶養者
検診の実施状況	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 細胞診：医師による採取 02 細胞診：自己採取 03 その他()	01 細胞診：医師による採取 02 細胞診：自己採取 03 その他()

問 2-2: **1**～**5**の「がん検診」の実施状況について、**A. 検診の実施場所**、**B. 受診の時間帯**をお答えください。

※ 該当する番号を**すべて**○(マル)で囲み、該当する「がん検診」の番号を○(マル)で囲んでください。

女性				
男性				
1	2	3	4	5
胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん

A. 検診の実施場所

		↓	↓	↓	↓	↓
被保険者について	01 直営の病院で実施	01	01	01	01	01
	02 提携医療機関（検診機関）で実施	02	02	02	02	02
	03 検診車や事業所等出張検診として実施	03	03	03	03	03
	04 その他の医療機関で実施	04	04	04	04	04
	05 自己採取による郵送で実施	-	05	-	-	05
	06 その他（ <input type="text"/> ）	06	06	06	06	06
被扶養者について	01 直営の病院で実施	01	01	01	01	01
	02 提携医療機関（検診機関）で実施	02	02	02	02	02
	03 検診車や事業所等出張検診として実施	03	03	03	03	03
	04 その他の医療機関で実施	04	04	04	04	04
	05 自己採取による郵送で実施	-	05	-	-	05
	06 その他（ <input type="text"/> ）	06	06	06	06	06

B. 受診の時間帯

		↓	↓	↓	↓	↓
被保険者について	01 平日の昼間	01	01	01	01	01
	02 夜間	02	02	02	02	02
	03 休日	03	03	03	03	03
被扶養者について	01 平日の昼間	01	01	01	01	01
	02 夜間	02	02	02	02	02
	03 休日	03	03	03	03	03

問 2-3: 貴健康保険組合が実施した被保険者のがん検診の結果通知および要精密検査該当者への受診勧奨等についてお答えください。（被扶養者分は除きます）

<p>個人の検診結果の把握の有無</p>	<p>(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> すべての受診対象者のがん検診結果を把握している</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 一部の受診対象者のがん検診結果を把握している</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 把握していない</p> <p>04 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>
<p>(検診結果を把握している場合) 要精密検査の該当者への対応状況</p> <p>※ 選択肢番号の「02」または「03」を選択された場合、以下へお進みください</p>	<p>(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> 結果通知のみを行っている</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を1回までは行う</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を受診が確認できるまで行う</p> <p>04 <input type="checkbox"/> 結果通知等を行っていない (精密検査受診の勧奨等は、一切行っていない)</p> <p>05 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>
<p>精密検査の受診勧奨等の実施方法 (複数回答)</p>	<p>(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> 文書 (郵送、社内便等)</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 電子メール</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 電話</p> <p>04 <input type="checkbox"/> FAX</p> <p>05 <input type="checkbox"/> 面談</p> <p>06 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>

問 2-4: 被保険者のがん検診の精密検査結果について把握していますか。

<p>精密検査結果の把握の有無</p>	<p>(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> すべて把握している</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 一部把握している</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 把握していない</p> <p>04 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>
---------------------	---

問3. 貴健康保険組合の定期健康診断(法定項目)以外で、「肝炎ウイルス検診」の実施状況および受診状況等についてお伺いします。

肝炎ウイルス検診		
被保険者・被扶養者、それぞれについてお答えください。		
※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。 ※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法、実施場所、受診できる時間帯：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。 ※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。		
	被保険者	被扶養者
検診の実施状況	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない	01 健康保険組合単独で実施 02 事業所と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 B型肝炎ウイルス検査 02 C型肝炎ウイルス検査 03 その他()	01 B型肝炎ウイルス検査 02 C型肝炎ウイルス検査 03 その他()
実施場所 (複数回答)	01 直営の病院で実施 02 提携医療機関(検診機関)で実施 03 検診車や事業所等で出張検診として実施 04 その他の医療機関で実施 05 その他()	01 直営の病院で実施 02 提携医療機関(検診機関)で実施 03 検診車や事業所等で出張検診として実施 04 その他の医療機関で実施 05 その他()
受診できる 時間帯 (複数回答)	01 平日の昼間 02 夜間 03 休日	01 平日の昼間 02 夜間 03 休日

問4. 貴健康保険組合が実施した「がん検診」への受診向上の取り組みについてお伺いします。

問 4-1: どのように取り組んでいますか(記入される方から見た取り組み状況をお聞かせください)。

取り組み状況	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)
	01 積極的に取り組んでいる →→→→→→→→→→→→→→→→→ 問 4-2 へ 02 積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない→ 問 4-3 へ

問 4-2: 問 4-1 で「取り組みは積極的である」と回答された方にお伺いします。積極的に取り組んでいる理由としてあてはまるものを次の中からすべて選んでください。

積極的に取り組んでいる理由	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 健保組合として、がん検診等の受診の重要性を理解している
	02 加入企業のがん検診等への意識が高い
	03 担当者のがん検診等への意識が高い
	04 保険給付費が増大しており、がん予防の重要性が認識されている
	05 検診のための設備・体制が充実している
	06 疾病予防事業予算が充実している
	07 早期治療・早期復職による生産性の向上
	08 その他 ()

→→→ 問 4-5 へ

問 4-3: 問 4-1 で「積極的な取り組みはしていない、または、取り組んでいない」と回答された方にお伺いします。理由としてあてはまるものを次の中からすべて選んでください。

積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない理由	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 予算が不足している
	02 人的な体制が不足している
	03 設備や場所が不足している
	04 加入者のがん検診等の重要性や必要性への認識が不足している
	05 がん検診の制度が従業員に周知されていない
	06 経営層が、がん検診等の受診の重要性を理解していない
	07 特に理由はない
	08 わからない
09 その他 ()	

→→→ 問 4-4 へ

問 4-4: 問 4-1 で「積極的な取り組みはしていない、または、取り組んでいない」と回答された方にお伺いします。どのような条件があれば、より積極的に取り組むことができますか。あなた自身の立場を支援するために有効と思われるものを次の中からすべて選んでください。

より積極的に取り組むために有効と思われる支援(条件)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 健保組合内部で、がん検診等の受診の重要性の理解を深める
	02 加入者のがん検診等への意識を高める
	03 社会的な要求として、がん検診等の確実な実施を企業に求める
	04 がん予防による価値(休業による社会的損失の抑制、医療費の削減)に関する情報やデータを得る
05 その他 ()	

問 4-5: 貴健康保険組合では、加入者の「がん検診」の受診向上について、**広報・普及啓発等**を行っていますか。

広報・普及啓発の実施の有無	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)
※「01 実施している」を選択された場合、以下へお進みください	01 実施している 02 実施していない
広報・普及啓発の方法(複数回答)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 手紙や電子メール等を使った受診勧奨・情報提供
	02 勉強会・講演会・セミナーの開催
	03 広報誌やホームページ等を使った情報提供
	04 区市町村のパンフレットを使った情報提供
	05 受診促進につながる動機づけ(ポイントプログラム等)
	06 事業主単位の表彰制度
	07 その他 ()
特に効果的だと思われる普及啓発の方法はなんでしたか(複数回答)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 02 03 04 05 06 07

問5. 貴健康保険組合の「がん検診」に関連する保健事業の実施状況についてお伺いします。

問 5-1: 平成 20 年度から特定健診が開始となったことにより、今年度のがん検診に関する事業の状況は変化しましたか。

今年度のがん検診に関する事業の状況	(該当する番号を <u>1つだけ</u> ○(マル)で囲んでください、「03 縮小する予定」を選択された場合、副問についてもお答えください)
	<p>01 拡大する予定</p> <p>02 変わらない</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小する予定 → 副問: {</p> <p style="margin-left: 20px;">1) 特定健診・特定保健指導を実施するから</p> <p style="margin-left: 20px;">2) 予算縮小のため</p> <p style="margin-left: 20px;">3) マンパワーの不足</p> <p style="margin-left: 20px;">4) その他 (<input type="text"/>)</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p><input type="text"/></p>

問 5-2: 貴健康保険組合の保健事業の平成 20 年度予算について教えてください。

平成 20 年度の保険料収入に占める保健事業予算の割合	<input type="text"/> %
平成 20 年度の保険料収入に占める疾病予防事業予算の割合	<input type="text"/> %

※疾病予防事業に特定健診・特定保健指導が含まれていない場合には、これを含めた割合として算出してください。

問6. がん検診に関する都や区市町村に対する要望について教えてください。

具体的な要望 (複数回答)	(該当する選択番号を <u>すべて</u> ○(マル)で囲んでください)
	<p>01 自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みをつくってほしい</p> <p>02 がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンを推進してほしい</p> <p>03 加入者のがん検診の重要性や必要性をわかりやすく伝える資料や医療費削減効果がわかるデータ等を提供してほしい</p> <p>04 取り組みが優良な健保組合や事業所を表彰してほしい</p> <p>05 その他 (<input type="text"/>)</p>
行政への期待 (自由記述)	<input type="text"/>

問7. 貴健康保険組合のがん検診に関する**独自の事業**や、**特に力を入れている事業**を教えてください。

(自由記述)

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**平成20年9月1日**までに投函してください。

切手を貼っていただく必要はございません。

調査終了後、調査結果の概要版を送付させていただきます。お手数ですが、ご所属等記入の程
よろしく願いいたします。

ご回答者 お名前	
ご所属	
TEL	
FAX	
ご住所	

※ 貴健康保険組合の取り組みについて、後日お話を伺お聞かせいただく場合があります。
その際は、ご協力の程よろしく願いいたします。

平成 20 年度 東京都がん検診実態調査
職域におけるがん検診実施状況調査
事業所向け

この調査は、東京都全域(島しょを除く)に事業所を有する事業主におけるがん検診に関する実施状況についてお伺いするものです。職域のがん検診の検査項目、実施方法等の実態を把握し、がん検診受診率向上に向けた施策に活用するとともに、効果的な検診体制・実施方法を展開している事業主の事例をとりまとめ、市区町村や職域検診に還元して、がん検診実施体制の整備に寄与することを目的としています。

【実施主体】

東京都福祉保健局

【お問い合わせ先】

本調査お問い合わせ専用番号:株式会社 総合企画

03(3262)7650 (受付時間9:30~17:30)

<記入にあたってのお願い>

- 1 2007年度(平成 19 年度)の状況についてご回答ください。
- 2 「がん検診」という名称の検診だけではなく、職場などの定期健康診断や人間ドックなどの健診で実施したがんの検査(例:バリウムを飲み X 線を撮る検査=胃がん検診)も含めて、ご回答ください。
- 3 調査票は全部で 13 ページあります。
- 4 記入にあたり御不明な点がございましたら、上記「お問い合わせ先」まで御連絡ください。

※すべて記入が終わりましたら、返信用封筒に入れ郵送してください。

切手を貼る必要はありません。

提出締切り 平成20年9月1日(月) 当日消印有効

問1. 該当する選択番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。また、網掛け()の部分に文字、網掛け()の部分に数値をご記入ください。

所在地	_____ 区・市・町・村	
事業所規模 (従業員数)	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください) 01 10人未満 02 10～29人 03 30～49人 04 50～99人 05 100～299人 06 300人以上 07 300～499人 08 500～999人 09 1,000人以上	
正社員数	_____ 人	
事業所の主たる業種	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください) 01 農林漁業、鉱業 02 建設業 03 製造業 04 電気・ガス・熱供給・水道業 05 情報通信業 06 運輸業、郵便業 07 卸売業、小売業 08 金融・保険業 09 不動産業 10 飲食店、宿泊業 11 サービス業 12 医療、福祉 13 公務 14 その他 (_____)	
貴事業所が導入している医療保険の種類	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください) 01 国民健康保険 02 政府管掌健康保険 ※「03 組合健康保険」を選択された場合 → 03 組合健康保険 (健康保険組合・共済・船員) 04 その他 (_____)	
設立形態	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください) 01 単一 02 総合 03 連合	
保健事業の専門スタッフについて (非常勤含む)	医師： _____ 人 保健師： _____ 人 看護師： _____ 人 管理栄養士・栄養士： _____ 人 その他： _____ 人	その他の専門スタッフ(具体的に) _____ _____ _____

問2. 貴事業所の「がん検診」の実施状況および受診状況等についてお伺いします。

問 2-1: 次の「1」～「5」の「がん検診」の実施状況について、正社員・正社員の家族それぞれについてお答えください。

1 胃がん検診		
正社員・正社員の家族、それぞれについてお答えください。		
※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。 ※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。 ※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。		
	正社員	正社員の家族
検診の実施状況	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 { 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法※ (一次検診) (複数回答)	01 胃X線検査 02 胃内視鏡検査 03 ペプシノゲン検査 04 その他()	01 胃X線検査 02 胃内視鏡検査 03 ペプシノゲン検査 04 その他()

※【検査方法】

- | | |
|--|---|
| 01 胃 X 線検査
<small>い エックスせんけんさ</small> | 胃X線検査は、バリウム(造影剤)と発泡剤(胃を膨らませる薬)を飲み、おなかのX線(レントゲン)を撮る検査です。 |
| 02 胃内視鏡検査
<small>い ないしきょうけんさ</small> | 胃の中を胃カメラで直接観察する検査です。 |
| 03 ペプシノゲン検査
<small>けん さ いしゆくど</small> | 血液検査によって、胃粘膜の老化度(萎縮度)を調べます。 |

2 大腸がん検診

正社員・正社員の家族、それぞれについてお答えください。

※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	正社員	正社員の家族
検診の実施状況	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法※ (一次検診) (複数回答)	01 便潜血検査 02 全大腸内視鏡検査 03 その他()	01 便潜血検査 02 全大腸内視鏡検査 03 その他()

※【検査方法】

- 01 べんせんけつけんさ 便潜血検査 便を採取して、便に混じった大腸からの出血を調べます。
- 02 ぜんだいちょうないしきょうけんさ 全大腸内視鏡検査 内視鏡で大腸すべてを観察する方法です。

3 肺がん検診

正社員・正社員の家族、それぞれについてお答えください。

- ※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。
- ※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。
- ※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	正社員	正社員の家族
検診の実施状況	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法* (一次検診) (複数回答)	01 胸部X線検査 { 1) 労働安全衛生法に基づく健診 2) がん検診として実施 02 喀痰細胞診 03 胸部CT検査 04 その他()	01 胸部X線検査 { 1) 労働安全衛生法に基づく健診 2) がん検診として実施 02 喀痰細胞診 03 胸部CT検査 04 その他()

※【検査方法】

- | | | |
|----|--|--|
| 01 | <small>きょうぶエックスせんけんさ</small>
胸部 X 線検査 | 胸部のX線(レントゲン)撮影による検査です。 |
| 02 | <small>かくたんさいぼうしん</small>
喀痰細胞診 | 主に喫煙者を対象として「胸部X線検査」に併用して行います。痰を容器に採取して検査します。 |
| 03 | <small>きょうぶシーティーけんさ</small>
胸部 CT 検査 | CT スキャナーと呼ばれる検査装置の寝台に横になり、X線を用いて検査します。 |

4 乳がん検診

正社員・正社員の家族、それぞれについてお答えください。

※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	正社員	正社員の家族
検診の実施状況	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法* (一次検診) (複数回答)	01 マンモグラフィ 02 視触診 03 乳房超音波(エコー)検査 04 その他()	01 マンモグラフィ 02 視触診 03 乳房超音波(エコー)検査 04 その他()

※【検査方法】

01 マンモグラフィ

マンモグラフィとは、乳房X線撮影(レントゲン)のことで、乳房を挟み込んで撮影します。

02 視触診

医師が乳房の皮膚等を見て、触って、乳房にしこりがないかを検査します。

03 乳房超音波(エコー)検査

超音波(エコー)により、乳房の病変を検査する方法です。

5 子宮頸がん検診

正社員・正社員の家族、それぞれについてお答えください。

※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。

※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法：該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。

※ 網掛け()の部分に数値をご記入ください。

	正社員	正社員の家族
検診の実施状況	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()	01 全員に実施(定期健診に追加など) 02 申込(希望)者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数()人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢()歳以上 05 その他()
受診対象人数 (直近のデータ)	()人	()人
2007年度の 受診者数	()人	()人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他()
検査方法※ (一次検診) (複数回答)	01 細胞診：医師による採取 02 細胞診：自己採取 03 その他()	01 細胞診：医師による採取 02 細胞診：自己採取 03 その他()

※【検査方法】

- 01 さいぼうしん 細胞診：医師による採取 婦人科の専門医によって、子宮頸部の粘膜を採取して検査します。
- 02 さいぼうしん 細胞診：自己採取 自分で子宮頸部の粘膜を採取して容器に入れ、郵送で検査機関に送り検査を依頼する方法です。

問 2-2: 問 2-1 1 ~5 の「がん検診」の実施状況について、**A. 検診の実施場所**、**B. 受診の時間帯**をお答えください。

※ 該当する番号をすべて○(マル)で囲み、該当する「がん検診」の番号を○(マル)で囲んでください。

女性				
男性				
1	2	3	4	5
胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん

A. 検診の実施場所

		↓	↓	↓	↓	↓
正社員について	01 直営の病院で実施	01	01	01	01	01
	02 提携医療機関（検診機関）で実施	02	02	02	02	02
	03 検診車や事業所等出張検診として実施	03	03	03	03	03
	04 その他の医療機関で実施	04	04	04	04	04
	05 自己採取による郵送で実施	-	05	-	-	05
	06 その他（ <input type="text"/> ）	06	06	06	06	06
正社員の家族について	01 直営の病院で実施	01	01	01	01	01
	02 提携医療機関（検診機関）で実施	02	02	02	02	02
	03 検診車や事業所等出張検診として実施	03	03	03	03	03
	04 その他の医療機関で実施	04	04	04	04	04
	05 自己採取による郵送で実施	-	05	-	-	05
	06 その他（ <input type="text"/> ）	06	06	06	06	06

B. 受診の時間帯

		↓	↓	↓	↓	↓
正社員について	01 勤務時間内	01	01	01	01	01
	02 勤務時間の前後	02	02	02	02	02
	03 休日	03	03	03	03	03
正社員の家族について	01 平日の昼間	01	01	01	01	01
	02 夜間	02	02	02	02	02
	03 休日	03	03	03	03	03

問 2-3: 貴事業所が実施したがん検診の正社員の結果通知および要精密検査該当者への受診勧奨等についてお答えください。(正社員の家族分は除きます)

<p>個人の検診結果の把握の有無</p>	<p>(該当する番号を <u>1つだけ</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> すべての受診対象者の検診結果を把握している</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 一部の受診対象者の検診結果を把握している</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 把握していない</p> <p>04 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>
<p>(検診結果を把握している場合) 要精密検査の該当者への対応状況</p> <p>※ 選択肢番号の「02」または「03」を選択された場合、以下へお進みください</p>	<p>(該当する番号を <u>1つだけ</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> 結果通知のみを行っている</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を1回までは行う</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 結果通知のほかに、精密検査受診の勧奨を受診が確認できるまで行う</p> <p>04 <input type="checkbox"/> 結果通知等を行っていない (精密検査受診の勧奨等は、一切行っていない)</p> <p>05 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>
<p>精密検査の受診勧奨等の実施方法 (複数回答)</p>	<p>(該当する番号を <u>すべて</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> 文書 (郵送、社内便等)</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 電子メール</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 電話</p> <p>04 <input type="checkbox"/> FAX</p> <p>05 <input type="checkbox"/> 面談</p> <p>06 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>

問 2-4: 正社員のがん検診の精密検査結果について把握していますか。

<p>個人の精密検査結果の把握の有無</p>	<p>(該当する番号を <u>1つだけ</u>○(マル)で囲んでください)</p> <p>01 <input type="checkbox"/> すべて把握している</p> <p>02 <input type="checkbox"/> 一部把握している</p> <p>03 <input type="checkbox"/> 把握していない</p> <p>04 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="text"/>)</p>
------------------------	---

問3. 貴事業所の定期健康診断(法定項目)以外で、「**肝炎ウイルス検診(B型・C型)**」の実施状況および受診状況等についてお伺いします。

肝炎ウイルス検診 ★ 肝炎ウイルス検診は、血液検査です。 正社員・正社員の家族、それぞれについてお答えください。		
※ 検診の実施状況：該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください。 ※ 受診対象、検診費用の自己負担の状況、検査方法、実施場所、受診できる時間帯 : 該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください。 ※ 網掛け () の部分に数値をご記入ください。		
	正社員	正社員の家族
検診の実施状況	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない	01 事業所単独で実施 02 健康保険組合と共同で実施 03 実施していない
受診対象 (複数回答)	01 全員に実施 (定期健診に追加など) 02 申込 (希望) 者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数 () 人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢 () 歳以上 05 その他 ()	01 全員に実施 (定期健診に追加など) 02 申込 (希望) 者全員に実施 03 定員制限を設けて実施 →定員数 () 人 04 年齢制限を設けて実施 →対象年齢 () 歳以上 05 その他 ()
受診対象人数 (直近のデータ)	() 人	() 人
2007年度の 受診者数	() 人	() 人
検診費用の 自己負担の 状況 (複数回答)	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他 ()	01 自己負担なし 02 一部負担(健保や事業所からの助成) { 1) 現物給付 2) 償還払い(検診後払い戻し) 03 その他 ()
検査方法 (一次検診) (複数回答)	01 B型肝炎ウイルス検査 02 C型肝炎ウイルス検査 03 その他 ()	01 B型肝炎ウイルス検査 02 C型肝炎ウイルス検査 03 その他 ()
実施場所 (複数回答)	01 直営の病院で実施 02 提携医療機関(検診機関)で実施 03 検診車や事業所等で出張検診として実施 04 その他の医療機関で実施 05 その他 ()	01 直営の病院で実施 02 提携医療機関(検診機関)で実施 03 検診車や事業所等で出張検診として実施 04 その他の医療機関で実施 05 その他 ()
受診できる 時間帯 (複数回答)	01 平日の昼間 02 夜間 03 休日	01 平日の昼間 02 夜間 03 休日

問4. 貴事業所が実施した「がん検診」への受診向上の取り組みについてお伺いします。

問 4-1: どのように取り組んでいますか(記入される方から見た取り組み状況をお聞かせください)。

	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)
取り組み状況	01 積極的に取り組んでいる →→→→→→→→→→→→→→→→ 問 4-2 へ
	02 積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない→ 問 4-3 へ

問 4-2: 問 4-1 で「取り組みは積極的である」と回答された方にお伺いします。積極的に取り組んでいる理由としてあてはまるものを次の中からすべて選んでください。

	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
積極的に取り組んでいる理由	01 経営層が、がん検診等の受診の重要性を理解している
	02 社員のがん検診等への意識が高い
	03 衛生管理者、検診担当者のがん検診等への意識が高い
	04 企業が社会的責任の一つとしてがん検診等の実施を捉えている
	05 健康保険組合の意識が高く、連携した取り組みを求められた
	06 保険給付費が増大しており、がん予防の重要性が認識されている
	07 検診のための設備・体制が充実している
	08 疾病予防事業予算が充実している
	09 早期治療・早期復職による生産性の向上
	10 その他 ()

→→→ 問 4-5 へ

問 4-3: 問 4-1 で「積極的な取り組みはしていない、または、取り組んでいない」と回答された方にお伺いします。理由としてあてはまるものを次の中からすべて選んでください。

	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない理由	01 予算が不足している
	02 人的な体制が不足している
	03 設備や場所が不足している
	04 がん検診等の重要性や必要性への認識が不足している
	05 がん検診の制度が従業員に周知されていない
	06 経営層が、がん検診等の受診の重要性を理解していない
	07 特に理由はない
	08 わからない
	09 その他 ()

→→→ 問 4-4 へ

問 4-4: 問 4-1 で「積極的な取り組みはしていない、または、取り組んでいない」と回答された方にお伺いします。どのような条件があれば、より積極的に取り組むことができますか。あなた自身の立場を支援するために有効と思われるものを次の中からすべて選んでください。

より積極的に取り組むために有効と思われる支援(条件)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 経営層に、がん検診等の受診の重要性を理解してもらう
	02 社員のがん検診等への意識を高める
	03 社会的な要求として、がん検診等の確実な実施を企業に求める
	04 がん予防による価値(社員満足度向上、休業疾病による社会的損失の抑制、科学的効果)に関する情報やデータを得る
05 その他 ()	

問 4-5: 貴事業所では、加入者の「がん検診」の受診向上について、**広報・普及啓発等**を行っていますか。

広報・普及啓発の実施の有無	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)
※「01 実施している」を選択された場合、以下へお進みください	01 実施している 02 実施していない
広報・普及啓発の方法(複数回答)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 手紙や電子メール等を使った受診勧奨・情報提供
	02 勉強会・講演会・セミナーの開催
	03 広報誌やホームページ等を使った情報提供
	04 区市町村のパンフレットを使った情報提供
	05 受診促進につながる動機づけ(ポイントプログラム等)
	06 事業主単位の表彰制度
	07 その他 ()
特に効果的だと思われる普及啓発の方法はなんでしたか(複数回答)	(該当する番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	01 02 03 04 05 06 07

問5. 貴事業所の「がん検診」に関連する保健事業の実施状況についてお伺いします。平成20年度から特定健診が開始となったことにより、今年度のがん検診に関する事業の状況は変化しましたか。

今年度のがん検診に関する事業の状況	(該当する番号を1つだけ○(マル)で囲んでください)
	<p>01 拡大する予定</p> <p>02 変わらない</p> <p>縮小する予定 → 副問: {</p> <p>1) 特定健診・特定保健指導を実施するから</p> <p>2) 予算縮小のため</p> <p>3) マンパワーの不足</p> <p>4) その他 ()</p> <p>その他</p> <p>()</p>

問6. がん検診に関する都や区市町村に対する要望について教えてください。

具体的な要望 (複数回答)	(該当する選択番号をすべて○(マル)で囲んでください)
	<p>01 自治体と職域が連携できる場や連携しやすい仕組みをつくってほしい</p> <p>02 がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンを推進してほしい</p> <p>03 加入者のがん検診の重要性や必要性をわかりやすく伝える資料やデータ等を提供してほしい</p> <p>04 取り組みが優良な健保組合や事業所を表彰してほしい</p> <p>05 職域でもがん検診の受診をより促進させるような制度をつくってほしい</p> <p>06 その他 ()</p>
行政への期待 (自由記述)	

問7. 貴事業所のがん検診に関する**独自の事業**や、**特に力を入れている事業**を教えてください。

(自由記述)

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**平成20年9月1日**までに投函してください。

切手を貼っていただく必要はございません。

調査終了後、調査結果の概要版を送付させていただきます。お手数ですが、ご所属等記入の程
よろしく願いいたします。

ご回答者 お名前	
ご所属	
TEL	
FAX	
ご住所	

※ 貴社の取り組みについて、後日お話を聞かせいただく場合があります。
その際は、ご協力の程よろしく願いいたします。

第5章 単純集計表

◇ 単純集計表

問1 「がん検診」の受診状況

(上段:件数/下段:%)

問1-1 胃がん検診受診の有無【複数回答】

昨年 年度 受けた	受 け た こ と が あ る に い ま は な い	受 け た こ と が あ る に い ま は な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答	昨 年 度 と 昨 年 度 以 前 の 両 方 受 け た (再 掲)
706	927	588	36	276
35.6%	46.8%	29.7%	1.8%	13.9%

問1-1 胃がん検査の方法【複数回答】

胃 X 線 検 査	胃 内 視 鏡 検 査	ペ プ シ ノ ゲ ン 検 査	そ の 他	受 け た こ と が わ か ら な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
1005	655	105	12	6	19
74.1%	48.3%	7.7%	0.9%	0.4%	1.4%

問1-1 肺がん検診受診の有無【複数回答】

昨 年 度 受 け た	受 け た こ と が あ る に い ま は な い	受 け た こ と が あ る に い ま は な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答	昨 年 度 と 昨 年 度 以 前 の 両 方 受 け た (再 掲)
784	543	804	87	237
39.6%	27.4%	40.6%	4.4%	12.0%

問1-1 肺がん検査の方法【複数回答】

胸 部 X 線 検 査	咳 痰 細 胞 診	胸 部 C T 検 査	そ の 他	受 け た こ と が わ か ら な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答	胸 部 X 線 検 査 と 咳 痰 細 胞 診 の 両 方 (再 掲)
1032	125	112	5	2	16	106
94.7%	11.5%	10.3%	0.5%	0.2%	1.5%	9.7%

問1-1 大腸がん検診受診の有無【複数回答】

昨 年 度 受 け た	受 け た こ と が あ る に い ま は な い	受 け た こ と が あ る に い ま は な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答	昨 年 度 と 昨 年 度 以 前 の 両 方 受 け た (再 掲)
707	676	776	53	231
35.7%	34.1%	39.2%	2.7%	11.7%

問1-1 大腸がん検査の方法【複数回答】

便 潜 血 検 査	全 大 腸 内 視 鏡 検 査	そ の 他	受 け た こ と が わ か ら な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
953	364	26	9	10
82.7%	31.6%	2.3%	0.8%	0.9%

問1-1 子宮(頸)がん検診受診の有無【複数回答】

以 前 受 け た (過 去 2 年 以 上)	受 け た こ と が あ る に い ま は な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	受 け た こ と が あ る に い ま は な い	無 回 答	年 過 去 2 年 以 上 の 再 掲)
527	511	530	36	90
34.8%	33.8%	35.0%	2.4%	5.9%

問1-1 子宮(頸)がん検査の方法【複数回答】

細 胞 診 : 医 師 に よ り 採 取	細 胞 診 : 自 己 採 取	そ の 他	受 け た こ と が わ か ら な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答
835	72	15	31	24
88.1%	7.6%	1.6%	3.3%	2.5%

問1-1 乳がん検診受診の有無【複数回答】

以 前 受 け た (過 去 2 年 以 上)	受 け た こ と が あ る に い ま は な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	受 け た こ と が あ る に い ま は な い	無 回 答	年 過 去 2 年 以 上 の 再 掲)
344	401	422	30	83
30.9%	36.0%	37.9%	2.7%	7.5%

問1-1 乳がん検査の方法【複数回答】

マン モ グ ラ フ イ	視 触 診	コ レ ド ド グ ラ フ イ 超 音 波 (エ イ)	そ の 他	受 け た こ と が わ か ら な い が 、 検 査 方 法 が わ か ら な い	無 回 答	マン モ グ ラ フ イ と 視 触 診 の 両 方 (再 掲)
369	522	250	8	5	4	272
55.7%	78.9%	37.8%	1.2%	0.8%	0.6%	41.1%

問1-2 A. 胃がん検査の機会【複数回答】

職 場 の 検 診 で 受 け た	検 診 受 け た (市 区 町 村)	全 額 自 費 で 個 人 的 に 受 け た (人 間 診 受 け た 等)	通 院 中 で 受 け た (医 師 に よ り 採 取)	そ の 他	無 回 答
570	341	215	184	19	152
42.0%	25.1%	15.8%	13.6%	1.4%	11.2%

問1-2 A. 肺がん検査の機会【複数回答】

職 場 の 検 診 で 受 け た	検 診 受 け た (市 区 町 村)	全 額 自 費 で 個 人 的 に 受 け た (人 間 診 受 け た 等)	通 院 中 で 受 け た (医 師 に よ り 採 取)	そ の 他	無 回 答
515	320	100	86	13	139
47.2%	29.4%	9.2%	7.9%	1.2%	12.8%

問1-2 A. 大腸がん検査の機会【複数回答】

職 場 の 検 診 で 受 け た	検 診 受 け た (市 区 町 村)	全 額 自 費 で 個 人 的 に 受 け た (人 間 診 受 け た 等)	通 院 中 で 受 け た (医 師 に よ り 採 取)	そ の 他	無 回 答
429	364	172	145	17	106
37.2%	31.6%	14.9%	12.6%	1.5%	9.2%

問1-2 A. 子宮がん検査の機会【複数回答】

職 場 の 検 診 で 受 け た	検 診 受 け た (市 区 町 村)	全 額 自 費 で 個 人 的 に 受 け た (人 間 診 受 け た 等)	通 院 中 で 受 け た (医 師 に よ り 採 取)	そ の 他	無 回 答
254	316	187	177	26	68
26.8%	33.3%	19.7%	18.7%	2.7%	7.2%

問1-2 A. 乳がん検査の機会【複数回答】

職 場 の 検 診 で 受 け た	検 診 受 け た (市 区 町 村)	全 額 自 費 で 個 人 的 に 受 け た (人 間 診 受 け た 等)	通 院 中 で 受 け た (医 師 に よ り 採 取)	そ の 他	無 回 答
208	260	116	45	14	60
31.4%	39.3%	17.5%	6.8%	2.1%	9.1%

問1-2 B. 胃がん検診の場所【複数回答】

診 病 院 、 診 療 所 、 健 診 機 関	市 区 町 村 の 健 診 所 等	職 場 内 の 検 査	そ の 他	無 回 答
925	174	151	10	159
68.2%	12.8%	11.1%	0.7%	11.7%

問1-2 B. 肺がん検診の場所【複数回答】

診 病 院 、 診 療 所 、 健 診 機 関	市 区 町 村 の 健 診 所 等	職 場 内 の 検 査	そ の 他	無 回 答
693	123	160	7	151
63.6%	11.3%	14.7%	0.6%	13.9%

問1-2 B. 大腸がん検診の場所【複数回答】

診 病 院 、 診 療 所 、 健 診 機 関	市 区 町 村 の 健 診 所 等	職 場 内 の 検 査	そ の 他	無 回 答
816	120	113	15	123
70.8%	10.4%	9.8%	1.3%	10.7%

問1-2 B. 子宮がん検診の場所【複数回答】

診 病 院 、 診 療 所 、 健 診 機 関	市 区 町 村 の 健 診 所 等	職 場 内 の 検 査	そ の 他	無 回 答
802	47	28	6	78
84.6%	5.0%	3.0%	0.6%	8.2%

問1-2 B. 乳がん検診の場所【複数回答】

診 病 院 、 診 療 所 、 健 診 機 関	市 区 町 村 の 健 診 所 等	職 場 内 の 検 査	そ の 他	無 回 答
503	87	20	3	70
76.0%	13.1%	3.0%	0.5%	10.6%

◇ 単純集計表

問1 「がん検診」の受診状況

(上段:件数/下段:%)

問1-2 C-1. 胃がん検診結果の通知方法【複数回答】
(n=1357:40歳以上胃がん検診受診者)

の郵 文法 書 社内 便な ど	電 話	電 子 メ ー ル	ど 面 談 や 保 健 指 導 な ど	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
693	3	4	527	43	5	164
51.1	0.2	0.3	38.8	3.2	0.4	12.1

問1-2 C-1. 肺がん検診結果の通知方法【複数回答】
(n=1090:40歳以上肺がん検診受診者)

の郵 文法 書 社内 便な ど	電 話	電 子 メ ー ル	ど 面 談 や 保 健 指 導 な ど	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
597	4	4	364	21	2	158
54.8	0.4	0.4	33.4	1.9	0.2	14.5

問1-2 C-1. 大腸がん検診結果の通知方法【複数回答】
(n=1152:40歳以上大腸がん検診受診者)

の郵 文法 書 社内 便な ど	電 話	電 子 メ ー ル	ど 面 談 や 保 健 指 導 な ど	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
566	3	5	477	25	6	126
49.1	0.3	0.4	41.4	2.2	0.5	10.9

問1-2 C-1. 子宮がん検診結果の通知方法【複数回答】
(n=948:20歳以上女性子宮がん検診受診者)

の郵 文法 書 社内 便な ど	電 話	電 子 メ ー ル	ど 面 談 や 保 健 指 導 な ど	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
412	20	9	420	47	6	81
43.5	2.1	0.9	44.3	5.0	0.6	8.5

問1-2 C-1. 乳がん検診結果の通知方法【複数回答】
(n=662:40歳以上女性乳がん検診受診者)

の郵 文法 書 社内 便な ど	電 話	電 子 メ ー ル	ど 面 談 や 保 健 指 導 な ど	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
317	3	6	267	24	2	71
47.9	0.5	0.9	40.3	3.6	0.3	10.7

問1-2 C-2. 胃がん再検査・精密検査
受診の勧めの有無 (n=1357:40歳以上胃がん検診受診者)

勧 め が あ っ た	勧 め は な か っ た	無 回 答
176	789	392
13.0	58.1	28.9

問1-2 C-2. 肺がん再検査・精密検査
受診の勧めの有無 (n=1090:40歳以上肺がん検診受診者)

勧 め が あ っ た	勧 め は な か っ た	無 回 答
46	685	359
4.2	62.8	32.9

問1-2 C-2. 大腸がん再検査・精密検査
受診の勧めの有無 (n=1152:40歳以上大腸がん検診受診者)

勧 め が あ っ た	勧 め は な か っ た	無 回 答
126	693	333
10.9	60.2	28.9

問1-2 C-2. 子宮がん再検査・精密検査
受診の勧めの有無 (n=948:20歳以上女性子宮がん検診受診者)

勧 め が あ っ た	勧 め は な か っ た	無 回 答
69	634	245
7.3	66.9	25.8

問1-2 C-2. 乳がん再検査・精密検査
受診の勧めの有無 (n=662:40歳以上女性乳がん検診受診者)

勧 め が あ っ た	勧 め は な か っ た	無 回 答
81	398	183
12.2	60.1	27.6

問1-2 C-3. 胃がん再検査・精密検査
(二次検査)の受診 (n=176:勧めあり)

け て 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 診	受 け て い な い	無 回 答
145	16	15
82.4	9.1	8.5

問1-2 C-3. 肺がん再検査・精密検査
(二次検査)の受診 (n=46:勧めあり)

け て 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 診	受 け て い な い	無 回 答
33	5	8
71.7	10.9	17.4

問1-2 C-3. 大腸がん再検査・精密検査
(二次検査)の受診 (n=126:勧めあり)

け て 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 診	受 け て い な い	無 回 答
99	15	12
78.6	11.9	9.5

問1-2 C-3. 子宮がん再検査・精密検査
(二次検査)の受診 (n=69:勧めあり)

け て 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 診	受 け て い な い	無 回 答
54	10	5
78.3	14.5	7.2

問1-2 C-3. 乳がん再検査・精密検査
(二次検査)の受診 (n=81:勧めあり)

け て 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 診	受 け て い な い	無 回 答
71	4	6
87.7	4.9	7.4

◇ 単純集計表

問1 「がん検診」の受診状況

(上段:件数/下段:%)

問1-2 C-4. 胃がん再検査・精密検査 (二次検査)
未受診者の今後について (n=16: 未受診者)

を密 検査 を受け る予 定だ	これ から 再 検査 ・精 密 検査 を受 ける つも	今 後 も 受 け る つも	無 回 答
11	4	1	
68.8	25.0	6.3	

問1-2 C-4. 肺がん再検査・精密検査 (二次検査)
未受診者の今後について (n=5: 未受診者)

を密 検査 を受け る予 定だ	これ から 再 検査 ・精 密 検査 を受 ける つも	今 後 も 受 け る つも	無 回 答
1	2	2	
20.0	40.0	40.0	

問1-2 C-4. 大腸がん再検査・精密検査 (二次検査)
未受診者の今後について (n=15: 未受診者)

を密 検査 を受け る予 定だ	これ から 再 検査 ・精 密 検査 を受 ける つも	今 後 も 受 け る つも	無 回 答
7	7	1	
46.7	46.7	6.7	

問1-2 C-4. 子宮がん再検査・精密検査 (二次検査)
未受診者の今後について (n=10: 未受診者)

を密 検査 を受け る予 定だ	これ から 再 検査 ・精 密 検査 を受 ける つも	今 後 も 受 け る つも	無 回 答
5	3	2	
50.0	30.0	20.0	

問1-2 C-4. 乳がん再検査・精密検査 (二次検査)
未受診者の今後について (n=4: 未受診者)

を密 検査 を受け る予 定だ	これ から 再 検査 ・精 密 検査 を受 ける つも	今 後 も 受 け る つも	無 回 答
2	1	1	
50.0	25.0	25.0	

問1-2 C-5. 胃がん検査を今後も受けない理由【複数回答】
(n=4: 今後も受けるつもりはない)

ら が 怖 い か ら	が 検 査 に 痛 み や 苦 痛 が あ る か ら	ら ど 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い	か ら 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い						
-	-	-	-	1	1	1	1		
-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	25.0		

問1-2 C-5. 肺がん検査を今後も受けない理由【複数回答】
(n=2: 今後も受けるつもりはない)

ら が 怖 い か ら	が 検 査 に 痛 み や 苦 痛 が あ る か ら	ら ど 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い	か ら 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い						
-	-	-	-	1	1	1	1		
-	-	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0		

問1-2 C-5. 大腸がん検査を今後も受けない理由【複数回答】
(n=7: 今後も受けるつもりはない)

ら が 怖 い か ら	が 検 査 に 痛 み や 苦 痛 が あ る か ら	ら ど 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い	か ら 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い						
1	1	-	-	2	-	3	1		
14.3	14.3	-	-	28.6	-	42.9	14.3		

問1-2 C-5. 子宮がん検査を今後も受けない理由【複数回答】
(n=3: 今後も受けるつもりはない)

ら が 怖 い か ら	が 検 査 に 痛 み や 苦 痛 が あ る か ら	ら ど 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い	か ら 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い						
-	-	1	-	1	-	1	-		
-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-		

問1-2 C-5. 乳がん検査を今後も受けない理由【複数回答】
(n=1: 今後も受けるつもりはない)

ら が 怖 い か ら	が 検 査 に 痛 み や 苦 痛 が あ る か ら	ら ど 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い	か ら 再 検 査 ・ 精 密 検 査 を 受 け な か れ ば よ い						
-	-	-	-	-	-	1	-		
-	-	-	-	-	-	100.0	-		

◇ 単純集計表

問2 過去に1度でもがん検診を受けたことがある方について

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診を「受けた」理由【複数回答】

(n=1357:40歳以上胃がん検診受診者)

対象年齢 ①年齢的に 検診の 必要から 検診の 必要から	あつた ②気にな る症状が あつたか ら	にあつた ③職場の 検診内容 から	内容にあ ④区市町 村の検診 内容から	が来たか ⑤検診の お知らせ から	たに受診 ⑥家族・ 友人など から勧め られたか ら	受診でき ⑦かかり つけ医で 勧められ たから	けられた ⑧勤務時 間中に受 診したか ら	ら見聞き ⑨検診を 勧められ たから	師だつた ⑩担当が 同姓の医 生から	らくで受 ⑪自宅や 職場の近 くに受診 できたか ら	診で夜間 ⑫夜間や 休日に受 診できた から	整つて最 ⑬最新鋭 の設備が あつたか ら	から費用 ⑭費用が 安かった から	⑮その他	無回答
518	228	436	247	207	53	210	112	134	3	188	13	46	130	54	148
38.2%	16.8%	32.1%	18.2%	15.3%	3.9%	15.5%	8.3%	9.9%	0.2%	13.9%	1.0%	3.4%	9.6%	4.0%	10.9%

問2-1 ⑩胃がん検診を勧める情報媒体【複数回答】

(n=134)

テレビ・ ラジオ	インタ ①ターネ ット	区市町 ②村の広 報	紙職 ③場の 電子メ ール(広 報)	役所等 ④(駅・ 電車・ バス)	公共施 ⑤設の ポス ター	新聞・ ⑥雑誌 ・書籍	その ⑦他の 媒体	無 ⑧回 答
27	2	83	23	6	13	3	3	
20.1%	1.5%	61.9%	17.2%	4.5%	9.7%	2.2%	2.2%	

問2-1 肺がん検診を「受けた」理由【複数回答】

(n=1090:40歳以上肺がん検診受診者)

対象年齢 ①年齢的に 検診の 必要から 検診の 必要から	あつた ②気にな る症状が あつたか ら	にあつた ③職場の 検診内容 から	内容にあ ④区市町 村の検診 内容から	が来たか ⑤検診の お知らせ から	たに受診 ⑥家族・ 友人など から勧め られたか ら	受診でき ⑦かかり つけ医で 勧められ たから	けられた ⑧勤務時 間中に受 診したか ら	ら見聞き ⑨検診を 勧められ たから	師だつた ⑩担当が 同姓の医 生から	らくで受 ⑪自宅や 職場の近 くに受診 できたか ら	診で夜間 ⑫夜間や 休日に受 診できた から	整つて最 ⑬最新鋭 の設備が あつたか ら	から費用 ⑭費用が 安かった から	⑮その他	無回答
399	65	420	252	172	37	120	108	97	1	140	9	32	107	32	150
36.6%	6.0%	38.5%	23.1%	15.8%	3.4%	11.0%	9.9%	8.9%	0.1%	12.8%	0.8%	2.9%	9.8%	2.9%	13.8%

問2-1 ⑩肺がん検診を勧める情報媒体【複数回答】

(n=97)

テレビ・ ラジオ	インタ ①ターネ ット	区市町 ②村の広 報	紙職 ③場の 電子メ ール(広 報)	役所等 ④(駅・ 電車・ バス)	公共施 ⑤設の ポス ター	新聞・ ⑥雑誌 ・書籍	その ⑦他の 媒体	無 ⑧回 答
18	3	59	20	4	10	-	3	
18.6%	3.1%	60.8%	20.6%	4.1%	10.3%	-	3.1%	

問2-1 大腸がん検診を「受けた」理由【複数回答】

(n=1152:40歳以上大腸がん検診受診者)

対象年齢 ①年齢的に 検診の 必要から 検診の 必要から	あつた ②気にな る症状が あつたか ら	にあつた ③職場の 検診内容 から	内容にあ ④区市町 村の検診 内容から	が来たか ⑤検診の お知らせ から	たに受診 ⑥家族・ 友人など から勧め られたか ら	受診でき ⑦かかり つけ医で 勧められ たから	けられた ⑧勤務時 間中に受 診したか ら	ら見聞き ⑨検診を 勧められ たから	師だつた ⑩担当が 同姓の医 生から	らくで受 ⑪自宅や 職場の近 くに受診 できたか ら	診で夜間 ⑫夜間や 休日に受 診できた から	整つて最 ⑬最新鋭 の設備が あつたか ら	から費用 ⑭費用が 安かった から	⑮その他	無回答
443	171	325	262	202	43	162	85	115	4	148	9	33	118	38	115
38.5%	14.8%	28.2%	22.7%	17.5%	3.7%	14.1%	7.4%	10.0%	0.3%	12.8%	0.8%	2.9%	10.2%	3.3%	10.0%

問2-1 ⑩大腸がん検診を勧める情報媒体【複数回答】

(n=115)

テレビ・ ラジオ	インタ ①ターネ ット	区市町 ②村の広 報	紙職 ③場の 電子メ ール(広 報)	役所等 ④(駅・ 電車・ バス)	公共施 ⑤設の ポス ター	新聞・ ⑥雑誌 ・書籍	その ⑦他の 媒体	無 ⑧回 答
25	3	76	18	5	13	-	3	
21.7%	2.6%	66.1%	15.7%	4.3%	11.3%	-	2.6%	

◇ 単純集計表

問2 過去に1度でもがん検診を受けたことがある方について

(上段:件数/下段:%)

問2-1 子宮がん検診を「受けた」理由【複数回答】

(n=948:20歳以上女性子宮がん検診受診者)

①対象年齢だったから検診の	②あつたから症状が	③にあつた職場の検診内容	④区内市町村の検診内容	⑤が来たから検診のお知らせ	⑥に家族・友人などに受診を勧められたから	⑦かかりつけ医で受診できたから	⑧勤務時間中に受	⑨検診を見聞きしたから	⑩師だったが同姓の医	⑪自宅で職場の近くで受診できたから	⑫夜間や休日に受	⑬最新鋭の設備が	⑭費用が安かった	⑮その他	無回答
390	163	169	210	162	60	142	39	121	54	143	10	19	93	66	87
41.1%	17.2%	17.8%	22.2%	17.1%	6.3%	15.0%	4.1%	12.8%	5.7%	15.1%	1.1%	2.0%	9.8%	7.0%	9.2%

問2-1 ⑨子宮がん検診を勧める情報媒体【複数回答】

(n=121)

テレビ・ラジオ	インターネット	区市町村の広報	職場・電子メール(広報)	役所等(駅・電車・)	公共施設のポスター(電車・)	新聞・雑誌・書籍	その他の媒体	無回答
39	6	66	8	5	28	2	5	
32.2%	5.0%	54.5%	6.6%	4.1%	23.1%	1.7%	4.1%	

問2-1 乳がん検診を「受けた」理由【複数回答】

(n=662:40歳以上女性乳がん検診受診者)

①対象年齢だったから検診の	②あつたから症状が	③にあつた職場の検診内容	④区内市町村の検診内容	⑤が来たから検診のお知らせ	⑥に家族・友人などに受診を勧められたから	⑦かかりつけ医で受診できたから	⑧勤務時間中に受	⑨検診を見聞きしたから	⑩師だったが同姓の医	⑪自宅で職場の近くで受診できたから	⑫夜間や休日に受	⑬最新鋭の設備が	⑭費用が安かった	⑮その他	無回答
282	88	141	173	135	42	59	22	90	21	92	6	22	79	18	74
42.6%	13.3%	21.3%	26.1%	20.4%	6.3%	8.9%	3.3%	13.6%	3.2%	13.9%	0.9%	3.3%	11.9%	2.7%	11.2%

問2-1 ⑨乳がん検診を勧める情報媒体【複数回答】

(n=90)

テレビ・ラジオ	インターネット	区市町村の広報	職場・電子メール(広報)	役所等(駅・電車・)	公共施設のポスター(電車・)	新聞・雑誌・書籍	その他の媒体	無回答
30	1	60	5	5	17	-	3	
33.3%	1.1%	66.7%	5.6%	5.6%	18.9%	-	3.3%	

◇ 単純集計表

問3 昨年、1つでもがん検診を受けていない方について

(上段:件数/下段:%)

問3-1 がん検診を「受けなかった」理由
(n=1971:「昨年度すべてのがん検診を受けた410を除く」)

受ける意思はあつたが、結果はあつた	受けるため、受けなかつた	なんとなく、受けなかつた	無回答
310	233	454	974
15.7	11.8	23.0	49.4

問3-2 胃がん検診を「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由【複数回答】
(n=1239:「昨年度受けた」または「無回答」の742を除く)

ら	が	不	がん	恥	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
が	検	保	検	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
怖	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
い	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
か	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
69	98	11	6	51	70	2	22	206	79	130	193	82	24	41	43	37	9	71	572									
5.6	7.9	0.9	0.5	4.1	5.6	0.2	1.8	16.6	6.4	10.5	15.6	6.6	1.9	3.3	3.5	3.0	0.7	5.7	46.2									

問3-2 肺がん検診を「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由【複数回答】
(n=1110:「昨年度受けた」または「無回答」の871を除く)

ら	が	不	がん	恥	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
が	検	保	検	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
怖	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
い	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
か	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
51	40	13	5	56	67	3	17	172	66	110	173	75	19	41	43	38	8	71	534									
4.6	3.6	1.2	0.5	5.0	6.0	0.3	1.5	15.5	5.9	9.9	15.6	6.8	1.7	3.7	3.9	3.4	0.7	6.4	48.1									

問3-2 大腸がん検診を「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由【複数回答】
(n=1221:「昨年度受けた」または「無回答」の760を除く)

ら	が	不	がん	恥	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
が	検	保	検	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
怖	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
い	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
か	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
58	89	13	38	52	66	3	19	192	71	133	184	91	28	46	52	39	6	74	582									
4.8	7.3	1.1	3.1	4.3	5.4	0.2	1.6	15.7	5.8	10.9	15.1	7.5	2.3	3.8	4.3	3.2	0.5	6.1	47.7									

問3-2 子宮がん検診を「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由【複数回答】
(n=951:「昨年度受けた」または「無回答」の563を除く)

ら	が	不	がん	恥	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
が	検	保	検	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
怖	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
い	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
か	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
65	74	17	95	70	82	2	11	134	63	115	186	95	26	50	57	42	8	64	400									
6.8	7.8	1.8	10.0	7.4	8.6	0.2	1.2	14.1	6.6	12.1	19.6	10.0	2.7	5.3	6.0	4.4	0.8	6.7	42.1									

問3-2 乳がん検診を「受けられなかった」、もしくは「受けなかった」理由【複数回答】
(n=740:「昨年度受けた」または「無回答」の374を除く)

ら	が	不	がん	恥	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
が	検	保	検	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
怖	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
い	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
か	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
つ	査	険	診	ず	い	か	受	通	か	定	診	心	か	ら	面	忙	費	ろ	自	受	夜	な	な	定	そ	無		
44	40	7	40	23	30	4	11	124	49	68	103	37	17	22	22	17	12	39	364									
5.9	5.4	0.9	5.4	3.1	4.1	0.5	1.5	16.8	6.6	9.2	13.9	5.0	2.3	3.0	3.0	2.3	1.6	5.3	49.2									

◇ 単純集計表

問3 昨年、1つでもがん検診を受けていない方について

(上段:件数/下段:%)

問3-3 胃がん検診を受診したくなる条件【複数回答】

(n=1239:「昨年度受けた」または「無回答」の742を除く)

下症が バク イ 等 が 受 け ら る	動 き に あ ら る	自 ら が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	け ど が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	夜 間 や 休 日 な ど に 受 け ら れる	予 約 が で き る	す ぐ に が ん 検 診 の 受 と	け ろ ろ で 、 す ぐ に 受 と	か か り つ け 医 の 受 と	に 各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れる	無 料 で 受 け ら れる	短 い 時 間 で 受 け ら れる	ど ん ど ん と 思 わ な い	ど ん ど ん と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
270	95	291	34	166	245	266	357	451	347	44	45	325					
21.8	7.7	23.5	2.7	13.4	19.8	21.5	28.8	36.4	28.0	3.6						3.6	26.2

問3-3 肺がん検診を受診したくなる条件【複数回答】

(n=1110:「昨年度受けた」または「無回答」の871を除く)

下症が バク イ 等 が 受 け ら る	動 き に あ ら る	自 ら が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	け ど が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	夜 間 や 休 日 な ど に 受 け ら れる	予 約 が で き る	す ぐ に が ん 検 診 の 受 と	け ろ ろ で 、 す ぐ に 受 と	か か り つ け 医 の 受 と	に 各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れる	無 料 で 受 け ら れる	短 い 時 間 で 受 け ら れる	ど ん ど ん と 思 わ な い	ど ん ど ん と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
212	82	245	30	151	204	205	306	386	289	36	35	345					
19.1	7.4	22.1	2.7	13.6	18.4	18.5	27.6	34.8	26.0	3.2	3.2	31.1				3.2	31.1

問3-3 大腸がん検診を受診したくなる条件【複数回答】

(n=1221:「昨年度受けた」または「無回答」の760を除く)

下症が バク イ 等 が 受 け ら る	動 き に あ ら る	自 ら が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	け ど が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	夜 間 や 休 日 な ど に 受 け ら れる	予 約 が で き る	す ぐ に が ん 検 診 の 受 と	け ろ ろ で 、 す ぐ に 受 と	か か り つ け 医 の 受 と	に 各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れる	無 料 で 受 け ら れる	短 い 時 間 で 受 け ら れる	ど ん ど ん と 思 わ な い	ど ん ど ん と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
267	104	283	37	164	234	236	353	424	334	42	45	350					
21.9	8.5	23.2	3.0	13.4	19.2	19.3	28.9	34.7	27.4	3.4	3.7	28.7				3.7	28.7

問3-3 子宮がん検診を受診したくなる条件【複数回答】

(n=951:「昨年度受けた」または「無回答」の563を除く)

下症が バク イ 等 が 受 け ら る	動 き に あ ら る	自 ら が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	け ど が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	夜 間 や 休 日 な ど に 受 け ら れる	予 約 が で き る	す ぐ に が ん 検 診 の 受 と	け ろ ろ で 、 す ぐ に 受 と	か か り つ け 医 の 受 と	に 各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れる	無 料 で 受 け ら れる	短 い 時 間 で 受 け ら れる	ど ん ど ん と 思 わ な い	ど ん ど ん と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
208	104	246	43	125	171	160	284	408	280	24	52	262					
21.9	10.9	25.9	4.5	13.1	18.0	16.8	29.9	42.9	29.4	2.5	5.5	27.5				5.5	27.5

問3-3 乳がん検診を受診したくなる条件【複数回答】

(n=740:「昨年度受けた」または「無回答」の374を除く)

下症が バク イ 等 が 受 け ら る	動 き に あ ら る	自 ら が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	け ど が ん 検 診 を 受 け る	が ん 検 診 を 受 け る	夜 間 や 休 日 な ど に 受 け ら れる	予 約 が で き る	す ぐ に が ん 検 診 の 受 と	け ろ ろ で 、 す ぐ に 受 と	か か り つ け 医 の 受 と	に 各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れる	無 料 で 受 け ら れる	短 い 時 間 で 受 け ら れる	ど ん ど ん と 思 わ な い	ど ん ど ん と 思 わ な い	そ の 他	無 回 答
138	39	167	20	64	125	125	207	256	191	24	30	231					
18.6	5.3	22.6	2.7	8.6	16.9	16.9	28.0	34.6	25.8	3.2	4.1	31.2				4.1	31.2

問4 がん検診の費用（自分で払う費用）について

問4 がん検診の費用

(n=1819:無回答562を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
12796	0	1000000	30627

問4 がん検診の費用

(n=1819:無回答562を除く)

0	41	95	11	2
5	90	90	90	0
9	90	90	90	0
9	90	90	90	0
9	90	90	90	0
円	円	円	円	円以上
74	339	463	608	335
4.1	18.6	25.5	33.4	18.4

◇ 単純集計表

問5 「肝炎ウイルス検診」の受診状況

(上段:件数/下段:%)

問5 肝炎ウイルス検診受診の有無 (n=2381)

受けたことがある	受けたことはない	わからない	無回答
799 33.6%	1172 49.2%	286 12.0%	124 5.2%

問5 肝炎ウイルス検査の種類【複数回答】 (n=799:肝炎ウイルス検診受診者)

検査B型 肝炎ウイルス	検査C型 肝炎ウイルス	検査の種類がわからない	無回答	B型 とC型 の両方 (再掲) 検査
360 45.1%	411 51.4%	255 31.9%	38 4.8%	265 33.2%

問5 肝炎ウイルス検査の機会【複数回答】 (n=799:肝炎ウイルス検診受診者)

①職場の健診で受けた	②住民(区市町村)健診で受けた	③人間ドックを受けた	④医療機関で受けた	⑤自費で、自主的に受けた	⑥献血時の結果でわかった	⑦通院先での血液検査	⑧その他	無回答
202 25.3%	280 35.0%	98 12.3%	100 12.5%	27 3.4%	114 14.3%	60 7.5%	26 3.3%	

問5 ①職場健診の検査費用 (n=202)

無料	有料	無回答
155 76.7%	29 14.4%	18 8.9%

問5 ②住民健診の検査費用 (n=280)

無料	有料	無回答
227 81.1%	29 10.4%	24 8.6%

問5 ③人間ドックの検査費用 (n=98)

無料	有料	無回答
18 18.4%	66 67.3%	14 14.3%

問5 肝炎ウイルス検査の場所【複数回答】 (n=799:肝炎ウイルス検診受診者)

診病院 機関	市 保 健 所 、 役 所 等	区 市 町 村 の 施 設	職 場 (職 場 内 の 検 査)	その他	無回答
647 81.0%	81 10.1%	78 9.8%	12 1.5%	23 2.9%	

問6 健康状態および健康意識について

問6-1 現在の健康状態 (n=2381)

良い	まあ良い	ふつう	あまり良くない	良くない	無回答
524 22.0%	595 25.0%	862 36.2%	270 11.3%	58 2.4%	72 3.0%

問6-2 「健康」に関する情報への興味【複数回答】 (n=2381)

興味がある	すこし興味がある	あまり興味がない	興味がない	無回答
1381 58.0%	777 32.6%	129 5.4%	22 0.9%	79 3.3%

問7 「ピンクリボン運動」について

問7-1 「ピンクリボン運動」の認知 (n=2381)

知っている	聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
820 34.4%	487 20.5%	973 40.9%	101 4.2%

問8 性別および年齢について

問8 性別 (n=2381)

男性	女性
867 36.4%	1,514 63.6%

問8 年齢 (男女計) (n=2381)

平均	最小	最大	標準偏差
55.82	20	95	15.62

問8 年齢 (男性) (n=867)

平均	最小	最大	標準偏差
61.05	40	94	11.56

問8 性別および年齢について

問8 年齢 (女性) (n=1514)

平均	最小	最大	標準偏差
52.82	20	95	16.81

問8 性年代別 (n=2381)

男性40歳代	男性50歳代	男性60歳代	男性70歳以上	女性20歳代	女性30歳代	女性40歳代	女性50歳代	女性60歳代	女性70歳以上
176 7.4%	208 8.7%	245 10.3%	238 10.0%	148 6.2%	252 10.6%	254 10.7%	274 11.5%	265 11.1%	321 13.5%

◇ 単純集計表

(上段:件数/下段:%)

問8 居住区市町村

(n=2381) ※八王子市、奥多摩町、檜原村は未調査(調査票未発送)

千代田区	中央区	港区	文京区	台東区	品川区	大田区	目黒区	世田谷区	渋谷区	新宿区	中野区	杉並区	豊島区	北区	板橋区	練馬区	荒川区	足立区	葛飾区	墨田区
5 0.2	26 1.1	30 1.3	30 1.3	39 1.6	62 2.6	118 5.0	28 1.2	158 6.6	39 1.6	42 1.8	47 2.0	95 4.0	50 2.1	64 2.7	107 4.5	140 5.9	35 1.5	131 5.5	97 4.1	44 1.8

江東区	江戸川区	青梅市	福生市	あきる野市	羽村市	瑞穂町	日の出町	奥多摩町※	檜原村※	八王子市※	町田市	日野市	多摩市	稲城市	立川市	昭島市	国分寺市	国立市	東大和市	武蔵村山市
70 2.9	125 5.2	26 1.1	8 0.3	13 0.5	10 0.4	7 0.3	4 0.2	- -	- -	- -	138 5.8	56 2.4	50 2.1	20 0.8	37 1.6	28 1.2	21 0.9	15 0.6	16 0.7	14 0.6

武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
26 1.1	37 1.6	51 2.1	33 1.4	26 1.1	14 0.6	33 1.4	34 1.4	11 0.5	27 1.1	44 1.8

(n=2381)

区	市町村部
1,582 66.4%	799 33.6%

問9 世帯の家族構成について

問9 同居家族の人数

(n=2293:無回答88を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
2.8	1	15	1.32

問9 同居家族の人数

(n=2381)

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答
351 14.7	803 33.7	536 22.5	374 15.7	163 6.9	52 2.2	14 0.6	88 3.7

問9 同居家族の構成【複数回答】

(n=2381)

配偶者	子	父母	祖父母	兄弟姉妹	他の親族	一人暮らし	その他	無回答
1,533 64.4%	1,039 43.6%	301 12.6%	38 1.6%	103 4.3%	31 1.3%	351 14.7%	87 3.7%	96 4.0%

問9 身の回りでがんにかかった方の有無【複数回答】

(n=2381)

含家族・親戚(本人)	友人・知人	いいない・わからない	無回答
1660 69.7%	784 32.9%	443 18.6%	105 4.4%

問9 同居家族の人数
(n=2293:無回答88を除く)

平均	標準偏差
2.75	1.32

◇ 単純集計表

問10 現在の仕事（就学）の有無、形態・種類等について

(上段:件数/下段:%)

問10 主たる仕事（就学）の有無や形態

① 会社員・公務員	② アルバイト・パート	③ 自営業	④ 家事専業	⑤ 学生	⑥ 無職	無回答
668	394	268	484	23	470	74
28.1%	16.5%	11.3%	20.3%	1.0%	19.7%	3.1%

問10 勤務先の業種

(n=1062:①+②会社員・公務員・派遣・パート・アルバイトの件数)

農林漁業・飲業	建設業	製造業	給電機・水道業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業、小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店 宿泊業	サービス業	医療 福祉	公務	その他	無回答
2	42	122	9	61	52	119	78	19	44	232	166	62	31	23
0.2%	4.0%	11.5%	0.8%	5.7%	4.9%	11.2%	7.3%	1.8%	4.1%	21.8%	15.6%	5.8%	2.9%	2.2%

問11 現在利用できる医療保険の種類について

① 国民健康保険	② 政府管掌健康保険	③ 組合健康保険組合	④ 後期高齢者医療	⑤ 医療保険に加入していない(利用できない)	無回答
1029	201	873	200	14	64
43.2%	8.4%	36.7%	8.4%	0.6%	2.7%

問11 ①国民健康保険の内容

世帯主	世帯主以外の家族	無回答
597	354	78
58.0	34.4	7.6

問11 ②政府管掌健康保険の内容

本人	家族	無回答
143	48	10
71.1	23.9	5.0

問11 ③組合健康保険の内容

本人	家族	無回答
514	295	64
58.9	33.8	7.3

問12 喫煙歴について

問12 喫煙歴について (n=2381)

が今まで吸ったこと	1ヶ月上吸って	時々吸う	毎日吸う	無回答
1337	496	30	447	71
56.2%	20.8%	1.3%	18.8%	3.0%

問12 1日の喫煙本数(以前) (n=442:無回答54を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
20.69	1	100	13.61

問12 喫煙期間(以前) (n=459:無回答37を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
20.50	0.5	60.0	13.17

問12 年間喫煙本数(時々吸う) (n=26:無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
219.50	1	1200	325.72

問12 1日の喫煙本数(毎日吸う) (n=443:無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
18.30	1	60	9.45

問12 たばこを吸い始めた年齢 (n=920:無回答53を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
21.5	12	73	5.40

◇ 単純集計表

(上段:件数/下段:%)

問1 設立形態
(n=71)

単一	総合	連合	無回答
61	9	1	-
85.9	12.7	1.4	-

問1 種類
(n=71)

政府管掌健康保健	健康組合・船員組合・共済	無回答
-	71	-
-	100.0	-

問1 加入事業所数
(n=68:無回答3を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
94.87	2	1240	204.13

問1 被保険者数 (男女合計)
(n=71)

平均	最小	最大	標準偏差
19990	202	221034	37479

問1 被保険者数 (男性)
(n=70:無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
15188	143	191284	31374

問1 被保険者数 (女性)
(n=70:無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
5070	48	46301	8302

問1 被保険者数の都内在住者の割合の把握 (n=71)

①把握している	②把握していない	無回答
20	48	3
28.2	67.6	4.2

問1 ①被保険者数 (都内在住者)
(n=20)

平均	最小	最大	標準偏差
3471	3	15000	4271

問1 被扶養者数
(n=70:無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
20297	150	256405	42207

問1 任意継続被保険者数
(n=71)

平均	最小	最大	標準偏差
838	2	35434	4168

問1 事業所の主たる業種【複数回答】
(n=71)

農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・機械・水道業・熱供給	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	サービス業	医療・福祉	公務	その他	無回答
-	1	38	1	4	8	20	13	7	5	10	6	-	1	-
-	1.4	53.5	1.4	5.6	11.3	28.2	18.3	9.9	7.0	14.1	8.5	-	1.4	-

問1 医師人数 (非常勤含む)
(n=37:無回答34を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
4.62	0	39	8.41

問1 保健師人数 (非常勤含む)
(n=37:無回答34を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
1.95	0	15	2.92

問1 看護師人数 (非常勤含む)
(n=37:無回答34を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
2.19	0	12	3.25

問1 管理栄養士・栄養士 (非常勤含む)
(n=37:無回答34を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
0.27	0	3	0.72

問1 その他人数 (非常勤含む)
(n=37:無回答34を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
1.89	0	14	3.27

◇ 単純集計表

問2-1 胃がん検診（被保険者）

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施	実施していない	無回答
42	26	3	-
59.2	36.6	4.2	-

問2-1 胃がん検診受診対象【複数回答】 (n=68; 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
2	25	-	57	4	-
2.9	36.8	-	83.8	5.9	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=57)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
-	-	51	6	-
-	-	89.5	10.5	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=57)

平均	最小	最大	標準偏差
34.04	30	40	3.03

問2-1 胃がん検診受診対象人数 (n=58; 無回答10を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
13546	42	165580	27905

問2-1 2007年度の胃がん検診受診者数 (n=59; 無回答9を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
8076	39	121303	19089

問2-1 胃がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=68)

①自己負担なし	②事業所からの健康保険	③その他	無回答
41	34	9	1
60.3	50.0	13.2	1.5

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=34)

現物給付	払戻し(検診後)	無回答
21	11	9
61.8	32.4	26.5

問2-1 胃がん検査方法（一次検診）【複数回答】 (n=68)

胃X線検査	胃内視鏡検査	ベプシノゲン検査	その他	無回答
64	27	12	4	-
94.1	39.7	17.6	5.9	-

問2-1 胃がん検診（被扶養者）

問2-1 胃がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施	実施していない	無回答
58	5	8	-
81.7	7.0	11.3	-

問2-1 胃がん検診受診対象【複数回答】 (n=63; 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
1	31	-	46	11	-
1.6	49.2	-	73.0	17.5	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=46)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
-	1	37	8	-
-	2.2	80.4	17.4	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=46)

平均	最小	最大	標準偏差
33.70	20	40	4.10

問2-1 胃がん検診受診対象人数 (n=53; 無回答10を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
6913	14	109329	17140

問2-1 2007年度の胃がん検診受診者数 (n=54; 無回答9を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
1374	6	24516	3776

問2-1 胃がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=63)

①自己負担なし	②事業所からの健康保険	③その他	無回答
20	43	7	-
31.7	68.3	11.1	-

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=43)

現物給付	払戻し(検診後)	無回答
23	12	15
53.5	27.9	34.9

問2-1 胃がん検査方法（一次検診）【複数回答】 (n=63)

胃X線検査	胃内視鏡検査	ベプシノゲン検査	その他	無回答
60	26	9	3	1
95.2	41.3	14.3	4.8	1.6

◇ 単純集計表

問2-1 肺がん検診（被保険者）

(上段:件数/下段:%)

問2-1 肺がん検診の実施状況

で健康 実施 保険 組合 単独	施 事 業 所 と 共 同 で 実 施 し て い な い	実 施 し て い な い	無 回 答
28 39.4	35 49.3	7 9.9	1 1.4

問2-1 肺がん検診受診対象【複数回答】

① ど 全 員 に 追 加 な し	② 全 員 に 実 施 し た 希 望 者	③ 実 施 制 限 を 設 け て 実 施 し た	④ 年 齢 制 限 を 設 け て 実 施 し た	⑤ そ の 他	無 回 答
23 36.5	22 34.9	-	32 50.8	1 1.6	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数

平均	最小	最大	標準 偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢

2 0 歳 未 満	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 以 上
-	-	25 78.1	6 18.8	1 3.1

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の
対象年齢

平均	最小	最大	標準 偏差
35.00	30	50	4.68

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
問2-1 肺がん検診受診対象人数

平均	最小	最大	標準 偏差
13346	148	89846	20587

問2-1 2007年度の肺がん検診
受診者数

平均	最小	最大	標準 偏差
7867	127	68422	14096

問2-1 肺がん検診費用の自己負担の状況

① 自 己 負 担 な し	② 成 や 一 部 負 担 か ら の 助 保	③ そ の 他	無 回 答
32 50.8	34 54.0	6 9.5	3 4.8

問2-1 ②一部負担の内容

現 物 給 付	払 償 い 戻 し 後 （ 検 診 後 ）	無 回 答
21 61.8	12 35.3	8 23.5

問2-1 肺がん検査方法（一次検診）

① 胸 部 X 線 検 査	② 喀 痰 細 胞 診	③ 胸 部 C T 検 査	④ そ の 他	無 回 答	痰 細 胞 X 線 検 査 と 喀 痰 細 胞 診 の 両 方 （ 再 掲 ）
55 87.3	14 22.2	13 20.6	5 7.9	2 3.2	11 17.5

問2-1 肺がん検診（被保険者）

問2-1 ①胸部X線検査の実施方法

実 基 礎 を 備 え 健 診 と し て 実 施 し た	施 事 業 所 と 共 同 で 実 施 し た	無 回 答
40 72.7	20 36.4	8 14.5

問2-1 肺がん検診の実施状況

で健康 実施 保険 組合 単独	施 事 業 所 と 共 同 で 実 施 し て い な い	実 施 し て い な い	無 回 答
49 69.0	9 12.7	12 16.9	1 1.4

問2-1 肺がん検診受診対象【複数回答】

① ど 全 員 に 追 加 な し	② 全 員 に 実 施 し た 希 望 者	③ 実 施 制 限 を 設 け て 実 施 し た	④ 年 齢 制 限 を 設 け て 実 施 し た	⑤ そ の 他	無 回 答
4 6.9	28 48.3	-	33 56.9	9 15.5	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数

平均	最小	最大	標準 偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢

2 0 歳 未 満	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 以 上	無 回 答
-	1 3.0	25 75.8	5 15.2	1 3.0	1 3.0

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の
対象年齢

平均	最小	最大	標準 偏差
33.91	20	50	5.41

問2-1 肺がん検診受診対象人数

平均	最小	最大	標準 偏差
6160	14	64460	11436

問2-1 2007年度の肺がん検診
受診者数

平均	最小	最大	標準 偏差
760	19	4000	898

問2-1 肺がん検診費用の自己負担の状況

① 自 己 負 担 な し	② 成 や 一 部 負 担 か ら の 助 保	③ そ の 他	無 回 答
17 29.3	39 67.2	6 10.3	3 5.2

問2-1 ②一部負担の内容

現 物 給 付	払 償 い 戻 し 後 （ 検 診 後 ）	無 回 答
22 56.4	12 30.8	12 30.8

問2-1 肺がん検査方法（一次検診）

① 胸 部 X 線 検 査	② 喀 痰 細 胞 診	③ 胸 部 C T 検 査	④ そ の 他	無 回 答	痰 細 胞 X 線 検 査 と 喀 痰 細 胞 診 の 両 方 （ 再 掲 ）
52 89.7	9 15.5	11 19.0	4 6.9	2 3.4	7 12.1

問2-1 ①胸部X線検査の実施方法

実 基 礎 を 備 え 健 診 と し て 実 施 し た	施 事 業 所 と 共 同 で 実 施 し た	無 回 答
14 26.9	30 57.7	14 26.9

◇ 単純集計表

問2-1 大腸がん検診（被保険者）

(上段:件数/下段:%)

問2-1 大腸がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施している	実施していない	無回答
40	27	4	-
56.3	38.0	5.6	-

問2-1 大腸がん検診受診対象【複数回答】 (n=67: 検診実施件数)

① 健康診に追加な	② 全員に実施(希望)	③ 定員制限を設けて実施	④ 年齢制限を設けて実施	⑤ その他	無回答
4	26	-	56	2	-
6.0	38.8	-	83.6	3.0	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=56)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	-	45	9	1	1
-	-	80.4	16.1	1.8	1.8

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=55: 無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
34.82	30	50	3.81

問2-1 大腸がん検診受診対象人数 (n=56: 無回答11を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
13398	42	165580	26778

問2-1 2007年度の大腸がん検診受診者数 (n=56: 無回答11を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
6373	101	121303	16359

問2-1 大腸がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=67)

① 自己負担なし	② 事業所からの健康保険	③ その他	無回答
42	31	6	1
62.7	46.3	9.0	1.5

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=31)

現物給付	償還払い(検診後)	無回答
19	10	9
61.3	32.3	29.0

問2-1 大腸がん検査方法（一次検診）【複数回答】 (n=67)

便潜血検査	全大腸内視鏡検査	その他	無回答
64	6	5	1
95.5	9.0	7.5	1.5

問2-1 大腸がん検診（被扶養者）

問2-1 大腸がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施している	実施していない	無回答
52	6	13	-
73.2	8.5	18.3	-

問2-1 大腸がん検診受診対象【複数回答】 (n=58: 検診実施件数)

① 健康診に追加な	② 全員に実施(希望)	③ 定員制限を設けて実施	④ 年齢制限を設けて実施	⑤ その他	無回答
1	30	-	40	9	-
1.7	51.7	-	69.0	15.5	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=40)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	1	30	8	1	-
-	2.5	75.0	20.0	2.5	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=40)

平均	最小	最大	標準偏差
34.38	20	50	4.90

問2-1 大腸がん検診受診対象人数 (n=48: 無回答10を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
7513	14	109329	17451

問2-1 2007年度の大腸がん検診受診者数 (n=48: 無回答10を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
1159	0	24516	3503

問2-1 大腸がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=58)

① 自己負担なし	② 事業所からの健康保険	③ その他	無回答
22	36	6	1
37.9	62.1	10.3	1.7

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=36)

現物給付	償還払い(検診後)	無回答
19	11	13
52.8	30.6	36.1

問2-1 大腸がん検査方法（一次検診）【複数回答】 (n=58)

便潜血検査	全大腸内視鏡検査	その他	無回答
55	4	5	1
94.8	6.9	8.6	1.7

◇ 単純集計表

問2-1 子宮頸がん検診（被保険者）

(上段:件数/下段:%)

問2-1 子宮頸がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施	実施していない	無回答
49	16	6	-
69.0	22.5	8.5	-

問2-1 子宮頸がん検診受診対象【複数回答】 (n=65: 検診実施件数)

① 全期健康診に追加な	② 全期健康診に追加な	③ 定員制限を設けて実施	④ 年齢制限を設けて実施	⑤ その他	無回答
2	36	-	43	2	-
3.1	55.4	-	66.2	3.1	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=43)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	6	35	2	-	-
-	14.0	81.4	4.7	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=43)

平均	最小	最大	標準偏差
31.67	20	40	4.61

問2-1 子宮頸がん検診受診対象人数 (n=54: 無回答11を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
5444	3	124141	17153

問2-1 2007年度の子宮頸がん検診受診者数 (n=52: 無回答13を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
849	5	6298	1313

問2-1 子宮頸がん検診費用の自己負担状況【複数回答】 (n=65)

① 自己負担なし	② 事業所からの健康保険	③ その他	無回答
28	36	8	4
43.1	55.4	12.3	6.2

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=36)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
22	14	7
61.1	38.9	19.4

問2-1 子宮頸がん検査方法（一次検診）【複数回答】 (n=65)

細胞診: 医師による	細胞診: 自己採取	その他	無回答
58	27	4	2
89.2	41.5	6.2	3.1

問2-1 子宮頸がん検診（被扶養者）

問2-1 子宮頸がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施	実施していない	無回答
57	5	9	-
80.3	7.0	12.7	-

問2-1 子宮頸がん検診受診対象【複数回答】 (n=62: 検診実施件数)

① 全期健康診に追加な	② 全期健康診に追加な	③ 定員制限を設けて実施	④ 年齢制限を設けて実施	⑤ その他	無回答
1	36	-	38	9	-
1.6	58.1	-	61.3	14.5	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=38)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	3	28	6	-	1
-	7.9	73.7	15.8	-	2.6

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=37: 無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
32.57	20	40	5.15

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢(刻み) (n=1: 再掲)

1

問2-1 子宮頸がん検診受診対象人数 (n=53: 無回答9を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
6617	2	106279	16469

問2-1 2007年度の子宮頸がん検診受診者数 (n=50: 無回答12を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
1173	11	14393	2810

問2-1 子宮頸がん検診費用の自己負担状況【複数回答】 (n=62)

① 自己負担なし	② 事業所からの健康保険	③ その他	無回答
22	41	7	3
35.5	66.1	11.3	4.8

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=41)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
25	13	10
61.0	31.7	24.4

問2-1 子宮頸がん検査方法（一次検診）【複数回答】 (n=62)

細胞診: 医師による	細胞診: 自己採取	その他	無回答
56	25	4	2
90.3	40.3	6.5	3.2

◇ 単純集計表

問2-1 乳がん検診（被保険者）

(上段:件数/下段:%)

問2-1 乳がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施	実施していない	無回答
47	14	10	-
66.2	19.7	14.1	-

問2-1 乳がん検診受診対象【複数回答】 (n=61: 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
2	30	-	43	3	1
3.3	49.2	-	70.5	4.9	1.6

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=43)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	4	35	4	-	-
-	9.3	81.4	9.3	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=43)

平均	最小	最大	標準偏差
32.37	20	40	4.15

問2-1 乳がん検診受診対象人数 (n=49: 無回答12を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
5638	8	124141	17896

問2-1 2007年度の乳がん検診受診者数 (n=46: 無回答15を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
970	5	6298	1510

問2-1 乳がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=61)

①自己負担なし	②事業所負担(健康保険)	③その他	無回答
24	35	8	3
39.3	57.4	13.1	4.9

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=35)

現物給付	払戻金(検診後)	無回答
22	13	6
62.9	37.1	17.1

問2-1 乳がん検査方法 (一次検診)【複数回答】 (n=61)

マンモグラフィ	視触診	乳房超音波(エコー)	その他	無回答	マンモグラフィと視触診の両方(再)
50	54	50	2	2	48
82.0	88.5	82.0	3.3	3.3	78.7

問2-1 乳がん検診（被扶養者）

問2-1 乳がん検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施	実施していない	無回答
54	5	12	-
76.1	7.0	16.9	-

問2-1 乳がん検診受診対象【複数回答】 (n=59: 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
1	31	-	39	9	1
1.7	52.5	-	66.1	15.3	1.7

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=39)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	2	32	4	-	1
-	5.1	82.1	10.3	-	2.6

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=38: 無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
32.50	20	40	4.41

問2-1 乳がん検診受診対象人数 (n=49: 無回答10を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
6975	14	106279	17075

問2-1 2007年度の乳がん検診受診者数 (n=43: 無回答16を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
1292	11	14393	2992

問2-1 乳がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=59)

①自己負担なし	②事業所負担(健康保険)	③その他	無回答
18	40	7	3
30.5	67.8	11.9	5.1

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=40)

現物給付	払戻金(検診後)	無回答
24	12	10
60.0	30.0	25.0

問2-1 乳がん検査方法 (一次検診)【複数回答】 (n=59)

マンモグラフィ	視触診	乳房超音波(エコー)	その他	無回答	マンモグラフィと視触診の両方(再)
49	52	48	3	2	47
83.1	88.1	81.4	5.1	3.4	79.7

◇ 単純集計表

問2-2 A. 検診の実施場所（被保険者）

（上段：件数/下段：％）

問2-2 胃がん検診の実施場所【複数回答】

(n=68：検診未実施3を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
6	58	36	26	3	1				
8.8	85.3	52.9	38.2	4.4	1.5				

問2-2 肺がん検診の実施場所【複数回答】

(n=63：検診未実施8を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
7	52	29	24	3	2				
11.1	82.5	46.0	38.1	4.8	3.2				

問2-2 大腸がん検診の実施場所【複数回答】

(n=67：検診未実施4を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
5	51	31	26	11	3	1			
7.5	76.1	46.3	38.8	16.4	4.5	1.5			

問2-2 子宮がん検診の実施場所【複数回答】

(n=65：検診未実施6を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
2	54	12	24	8	3	-			
3.1	83.1	18.5	36.9	12.3	4.6	-			

問2-2 乳がん検診の実施場所【複数回答】

(n=61：検診未実施10を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
3	52	12	22	2	2				
4.9	85.2	19.7	36.1	3.3	3.3				

問2-2 胃がん検診の実施場所【複数回答】

(n=63：検診未実施8を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
6	57	11	23	2	1				
9.5	90.5	17.5	36.5	3.2	1.6				

問2-2 肺がん検診の実施場所【複数回答】

(n=58：検診未実施13を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
7	52	8	22	2	1				
12.1	89.7	13.8	37.9	3.4	1.7				

問2-2 大腸がん検診の実施場所【複数回答】

(n=58：検診未実施13を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
5	49	9	22	10	2	1			
8.6	84.5	15.5	37.9	17.2	3.4	1.7			

問2-2 子宮がん検診の実施場所【複数回答】

(n=62：検診未実施9を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
2	54	9	25	8	2	-			
3.2	87.1	14.5	40.3	12.9	3.2	-			

問2-2 乳がん検診の実施場所【複数回答】

(n=58：検診未実施13を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関（検診機関）で実施	出張検診として実施							
3	52	9	24	1	2				
5.2	89.7	15.5	41.4	1.7	3.4				

問2-2 B. 受診の時間帯（被保険者）

問2-2 胃がん検診の受診時間帯【複数回答】 (n=63：検診未実施3を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
62	-	15	5
91.2	-	22.1	7.4

問2-2 肺がん検診の受診時間帯【複数回答】 (n=63：検診未実施8を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
56	1	14	6
88.9	1.6	22.2	9.5

問2-2 大腸がん検診の受診時間帯【複数回答】 (n=67：検診未実施4を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
60	1	12	6
89.6	1.5	17.9	9.0

問2-2 子宮がん検診の受診時間帯【複数回答】 (n=65：検診未実施6を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
58	-	16	5
89.2	-	24.6	7.7

問2-2 乳がん検診の受診時間帯【複数回答】 (n=61：検診未実施10を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
55	-	13	5
90.2	-	21.3	8.2

◇ 単純集計表

問3 肝炎ウイルス検診（被保険者）

(上段:件数/下段:%)

問3 肝炎ウイルス検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施している	実施していない	無回答
21	8	42	-
29.6	11.3	59.2	-

問3 肝炎ウイルス検診受診対象【複数回答】 (n=29: 検診実施件数)

① 健全に追加な	② 全員に実施(希望)	③ 申込(希望)者	④ 定員制限を設けて実施	⑤ 年齢制限を設けて実施	⑥ その他	無回答
4	12	-	21	4	1	-
13.8	41.4	-	72.4	13.8	3.4	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=21)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	1	14	5	-	1
-	4.8	66.7	23.8	-	4.8

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=20: 無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
34.75	25	40	4.02

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 問3 肝炎ウイルス検診受診対象 (刻み) (n=3: 再掲) 人数 (n=19: 無回答10を除く)

3歳	5歳	40歳から5年お	平均	最小	最大	標準偏差
3	5	4	13656	189	100119	25170
5	5	0				
4	6	0				
5	6	0				
5	6	0				
1	1	1				

問3 2007年度の肝炎ウイルス検診受診者数 (n=20: 無回答9を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
2042	127	11936	2877

問3 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=29)

① 自己負担なし	② 事業所からの助保	③ その他	無回答
16	12	4	-
55.2	41.4	13.8	-

問3 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=12)

現物給付	払戻し(戻し)	無回答
11	5	-
91.7	41.7	-

問3 肝炎ウイルス検査方法【複数回答】 (n=29)

検査型B	検査型C	その他	無回答	BとCの両方(再掲)
23	26	2	-	22
79.3	89.7	6.9	-	75.9

問3 肝炎ウイルス検診（被保険者）

問3 肝炎ウイルス検診実施場所【複数回答】 (n=29)

直営の病院で実施	提携医療機関(検査)	出張検査(事業所等)	その他の医療機関	その他	無回答
5	23	12	7	2	1
17.2	79.3	41.4	24.1	6.9	3.4

問3 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯【複数回答】 (n=29)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
28	-	9	1
96.6	-	31.0	3.4

◇ 単純集計表

問3 肝炎ウイルス検診（被扶養者）

(上段:件数/下段:%)

問3 肝炎ウイルス検診の実施状況 (n=71)

健康保険組合単独	事業所と共同で実施している	実施していない	無回答
21	2	48	-
29.6	2.8	67.6	-

問3 肝炎ウイルス検診受診対象【複数回答】 (n=23: 検診実施件数)

① 健全に追加な	② 全員の追加な	③ 定員制限を設けて実施	④ 年齢制限を設けて実施	⑤ その他	無回答
2	13	-	15	4	-
8.7	56.5	-	65.2	17.4	-

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=15)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
-	1	11	3	-
-	6.7	73.3	20.0	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=15)

平均	最小	最大	標準偏差
33.67	20	40	4.99

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 問3 肝炎ウイルス検診受診対象人数 (n=17: 無回答6を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
5407	76	50977	11840

問3 2007年度の肝炎ウイルス検診受診者数 (n=16: 無回答7を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
363	4	2529	592

問3 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=23)

① 自己負担なし	② 事業所からの助保	③ その他	無回答
8	13	3	-
34.8	56.5	13.0	-

問3 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=13)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
12	4	1
92.3	30.8	7.7

問3 肝炎ウイルス検査方法【複数回答】 (n=23)

B型肝炎ウイルス検査	C型肝炎ウイルス検査	その他	無回答	B型とC型両方(再検査)
19	21	1	-	18
82.6	91.3	4.3	-	78.3

問3 肝炎ウイルス検診（被扶養者）

問3 肝炎ウイルス検診の実施場所【複数回答】 (n=23)

直営の病院で実施	提携医療機関で実施(検)	出張検診や事業所として	その他の医療機関	その他	無回答
5	22	3	6	-	1
21.7	95.7	13.0	26.1	-	4.3

問3 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯【複数回答】 (n=23)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
22	-	8	1
95.7	-	34.8	4.3

◇ 単純集計表

(上段:件数/下段:%)

問4-1 がん検診取り組み状況 (n=71)

①積極的に取り組んでいる	②積極的な取り組みしていない、または組みは取らない	無回答
55 77.5	15 21.1	1 1.4

問4-2 ①積極的に取り組んでいる理由【複数回答】 (n=55)

健康保険組合として、がん検診の重要性を認識している	加入企業への意識が高い	担当者の意識が高い	保険給付費が増大している	検診体制が充実している	疾病予防事業予算が充実している	職上による生・産性の復	その他	無回答
50 90.9	16 29.1	12 21.8	21 38.2	7 12.7	18 32.7	17 30.9	-	-

問4-3 ②積極的な取り組みはしていない、または取り組んでいない理由【複数回答】 (n=15)

予算が不足している	人的な体制が不足している	設備や場所が不足している	加入者のがん検診等の意識が不足している	がん検診の周知がされていない	経費が、がん検診の重要性を認識していない	特に理由はない	わからない	その他	無回答
11 73.3	9 60.0	1 6.7	6 40.0	-	2 13.3	-	-	1 6.7	-

問4-4 ②より積極的に取り組むために有効と思われる支援条件【複数回答】 (n=15)

健康保険組合内部で、がん検診の重要性を認識する	加入者の意識を高め検診を受ける	社会的な要求として、がん検診等の実施を企業に求める	がん予防に関する情報やデータを得る	その他	無回答
2 13.3	7 46.7	7 46.7	5 33.3	2 13.3	-

問4-5 広報・普及啓発の実施 (n=71)

①実施している	②実施していない	無回答
45 63.4	24 33.8	2 2.8

問4-5 ①広報・普及啓発の方法【複数回答】 (n=45)

セミナー・講演会・情報提供	広報誌やホームページ等を使った受診勧奨	レシートを使った情報提供	区市町村のパンフレットを使った情報提供	検診促進につながるプログラム等	事業主単位の表彰	その他	無回答
20 44.4	6 13.3	38 84.4	1 2.2	2 4.4	2 4.4	8 17.8	-

問4-5 ①特に効果的と思われる普及啓発の方法【複数回答】 (n=45)

セミナー・講演会・情報提供	広報誌やホームページ等を使った受診勧奨	レシートを使った情報提供	区市町村のパンフレットを使った情報提供	検診促進につながるプログラム等	事業主単位の表彰	その他	無回答
18 40.0	5 11.1	27 60.0	-	1 2.2	1 2.2	5 11.1	9 20.0

問5-1 今年度のがん検診に関する事業の状況 (n=71)

①拡大する予定	②変わらない	③縮小する予定	④その他	無回答
3 4.2	61 85.9	4 5.6	3 4.2	-

問5-1 ③縮小する理由【複数回答】 (n=4)

特定健康診・特定保健指導を実施する関係	予算縮小のため	マンパワーの不足	その他	無回答
2 50.0	3 75.0	-	-	-

問5-2 平成20年度保健事業予算割合 (n=71)

平均	最小	最大	標準偏差
8.21	1.31	41.62	5.80

問5-2 平成20年度疾病予防事業予算割合 (n=71)

平均	最小	最大	標準偏差
5.48	0.61	36.14	4.65

問6 がん検診に関する都や区市町村に対する要望【複数回答】 (n=71)

働きやすい職場と連携し、がん検診の受診を呼びかける	がん検診の重要性を認識している	検診促進につながるプログラム等	事業主単位の表彰	その他	無回答
32 45.1	37 52.1	31 43.7	3 4.2	5 7.0	12 16.9

◇ 単純集計表

(上段:件数/下段:%)

問1 所在地
(n=994)

千代田区	中央区	港区	文京区	台東区	品川区	大田区	目黒区	世田谷区	渋谷区	新宿区	中野区	杉並区	豊島区	北区	板橋区	練馬区	荒川区	足立区	葛飾区	墨田区
136 13.6	149 14.9	125 12.5	14 1.4	25 2.5	57 5.7	37 3.7	11 1.1	16 1.6	63 6.3	67 6.7	11 1.1	11 1.1	23 2.3	12 1.2	9 0.9	7 0.7	9 0.9	14 1.4	5 0.5	12 1.2

江東区	江戸川区	青梅市	福生市	あきる野市	羽村市	瑞穂町	日の出町	奥多摩町	檜原村	八王子市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	立川市	昭島市	国分寺市	国立市	東大和市	武蔵村山市
45 4.5	16 1.6	8 0.8	3 0.3	2 0.2	3 0.3	3 0.3	- -	3 0.3	- -	12 1.2	6 0.6	5 0.5	5 0.5	- -	15 1.5	6 0.6	4 0.4	2 0.2	2 0.2	1 0.1

武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	小金井市	狛江市	小平市	東村山市	清瀬市	東久留米市	西東京市
7 0.7	8 0.8	7 0.7	4 0.4	- -	2 0.2	6 0.6	1 0.1	1 0.1	1 0.1	3 0.3

問1 事業所規模 (従業員数)
(n=994)

10人未満	10人	30人	50人	100人	300人	500人	1000人以上	無回答
60 6.0	145 14.6	93 9.4	132 13.3	252 25.4	70 7.0	104 10.5	119 12.0	19 1.9

問1 正社員数
(n=845:無回答149を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
387.47	0	12659	897.83

※最小人数で「0人」1社あり(ガフリンスタンドで契約社員及びアルバイトのみ)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】
(n=994)

農林漁業・鉱業	建設業	製造業	電気・水道業・熱供給	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売業・小売業	金融・保険業	不動産業	飲食店・宿泊業	サービス業	医療・福祉	公務	その他	無回答
7 0.7	109 11.0	154 15.5	23 2.3	85 8.6	60 6.0	132 13.3	88 8.9	47 4.7	23 2.3	289 29.1	37 3.7	- -	13 1.3	15 1.5

問1 導入している医療保険の種類
(n=994)

①国民健康保険	②政府管掌健康保険	③共済(健康組合・船員組合)	④その他	無回答
20 2.0	190 19.1	769 77.4	7 0.7	8 0.8

問1 ③組合健康保険の設立形態
(n=769)

単一	総合	連合	無回答
293 38.1	200 26.0	170 22.1	106 13.8

問1 医師人数 (非常勤含む)
(n=422:無回答572を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
2.28	0	43	4.22

問1 保健師人数 (非常勤含む)
(n=422:無回答572を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
0.57	0	16	1.38

問1 看護師人数 (非常勤含む)
(n=422:無回答572を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
0.95	0	11	1.91

問1 管理栄養士・栄養士 (非常勤含む)
(n=422:無回答572を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
0.16	0	2	0.45

問1 その他人数 (非常勤含む)
(n=422:無回答572を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
0.89	0	14	2.09

◇ 単純集計表

問2-1 胃がん検診 (正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診の実施状況 (n=993:正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健で実施 健康保険組合と共	実施していない	無回答
226	600	155	12
22.8	60.4	15.6	1.2

問2-1 胃がん検診受診対象【複数回答】 (n=826:検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全健診員に実施(希望)	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
152	199	4	603	29	2
18.4	24.1	0.5	73.0	3.5	0.2

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=3:無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
38.33	5	69	26.20

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=603)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	5	488	105	1	4
-	0.8	80.9	17.4	0.2	0.7

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=599:無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
34.99	25	50	3.20

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢(刻み) (n=9:再掲)

52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳
1	1	1	1	1	1	1	1	2

問2-1 胃がん検診受診対象人数 (n=707:無回答119を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
254.82	0	7984	599.72

問2-1 2007年度の胃がん検診受診者数 (n=712:無回答114を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
184.31	0	5363	428.66

問2-1 胃がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=826)

①自己負担なし	②成や事業所からの健康保険	③その他	無回答
706	173	19	4
85.5	20.9	2.3	0.5

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=173)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
72	67	45
41.6	38.7	26.0

問2-1 胃がん検査方法 (一次検診)【複数回答】 (n=826)

胃X線検査	胃内視鏡検査	ペプシノゲン検査	その他	無回答
790	176	56	15	6
95.6	21.3	6.8	1.8	0.7

問2-1 胃がん検診 (正社員家族)

問2-1 胃がん検診の実施状況 (n=993:正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健で実施 健康保険組合と共	実施していない	無回答
23	506	429	35
2.3	51.0	43.2	3.5

問2-1 胃がん検診受診対象【複数回答】 (n=529:検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全健診員に実施(希望)	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
15	302	2	318	38	10
2.8	57.1	0.4	60.1	7.2	1.9

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数 (n=2)

平均	最小	最大	標準偏差
100.50	1	200	99.50

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=318)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
2	1	225	85	1	4
0.6	0.3	70.8	26.7	0.3	1.3

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢 (n=314:無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
35.52	18	50	3.63

問2-1 胃がん検診受診対象人数 (n=173:無回答356を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
100.05	0	3022	285.12

問2-1 2007年度の胃がん検診受診者数 (n=219:無回答310を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
28.14	0	570	70.49

問2-1 胃がん検診費用の自己負担の状況【複数回答】 (n=529)

①自己負担なし	②成や事業所からの健康保険	③その他	無回答
211	302	22	21
39.9	57.1	4.2	4.0

問2-1 ②一部負担の内容【複数回答】 (n=302)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
117	96	105
38.7	31.8	34.8

問2-1 胃がん検査方法 (一次検診)【複数回答】 (n=529)

胃X線検査	胃内視鏡検査	ペプシノゲン検査	その他	無回答
474	116	21	15	39
89.6	21.9	4.0	2.8	7.4

◇ 単純集計表

問2-1 肺がん検診(正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-1 肺がん検診の実施状況
(n=993:正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健康保険組合と共	実施していない	無回答
279	539	157	18
28.1	54.3	15.8	1.8

問2-1 肺がん検診受診対象【複数回答】
(n=818:検診実施件数)

①健康診に追加な(定期)健康診に追加な(定期)	②全員に実施(希望)者	③実定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
640	125	1	127	12	9
78.2	15.3	0.1	15.5	1.5	1.1

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=1)

平均	最小	最大	標準偏差
15.00	15	15	0.00

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=127)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
-	3	74	49	1
-	2.4	58.3	38.6	0.8

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=127)

平均	最小	最大	標準偏差
36.17	20	50	4.21

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=691:無回答127を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
360.36	0	9280	808.70

問2-1 2007年度の肺がん検診受診者数
(n=697:無回答121を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
306.09	0	8013	654.37

問2-1 肺がん検診費用の自己負担の状況
(n=818)

①自己負担なし	②事業所からの助成	③その他	無回答
718	118	12	23
87.8	14.4	1.5	2.8

問2-1 ②一部負担の内容
(n=118)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
53	39	33
44.9	33.1	28.0

問2-1 肺がん検査方法(一次検診)
(n=818)

①胸部X線検査	②喀痰細胞診	③胸部CT検査	④その他	無回答	痰細胞X線検査の両方(再掲)
788	88	51	6	8	74
96.3	10.8	6.2	0.7	1.0	9.0

問2-1 ①胸部X線検査の実施方法
(n=788)

実基労働安全衛生法に	がん検診として実施	無回答
632	58	130
80.2	7.4	16.5

問2-1 肺がん検診(正社員家族)

問2-1 肺がん検診の実施状況
(n=993:正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健康保険組合と共	実施していない	無回答
24	463	451	55
2.4	46.6	45.4	5.5

問2-1 肺がん検診受診対象【複数回答】
(n=487:検診実施件数)

①健康診に追加な(定期)健康診に追加な(定期)	②全員に実施(希望)者	③実定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
106	280	-	154	33	12
21.8	57.5	-	31.6	6.8	2.5

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=154)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
2	3	99	45	1	4
1.3	1.9	64.3	29.2	0.6	2.6

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=150:無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
35.47	18	50	4.49

問2-1 肺がん検診受診対象人数
(n=157:無回答330を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
103.99	0	3022	296.74

問2-1 2007年度の肺がん検診受診者数
(n=196:無回答291を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
32.12	0	570	82.04

問2-1 肺がん検診費用の自己負担の状況
(n=487)

①自己負担なし	②事業所からの助成	③その他	無回答
217	249	20	34
44.6	51.1	4.1	7.0

問2-1 ②一部負担の内容
(n=249)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
100	82	81
40.2	32.9	32.5

問2-1 肺がん検査方法(一次検診)
(n=487)

①胸部X線検査	②喀痰細胞診	③胸部CT検査	④その他	無回答	痰細胞X線検査の両方(再掲)
433	52	36	7	32	42
88.9	10.7	7.4	1.4	6.6	8.6

問2-1 ①胸部X線検査の実施方法
(n=433)

実基労働安全衛生法に	がん検診として実施	無回答
274	74	97
63.3	17.1	22.4

◇ 単純集計表

問2-1 大腸がん検診(正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-1 大腸がん検診の実施状況
(n=993:正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健康保険組合と共	実施していない	無回答
208	585	184	16
20.9	58.9	18.5	1.6

問2-1 大腸がん検診受診対象【複数回答】
(n=793:検診実施件数)

①健康診断に追加な	②全社員に実施(希望)	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
147	218	2	538	29	3
18.5	27.5	0.3	67.8	3.7	0.4

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=2)

平均	最小	最大	標準偏差
20.00	5	35	15.00

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=538)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	3	395	129	5	6
-	0.6	73.4	24.0	0.9	1.1

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=532:無回答6を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
35.58	25	50	3.54

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=650:無回答143を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
257.81	0	5510	560.61

問2-1 2007年度の大腸がん検診受診者数
(n=656:無回答137を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
199.11	0	4593	467.09

問2-1 大腸がん検診費用の自己負担の状況
(n=793)

①自己負担なし	②事業所からの健康保険	③その他	無回答
651	153	24	16
82.1	19.3	3.0	2.0

問2-1 ②一部負担の内容
(n=153)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
66	52	44
43.1	34.0	28.8

問2-1 大腸がん検査方法(一次検診)
(n=793)

便潜血検査	全大腸内視鏡検査	その他	無回答
775	40	4	8
97.7	5.0	0.5	1.0

問2-1 大腸がん検診(正社員家族)

問2-1 大腸がん検診の実施状況
(n=518:正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健康保険組合と共	実施していない	無回答
23	495	428	47
2.3	49.8	43.1	4.7

問2-1 大腸がん検診受診対象【複数回答】
(n=518:検診実施件数)

①健康診断に追加な	②全社員に実施(希望)	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
23	297	-	302	35	11
4.4	57.3	-	58.3	6.8	2.1

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=302)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
2	1	201	91	3	4
0.7	0.3	66.6	30.1	1.0	1.3

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=298:無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
35.76	18	50	3.93

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=169:無回答349を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
105.73	0	3022	287.89

問2-1 2007年度の大腸がん検診受診者数
(n=235:無回答283を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
26.30	0	570	64.13

問2-1 大腸がん検診費用の自己負担の状況
(n=518)

①自己負担なし	②事業所からの健康保険	③その他	無回答
220	268	29	30
42.5	51.7	5.6	5.8

問2-1 ②一部負担の内容
(n=268)

現物給付	払い戻し(検診後)	無回答
105	82	92
39.2	30.6	34.3

問2-1 大腸がん検査方法(一次検診)
(n=518)

便潜血検査	全大腸内視鏡検査	その他	無回答
477	27	11	27
92.1	5.2	2.1	5.2

◇ 単純集計表

問2-1 子宮頸がん検診(正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-1 子宮頸がん検診の実施状況
(n=993; 正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健で健康保険組合と共	実施していない	無回答
122	480	365	26
12.3	48.3	36.8	2.6

問2-1 子宮頸がん検診受診対象【複数回答】
(n=602; 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な(一定)	③実施し、希望者	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
48	375	6	287	27	8
8.0	62.3	1.0	47.7	4.5	1.3

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=3; 無回答3を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
12.33	1	35	16.03

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=287)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	24	235	25	1	2
-	8.4	81.9	8.7	0.3	0.7

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=285; 無回答2を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
32.77	20	50	4.75

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(刻み) (n=6; 再掲)

20歳から2年お	20歳から3年お	35歳から2年お	35歳から5年お	40歳から2年お
1	2	1	1	1

問2-1 子宮頸がん検診受診対象人数
(n=433; 無回答169を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
62.17	0	2585	191.67

問2-1 2007年度の子宮頸がん検診受診者数
(n=432; 無回答170を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
29.73	0	1147	98.67

問2-1 子宮頸がん検診費用の自己負担の状況
(複数回答) (n=602)

①自己負担なし	②事業所負担(健康保険)	③その他	無回答
363	211	46	15
60.3	35.0	7.6	2.5

問2-1 ②一部負担の内容
(複数回答) (n=211)

現物給付	払戻し(検診後)	無回答
81	72	68
38.4	34.1	32.2

問2-1 子宮頸がん検査方法(一次検診)
(複数回答) (n=602)

細胞診:医師による	細胞診:自己採取	その他	無回答
452	186	20	45
75.1	30.9	3.3	7.5

問2-1 子宮頸がん検診(正社員家族)

問2-1 子宮頸がん検診の実施状況
(n=933; 正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健で健康保険組合と共	実施していない	無回答
20	434	477	62
2.0	43.7	48.0	6.2

問2-1 子宮頸がん検診受診対象【複数回答】
(n=454; 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な(一定)	③実施し、希望者	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
9	297	1	221	37	15
2.0	65.4	0.2	48.7	8.1	3.3

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=1)

平均	最小	最大	標準偏差
35.00	35	35	0.00

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=221)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
2	10	167	35	1	6
0.9	4.5	75.6	15.8	0.4	2.7

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=215; 無回答6を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
33.82	18	50	4.69

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(刻み) (n=1; 再掲)

20歳から2年お
1

問2-1 子宮頸がん検診受診対象人数
(n=149; 無回答305を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
97.93	0	3022	300.65

問2-1 2007年度の子宮頸がん検診受診者数
(n=174; 無回答280を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
25.85	0	570	69.43

問2-1 子宮頸がん検診費用の自己負担の状況
(複数回答) (n=454)

①自己負担なし	②事業所負担(健康保険)	③その他	無回答
185	245	28	23
40.7	54.0	6.2	5.1

問2-1 ②一部負担の内容
(複数回答) (n=245)

現物給付	払戻し(検診後)	無回答
102	77	79
41.6	31.4	32.2

問2-1 子宮頸がん検査方法(一次検診)
(複数回答) (n=454)

細胞診:医師による	細胞診:自己採取	その他	無回答
323	159	21	53
71.1	35.0	4.6	11.7

◇ 単純集計表

問2-1 乳がん検診(正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-1 乳がん検診の実施状況
(n=993; 正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健康保険組合と共	実施していない	無回答
121	483	365	24
12.2	48.6	36.8	2.4

問2-1 乳がん検診受診対象【複数回答】
(n=604; 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
46	375	3	306	28	7
7.6	62.1	0.5	50.7	4.6	1.2

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=2; 無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
18.50	2	35	16.50

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=306)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
-	10	250	42	-	4
-	3.3	81.7	13.7	-	1.3

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=302; 無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
33.62	20	44	3.95

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=446; 無回答158を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
56.29	0	1442	147.11

問2-1 2007年度の乳がん検診受診者数
(n=441; 無回答163を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
29.97	0	914	91.60

問2-1 乳がん検診費用の自己負担の状況
【複数回答】(n=604)

①自己負担なし	②事業所からの助保	③その他	無回答
353	225	47	20
58.4	37.3	7.8	3.3

問2-1 ②一部負担の内容
【複数回答】(n=225)

現物給付	払戻し(検診後)	無回答
94	78	63
41.8	34.7	28.0

問2-1 乳がん検査方法(一次検診)
【複数回答】(n=604)

マンモグラフィ	視触診	乳房超音波(エコー)	その他	無回答	マンモグラフィと視触診の両方(再掲)
396	376	381	13	31	277
65.6	62.3	63.1	2.2	5.1	45.9

問2-1 乳がん検診(正社員家族)

問2-1 乳がん検診の実施状況
(n=993; 正社員数0人の1を除く)

事業所単独で実施	同健康保険組合と共	実施していない	無回答
21	453	463	56
2.1	45.6	46.6	5.6

問2-1 乳がん検診受診対象【複数回答】
(n=474; 検診実施件数)

①全期健康診に追加な	②全期健康診に追加な	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
9	328	3	229	40	10
1.9	69.2	0.6	48.3	8.4	2.1

問2-1 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=2; 無回答1を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
28.50	22	35	6.50

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=229)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
2	5	173	44	1	4
0.9	2.2	75.5	19.2	0.4	1.7

問2-1 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=225; 無回答4を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
34.29	18	50	4.24

問2-1 乳がん検診受診対象人数
(n=167; 無回答307を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
89.69	0	3022	285.43

問2-1 2007年度の乳がん検診受診者数
(n=188; 無回答286を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
25.27	0	570	68.18

問2-1 乳がん検診費用の自己負担の状況
【複数回答】(n=474)

①自己負担なし	②事業所からの助保	③その他	無回答
173	276	32	23
36.5	58.2	6.8	4.9

問2-1 ②一部負担の内容
【複数回答】(n=276)

現物給付	払戻し(検診後)	無回答
112	90	86
40.6	32.6	31.2

問2-1 乳がん検査方法(一次検診)
【複数回答】(n=474)

マンモグラフィ	視触診	乳房超音波(エコー)	その他	無回答	マンモグラフィと視触診の両方(再掲)
293	287	291	18	46	210
61.8	60.5	61.4	3.8	9.7	44.3

◇ 単純集計表

問2-2 A. 検診の実施場所 (正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-2 胃がん検診の実施場所【複数回答】

(n=826: 検診未実施167を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	その他	無回答
72	578	279	104	28	14	
8.7	70.0	33.8	12.6	3.4	1.7	

問2-2 肺がん検診の実施場所【複数回答】

(n=818: 検診未実施175を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	その他	無回答
75	535	314	101	26	28	
9.2	65.4	38.4	12.3	3.2	3.4	

問2-2 大腸がん検診の実施場所【複数回答】

(n=793: 検診未実施200を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	自己採取による郵	その他	無回答
62	513	210	91	105	26	9	
7.8	64.7	26.5	11.5	13.2	3.3	1.1	

問2-2 子宮がん検診の実施場所【複数回答】

(n=602: 検診未実施391を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	自己採取による郵	その他	無回答
46	453	58	110	50	16	15	
7.6	75.2	9.6	18.3	8.3	2.7	2.5	

問2-2 乳がん検診の実施場所【複数回答】

(n=604: 検診未実施389を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	その他	無回答
48	481	66	113	12	14	
7.9	79.6	10.9	18.7	2.0	2.3	

問2-2 A. 検診の実施場所 (正社員家族)

問2-2 胃がん検診の実施場所【複数回答】

(n=529: 検診未実施464を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	その他	無回答
42	411	48	112	18	38	
7.9	77.7	9.1	21.2	3.4	7.2	

問2-2 肺がん検診の実施場所【複数回答】

(n=487: 検診未実施506を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	その他	無回答
43	372	47	101	20	37	
8.8	76.4	9.7	20.7	4.1	7.6	

問2-2 大腸がん検診の実施場所【複数回答】

(n=518: 検診未実施475を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	自己採取による郵	その他	無回答
38	362	40	100	84	18	34	
7.3	69.9	7.7	19.3	16.2	3.5	6.6	

問2-2 子宮がん検診の実施場所【複数回答】

(n=454: 検診未実施539を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	自己採取による郵	その他	無回答
30	344	40	104	55	18	17	
6.6	75.8	8.8	22.9	12.1	4.0	3.7	

問2-2 乳がん検診の実施場所【複数回答】

(n=474: 検診未実施519を除く)

直営の病院で実施	提携医療機関(検診機関)で実施	出張検診として等	出張検診や事業所として等	その他の医療機関	その他	無回答
31	368	42	113	17	22	
6.5	77.6	8.9	23.8	3.6	4.6	

◇ 単純集計表

問2-2 B. 受診の時間帯 (正社員)

(上段:件数/下段:%)

問2-2 胃がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=826: 検診未実施167を除く)

勤務時間内	勤務時間の前後	休日	無回答
763	43	107	20
92.4	5.2	13.0	2.4

問2-2 肺がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=818: 検診未実施175を除く)

勤務時間内	勤務時間の前後	休日	無回答
746	40	103	34
91.2	4.9	12.6	4.2

問2-2 大腸がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=793: 検診未実施200を除く)

勤務時間内	勤務時間の前後	休日	無回答
683	56	120	39
86.1	7.1	15.1	4.9

問2-2 子宮がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=602: 検診未実施391を除く)

勤務時間内	勤務時間の前後	休日	無回答
478	37	129	42
79.4	6.1	21.4	7.0

問2-2 乳がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=604: 検診未実施389を除く)

勤務時間内	勤務時間の前後	休日	無回答
490	36	138	30
81.1	6.0	22.8	5.0

問2-2 B. 受診の時間帯 (正社員家族)

問2-2 胃がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=529: 検診未実施464を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
436	8	74	88
82.4	1.5	14.0	16.6

問2-2 肺がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=487: 検診未実施506を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
406	8	69	76
83.4	1.6	14.2	15.6

問2-2 大腸がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=518: 検診未実施475を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
417	17	83	91
80.5	3.3	16.0	17.6

問2-2 子宮がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=454: 検診未実施391を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
379	17	79	65
83.5	3.7	17.4	14.3

問2-2 乳がん検診の受診時間帯

【複数回答】 (n=474: 検診未実施519を除く)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
396	14	85	69
83.5	3.0	17.9	14.6

◇ 単純集計表

問3 肝炎ウイルス検診(正社員)

(上段:件数/下段:%)

問3 2007年度肝炎ウイルス検診受診者数
(n=291:無回答116を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
198.63	0	5329	488.30

問3 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況
【複数回答】(n=407)

①自己負担なし	②成業部負担からの健康保険	③その他	無回答
310	92	26	7
76.2	22.6	6.4	1.7

問3 ②一部負担の内容
【複数回答】(n=92)

現物給付	払戻し(検査後)	無回答
44	31	24
47.8	33.7	26.1

問3 肝炎ウイルス検査方法【複数回答】
(n=407)

検査型B型肝炎ウイルス	検査型C型肝炎ウイルス	その他	無回答	B型・C型両方(再掲)
330	295	21	34	266
81.1	72.5	5.2	8.4	65.4

問3 肝炎ウイルス検診実施場所【複数回答】
(n=407)

直営の病院で実施	提携医療機関で実施(検診)	出張検診等	その他の医療機関	その他	無回答
45	274	119	41	17	9
11.1	67.3	29.2	10.1	4.2	2.2

問3 肝炎ウイルス検診を受診できる時間帯
【複数回答】(n=407)

平日の昼間	夜間	休日	無回答
385	8	54	16
94.6	2.0	13.3	3.9

問3 肝炎ウイルス検診(正社員家族)

問3 肝炎ウイルス検診の実施状況
(n=993:正社員数0人を除く)

事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
14	203	705	71
1.4	20.4	71.0	7.2

問3 肝炎ウイルス検診受診対象【複数回答】
(n=217:検診実施件数)

①全健診に追加(定期)	②全健診に追加(不定期)	③定員制限を設けて実施	④年齢制限を設けて実施	⑤その他	無回答
29	116	-	95	22	4
13.4	53.5	-	43.8	10.1	1.8

問3 ③定員制限を設けて実施の定員数
(n=0)

平均	最小	最大	標準偏差
-	-	-	-

問3 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=95)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上	無回答
3	2	64	23	-	3
3.2	2.1	67.4	24.2	-	3.2

問3 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(n=92:無回答3を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
34.50	18	40	4.86

問3 ④年齢制限を設けて実施の対象年齢
(刻み)(n=4:再掲)

20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳以上
1	1	1	1	

問3 肝炎ウイルス検診受診対象人数
(n=75:無回答142を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
58.39	0	610	112.81

問3 2007年度肝炎ウイルス検診受診者数
(n=92:無回答125を除く)

平均	最小	最大	標準偏差
16.55	0	266	41.84

問3 肝炎ウイルス検診費用の自己負担の状況
【複数回答】(n=217)

①自己負担なし	②成業部負担からの健康保険	③その他	無回答
88	114	20	8
40.6	52.5	9.2	3.7

問3 ②一部負担の内容
【複数回答】(n=114)

現物給付	払戻し(検査後)	無回答
46	37	35
40.4	32.5	30.7

問3 肝炎ウイルス検査方法【複数回答】
(n=217)

検査型B型肝炎ウイルス	検査型C型肝炎ウイルス	その他	無回答	B型・C型両方(再掲)
173	167	11	21	152
79.7	77.0	5.1	9.7	70.0

第6章 クロス集計表

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問1-1 胃がん検診受診の有無

【複数回答】

問8 年齢・性別

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両年度受けた(再掲)	昨年度と昨年度以前の
全体	1981 100.0	706 35.6	927 46.8	588 29.7	36 1.8	276 13.9	
男性40歳代	176 100.0	89 50.6	71 40.3	56 31.8	1 0.6	41 23.3	
男性50歳代	208 100.0	105 50.5	79 38.0	49 23.6	5 2.4	30 14.4	
男性60歳代	245 100.0	101 41.2	123 50.2	63 25.7	1 0.4	43 17.6	
男性70歳以上	238 100.0	75 31.5	133 55.9	67 28.2	3 1.3	40 16.8	
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	
女性40歳代	254 100.0	81 31.9	101 39.8	96 37.8	2 0.8	26 10.2	
女性50歳代	274 100.0	80 29.2	141 51.5	84 30.7	4 1.5	35 12.8	
女性60歳代	265 100.0	95 35.8	121 45.7	73 27.5	6 2.3	30 11.3	
女性70歳以上	321 100.0	80 24.9	158 49.2	100 31.2	14 4.4	31 9.7	

問1-1 肺がん検診受診の有無

【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両年度受けた(再掲)	昨年度と昨年度以前の
全体	1981 100.0	784 39.6	543 27.4	804 40.6	87 4.4	237 12.0	
男性40歳代	176 100.0	101 57.4	53 30.1	60 34.1	-	38 21.6	
男性50歳代	208 100.0	114 54.8	56 26.9	62 29.8	2 1.0	26 12.5	
男性60歳代	245 100.0	106 43.3	84 34.3	84 34.3	10 4.1	39 15.9	
男性70歳以上	238 100.0	81 34.0	78 32.8	94 39.5	17 7.1	32 13.4	
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	
女性40歳代	254 100.0	102 40.2	72 28.3	106 41.7	3 1.2	29 11.4	
女性50歳代	274 100.0	102 37.2	77 28.1	118 43.1	8 2.9	31 11.3	
女性60歳代	265 100.0	93 35.1	59 22.3	124 46.8	12 4.5	23 8.7	
女性70歳以上	321 100.0	85 26.5	64 19.9	156 48.6	35 10.9	19 5.9	

問1-1 大腸がん検診受診の有無

【複数回答】

問8 年齢・性別

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両年度受けた(再掲)	昨年度と昨年度以前の
全体	1981 100.0	707 35.7	676 34.1	776 39.2	53 2.7	231 11.7	
男性40歳代	176 100.0	87 49.4	55 31.3	69 39.2	-	35 19.9	
男性50歳代	208 100.0	89 42.8	67 32.2	77 37.0	2 1.0	27 13.0	
男性60歳代	245 100.0	91 37.1	96 39.2	90 36.7	10 4.1	42 17.1	
男性70歳以上	238 100.0	87 36.6	90 37.8	87 36.6	6 2.5	32 13.4	
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	
女性40歳代	254 100.0	77 30.3	68 26.8	127 50.0	2 0.8	20 7.9	
女性50歳代	274 100.0	85 31.0	104 38.0	107 39.1	7 2.6	29 10.6	
女性60歳代	265 100.0	101 38.1	85 32.1	95 35.8	4 1.5	20 7.5	
女性70歳以上	321 100.0	90 28.0	111 34.6	124 38.6	22 6.9	26 8.1	

問1-1 子宮がん検診受診の有無

【複数回答】

	調査数	内受けた(過去2年以内)	年受けた以上(2年前)	か受けたことはない・わ	無回答	掲) 過去2年以内と2年以上(再掲)
全体	1514 100.0	527 34.8	511 33.8	530 35.0	36 2.4	90 5.9
男性40歳代	-	-	-	-	-	-
男性50歳代	-	-	-	-	-	-
男性60歳代	-	-	-	-	-	-
男性70歳以上	-	-	-	-	-	-
女性20歳代	148 100.0	40 27.0	3 2.0	105 70.9	2 1.4	2 1.4
女性30歳代	252 100.0	147 58.3	38 15.1	71 28.2	3 1.2	7 2.8
女性40歳代	254 100.0	122 48.0	90 35.4	64 25.2	1 0.4	23 9.1
女性50歳代	274 100.0	111 40.5	129 47.1	61 22.3	7 2.6	34 12.4
女性60歳代	265 100.0	65 24.5	126 47.5	85 32.1	7 2.6	18 6.8
女性70歳以上	321 100.0	42 13.1	125 38.9	144 44.9	16 5.0	6 1.9

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問1-1 乳がん検診受診の有無

【複数回答】

問8 年齢・性別

	調査数	内) 受けた(過去2年以内)	年 受けた(2年以上前)	か 受けたことはない・わからない	無回答	掲) 過去の2年以内と2年以上
全 体	1114 100.0	344 30.9	401 36.0	422 37.9	30 2.7	83 7.5
男性 40歳代	-	-	-	-	-	-
男性 50歳代	-	-	-	-	-	-
男性 60歳代	-	-	-	-	-	-
男性 70歳以上	-	-	-	-	-	-
女性 20歳代	-	-	-	-	-	-
女性 30歳代	-	-	-	-	-	-
女性 40歳代	254 100.0	110 43.3	75 29.5	93 36.6	1 0.4	25 9.8
女性 50歳代	274 100.0	108 39.4	109 39.8	83 30.3	7 2.6	33 12.0
女性 60歳代	265 100.0	77 29.1	106 40.0	94 35.5	4 1.5	16 6.0
女性 70歳以上	321 100.0	49 15.3	111 34.6	152 47.4	18 5.6	9 2.8

問1-2A どのような機会に検査を受けたか(胃がん)

問8 性別・年齢

	調査数	職場の検診で受けた	で 住民(市区町村) 受けた 検診	ク 診を受けた(人間的に検	全 額 自 費 で 個 人 的 に 検 査 を 受 け た	で 検 査 を 受 け た (通 院、入院、中) 診 療 の 中 に	そ の 他	無回答
全 体	1357 100	570 42	341 25.1	215 15.8	184 13.6	19 1.4	152 11.2	
男性計	622 100	327 52.6	108 17.4	102 16.4	68 10.9	9 1.4	62 10	
男性 40歳代	119 100	86 72.3	11 9.2	12 10.1	4 3.4	-	9 7.6	
男性 50歳代	154 100	115 74.7	14 9.1	16 10.4	10 6.5	2 1.3	11 7.1	
男性 60歳代	181 100	88 48.6	33 18.2	36 19.9	21 11.6	5 2.8	18 9.9	
男性 70歳以上	168 100	38 22.6	50 29.8	38 22.6	33 19.6	2 1.2	24 14.3	
女性計	735 100	243 33.1	233 31.7	113 15.4	116 15.8	10 1.4	90 12.2	
女性 20歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性 30歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性 40歳代	156 100	87 55.8	40 25.6	14 9	18 11.5	1 0.6	8 5.1	
女性 50歳代	186 100	82 44.1	53 28.5	31 16.7	27 14.5	5 2.7	10 5.4	
女性 60歳代	186 100	53 28.5	67 36	38 20.4	22 11.8	3 1.6	25 13.4	
女性 70歳以上	207 100	21 10.1	73 35.3	30 14.5	49 23.7	1 0.5	47 22.7	

問1-2A どのような機会に検査を受けたか(肺がん)

	調査数	職場の検診で受けた	で 住民(市区町村) 受けた 検診	ク 診を受けた(人間的に検	全 額 自 費 で 個 人 的 に 検 査 を 受 け た	で 検 査 を 受 け た (通 院、入院、中) 診 療 の 中 に	そ の 他	無回答
全 体	1090 100	515 47.2	320 29.4	100 9.2	86 7.9	13 1.2	139 12.8	
男性計	538 100	297 55.2	113 21	58 10.8	45 8.4	7 1.3	59 11	
男性 40歳代	116 100	88 75.9	14 12.1	6 5.2	4 3.4	-	9 7.8	
男性 50歳代	144 100	111 77.1	10 6.9	11 7.6	9 6.3	-	12 8.3	
男性 60歳代	151 100	82 54.3	34 22.5	22 14.6	12 7.9	2 1.3	14 9.3	
男性 70歳以上	127 100	16 12.6	55 43.3	19 15	20 15.7	5 3.9	24 18.9	
女性計	552 100	218 39.5	207 37.5	42 7.6	41 7.4	6 1.1	80 14.5	
女性 20歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性 30歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性 40歳代	145 100	95 65.5	39 26.9	2 1.4	4 2.8	2 1.4	10 6.9	
女性 50歳代	148 100	71 48	56 37.8	11 7.4	10 6.8	3 2	13 8.8	
女性 60歳代	129 100	39 30.2	54 41.9	17 13.2	10 7.8	1 0.8	19 14.7	
女性 70歳以上	130 100	13 10	58 44.6	12 9.2	17 13.1	-	38 29.2	

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問1-2A どのような機会に検査を受けたか(大腸がん)

問8 性別・年齢	調査数	職場の検診で受けた	住民(市区町村)で受けた	ク等)を全額自費で受けた(個人ドツ)	動検を全額自費で受けた(個人ドツ)	通院、入院中に医師に診察を受けた	その他	無回答
全体	1152	429	364	172	145	17	106	
	100	37.2	31.6	14.9	12.6	1.5	9.2	
男性計	526	249	117	86	59	9	43	
	100	47.3	22.2	16.3	11.2	1.7	8.2	
男性40歳代	107	77	11	10	5	-	6	
	100	72	10.3	9.3	4.7	-	5.6	
男性50歳代	129	88	8	15	9	-	15	
	100	68.2	6.2	11.6	7	-	11.6	
男性60歳代	145	67	33	28	18	4	9	
	100	46.2	22.8	19.3	12.4	2.8	6.2	
男性70歳以上	145	17	65	33	27	5	13	
	100	11.7	44.8	22.8	18.6	3.4	9	
女性計	626	180	247	86	86	8	63	
	100	28.8	39.5	13.7	13.7	1.3	10.1	
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性40歳代	125	74	35	10	10	1	4	
	100	59.2	28	8	8	0.8	3.2	
女性50歳代	160	54	62	22	19	5	9	
	100	33.8	38.8	13.8	11.9	3.1	5.6	
女性60歳代	166	39	74	24	16	2	21	
	100	23.5	44.6	14.5	9.6	1.2	12.7	
女性70歳以上	175	13	76	30	41	-	29	
	100	7.4	43.4	17.1	23.4	-	16.6	

問1-2A どのような機会に検査を受けたか(子宮がん)

調査数	職場の検診で受けた	住民(市区町村)で受けた	ク等)を全額自費で受けた(個人ドツ)	動検を全額自費で受けた(個人ドツ)	通院、入院中に医師に診察を受けた	その他	無回答
948	254	316	187	177	26	68	
100	26.8	33.3	19.7	18.7	2.7	7.2	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
948	254	316	187	177	26	68	
100	26.8	33.3	19.7	18.7	2.7	7.2	
41	12	3	11	16	2	1	
100	29.3	7.3	26.8	39	4.9	2.4	
178	73	42	31	43	9	4	
100	41	23.6	17.4	24.2	5.1	2.2	
189	64	55	28	43	5	10	
100	33.9	29.1	14.8	22.8	2.6	5.3	
206	52	81	46	31	5	8	
100	25.2	39.3	22.3	15	2.4	3.9	
173	35	76	36	14	3	24	
100	20.2	43.9	20.8	8.1	1.7	13.9	
161	18	59	35	30	2	21	
100	11.2	36.6	21.7	18.6	1.2	13	

問1-2A どのような機会に検査を受けたか(乳がん)

問8 性別・年齢	調査数	職場の検診で受けた	住民(市区町村)で受けた	ク等)を全額自費で受けた(個人ドツ)	動検を全額自費で受けた(個人ドツ)	通院、入院中に医師に診察を受けた	その他	無回答
全体	662	208	260	116	45	14	60	
	100	31.4	39.3	17.5	6.8	2.1	9.1	
男性計	-	-	-	-	-	-	-	
男性40歳代	-	-	-	-	-	-	-	
男性50歳代	-	-	-	-	-	-	-	
男性60歳代	-	-	-	-	-	-	-	
男性70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	
女性計	662	208	260	116	45	14	60	
	100	31.4	39.3	17.5	6.8	2.1	9.1	
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	
女性40歳代	160	78	56	23	6	2	9	
	100	48.8	35	14.4	3.8	1.3	5.6	
女性50歳代	184	61	79	32	14	5	6	
	100	33.2	42.9	17.4	7.6	2.7	3.3	
女性60歳代	167	49	71	31	8	6	14	
	100	29.3	42.5	18.6	4.8	3.6	8.4	
女性70歳以上	151	20	54	30	17	1	31	
	100	13.2	35.8	19.9	11.3	0.7	20.5	

問7-1 「ピンクリボン運動」の認知

調査数	知っていた	内容を知らなかった	まったく知らなかった	無回答
2381	820	487	973	101
100	34.4	20.5	40.9	4.2
867	154	157	494	62
100	17.8	18.1	57	7.2
176	51	34	89	2
100	29	19.3	50.6	1.1
208	52	31	115	10
100	25	14.9	55.3	4.8
245	32	47	144	22
100	13.1	19.2	58.8	9
238	19	45	146	28
100	8	18.9	61.3	11.8
1514	666	330	479	39
100	44	21.8	31.6	2.6
148	78	29	41	-
100	52.7	19.6	27.7	-
252	154	49	48	1
100	61.1	19.4	19	0.4
254	150	53	48	3
100	59.1	20.9	18.9	1.2
274	135	52	82	5
100	49.3	19	29.9	1.8
265	97	58	102	8
100	36.6	21.9	38.5	3
321	52	89	158	22
100	16.2	27.7	49.2	6.9

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診を受けた理由

問8 性年代別

	調査数	年齢的に検診の対象	気になる症状があった	職場の検診内容にあった	区市町村の検診内容にあった	検診のお知らせが来た	家族・友人などに受診を勧められたから	かかりつけ医で受診してきた	勤務時間中に受けられた	検診を勧める情報を見た	担当が同姓の医師だった	自宅や職場の近くで受診できたから	夜間や休日に受診できた	最新鋭の設備が整っている	費用が安かったから	その他	無回答
全体	1357 100.0	518 38.2	228 16.8	436 32.1	247 18.2	207 15.3	53 3.9	210 15.5	112 8.3	134 9.9	3 0.2	188 13.9	13 1	46 3.4	130 9.6	54 4	148 10.9
男性40歳代	119 100.0	61 51.3	12 10.1	74 62.2	9 7.6	9 7.6	6 5	3 2.5	20 16.8	5 4.2	-	14 11.8	3 2.5	-	13 10.9	3 2.5	4 3.4
男性50歳代	154 100.0	83 53.9	12 7.8	88 57.1	10 6.5	9 5.8	6 3.9	10 6.5	25 16.2	8 5.2	-	14 9.1	3 1.9	6 3.9	11 7.1	5 3.2	11 7.1
男性60歳代	181 100.0	76 42	29 16	69 38.1	29 16	28 15.5	10 5.5	29 16	22 12.2	21 11.6	-	28 15.5	2 1.1	9 5	19 10.5	7 3.9	17 9.4
男性70歳以上	168 100.0	55 32.7	30 17.9	24 14.3	32 19	27 16.1	3 1.8	38 22.6	9 5.4	19 11.3	1 0.6	21 12.5	-	8 4.8	21 12.5	10 6	30 17.9
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性40歳代	156 100.0	62 39.7	33 21.2	71 45.5	29 18.6	26 16.7	7 4.5	15 9.6	16 10.3	13 8.3	1 0.6	19 12.2	2 1.3	2 1.3	16 10.3	6 3.8	5 3.2
女性50歳代	186 100.0	72 38.7	39 21	61 32.8	45 24.2	39 21	8 4.3	26 14	11 5.9	25 13.4	-	41 22	2 1.1	6 3.2	22 11.8	11 5.9	10 5.4
女性60歳代	186 100.0	67 36	36 19.4	36 19.4	50 26.9	33 17.7	8 4.3	26 14	7 3.8	25 13.4	-	22 11.8	1 0.5	8 4.3	19 10.2	9 4.8	24 12.9
女性70歳以上	207 100.0	42 20.3	37 17.9	13 6.3	43 20.8	36 17.4	5 2.4	63 30.4	2 1	18 8.7	1 0.5	29 14	-	7 3.4	9 4.3	3 1.4	47 22.7

問2-1 肺がん検診を受けた理由

問8 性年代別

	調査数	年齢的に検診の対象	気になる症状があった	職場の検診内容にあった	区市町村の検診内容にあった	検診のお知らせが来た	家族・友人などに受診を勧められたから	かかりつけ医で受診してきた	勤務時間中に受けられた	検診を勧める情報を見た	担当が同姓の医師だった	自宅や職場の近くで受診できたから	夜間や休日に受診できた	最新鋭の設備が整っている	費用が安かったから	その他	無回答
全体	1090 100.0	399 36.6	65 6	420 38.5	252 23.1	172 15.8	37 3.4	120 11	108 9.9	97 8.9	1 0.1	140 12.8	9 0.8	32 2.9	107 9.8	32 2.9	150 13.8
男性40歳代	116 100.0	51 44	5 4.3	79 68.1	12 10.3	9 7.8	6 5.2	2 1.7	24 20.7	6 5.2	-	13 11.2	3 2.6	1 0.9	13 11.2	-	9 7.8
男性50歳代	144 100.0	66 45.8	4 2.8	89 61.8	8 5.6	8 5.6	5 3.5	6 4.2	26 18.1	9 6.3	-	14 9.7	2 1.4	7 4.9	10 6.9	5 3.5	12 8.3
男性60歳代	151 100.0	62 41.1	9 6	63 41.7	34 22.5	21 13.9	9 6	12 7.9	19 12.6	16 10.6	-	18 11.9	-	9 6	16 10.6	4 2.6	17 11.3
男性70歳以上	127 100.0	42 33.1	12 9.4	14 11	40 31.5	19 15	1 0.8	31 24.4	4 3.1	14 11	-	19 15	-	7 5.5	17 13.4	8 6.3	33 26
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性40歳代	145 100.0	52 35.9	7 4.8	82 56.6	24 16.6	23 15.9	6 4.1	5 3.4	17 11.7	11 7.6	1 0.7	16 11	2 1.4	1 0.7	16 11	5 3.4	9 6.2
女性50歳代	148 100.0	53 35.8	7 4.7	56 37.8	47 31.8	38 25.7	3 2	13 8.8	9 6.1	13 8.8	-	32 21.6	2 1.4	2 1.4	17 11.5	5 3.4	13 8.8
女性60歳代	129 100.0	44 34.1	12 9.3	30 23.3	40 31	24 18.6	5 3.9	13 10.1	6 4.7	16 12.4	-	15 11.6	-	4 3.1	14 10.9	3 2.3	21 16.3
女性70歳以上	130 100.0	29 22.3	9 6.9	7 5.4	47 36.2	30 23.1	2 1.5	38 29.2	3 2.3	12 9.2	-	13 10	-	1 0.8	4 3.1	2 1.5	36 27.7

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 大腸がん検診を受けた理由

問8 性年代別

	調査数	年齢的に検診の対象	気になる症状があった	職場の検診内容にあつた	区市町村の検診内容にあつた	検診のお知らせが来た	家族・友人などに受診を勧められた	かかりつけ医で受診してきた	勤務時間中に受けられた	検診を勧める情報を見た	担当が同姓の医師だった	自宅や職場の近くで受診できた	夜間や休日に受診できた	最新鋭の設備が整っている	費用が安かった	その他	無回答
全体	1152 100.0	443 38.5	171 14.8	325 28.2	262 22.7	202 17.5	43 3.7	162 14.1	85 7.4	115 10	4 0.3	148 12.8	9 0.8	33 2.9	118 10.2	38 3.3	115 10
男性 40歳代	107 100.0	54 50.5	9 8.4	64 59.8	10 9.3	10 9.3	8 7.5	2 1.9	19 17.8	5 4.7	-	12 11.2	3 2.8	-	13 12.1	3 2.8	4 3.7
男性 50歳代	129 100.0	63 48.8	12 9.3	66 51.2	7 5.4	8 6.2	4 3.1	7 5.4	20 15.5	8 6.2	-	9 7	1 0.8	5 3.9	7 5.4	5 3.9	12 9.3
男性 60歳代	145 100.0	69 47.6	20 13.8	47 32.4	27 18.6	28 19.3	5 3.4	19 13.1	17 11.7	15 10.3	-	19 13.1	1 0.7	8 5.5	14 9.7	4 2.8	11 7.6
男性 70歳以上	145 100.0	52 35.9	25 17.2	15 10.3	42 29	30 20.7	2 1.4	38 26.2	5 3.4	19 13.1	-	19 13.1	-	6 4.1	21 14.5	12 8.3	20 13.8
女性 20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 40歳代	125 100.0	53 42.4	17 13.6	57 45.6	24 19.2	24 19.2	6 4.8	7 5.6	13 10.4	13 10.4	3 2.4	14 11.2	2 1.6	2 1.6	17 13.6	2 1.6	3 2.4
女性 50歳代	160 100.0	60 37.5	30 18.8	38 23.8	49 30.6	38 23.8	6 3.8	15 9.4	5 3.1	19 11.9	-	35 21.9	1 0.6	3 1.9	21 13.1	6 3.8	9 5.6
女性 60歳代	166 100.0	55 33.1	27 16.3	30 18.1	52 31.3	32 19.3	4 2.4	22 13.3	4 2.4	20 12	-	20 12	1 0.6	6 3.6	16 9.6	4 2.4	22 13.3
女性 70歳以上	175 100.0	37 21.1	31 17.7	8 4.6	51 29.1	32 18.3	8 4.6	52 29.7	2 1.1	16 9.1	1 0.6	20 11.4	-	3 1.7	9 5.1	2 1.1	34 19.4

問2-1 子宮がん検診を受けた理由

問8 性年代別

	調査数	年齢的に検診の対象	気になる症状があった	職場の検診内容にあつた	区市町村の検診内容にあつた	検診のお知らせが来た	家族・友人などに受診を勧められた	かかりつけ医で受診してきた	勤務時間中に受けられた	検診を勧める情報を見た	担当が同姓の医師だった	自宅や職場の近くで受診できた	夜間や休日に受診できた	最新鋭の設備が整っている	費用が安かった	その他	無回答
全体	948 100.0	390 41.1	163 17.2	169 17.8	210 22.2	162 17.1	60 6.3	142 15	39 4.1	121 12.8	54 5.7	143 15.1	10 1.1	19 2	93 9.8	66 7	87 9.2
男性 40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 20歳代	41 100.0	10 24.4	10 24.4	7 17.1	2 4.9	1 2.4	6 14.6	12 29.3	5 12.2	4 9.8	2 4.9	3 7.3	1 2.4	-	1 2.4	8 19.5	-
女性 30歳代	178 100.0	76 42.7	31 17.4	50 28.1	26 14.6	19 10.7	16 9	30 16.9	14 7.9	28 15.7	15 8.4	35 19.7	4 2.2	1 0.6	20 11.2	25 14	5 2.8
女性 40歳代	189 100.0	100 52.9	45 23.8	43 22.8	33 17.5	38 20.1	18 9.5	32 16.9	10 5.3	18 9.5	11 5.8	25 13.2	3 1.6	2 1.1	25 13.2	8 4.2	6 3.2
女性 50歳代	206 100.0	88 42.7	42 20.4	37 18	61 29.6	51 24.8	6 2.9	28 13.6	4 1.9	26 12.6	11 5.3	43 20.9	2 1	4 1.9	25 12.1	16 7.8	10 4.9
女性 60歳代	173 100.0	70 40.5	17 9.8	22 12.7	53 30.6	30 17.3	6 3.5	17 9.8	3 1.7	25 14.5	7 4	22 12.7	-	5 2.9	14 8.1	4 2.3	28 16.2
女性 70歳以上	161 100.0	46 28.6	18 11.2	10 6.2	35 21.7	23 14.3	8 5	23 14.3	3 1.9	20 12.4	8 5	15 9.3	-	7 4.3	8 5	5 3.1	38 23.6

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 乳がん検診を受けた理由

問8 性年代別

	調査数	年齢的に検診の対象	気になる症状があった	職場の検診内容にあつた	区市町村の検診内容にあつた	検診のお知らせが来た	家族・友人などに受診を勧められたから	かかりつけ医で受診できたから	勤務時間中に受けられたから	検診を勧める情報を見たから	担当が同姓の医師だったから	自宅や職場の近くで受診できたから	夜間や休日に受診できたから	最新鋭の設備が整っているから	費用が安かったから	その他	無回答
全体	662 100.0	282 42.6	88 13.3	141 21.3	173 26.1	135 20.4	42 6.3	59 8.9	22 3.3	90 13.6	21 3.2	92 13.9	6 0.9	22 3.3	79 11.9	18 2.7	74 11.2
男性 40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 40歳代	160 100.0	93 58.1	21 13.1	56 35	33 20.6	38 23.8	16 10	9 5.6	12 7.5	17 10.6	9 5.6	17 10.6	3 1.9	3 1.9	21 13.1	5 3.1	6 3.8
女性 50歳代	184 100.0	85 46.2	26 14.1	43 23.4	60 32.6	47 25.5	10 5.4	17 9.2	6 3.3	29 15.8	7 3.8	41 22.3	2 1.1	7 3.8	32 17.4	7 3.8	6 3.3
女性 60歳代	167 100.0	69 41.3	22 13.2	28 16.8	47 28.1	29 17.4	10 6	14 8.4	3 1.8	28 16.8	2 1.2	22 13.2	1 0.6	6 3.6	18 10.8	4 2.4	18 10.8
女性 70歳以上	151 100.0	35 23.2	19 12.6	14 9.3	33 21.9	21 13.9	6 4	19 12.6	1 0.7	16 10.6	3 2	12 7.9	-	6 4	8 5.3	2 1.3	44 29.1

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問3-2 胃がん検診を受けなかった理由

問8 性年代別

	調査数	がんがみつかったら怖いから	うから検査に痛みや苦痛があると思	がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	恥ずかしいから	検査方法を知らないから	いか分らないから	がんにかかって通院中であるから	がん検診に対して否定的な意識があるから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	健康に自信があるから	面倒くさかったから	忙しいから(家事、育児、介護)	費用が高いから	自宅や職場のそばに受診できる場所がないから	夜間や休日などに受診できないから	会社の検診内容になかったから	勤務時間に行けないから	定員が一杯だから	その他	無回答
全体	1239 100.0	69 5.6	98 7.9	11 0.9	6 0.5	51 4.1	70 5.6	2 0.2	22 1.8	206 16.6	79 6.4	130 10.5	193 15.6	82 6.6	24 1.9	41 3.3	43 3.5	37 3	9 0.7	71 5.7	572 46.2
男性40歳代	86 100.0	2 2.3	2 2.3	-	-	9 10.5	18 20.9	-	1 1.2	3 3.5	4 4.7	15 17.4	34 39.5	14 16.3	5 5.8	11 12.8	11 12.8	12 14	1 1.2	6 7	22 25.6
男性50歳代	98 100.0	6 6.1	5 5.1	-	1 1	9 9.2	8 8.2	-	5 5.1	16 16.3	9 9.2	19 19.4	25 25.5	13 13.3	5 5.1	7 7.1	8 8.2	8 8.2	-	5 5.1	34 34.7
男性60歳代	143 100.0	4 2.8	6 4.2	3 2.1	-	7 4.9	11 7.7	-	1 0.7	23 16.1	11 7.7	13 9.1	12 8.4	10 7	2 1.4	4 2.8	8 5.6	1 0.7	1 0.7	12 8.4	67 46.9
男性70歳以上	160 100.0	7 4.4	4 2.5	1 0.6	-	9 5.6	7 5.6	-	1 0.6	39 24.4	9 5.6	12 7.5	6 3.8	8 5	3 1.9	-	1 0.6	-	1 0.6	11 6.9	81 50.6
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性40歳代	171 100.0	9 5.3	28 16.4	2 1.2	1 0.6	4 2.3	12 7	-	1 0.6	17 9.9	9 5.3	27 15.8	53 31	15 8.8	5 2.9	9 5.3	4 4.7	8 7	3 1.8	9 5.3	70 40.9
女性50歳代	190 100.0	18 9.5	23 12.1	1 0.5	2 1.1	5 2.6	5 2.6	1 0.5	5 2.6	34 17.9	8 4.2	17 8.9	41 21.6	6 3.2	2 1.1	4 2.1	7 3.7	7 3.7	2 1.1	8 4.2	85 44.7
女性60歳代	164 100.0	11 6.7	16 9.8	4 2.4	-	4 2.4	2 1.2	-	6 3.7	33 20.1	6 3.7	20 12.2	13 7.9	12 7.3	2 1.2	6 3.7	2 1.2	1 0.6	1 0.6	9 5.5	81 49.4
女性70歳以上	227 100.0	12 5.3	14 6.2	-	2 0.9	4 1.8	5 2.2	1 0.4	2 0.9	21 18.1	23 10.1	7 3.1	9 4	4 1.8	-	-	-	-	-	11 4.8	132 58.1

問3-2 肺がん検診を受けなかった理由

問8 性年代別

	調査数	がんがみつかったら怖いから	うから検査に痛みや苦痛があると思	がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	恥ずかしいから	検査方法を知らないから	いか分らないから	がんにかかって通院中であるから	がん検診に対して否定的な意識があるから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	健康に自信があるから	面倒くさかったから	忙しいから(家事、育児、介護)	費用が高いから	自宅や職場のそばに受診できる場所がないから	夜間や休日などに受診できないから	会社の検診内容になかったから	勤務時間に行けないから	定員が一杯だから	その他	無回答
全体	1110 100.0	51 4.6	40 3.6	13 1.2	5 0.5	56 5	67 6	3 0.3	17 1.5	172 15.5	66 5.9	110 9.9	173 15.6	75 6.8	19 1.7	41 3.7	43 3.9	38 3.4	8 0.7	71 6.4	534 48.1
男性40歳代	75 100.0	2 2.7	1 1.3	-	-	5 13.3	17 22.7	-	1 1.3	4 5.3	3 4	12 16	31 41.3	12 16	3 4	9 10.7	8 16	12 16	1 1.3	7 9.3	17 22.7
男性50歳代	92 100.0	4 4.3	5 5.4	-	1 1.1	8 8.7	7 7.6	-	4 4.3	14 15.2	4 4.3	18 19.6	23 25	10 10.9	4 4.3	7 7.6	7 7.6	8 8.7	-	3 3.3	36 39.1
男性60歳代	129 100.0	3 2.3	3 2.3	3 2.3	-	7 5.4	10 7.8	1 0.8	1 0.8	20 15.5	10 7.8	14 10.9	10 7.8	9 7	1 0.8	5 3.9	5 7.8	2 1.6	1 0.8	11 8.5	58 45
男性70歳以上	140 100.0	3 2.1	3 2.1	-	-	9 6.4	7 5	1 0.7	1 0.7	27 19.3	7 5	8 5.7	7 5	6 4.3	2 1.4	-	1 0.7	1 0.7	-	11 7.9	80 57.1
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性40歳代	149 100.0	9 6	7 4.7	3 2	1 0.7	5 3.4	10 6.7	-	1 0.7	18 12.1	9 6	22 14.8	55 36.9	16 10.7	4 2.7	9 6	7 4.7	7 4.7	3 2	8 5.4	57 38.3
女性50歳代	164 100.0	15 9.1	5 3	2 1.2	2 1.2	7 4.3	6 3.7	1 0.6	3 1.8	29 17.7	9 5.5	15 9.1	28 17.1	8 4.9	3 1.8	5 3	7 4.3	7 4.3	2 1.2	7 4.3	79 48.2
女性60歳代	160 100.0	9 5.6	11 6.9	5 3.1	-	5 3.1	5 3.1	-	5 3.1	25 15.6	6 3.8	17 10.6	9 5.6	11 6.9	2 1.3	6 3.8	2 1.3	1 0.6	1 0.6	10 6.3	82 51.3
女性70歳以上	201 100.0	6 3	5 2.5	-	1 0.5	5 2.5	5 2.5	-	1 0.5	35 17.4	18 9	4 2	10 5	3 1.5	-	-	1 0.5	-	-	14 7	125 62.2

クロス集計表

(上段:件数 / 下段:%)

問3-2 大腸がん検診を受けなかった理由

問8 性年代別

	調査数	がんが見つかったら怖いから	うから検査に痛みや苦痛があると思	がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	恥ずかしいから	検査方法を知らないから	いか分らないから	がん検診をどこで受ければよ	がんにかかって 通院中であるから	がん検診に対し否定的な意識があるから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	健康に自信があるから	面倒くさかったから	忙しいから(家事、育児、介護)	費用が高いから	自宅や職場のそばに受診できるところがないから	夜間や休日などに受診できないから	会社の検診内容になかったから	勤務時間に行けないから	定員が一杯だから	その他	無回答
全体	1221 100.0	58 4.8	89 7.3	13 1.1	38 3.1	52 4.3	66 5.4	3 0.2	19 1.6	192 15.7	71 5.8	133 10.9	184 15.1	91 7.5	28 2.3	46 3.8	52 4.3	39 3.2	6 0.5	74 6.1	582 47.7	
男性40歳代	89 100.0	2 2.2	3 3.4	-	2 2.2	7 7.9	17 19.1	-	1 1.1	4 4.5	3 3.4	13 14.6	31 34.8	15 16.9	6 6.7	12 13.5	12 13.5	12 13.5	-	9 10.1	25 28.1	
男性50歳代	117 100.0	4 3.4	8 6.8	1 0.9	6 5.1	10 8.5	11 9.4	-	4 3.4	18 15.4	5 4.3	24 20.5	25 21.4	15 12.8	6 5.1	8 6.8	10 8.5	8 6.8	-	5 4.3	50 42.7	
男性60歳代	144 100.0	3 2.1	7 4.9	3 2.1	2 1.4	7 4.9	9 6.3	1 0.7	2 1.4	22 15.3	12 8.3	15 10.4	15 6.3	9 7.6	11 2.1	3 4.2	6 6.9	10 1.4	2 1.4	-	10 6.9	70 48.6
男性70歳以上	145 100.0	2 1.4	2 1.4	-	2 1.4	8 5.5	5 3.4	1 0.7	2 1.4	32 22.1	7 4.8	8 5.5	6 4.1	9 6.2	3 2.1	-	-	1 0.7	1 0.7	1 0.7	11 7.6	77 53.1
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性40歳代	175 100.0	9 5.1	23 13.1	4 2.3	8 4.6	5 2.9	10 5.7	-	1 0.6	19 10.9	9 5.1	27 15.4	55 31.4	18 10.3	5 2.9	9 5.1	8 4.6	8 4.6	3 1.7	12 6.9	68 38.9	
女性50歳代	182 100.0	17 9.3	20 11	-	11 6	6 3.3	6 3.3	1 0.5	3 1.5	32 17.6	9 4.9	19 10.4	36 19.8	8 4.4	4 2.2	6 3.3	4 3.8	7 0.5	1 0.6	6 3.3	84 46.2	
女性60歳代	160 100.0	9 5.6	15 9.4	4 2.5	3 1.9	5 3.1	2 1.3	-	1 0.6	26 16.3	6 3.8	20 12.5	11 6.9	12 7.5	1 0.6	5 3.1	5 1.3	1 0.6	1 0.6	8 5	86 53.8	
女性70歳以上	209 100.0	12 5.7	11 5.3	1 0.5	4 1.9	4 1.9	6 2.9	-	1 0.5	39 18.7	20 9.6	7 3.3	11 5.3	3 1.4	-	-	1 0.5	-	-	13 6.2	122 58.4	

問3-2 子宮がん検診を受けなかった理由

問8 性年代別

	調査数	がんが見つかったら怖いから	うから検査に痛みや苦痛があると思	がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	恥ずかしいから	検査方法を知らないから	いか分らないから	がん検診をどこで受ければよ	がんにかかって 通院中であるから	がん検診に対し否定的な意識があるから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	健康に自信があるから	面倒くさかったから	忙しいから(家事、育児、介護)	費用が高いから	自宅や職場のそばに受診できるところがないから	夜間や休日などに受診できないから	会社の検診内容になかったから	勤務時間に行けないから	定員が一杯だから	その他	無回答
全体	951 100.0	65 6.8	74 7.8	17 1.8	95 10	70 7.4	82 8.6	2 0.2	11 1.2	134 14.1	63 6.6	115 12.1	186 19.6	95 10	26 2.7	50 5.3	57 6	42 4.4	8 0.8	64 6.7	400 42.1	
男性40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性20歳代	106 100.0	13 12.3	16 15.1	2 1.9	15 14.2	33 31.1	37 34.9	-	1 0.9	8 7.5	9 8.5	20 18.9	39 36.8	30 28.3	9 8.5	17 16	21 19.8	17 16	1 0.9	14 13.2	12 11.3	
女性30歳代	102 100.0	10 9.8	14 13.7	3 2.9	13 12.7	18 17.6	21 20.6	-	-	5 4.9	7 6.9	22 21.6	43 42.2	33 32.4	3 2.9	12 11.8	17 16.7	9 8.8	1 0.8	9 8.8	23.5	
女性40歳代	131 100.0	9 6.9	13 9.9	4 3.1	16 12.2	5 3.8	8 6.1	-	-	14 10.7	6 4.6	23 17.6	42 32.8	10 7.6	4 3.1	9 6.9	4 3.1	7 5.3	2 1.5	4 3.1	50 38.2	
女性50歳代	156 100.0	14 9	13 8.3	2 1.3	23 14.7	5 3.2	5 6.1	-	2 1.3	28 17.9	6 3.8	20 12.8	37 23.7	9 5.8	4 2.6	7 4.5	10 6.4	6 3.8	2 1.3	3 5.8	62 39.7	
女性60歳代	193 100.0	11 5.7	10 5.2	5 2.6	18 9.3	4 2.1	4 2.1	1 0.5	6 3.1	34 17.6	8 4.1	17 8.8	14 7.3	10 5.2	4 2.1	5 2.6	4 2.1	3 1.6	1 0.5	13 6.7	96 49.7	
女性70歳以上	263 100.0	8 3	8 3	1 0.4	10 3.8	5 1.9	7 2.7	1 0.4	2 0.8	45 17.1	1 10.3	27 13	10 4.9	3 3.8	2 1.1	-	1 0.4	-	-	15 5.7	156 59.3	

クロス集計表

(上段:件数 / 下段:%)

問3-2 乳がん検診を受けなかった理由

問8 性年代別

	調査数	がんが見つかったら怖いから	検診に痛みや苦痛があると思	がん検診の個人情報保護に対して不安や不信感があるから	恥ずかしいから	検査方法を知らないから	いか分らないから	がんにかかって、通院中であるから	がん検診に対し否定的な意識があるから	心配なときはいつでも医療機関を受診できるから	健康に自信があるから	面倒くさかったから	忙しいから(家事、育児、介護)	費用が高いから	自宅や職場のそばに受診できる場所がないから	夜間や休日などに受診できないから	会社の検診内容になかったから	勤務時間中に行けないから	定員が一杯だから	その他	無回答
全 体	740 100.0	44 5.9	40 5.4	7 0.9	40 5.4	23 3.1	30 4.1	4 0.5	11 1.5	124 16.8	49 6.6	68 9.2	103 13.9	37 5	17 2.3	22 3	22 3	17 2.3	12 1.6	39 5.3	364 49.2
男性 4 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 5 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 6 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性 7 0 歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 2 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 3 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 4 0 歳代	143 100.0	9 6.3	12 8.4	2 1.4	11 7.7	6 4.2	11 7.7	-	1 0.7	17 11.9	7 4.9	23 16.1	45 31.5	15 10.5	6 4.2	9 6.3	5 3.5	7 4.9	4 2.8	12 8.4	51 35.7
女性 5 0 歳代	159 100.0	14 8.8	10 6.3	1 0.6	15 9.4	5 3.1	5 3.1	2 1.3	3 1.9	28 17.6	7 4.4	18 11.3	35 22	9 5.7	5 3.1	8 5	11 6.9	8 5	3 1.9	7 4.4	68 42.8
女性 6 0 歳代	184 100.0	12 6.5	11 6	3 1.6	8 4.3	6 3.3	7 3.8	1 0.5	5 2.7	36 19.6	7 3.8	18 9.8	12 6.5	11 6	3 1.6	5 2.7	5 2.7	2 1.1	1 0.5	9 4.9	94 51.1
女性 7 0 歳以上	254 100.0	9 3.5	7 2.8	1 0.4	6 2.4	6 2.4	7 2.8	1 0.4	2 0.8	43 16.9	28 11	9 3.5	6 4.3	11 0.8	3 1.2	3 -	1 0.4	-	4 1.6	11 4.3	151 59.4

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問3-3 胃がん検診を受診しなくなる条件

問8 性年代別

	調査数	イ 状が ス等 が 検 診 時 に 受 け ら れ る	か ん 予 防 や 気 に な る ア ド バ 症	間 中 に 受 診 す る 勤 務 時	か ん 検 診 を 受 診 す る 時 に	の が ん 検 診 を 受 診 す る 時 に	公 共 施 設 で 受 け ら れ る	か ん 検 診 を 受 診 す る 時 に	夜 間 や 休 日 に 受 け ら れ る	か ん 検 診 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れ る	無 料 で 受 け ら れ る	短 い 時 間 で 受 け ら れ る	な い 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ な い	ど ん な 条 件 で も が ん 検 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1239 100.0	270 21.8	95 7.7	291 23.5	34 2.7	166 13.4	245 19.8	266 21.5	357 28.8	451 36.4	347 28	44 3.6	45 3.6	325 26.2							
男性 4 0 歳代	86 100.0	27 31.4	22 25.6	40 46.5	11 12.8	32 37.2	31 36	13 15.1	40 46.5	60 69.8	38 44.2	1 1.2	2 2.3	13 15.1							
男性 5 0 歳代	98 100.0	22 22.4	18 18.4	27 27.6	4 4.1	28 28.6	19 19.4	12 12.2	33 33.7	45 45.9	35 35.7	4 4.1	2 2.3	13 13.3							
男性 6 0 歳代	143 100.0	35 24.5	4 2.8	35 24.5	3 2.1	19 13.3	23 16.1	29 20.3	39 27.3	48 33.6	37 25.9	8 5.6	3 2.1	33 23.1							
男性 7 0 歳以上	160 100.0	37 23.1	3 1.9	21 13.1	-	4 2.5	27 16.9	52 32.5	31 19.4	31 19.4	27 16.9	7 4.4	4 2.5	48 30							
女性 2 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
女性 3 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
女性 4 0 歳代	171 100.0	35 20.5	24 14	65 38	8 4.7	35 20.5	58 33.9	36 21.1	68 39.8	97 56.7	75 43.9	4 2.3	12 7	23 13.5							
女性 5 0 歳代	190 100.0	38 20	14 7.4	57 30	5 2.6	34 17.9	37 19.5	41 21.6	69 36.3	83 43.7	74 38.9	5 2.6	6 3.2	43 22.6							
女性 6 0 歳代	164 100.0	36 22	5 3	22 13.4	3 1.8	10 6.1	28 17.1	41 25	42 25.6	42 25.6	34 20.7	6 3.7	7 4.3	55 33.5							
女性 7 0 歳以上	227 100.0	40 17.6	5 2.2	24 10.6	-	4 1.8	22 9.7	42 18.5	35 15.4	45 19.8	27 11.9	9 4	9 4	97 42.7							

問3-3 肺がん検診を受診しなくなる条件

問8 性年代別

	調査数	イ 状が ス等 が 検 診 時 に 受 け ら れ る	か ん 予 防 や 気 に な る ア ド バ 症	間 中 に 受 診 す る 勤 務 時	か ん 検 診 を 受 診 す る 時 に	の が ん 検 診 を 受 診 す る 時 に	公 共 施 設 で 受 け ら れ る	か ん 検 診 を 受 診 す る 時 に	夜 間 や 休 日 に 受 け ら れ る	か ん 検 診 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	か ん 予 防 の 予 約 が す ぐ に 行 え る	各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れ る	無 料 で 受 け ら れ る	短 い 時 間 で 受 け ら れ る	な い 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ な い	ど ん な 条 件 で も が ん 検 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1110 100.0	212 19.1	82 7.4	245 22.1	30 2.7	151 13.6	204 18.4	205 18.5	306 27.6	386 34.8	289 26	36 3.2	35 3.2	345 31.1						
男性 4 0 歳代	75 100.0	23 30.7	19 25.3	34 45.3	8 10.7	28 37.3	25 33.3	11 14.7	37 49.3	52 69.3	34 45.3	1 1.3	1 1.3	11 14.7						
男性 5 0 歳代	92 100.0	17 18.5	15 16.3	24 26.1	2 2.2	24 26.1	15 16.3	9 9.8	29 31.5	37 40.2	26 28.3	3 3.3	3 3.3	18 19.6						
男性 6 0 歳代	129 100.0	28 21.7	5 3.9	29 22.5	1 0.8	18 14	21 16.3	21 16.3	33 25.6	44 34.1	30 23.3	8 6.2	2 1.6	32 24.8						
男性 7 0 歳以上	140 100.0	30 21.4	4 2.9	19 13.6	1 0.7	5 3.6	20 14.3	33 23.6	20 14.3	24 17.1	19 13.6	4 2.9	2 1.4	56 40						
女性 2 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
女性 3 0 歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
女性 4 0 歳代	149 100.0	28 18.8	19 12.8	56 37.6	8 5.4	29 19.5	54 36.2	35 23.5	60 40.3	84 56.4	67 45	2 1.3	8 5.4	20 13.4						
女性 5 0 歳代	164 100.0	33 20.1	12 7.3	47 28.7	5 3	31 18.9	32 19.5	36 22	59 36	72 43.9	62 37.8	5 3	4 2.4	41 25						
女性 6 0 歳代	160 100.0	32 20	6 3.8	18 11.3	5 3.1	13 8.1	27 16.9	33 20.6	45 28.1	39 24.4	33 20.6	5 3.1	7 4.4	59 36.9						
女性 7 0 歳以上	201 100.0	21 10.4	2 1	18 9	-	3 1.5	10 5	27 13.4	23 11.4	34 16.9	18 9	8 4	8 4	108 53.7						

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問3-3 大腸がん検診を受診したくなる条件

問8 性年代別

	調査数	イ 状 が 予 防 や 検 診 時 に ア ド ル 症 等 が 受 け ら れ る	か ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	休 暇 中 に 受 診 す る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	か ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	公 共 施 設 で 受 け ら れ る	が ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	夜 間 や 休 日 に 受 け ら れ る	か ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	で か り つ け 医 の と こ ろ に 受 け ら れ る	各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れ る	無 料 で 受 け ら れ る	短 い 時 間 で 受 け ら れ る	な い 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ ない	ど ん な 条 件 で も が ん 検 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ ない	そ の 他	無 回 答
全 体	1221 100.0	267 21.9	104 8.5	283 23.2	37 3	164 13.4	234 19.2	236 19.3	353 28.9	424 34.7	334 27.4	42 3.4	45 3.7	350 28.7			
男性 40歳代	89 100.0	29 32.6	23 25.8	42 47.2	10 11.2	31 34.8	27 30.3	11 12.4	39 43.8	56 62.9	38 42.7	1 1.1	2 2.2	18 20.2			
男性 50歳代	117 100.0	27 23.1	24 20.5	29 24.8	6 5.1	31 26.5	19 16.2	14 12	38 32.5	50 42.7	37 31.6	4 3.4	3 2.6	22 18.8			
男性 60歳代	144 100.0	39 27.1	6 4.2	34 23.6	2 1.4	20 13.9	23 16	29 20.1	38 26.4	44 30.6	35 24.3	8 5.6	2 1.4	32 22.2			
男性 70歳以上	145 100.0	34 23.4	3 2.1	22 15.2	1 0.7	3 2.1	27 18.6	47 32.4	24 16.6	26 17.9	20 13.8	5 3.4	3 2.1	49 33.8			
女性 20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
女性 30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
女性 40歳代	175 100.0	35 20	24 13.7	61 34.9	9 5.1	33 18.9	56 32	38 21.7	72 41.1	96 54.9	75 42.9	4 2.3	11 6.3	28 16			
女性 50歳代	182 100.0	36 19.8	14 7.7	50 27.5	5 2.7	32 17.6	37 20.3	38 20.9	68 37.4	75 41.2	70 38.5	6 3.3	6 3.3	44 24.2			
女性 60歳代	160 100.0	30 18.8	7 4.4	21 13.1	4 2.5	10 6.3	25 15.6	28 17.5	45 28.1	38 23.8	36 22.5	6 3.8	8 5	61 38.1			
女性 70歳以上	209 100.0	37 17.7	3 1.4	24 11.5	-	4 1.9	20 9.6	31 14.8	29 13.9	39 18.7	23 11	8 3.8	10 4.8	96 45.9			

問3-3 子宮がん検診を受診したくなる条件

問8 性年代別

	調査数	イ 状 が 予 防 や 検 診 時 に ア ド ル 症 等 が 受 け ら れ る	か ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	休 暇 中 に 受 診 す る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	か ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	公 共 施 設 で 受 け ら れ る	が ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	夜 間 や 休 日 に 受 け ら れ る	か ん 検 診 を 受 診 し た く な る 予 め に 検 診 を 受 診 し た く な る	で か り つ け 医 の と こ ろ に 受 け ら れ る	各 が ん 検 診 が 一 度 に 受 け ら れ る	無 料 で 受 け ら れ る	短 い 時 間 で 受 け ら れ る	な い 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ ない	ど ん な 条 件 で も が ん 検 診 を 受 け よ う と は 思 わ れ ない	そ の 他	無 回 答
全 体	951 100.0	208 21.9	104 10.9	246 25.9	43 4.5	125 13.1	171 18	160 16.8	284 29.9	408 42.9	280 29.4	24 2.5	52 5.5	262 27.5			
男性 40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
男性 50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
男性 60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
男性 70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
女性 20歳代	106 100.0	37 34.9	46 43.4	49 46.2	12 11.3	35 33	23 21.7	15 14.2	47 44.3	85 80.2	56 52.8	1 0.9	10 9.4	5 4.7			
女性 30歳代	102 100.0	33 32.4	26 25.5	44 43.1	12 11.8	30 29.4	26 25.5	22 21.6	44 43.1	75 73.5	44 43.1	-	9 8.8	13 12.7			
女性 40歳代	131 100.0	25 19.1	18 13.7	44 33.6	5 3.8	19 14.5	37 28.2	27 20.6	44 33.6	69 52.7	50 38.2	2 1.5	11 8.4	20 15.3			
女性 50歳代	156 100.0	35 22.4	8 5.1	52 33.3	6 3.8	25 16	33 21.2	30 19.2	58 37.2	72 46.2	71 45.5	5 3.2	2 1.3	29 18.6			
女性 60歳代	193 100.0	39 20.2	4 2.1	28 14.5	6 3.1	12 6.2	28 14.5	33 17.1	58 30.1	53 27.5	34 17.6	6 3.1	8 4.1	66 34.2			
女性 70歳以上	263 100.0	39 14.8	2 0.8	29 11	2 0.8	4 1.5	24 9.1	33 12.5	33 12.5	54 20.5	25 9.5	10 3.8	12 4.6	129 49			

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問3-3 乳がん検診を受診したくなる条件

問8 性年代別

	調査数	状況が、検診や気になる 予防や気になる アトピー	がん検診を受診する 間に取らざるに 勤務時	がん検診を受診する 時に、	がん検診を職場や自宅 の近くで受けられる	公共施設で受けられる 駅などの	がん検診を、駅などの 公共施設で受けられる	夜間や休日などに受け られる	がすぐにがん検診の予約 ができる	で、かかりつけ医の すぐそばに受けられる	各がん検診が一度に受 けられる	無料で受けられる	短い時間で受けられる	なにか受けてよとは思わ ない	どんな条件でもがん検 診を受けようとは思わ ない	その他	無回答
全体	740 100.0	138 18.6	39 5.3	167 22.6	20 2.7	64 8.6	125 16.9	125 16.9	207 28	256 34.6	191 25.8	24 3.2	30 4.1	231 31.2			
男性40歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性50歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性60歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男性70歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性40歳代	143 100.0	29 20.3	18 12.6	52 36.4	7 4.9	23 16.1	40 28	29 20.3	57 39.9	77 53.8	64 44.8	3 2.1	10 7	22 15.4			
女性50歳代	159 100.0	34 21.4	12 7.5	56 35.2	4 2.5	25 15.7	35 22	29 18.2	62 39	75 47.2	70 44	5 3.1	3 1.9	27 17			
女性60歳代	184 100.0	38 20.7	6 3.3	32 17.4	7 3.8	12 6.5	28 15.2	35 19	55 29.9	55 29.9	35 19	6 3.3	7 3.8	56 30.4			
女性70歳以上	254 100.0	37 14.6	3 1.2	27 10.6	2 0.8	4 1.6	22 8.7	32 12.6	33 13	49 19.3	22 8.7	10 3.9	10 3.9	126 49.6			

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

全体

問4 がん検診の費用(自分で払う費用)

問8 年代別

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	1812 100	66 3.6	66 3.6	270 14.9	426 23.5	584 32.2	194 10.7	122 6.7	60 3.3	24 1.3
20歳代	138 100	5 3.6	7 5.1	18 13	38 27.5	48 34.8	12 8.7	8 5.8	2 1.4	-
30歳代	234 100	10 4.3	10 4.3	34 14.5	61 26.1	73 31.2	28 12	15 6.4	3 1.3	-
40歳代	376 100	13 3.5	12 3.2	63 16.8	112 29.8	130 34.6	20 5.3	14 3.7	10 2.7	2 0.5
50歳代	399 100	11 2.8	15 3.8	71 17.8	85 21.3	111 27.8	55 13.8	34 8.5	11 2.8	6 1.5
60歳代	366 100	13 3.6	5 1.4	46 12.6	65 17.8	125 34.2	52 14.2	33 9	19 5.2	8 2.2
70歳以上	299 100	14 4.7	17 5.7	38 12.7	65 21.7	97 32.4	27 9	18 6	15 5	8 2.7

男性

問4 がん検診の費用(自分で払う費用)

問8 年代別

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	644 100	24 3.7	23 3.6	116 18	136 21.1	202 31.4	63 9.8	45 7	20 3.1	15 2.3
20歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	155 100	3 1.9	6 3.9	30 19.4	47 30.3	53 34.2	4 2.6	6 3.9	4 2.6	2 1.3
50歳代	167 100	6 3.6	5 3	35 21	35 21	43 25.7	23 13.8	14 8.4	2 1.2	4 2.4
60歳代	181 100	8 4.4	2 1.1	26 14.4	27 14.9	68 37.6	23 12.7	16 8.8	6 3.3	5 2.8
70歳以上	141 100	7 5	10 7.1	25 17.7	27 19.1	38 27	13 9.2	9 6.4	8 5.7	4 2.8

女性

問4 がん検診の費用(自分で払う費用)

問8 年代別

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	1168 100	42 3.6	43 3.7	154 13.2	290 24.8	382 32.7	131 11.2	77 6.6	40 3.4	9 0.8
20歳代	138 100	5 3.6	7 5.1	18 13	38 27.5	48 34.8	12 8.7	8 5.8	2 1.4	-
30歳代	234 100	10 4.3	10 4.3	34 14.5	61 26.1	73 31.2	28 12	15 6.4	3 1.3	-
40歳代	221 100	10 4.5	6 2.7	33 14.9	65 29.4	77 34.8	16 7.2	8 3.6	6 2.7	-
50歳代	232 100	5 2.2	10 4.3	36 15.5	50 21.6	68 29.3	32 13.8	20 8.6	9 3.9	2 0.9
60歳代	185 100	5 2.7	3 1.6	20 10.8	38 20.5	57 30.8	29 15.7	17 9.2	13 7	3 1.6
70歳以上	158 100	7 4.4	7 4.4	13 8.2	38 24.1	59 37.3	14 8.9	9 5.7	7 4.4	4 2.5

クロス集計表

(上段:件数 / 下段:%)

問9 身の回りのがん罹患者の有無

問1-1 胃がん検診受診の有無

	調査数	昨年度受けた	けたことより以前に受けたこと	わ受からたことではない・	無回答
全体	1981	706	927	588	36
	100.0	35.6	46.8	29.7	1.8
いる	1518	573	752	403	20
	100.0	37.7	49.5	26.5	1.3
いない	360	98	129	154	9
	100.0	27.2	35.8	42.8	2.5
無回答	103	35	46	31	7
	100.0	34	44.7	30.1	6.8

問1-1 胃がん検査の方法

調査数	胃X線検査	胃内視鏡検査	ペブシノゲン検査	その他	が受けたが、検査方法	無回答
1357	1005	655	105	12	6	19
100.0	74.1	48.3	7.7	0.9	0.4	1.4
1095	814	526	92	8	4	14
100.0	74.3	48	8.4	0.7	0.4	1.3
197	143	86	5	2	2	4
100.0	72.6	43.7	2.5	1	1	2
65	48	43	8	2	-	1
100.0	73.8	66.2	12.3	3.1	-	1.5

問9 身の回りのがん罹患者の有無

問1-1 肺がん検診受診の有無

	調査数	昨年度受けた	けたことより以前に受けたこと	わ受からたことではない・	無回答
全体	1981	784	543	804	87
	100.0	39.6	27.4	40.6	4.4
いる	1518	626	452	589	51
	100.0	41.2	29.8	38.8	3.4
いない	360	125	68	170	22
	100.0	34.7	18.9	47.2	6.1
無回答	103	33	23	45	14
	100.0	32	22.3	43.7	13.6

問1-1 肺がん検査の方法

調査数	胸部X線検査	喀痰細胞診	胸部CT検査	その他	が受けたが、検査方法	無回答
1090	1032	125	112	5	2	16
100.0	94.7	11.5	10.3	0.5	0.2	1.5
878	831	107	88	5	1	14
100.0	94.6	12.2	10	0.6	0.1	1.6
168	163	14	14	-	-	2
100.0	97	8.3	8.3	-	-	1.2
44	38	4	10	-	1	-
100.0	86.4	9.1	22.7	-	2.3	-

問9 身の回りのがん罹患者の有無

問1-1 大腸がん検診受診の有無

	調査数	昨年度受けた	けたことより以前に受けたこと	わ受からたことではない・	無回答
全体	1981	707	676	776	53
	100.0	35.7	34.1	39.2	2.7
いる	1518	557	554	559	37
	100.0	36.7	36.5	36.8	2.4
いない	360	120	87	175	8
	100.0	33.3	24.2	48.6	2.2
無回答	103	30	35	42	8
	100.0	29.1	34	40.8	7.8

問1-1 大腸がん検査の方法

調査数	便潜血検査	全大腸内視鏡検査	その他	が受けたが、検査方法	無回答
1152	953	364	26	9	10
100.0	82.7	31.6	2.3	0.8	0.9
922	761	290	24	7	7
100.0	82.5	31.5	2.6	0.8	0.8
177	149	53	1	2	2
100.0	84.2	29.9	0.6	1.1	1.1
53	43	21	1	-	1
100.0	81.1	39.6	1.9	-	1.9

問9 身の回りのがん罹患者の有無

問1-1 子宮がん検診受診の有無

	調査数	内受けた(過去2年以内)	(受けたこと)がある	わ受からたことではない・	無回答
全体	1514	527	511	530	36
	100.0	34.8	33.8	35	2.4
いる	1206	451	431	377	24
	100.0	37.4	35.7	31.3	2
いない	248	61	60	132	6
	100.0	24.6	24.2	53.2	2.4
無回答	60	15	20	21	6
	100.0	25	33.3	35	10

問1-1 子宮がん検査の方法

調査数	採取細胞診:医師による	細胞診:自己採取	その他	が受けたが、検査方法	無回答
948	835	72	15	31	24
100.0	88.1	7.6	1.6	3.3	2.5
805	714	64	12	25	18
100.0	88.7	8	1.5	3.1	2.2
110	95	6	3	4	3
100.0	86.4	5.5	2.7	3.6	2.7
33	26	2	-	2	3
100.0	78.8	6.1	-	6.1	9.1

問9 身の回りのがん罹患者の有無

問1-1 乳がん検診受診の有無

	調査数	内受けた(過去2年以内)	(受けたこと)がある	わ受からたことではない・	無回答
全体	1114	344	401	422	30
	100.0	30.9	36	37.9	2.7
いる	891	298	334	314	18
	100.0	33.4	37.5	35.2	2
いない	165	36	44	87	5
	100.0	21.8	26.7	52.7	3
無回答	58	10	23	21	7
	100.0	17.2	39.7	36.2	12.1

問1-1 乳がん検査の方法

調査数	マンモグラフィ	視触診	コ乳房超音波(エー)	その他	が受けたが、検査方法	無回答
662	369	522	250	8	5	4
100.0	55.7	78.9	37.8	1.2	0.8	0.6
559	322	440	219	7	3	2
100.0	57.6	78.7	39.2	1.3	0.5	0.4
73	33	56	23	1	2	1
100.0	45.2	76.7	31.5	1.4	2.7	1.4
30	14	26	8	-	-	1
100.0	46.7	86.7	26.7	-	-	3.3

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

男性

問4 がん検診の費用(自分で払う費用)

問6-2 「健康」に関する情報への興味

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	644	24	23	116	136	202	63	45	20	15
	100	3.7	3.6	18	21.1	31.4	9.8	7	3.1	2.3
興味がある	367	9	15	66	75	112	39	29	13	9
	100	2.5	4.1	18	20.4	30.5	10.6	7.9	3.5	2.5
すこし興味がある	223	8	5	39	53	76	20	13	5	4
	100	3.6	2.2	17.5	23.8	34.1	9	5.8	2.2	1.8
あまり興味がない	31	3	2	9	4	8	2	2	-	1
	100	9.7	6.5	29	12.9	25.8	6.5	6.5	-	3.2
興味がない	8	4	-	1	-	1	-	-	1	1
	100	50	-	12.5	-	12.5	-	-	12.5	12.5
無回答	16	-	1	1	4	6	2	1	1	-
	100	-	6.3	6.3	25	37.5	12.5	6.3	6.3	-

女性

問4 がん検診の費用(自分で払う費用)

問6-2 「健康」に関する情報への興味

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	1168	42	43	154	290	382	131	77	40	9
	100	3.6	3.7	13.2	24.8	32.7	11.2	6.6	3.4	0.8
興味がある	725	22	23	84	179	248	82	51	28	8
	100	3	3.2	11.6	24.7	34.2	11.3	7	3.9	1.1
すこし興味がある	376	14	14	55	97	120	39	24	12	1
	100	3.7	3.7	14.6	25.8	31.9	10.4	6.4	3.2	0.3
あまり興味がない	47	5	3	11	11	9	5	2	1	-
	100	10.6	6.4	23.4	23.4	19.1	10.6	4.3	2.1	-
興味がない	6	1	2	1	-	2	-	-	-	-
	100	16.7	33.3	16.7	-	33.3	-	-	-	-
無回答	18	-	1	3	4	5	5	-	-	-
	100	-	5.6	16.7	22.2	27.8	27.8	-	-	-

男性

問4 がん検診の費用

問10 仕事の有無

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	644	24	23	116	136	202	63	45	20	15
	100	3.7	3.6	18	21.1	31.4	9.8	7	3.1	2.3
仕事あり	441	13	12	76	95	147	41	38	11	8
	100	2.9	2.7	17.2	21.5	33.3	9.3	8.6	2.5	1.8
仕事なし	189	11	10	39	36	50	20	7	9	7
	100	5.8	5.3	20.6	19	26.5	10.6	3.7	4.8	3.7
不明・無回答	14	-	1	1	5	5	2	-	-	-
	100	-	7.1	7.1	35.7	35.7	14.3	-	-	-

女性

問4 がん検診の費用

問10 仕事の有無

	調査数	0円(無料)	1円	01円	03円	05円	010円	020円	030円	50円以上
全体	1168	42	43	154	290	382	131	77	40	9
	100	3.6	3.7	13.2	24.8	32.7	11.2	6.6	3.4	0.8
仕事あり	641	19	18	91	172	205	73	44	16	3
	100	3	2.8	14.2	26.8	32	11.4	6.9	2.5	0.5
仕事なし	506	22	24	59	116	171	53	33	22	6
	100	4.3	4.7	11.7	22.9	33.8	10.5	6.5	4.3	1.2
不明・無回答	21	1	1	4	2	6	5	-	2	-
	100	4.8	4.8	19	9.5	28.6	23.8	-	9.5	-

クロス集計表

(上段:件数 / 下段:%)

問1-1 肺がん検査の方法

問12 喫煙指数(パターン1)

	調査数	胸部X線検査	喀痰細胞診	胸部CT検査	その他	受けがたが、検査方法が	無回答
全 体	499 100.0	476 95.4	77 15.4	59 11.8	4 0.8	-	3 0.6
400未満	232 100.0	225 97	23 9.9	21 9.1	1 0.4	-	2 0.9
400以上	237 100.0	222 93.7	49 20.7	34 14.3	2 0.8	-	1 0.4
指数算出不可(データ欠損)	30 100.0	29 96.7	5 16.7	4 13.3	1 3.3	-	-

問12 喫煙指数(パターン2)

全 体	499 100.0	476 95.4	77 15.4	59 11.8	4 0.8	-	3 0.6
600未満	292 100.0	283 96.9	31 10.6	27 9.2	2 0.7	-	2 0.7
600以上	177 100.0	164 92.7	41 23.2	28 15.8	1 0.6	-	1 0.6
指数算出不可(データ欠損)	30 100.0	29 96.7	5 16.7	4 13.3	1 3.3	-	-

受診率

(n=1981:40歳以上男女)

(上段:件数/下段:%)

問1-2 A.胃がん検査の機会
【複数回答】

問1-1 胃がん検診受診の有無
【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両方受けたと昨年度以前の(再掲)
全体	1357 100.0	706 52.0	927 68.3	-	-	276 20.3
職場の検診で受けた	570 100.0	357 62.6	366 64.2	-	-	153 26.8
住民(市区町村)検診で受けた	341 100.0	159 46.6	252 73.9	-	-	70 20.5
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)	215 100.0	123 57.2	149 69.3	-	-	57 26.5
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	184 100.0	71 38.6	145 78.8	-	-	32 17.4
その他	19 100.0	7 36.8	13 68.4	-	-	1 5.3
無回答	152 100.0	58 38.2	111 73.0	-	-	17 11.2

問1-1 胃がん検査の方法
【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両方受けたと昨年度以前の(再掲)
全体	1357 100.0	706 52.0	927 68.3	-	-	276 20.3
胃X線検査	1005 100.0	531 52.8	711 70.7	-	-	237 23.6
胃内視鏡検査	655 100.0	319 48.7	493 75.3	-	-	157 24.0
ペプシノゲン検査	105 100.0	47 44.8	83 79.0	-	-	25 23.8
その他	12 100.0	8 66.7	10 83.3	-	-	6 50.0
受けたが、検査方法がわからない	6 100.0	3 50.0	3 50.0	-	-	-
無回答	19 100.0	5 26.3	14 73.7	-	-	-

問1-2 A.肺がん検査の機会
【複数回答】

問1-1 肺がん検診受診の有無
【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両方受けたと昨年度以前の(再掲)
全体	1090 100.0	784 71.9	543 49.8	-	-	237 21.7
職場の検診で受けた	515 100.0	412 80.0	249 48.3	-	-	146 28.3
住民(市区町村)検診で受けた	320 100.0	230 71.9	165 51.6	-	-	75 23.4
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)	100 100.0	66 66.0	59 59.0	-	-	25 25.0
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	86 100.0	49 57.0	49 57.0	-	-	12 14.0
その他	13 100.0	9 69.2	5 38.5	-	-	1 7.7
無回答	139 100.0	82 59.0	76 54.7	-	-	19 13.7

問1-1 肺がん検査の方法
【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両方受けたと昨年度以前の(再掲)
全体	1090 100.0	784 71.9	543 49.8	-	-	237 21.7
胸部X線検査	1032 100.0	753 73.0	509 49.3	-	-	230 22.3
喀痰細胞診	125 100.0	86 68.8	85 68.0	-	-	46 36.8
胸部CT検査	112 100.0	69 61.6	77 68.8	-	-	34 30.4
その他	5 100.0	4 80.0	5 100.0	-	-	4 80.0
受けたが、検査方法がわからない	2 100.0	-	2 100.0	-	-	-
無回答	16 100.0	9 56.3	9 56.3	-	-	2 12.5
胸部X線検査と喀痰細胞診の両方	106 100.0	78 73.6	71 67.0	-	-	43 40.6

問1-2 A.大腸がん検査の機会
【複数回答】

問1-1 大腸がん検診受診の有無
【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両方受けたと昨年度以前の(再掲)
全体	1152 100.0	707 61.4	676 58.7	-	-	231 20.1
職場の検診で受けた	429 100.0	317 73.9	228 53.1	-	-	116 27.0
住民(市区町村)検診で受けた	364 100.0	253 69.5	195 53.6	-	-	84 23.1
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)	172 100.0	82 47.7	125 72.7	-	-	35 20.3
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	145 100.0	60 41.4	106 73.1	-	-	21 14.5
その他	17 100.0	8 47.1	9 52.9	-	-	-
無回答	106 100.0	43 40.6	75 70.8	-	-	12 11.3

問1-1 大腸がん検査の方法
【複数回答】

	調査数	昨年度受けた	た昨年度より以前に受けたことがある	か受けたことはない・わ	無回答	両方受けたと昨年度以前の(再掲)
全体	1152 100.0	707 61.4	676 58.7	-	-	231 20.1
便潜血検査	953 100.0	643 67.5	530 55.6	-	-	220 23.1
全大腸内視鏡検査	364 100.0	159 43.7	274 75.3	-	-	69 19.0
その他	26 100.0	11 42.3	22 84.6	-	-	7 26.9
受けたが、検査方法がわからない	9 100.0	3 33.3	7 77.8	-	-	1 11.1
無回答	10 100.0	4 40.0	6 60.0	-	-	-

受診率:子宮(頸)がん (n=1514:20歳以上女性のみ)

(上段:件数/下段:%)

問1-2 A.子宮(頸)がん検査の機会
【複数回答】

問1-1 子宮(頸)がん検診受診の有無
【複数回答】

	調査数	内) 受けた(過去2年以内)	年 受けたことがある(2)	か 受けたことはない・わ	無 回答	掲) 上過去の2年以内と2年以内(再)
全 体	948 100.0	527 55.6	511 53.9	-	-	90 9.5
職場の検診で受けた	254 100.0	191 75.2	109 42.9	-	-	46 18.1
住民(市区町村)検診で受けた	316 100.0	169 53.5	184 58.2	-	-	37 11.7
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)	187 100.0	105 56.1	104 55.6	-	-	22 11.8
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	177 100.0	96 54.2	91 51.4	-	-	10 5.6
その他	26 100.0	12 46.2	14 53.8	-	-	-
無回答	68 100.0	17 25.0	53 77.9	-	-	2 2.9

問1-1 子宮(頸)がん検査の方法
【複数回答】

	調査数	内) 受けた(過去2年以内)	年 受けたことがある(2)	か 受けたことはない・わ	無 回答	掲) 上過去の2年以内と2年以内(再)
全 体	948 100.0	527 55.6	511 53.9	-	-	90 9.5
細胞診: 医師による採取	835 100.0	495 59.3	428 51.3	-	-	88 10.5
細胞診: 自己採取	72 100.0	34 47.2	46 63.9	-	-	8 11.1
その他	15 100.0	4 26.7	11 73.3	-	-	-
受けたが、検査方法がわからない	31 100.0	8 25.8	23 74.2	-	-	-
無回答	24 100.0	2 8.3	22 91.7	-	-	-

受診率:乳がん (n=1114:40歳以上女性のみ)

問1-2 A.乳がん検査の機会
【複数回答】

問1-1 乳がん検診受診の有無
【複数回答】

	調査数	内) 受けた(過去2年以内)	年 受けたことがある(2)	か 受けたことはない・わ	無 回答	掲) 上過去の2年以内と2年以内(再)
全 体	662 100.0	344 52.0	401 60.6	-	-	83 12.5
職場の検診で受けた	208 100.0	129 62.0	119 57.2	-	-	40 19.2
住民(市区町村)検診で受けた	260 100.0	138 53.1	155 59.6	-	-	33 12.7
全額自費で個人的に検診を受けた(人間ドック等)	116 100.0	67 57.8	70 60.3	-	-	21 18.1
通院、入院中に医師に勧められて、診療の中で検査を受けた	45 100.0	18 40.0	33 73.3	-	-	6 13.3
その他	14 100.0	6 42.9	8 57.1	-	-	-
無回答	60 100.0	16 26.7	47 78.3	-	-	3 5.0

問1-1 乳がん検査の方法
【複数回答】

	調査数	内) 受けた(過去2年以内)	年 受けたことがある(2)	か 受けたことはない・わ	無 回答	掲) 上過去の2年以内と2年以内(再)
全 体	662 100.0	344 52.0	401 60.6	-	-	83 12.5
マンモグラフィ	369 100.0	253 68.6	181 49.1	-	-	65 17.6
視触診	522 100.0	269 51.5	331 63.4	-	-	78 14.9
乳房超音波(エコー)検査	250 100.0	172 68.8	129 51.6	-	-	51 20.4
その他	8 100.0	7 87.5	4 50.0	-	-	3 37.5
受けたが、検査方法がわからない	5 100.0	1 20.0	4 80.0	-	-	-
無回答	4 100.0	-	4 100.0	-	-	-
マンモグラフィと視触診の両方	272 100.0	197 72.4	137 50.4	-	-	62 22.8

■ 平成20年度 東京都がん検診実態調査 職種におけるがん検診実施状況調査 - 2008年8月～9月実施 -

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診カバー率 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	0 0 1 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	2 0 0 % 未 満	3 0 0 % 未 満	4 0 0 % 未 満	5 0 0 % 未 満	6 0 0 % 未 満	7 0 0 % 未 満	8 0 0 % 未 満	9 0 % 以 上	算 出 不 可 ・ 無 回 答
全 体	826 100	43 5.2	48 5.8	58 7	76 9.2	74 9	90 10.9	86 10.4	58 7	49 5.9	123 14.9	121 14.6
10人未満	45 100	4 8.9	3 6.7	2 4.4	4 8.9	-	-	4 8.9	3 6.7	7 15.6	15 33.3	3 6.7
10～29人	119 100	5 4.2	3 2.5	11 9.2	7 5.9	11 9.2	17 14.3	12 10.1	6 5	4 3.4	33 27.7	10 8.4
30～49人	72 100	3 4.2	4 5.6	5 6.9	5 6.9	4 5.6	7 9.7	10 13.9	5 6.9	7 9.7	16 22.2	6 8.3
50～99人	114 100	5 4.4	6 5.3	9 7.9	8 7	16 14	10 8.8	12 10.5	9 7.9	9 10.5	18 15.8	12 10.5
100～299人	217 100	9 4.1	18 8.3	12 5.5	23 10.6	20 9.2	21 9.7	24 11.1	12 5.5	12 5.5	22 10.1	44 20.3
300～499人	60 100	4 6.7	3 5	6 10	8 13.3	4 6.7	10 16.7	4 6.7	7 11.7	3 5	4 6.7	7 11.7
500～999人	85 100	4 4.7	7 8.2	8 9.4	11 12.9	7 8.2	10 11.8	6 7.1	5 5.9	4 4.7	8 9.4	15 17.6
1000人以上	105 100	8 7.6	3 2.9	4 3.8	9 8.6	11 10.5	15 14.3	13 12.4	10 9.5	3 2.9	6 5.7	23 21.9
無回答	9 100	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1

問2-1 肺がん検診カバー率 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	0 0 1 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	2 0 0 % 未 満	3 0 0 % 未 満	4 0 0 % 未 満	5 0 0 % 未 満	6 0 0 % 未 満	7 0 0 % 未 満	8 0 0 % 未 満	9 0 % 以 上	算 出 不 可 ・ 無 回 答
全 体	818 100	30 3.7	9 1.1	18 2.2	15 1.8	14 1.7	22 2.7	30 3.7	51 6.2	70 8.6	431 52.7	128 15.6
10人未満	45 100	3 6.7	-	1 2.2	2 4.4	1 2.2	-	1 2.2	2 4.4	4 8.9	29 64.4	4 8.9
10～29人	113 100	3 2.7	2 1.8	2 1.8	1 0.9	3 2.7	4 3.5	2 1.8	4 3.5	4 3.5	75 66.4	13 11.5
30～49人	76 100	2 2.6	2 2.6	1 1.3	-	2 2.6	5 6.6	3 3.9	2 2.6	5 6.6	44 57.9	10 13.2
50～99人	118 100	5 4.2	2 1.7	3 2.5	2 1.7	4 3.4	2 1.7	2 1.7	6 5.1	8 6.8	67 56.8	17 14.4
100～299人	213 100	6 2.8	3 1.4	7 3.3	6 2.8	1 0.5	6 2.8	9 4.2	14 6.6	23 10.8	95 44.6	43 20.2
300～499人	55 100	2 3.6	-	2 3.6	1 1.8	-	1 1.8	3 5.5	11 20	2 3.6	28 50.9	5 9.1
500～999人	84 100	4 4.8	-	1 1.2	3 3.6	1 1.2	1 1.2	2 2.4	5 6	14 16.7	41 48.8	12 14.3
1000人以上	104 100	5 4.8	-	1 1	1 1	3 2.9	3 2.9	7 6.7	7 6.7	9 8.7	46 44.2	22 21.2
無回答	10 100	-	-	-	-	-	-	1 10	-	1 10	6 60	2 20

問2-1 大腸がん検診カバー率 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	0 0 1 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	2 0 0 % 未 満	3 0 0 % 未 満	4 0 0 % 未 満	5 0 0 % 未 満	6 0 0 % 未 満	7 0 0 % 未 満	8 0 0 % 未 満	9 0 % 以 上	算 出 不 可 ・ 無 回 答
全 体	793 100	61 7.7	48 6.1	60 7.6	61 7.7	66 8.3	65 8.2	75 9.5	55 6.9	47 5.9	112 14.1	143 18
10人未満	41 100	3 7.3	2 4.9	2 4.9	2 4.9	1 2.4	-	5 12.2	1 2.4	5 12.2	14 34.1	6 14.6
10～29人	111 100	9 8.1	6 5.4	13 11.7	7 6.3	8 7.2	9 8.1	5 4.5	5 4.5	3 2.7	29 26.1	17 15.3
30～49人	75 100	8 10.7	4 5.3	6 8	4 5.3	3 4	6 8	10 13.3	5 6.7	8 10.7	13 17.3	8 10.7
50～99人	115 100	10 8.7	7 6.1	6 5.2	5 4.3	16 13.9	10 8.7	9 7.8	8 7	9 7.8	19 16.5	16 13.9
100～299人	198 100	12 6.1	13 6.6	14 7.1	14 7.1	21 10.6	15 7.6	17 8.6	13 6.6	16 8.1	18 9.1	45 22.7
300～499人	59 100	5 8.5	4 6.8	4 6.8	10 16.9	3 5.1	6 10.2	6 10.2	5 8.5	1 1.7	4 6.8	11 18.6
500～999人	82 100	8 9.8	7 8.5	9 11	8 9.8	4 4.9	7 8.5	6 7.3	5 6.1	3 3.7	9 11	16 19.5
1000人以上	104 100	6 5.8	5 4.8	6 5.8	10 9.6	9 8.7	11 10.6	16 15.4	12 11.5	2 1.9	4 3.8	23 22.1
無回答	8 100	-	-	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	2 25	1 12.5

■ 平成20年度 東京都がん検診実態調査 職種におけるがん検診実施状況調査 - 2008年8月~9月実施 -

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診受診率 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	0 0 1 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	2 0 0 % 未 満	3 0 0 % 未 満	4 0 0 % 未 満	5 0 0 % 未 満	6 0 0 % 未 満	7 0 0 % 未 満	8 0 0 % 未 満	9 0 % 以 上	算 出 不 可 ・ 無 回 答	
全 体	826 100	19 2.3	14 1.7	16 1.9	27 3.3	16 1.9	32 3.9	49 5.9	58 7	93 11.3	351 42.5	151 18.3	
10人未満	45 100	3 6.7	-	-	3 6.7	-	2 4.4	2 4.4	2 4.4	3 6.7	26 57.8	4 8.9	
10~29人	119 100	3 2.5	1 0.8	3 2.5	2 1.7	1 0.8	6 5	4 3.4	4 4.2	5 6.7	8 9.7	73 61.3	13 10.9
30~49人	72 100	-	1 1.4	2 2.8	1 1.4	2 2.8	3 4.2	4 5.6	3 4.2	7 9.7	40 55.6	9 12.5	
50~99人	114 100	2 1.8	1 0.9	3 2.6	4 3.5	-	2 1.8	7 6.1	10 8.8	17 14.9	54 47.4	14 12.3	
100~299人	217 100	3 1.4	3 1.4	2 0.9	8 3.7	6 2.8	9 4.1	9 4.1	17 7.8	26 12	76 35	58 26.7	
300~499人	60 100	3 5	1 1.7	2 3.3	1 1.7	-	1 1.7	5 8.3	7 11.7	9 15	23 38.3	8 13.3	
500~999人	85 100	1 1.2	4 4.7	1 1.2	4 4.7	4 4.7	2 2.4	7 8.2	4 4.7	8 9.4	29 34.1	21 24.7	
1000人以上	105 100	4 3.8	1 1	2 1.9	3 2.9	3 2.9	6 5.7	11 10.5	10 9.5	14 13.3	27 25.7	24 22.9	
無回答	9 100	-	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1	-	-	1 11.1	3 33.3	-	

問2-1 肺がん検診受診率 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	0 0 1 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	2 0 0 % 未 満	3 0 0 % 未 満	4 0 0 % 未 満	5 0 0 % 未 満	6 0 0 % 未 満	7 0 0 % 未 満	8 0 0 % 未 満	9 0 % 以 上	算 出 不 可 ・ 無 回 答
全 体	818 100	21 2.6	5 0.6	5 0.6	9 1.1	5 0.6	18 2.2	21 2.6	42 5.1	76 9.3	465 56.8	151 18.5
10人未満	45 100	3 6.7	-	-	2 4.4	-	-	2 4.4	2 4.4	3 6.7	32 71.1	4 8.9
10~29人	113 100	3 2.7	-	2 1.8	-	1 0.9	3 2.7	1 0.9	3 2.7	4 3.5	82 72.6	14 12.4
30~49人	76 100	1 1.3	-	-	-	1 1.3	5 6.6	1 1.3	3 3.9	9 11.8	44 57.9	12 15.8
50~99人	118 100	4 3.4	1 0.8	1 0.8	1 0.8	-	1 0.8	2 1.7	6 5.1	12 10.2	71 60.2	19 16.1
100~299人	213 100	2 0.9	1 0.5	2 0.9	3 1.4	1 0.5	4 1.9	6 2.8	10 4.7	21 9.9	109 51.2	54 25.4
300~499人	55 100	1 1.8	-	-	1 1.8	-	-	2 3.6	11 20	4 7.3	27 49.1	9 16.4
500~999人	84 100	3 3.6	1 1.2	-	2 2.4	-	2 2.4	2 2.4	4 4.8	12 14.3	43 51.2	15 17.9
1000人以上	104 100	4 3.8	2 1.9	-	1 1	2 1.9	3 2.9	5 4.8	4 3.8	10 9.6	50 48.1	23 22.1
無回答	10 100	-	-	-	-	-	-	1 10	-	1 10	7 70	1 10

問2-1 大腸がん検診受診率 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	0 0 1 0 % 未 満	1 0 0 % 未 満	2 0 0 % 未 満	3 0 0 % 未 満	4 0 0 % 未 満	5 0 0 % 未 満	6 0 0 % 未 満	7 0 0 % 未 満	8 0 0 % 未 満	9 0 % 以 上	算 出 不 可 ・ 無 回 答
全 体	793 100	30 3.8	18 2.3	19 2.4	19 2.4	16 2	24 3	39 4.9	49 6.2	92 11.6	308 38.8	179 22.6
10人未満	41 100	2 4.9	-	1 2.4	1 2.4	-	1 2.4	4 9.8	-	3 7.3	22 53.7	7 17.1
10~29人	111 100	6 5.4	4 3.6	5 4.5	2 1.8	3 2.7	3 2.7	3 1.8	2 1.8	4 3.6	62 55.9	18 16.2
30~49人	75 100	4 5.3	2 2.7	2 2.7	3 4	-	3 4	4 5.3	5 6.7	6 8	34 45.3	12 16
50~99人	115 100	8 7	2 1.7	1 0.9	1 0.9	3 2.6	2 1.7	4 3.5	8 7	15 13	51 44.3	20 17.4
100~299人	198 100	4 2	1 0.5	4 2	3 1.5	5 2.5	8 4	6 3	12 6.1	28 14.1	66 33.3	61 30.8
300~499人	59 100	2 3.4	4 6.8	-	2 3.4	-	1 1.7	4 6.8	9 15.3	7 11.9	17 28.8	13 22
500~999人	82 100	3 3.7	4 4.9	2 2.4	3 3.7	3 3.7	4 4.9	4 4.9	6 7.3	7 8.5	24 29.3	22 26.8
1000人以上	104 100	1 1	1 1	4 3.8	4 3.8	1 1	2 1.9	9 8.7	6 5.8	21 20.2	29 27.9	26 25
無回答	8 100	-	-	-	-	1 12.5	-	2 25	1 12.5	1 12.5	3 37.5	-

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診受診率 (正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	0 0 % 未満	1 0 % 未満	2 0 % 未満	3 0 % 未満	4 0 % 未満	5 0 % 未満	6 0 % 未満	7 0 % 未満	8 0 % 未満	9 0 % 以上	算出不可・無回答
全体	826 100	19 2.3	14 1.7	16 1.9	27 3.3	16 1.9	32 3.9	49 5.9	58 7	93 11.3	351 42.5	151 18.3
農林漁業・鉱業	6 100	-	-	-	-	-	-	-	-	2 33.3	3 50	1 16.7
建設業	99 100	1 1	2 2	3 3	5 5.1	1 1	5 5.1	3 3	11 11.1	4 4	46 46.5	18 18.2
製造業	138 100	6 4.3	1 0.7	5 3.6	8 5.8	2 1.4	5 3.6	6 4.3	9 6.5	22 15.9	48 34.8	26 18.8
電気・ガス・熱供給・水道業	21 100	1 4.8	-	2 9.5	-	-	1 4.8	2 9.5	4 19	3 14.3	7 33.3	1 4.8
情報通信業	79 100	-	2 2.5	1 1.3	5 6.3	3 3.8	-	3 3.8	5 6.3	6 7.6	39 49.4	15 19
運輸業、郵便業	40 100	3 7.5	1 2.5	2 5	3 7.5	2 5	1 2.5	-	2 5	4 10	17 42.5	6 15
卸売業、小売業	107 100	3 2.8	4 3.7	1 0.9	4 3.7	-	2 1.9	9 8.4	4 3.7	16 15	48 44.9	16 15
金融・保険業	82 100	1 1.2	1 1.2	-	5 6.1	2 2.4	4 4.9	5 6.1	4 4.9	8 9.8	32 39	20 24.4
不動産業	39 100	-	-	-	2 5.1	-	3 7.7	1 2.6	3 7.7	3 7.7	18 46.2	9 23.1
飲食店、宿泊業	16 100	-	-	-	1 6.3	-	3 18.8	1 6.3	-	2 12.5	6 37.5	3 18.8
サービス業	235 100	4 1.7	1 0.4	2 0.9	4 1.7	4 1.7	8 3.4	17 7.2	18 7.7	22 9.4	107 45.5	48 20.4
医療、福祉	30 100	4 13.3	2 6.7	1 3.3	1 3.3	2 6.7	5 16.7	1 3.3	2 6.7	2 6.7	7 23.3	3 10
公務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	11 100	-	-	-	-	-	1 9.1	2 18.2	2 18.2	2 18.2	4 36.4	-
無回答	5 100	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20	2 40	2 40

問2-1 肺がん検診受診率 (正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	0 0 % 未満	1 0 % 未満	2 0 % 未満	3 0 % 未満	4 0 % 未満	5 0 % 未満	6 0 % 未満	7 0 % 未満	8 0 % 未満	9 0 % 以上	算出不可・無回答
全体	818 100	21 2.6	5 0.6	5 0.6	9 1.1	5 0.6	18 2.2	21 2.6	42 5.1	76 9.3	465 56.8	151 18.5
農林漁業・鉱業	6 100	1 16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	4 66.7	1 16.7
建設業	97 100	3 3.1	-	-	2 2.1	1 1	1 1	2 2.1	3 3.1	12 12.4	57 58.8	16 16.5
製造業	134 100	4 3	1 0.7	2 1.5	-	-	2 1.5	1 0.7	6 4.5	16 11.9	73 54.5	29 21.6
電気・ガス・熱供給・水道業	22 100	-	-	-	-	-	1 4.5	-	2 9.1	2 9.1	16 72.7	1 4.5
情報通信業	75 100	-	2 2.7	1 1.3	3 4	1 1.3	1 1.3	2 2.7	6 8	5 6.7	41 54.7	13 17.3
運輸業、郵便業	46 100	2 4.3	-	-	-	1 2.2	-	1 2.2	3 6.5	-	30 65.2	9 19.6
卸売業、小売業	102 100	1 1	-	-	-	-	2 2	1 1	5 4.9	11 10.8	61 59.8	21 20.6
金融・保険業	77 100	2 2.6	-	1 1.3	-	1 1.3	2 2.6	2 2.6	6 7.8	7 9.1	38 49.4	18 23.4
不動産業	42 100	2 4.8	-	-	-	-	1 2.4	2 4.8	2 4.8	3 7.1	22 52.4	10 23.8
飲食店、宿泊業	19 100	3 15.8	-	-	-	-	2 10.5	-	-	-	12 63.2	2 10.5
サービス業	237 100	6 2.5	1 0.4	1 0.4	3 1.3	1 0.4	10 2.5	8 4.2	18 3.4	18 7.6	137 57.8	46 19.4
医療、福祉	29 100	1 3.4	1 3.4	-	1 3.4	-	3 10.3	1 3.4	3 10.3	3 10.3	13 44.8	3 10.3
公務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	11 100	-	-	-	-	-	-	1 9.1	3 27.3	1 9.1	6 54.5	-
無回答	6 100	-	-	-	-	-	-	-	-	1 16.7	2 33.3	3 50

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 大腸がん検診受診率 (正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	0 ~ 1 0 0 % 未 満	1 0 ~ 2 0 % 未 満	2 0 ~ 3 0 % 未 満	3 0 ~ 4 0 % 未 満	4 0 ~ 5 0 % 未 満	5 0 ~ 6 0 % 未 満	6 0 ~ 7 0 % 未 満	7 0 ~ 8 0 % 未 満	8 0 ~ 9 0 % 未 満	9 0 % 以上	算 出 不 可 ・ 無 回 答
全 体	793 100	30 3.8	18 2.3	19 2.4	19 2.4	16 2.0	24 3.0	39 4.9	49 6.2	92 11.6	308 38.8	179 22.6
農林漁業・鉱業	5 100	-	-	-	-	-	1 20	-	-	1 20	2 40	1 20
建設業	94 100	2 2.1	3 3.2	4 4.3	4 4.3	3 3.2	2 2.1	1 1.1	7 7.4	11 11.7	37 39.4	20 21.3
製造業	140 100	11 7.9	4 2.9	7 5.0	2 1.4	2 1.4	2 1.4	6 4.3	9 6.4	22 15.7	40 28.6	35 25
電気・ガス・熱供給・水道業	21 100	2 9.5	-	1 4.8	1 4.8	-	1 4.8	2 9.5	2 9.5	4 19	7 33.3	1 4.8
情報通信業	77 100	-	1 1.3	2 2.6	4 5.2	3 3.9	-	2 2.6	7 9.1	6 7.8	33 42.9	19 24.7
運輸業、郵便業	43 100	5 11.6	-	1 2.3	1 2.3	-	1 2.3	-	-	4 9.3	22 51.2	9 20.9
卸売業、小売業	103 100	4 3.9	3 2.9	2 1.9	-	1 1.0	2 1.9	7 6.8	6 5.8	13 12.6	43 41.7	22 21.4
金融・保険業	77 100	1 1.3	3 3.9	3 3.9	3 3.9	3 3.9	5 6.5	3 3.9	5 6.5	5 6.5	28 36.4	18 23.4
不動産業	41 100	1 2.4	-	2 4.9	1 2.4	1 2.4	1 2.4	2 4.9	2 4.9	4 9.8	17 41.5	10 24.4
飲食店、宿泊業	14 100	2 14.3	1 7.1	1 7.1	-	-	2 14.3	-	-	1 7.1	5 35.7	2 14.3
サービス業	220 100	6 2.7	1 0.5	4 1.8	1 0.5	2 0.9	6 2.7	15 6.8	12 5.5	21 9.5	95 43.2	57 25.9
医療、福祉	24 100	3 12.5	2 8.3	-	2 8.3	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	2 8.3	5 20.8	3 12.5
公務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	11 100	-	-	-	-	-	-	2 18.2	2 18.2	4 36.4	3 27.3	-
無回答	5 100	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20	2 40	2 40

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問4-1 「がん検診」 取り組み状況

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	積極的に取り組んでいる	でない、ない、または取り組みは組んでいない	無回答
全体	994	531	440	23
	100	53.4	44.3	2.3
10人未満	61	21	39	1
	100	34.4	63.9	1.6
10~29人	144	79	63	2
	100	54.9	43.8	1.4
30~49人	93	45	48	-
	100	48.4	51.6	-
50~99人	132	75	55	2
	100	56.8	41.7	1.5
100~299人	252	135	110	7
	100	53.6	43.7	2.8
300~499人	70	35	35	-
	100	50	50	-
500~999人	104	56	47	1
	100	53.8	45.2	1
1000人以上	119	79	37	3
	100	66.4	31.1	2.5
無回答	19	6	6	7
	100	31.6	31.6	36.8

問4-2 積極的に取り組んでいる理由

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	経営層が重要視している	社員が高いがん検診等の意識がある	高いがん検診等の意識がある	衛生管理者等の検診担当者として高い検診責任を負っている	企業が社会的責任の一環として検診への取り組みを求めている	健康保険組合の取り組みを高く評価している	認識が広がっている	保険給付費が増大している	がん検診のための設備・体制が充実している	疾病予防事業予算が充実している	早期治療の向上	その他	無回答
全体	531	218	206	166	238	270	76	98	33	168	26	4.9	0.2	1
	100	41.1	38.8	31.3	44.8	50.8	14.3	18.5	6.2	31.6	4.9	4.9	0.2	1
10人未満	21	7	8	6	10	7	-	2	-	-	-	-	-	-
	100	33.3	38.1	28.6	47.6	33.3	-	9.5	-	-	-	-	-	-
10~29人	79	31	24	26	36	44	16	7	2	24	2	-	-	-
	100	39.2	30.4	32.9	45.6	55.7	20.3	8.9	2.5	30.4	2.5	-	-	-
30~49人	45	17	16	12	24	18	5	7	1	15	2	-	-	-
	100	37.8	35.6	26.7	53.3	40	11.1	15.6	2.2	33.3	4.4	-	-	-
50~99人	75	30	32	25	37	38	8	14	1	17	3	-	-	-
	100	40	42.7	33.3	49.3	50.7	10.7	18.7	1.3	22.7	4	-	-	-
100~299人	135	52	41	40	47	69	16	26	6	30	12	-	-	-
	100	38.5	30.4	29.6	34.8	51.1	11.9	19.3	4.4	22.2	8.9	-	-	-
300~499人	35	16	17	10	16	22	11	12	6	17	2	-	-	-
	100	45.7	48.6	28.6	45.7	62.9	31.4	34.3	17.1	48.6	5.7	-	-	-
500~999人	56	27	26	15	27	25	9	9	5	23	1	-	-	1
	100	48.2	46.4	26.8	48.2	44.6	16.1	16.1	8.9	41.1	1.8	-	-	1.8
1000人以上	79	37	41	32	40	45	11	21	12	37	4	-	-	-
	100	46.8	51.9	40.5	50.6	57	13.9	26.6	15.2	46.8	5.1	-	-	-
無回答	6	1	1	-	1	2	-	-	-	4	-	-	-	-
	100	16.7	16.7	-	16.7	33.3	-	-	-	66.7	-	-	-	-

問4-3 積極的な取り組みをしていない理由

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	予算が不足している	人的な体制が不足している	設備や場所が不足している	認識が不足している	がん検診等の重要性や必要性が不明	がん検診の制度が従業員に周知されていない	重要性を理解していない	経営層ががん検診等の重要性を理解していない	特に理由はわからない	その他	無回答
全体	440	118	83	34	104	47	44	154	36	65	7	
	100	26.8	18.9	7.7	23.6	10.7	10	35	8.2	14.8	1.6	
10人未満	39	11	7	3	11	5	5	15	2	3	2	
	100	28.2	17.9	7.7	28.2	12.8	12.8	38.5	5.1	7.7	5.1	
10~29人	63	14	9	3	18	12	8	23	8	7	-	
	100	22.2	14.3	4.8	28.6	19	12.7	36.5	12.7	11.1	-	
30~49人	48	12	10	4	10	4	2	14	10	4	-	
	100	25	20.8	8.3	20.8	8.3	4.2	29.2	20.8	8.3	-	
50~99人	55	17	9	5	13	3	4	17	3	9	1	
	100	30.9	16.4	9.1	23.6	5.5	7.3	30.9	5.5	16.4	1.8	
100~299人	110	23	20	6	28	13	9	51	6	14	3	
	100	20.9	18.2	5.5	25.5	11.8	8.2	46.4	5.5	12.7	2.7	
300~499人	35	12	8	5	9	3	4	11	2	5	-	
	100	34.3	22.9	14.3	25.7	8.6	11.4	31.4	5.7	14.3	-	
500~999人	47	14	7	3	9	6	7	14	4	12	-	
	100	29.8	14.9	6.4	19.1	12.8	14.9	29.8	8.5	25.5	-	
1000人以上	37	14	10	4	4	1	4	8	1	10	1	
	100	37.8	27	10.8	10.8	2.7	10.8	21.6	2.7	27	2.7	
無回答	6	1	3	1	2	-	1	-	-	1	-	
	100	16.7	50	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7	-	

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

調査数	積極的に取り組んでいる	積極的な取り組みは組んでいないが、または取り組んでいる	無回答
全体	994/531	440/44.3	23/2.3
農林漁業・鉱業	7/4	3/3	-
建設業	109/61	48/44.9	-
製造業	154/87	65/42.2	2/1.3
電気・ガス・熱供給・水道業	23/15	8/53.3	-
情報通信業	85/48	35/41.2	2/2.4
運輸業、郵便業	60/24	34/56.7	3/3.3
卸売業、小売業	132/69	60/45.5	3/2.3
金融・保険業	88/63	22/25.3	3/3.4
不動産業	47/27	20/42.6	-
飲食店、宿泊業	23/8	14/60.9	1/4.3
サービス業	289/144	144/49.8	0/0.3
医療、福祉	37/20	16/54.1	1/2.7
公務	0	-	-
その他	13/8	4/30.8	1/7.7
無回答	15/2	6/40	7/46.7

問4-2 積極的に取り組んでいる理由

調査数	経営層が、がん検診等の重要性を理解している	社員が高いがん検診等への意識がある	衛生管理者、検診担当者が高いがん検診等への意識がある	企業としての社会的責任の一実施としてがん検診等の実施を求められている	健康保険組合の取り組みを高く評価されている	がん予防の重要性が認められている	がん検診のための設備・体制が充実している	疾病予防事業予算が充実している	早期治療・早期復職による生産性の向上	その他	無回答
全体	531/218	206/38.8	166/31.3	238/44.8	270/50.8	76/14.3	98/18.5	33/6.2	168/31.6	26/4.9	1/0.2
農林漁業・鉱業	4	1	1	3	1	-	1	1	1	-	0
建設業	100	25	25	75	25	-	25	25	25	-	-
製造業	61	24	17	13	33	20	5	12	5	17	4
電気・ガス・熱供給・水道業	100	39.3	27.9	21.3	54.1	32.8	8.2	19.7	8.2	27.9	6.6
情報通信業	87	38	44	27	38	38	13	11	8	29	4
運輸業、郵便業	100	43.7	50.6	31	43.7	43.7	14.9	12.6	9.2	33.3	4.6
卸売業、小売業	15	8	6	5	7	4	5	1	-	6	1
金融・保険業	100	53.3	40	33.3	46.7	26.7	33.3	6.7	-	40	6.7
不動産業	48	22	18	18	26	29	6	12	5	19	1
飲食店、宿泊業	100	45.8	37.5	37.5	54.2	60.4	12.5	25	10.4	39.6	2.1
サービス業	24	6	7	4	9	12	4	5	1	6	-
医療、福祉	100	25	29.2	16.7	37.5	50	16.7	20.8	4.2	25	-
公務	69	33	26	21	40	42	19	9	5	27	2
その他	100	47.8	37.7	30.4	58	60.9	27.5	13	7.2	39.1	2.9
無回答	63	28	28	32	21	48	11	6	2	18	3
	100	44.4	44.4	50.8	33.3	76.2	17.5	9.5	3.2	28.6	4.8
	27	9	9	6	7	12	2	5	-	4	3
	100	33.3	33.3	22.2	25.9	44.4	7.4	18.5	-	14.8	11.1
	8	3	2	2	6	4	3	1	-	4	-
	100	37.5	25	25	75	50	37.5	12.5	-	50	-
	144	49	48	35	60	63	9	33	6	42	10
	100	34	33.3	24.3	41.7	43.8	6.3	22.9	4.2	29.2	6.9
	20	12	13	9	10	6	2	5	1	7	-
	100	60	65	45	50	30	10	25	5	35	-
	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
	8	5	5	5	3	6	1	3	1	2	0
	100	62.5	62.5	62.5	37.5	75	12.5	37.5	12.5	25	-
	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	100	50	50	-	-	-	-	-	-	50	-

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

問4-3 積極的な取り組みをしていない理由

調査数	予算が不足している	人的な体制が不足している	設備や場所が不足している	がん検診等の重要性が認識されていない	がん検診の制度が従業員に周知されていない	経営層が、がん検診等の重要性を理解していない	特に理由はない	わからない	その他	無回答
全体	440/118	83/18.9	34/7.7	104/23.6	47/10.7	44/10.7	154/35	36/8.2	65/14.8	7/1.6
農林漁業・鉱業	3	2	2	0	0	1	0	1	0	0
建設業	48	14	8	3	11	4	16	2	9	1
製造業	100	29.2	16.7	6.3	22.9	8.3	33.3	4.2	18.8	2.1
電気・ガス・熱供給・水道業	65	13	15	4	15	7	8	23	9	1
情報通信業	100	20	23.1	6.2	23.1	10.8	12.3	35.4	3.1	13.8
運輸業、郵便業	8	0	0	0	5	4	2	1	1	0
卸売業、小売業	100	0	0	0	62.5	50	50	25	12.5	12.5
金融・保険業	35	6	4	1	7	1	4	13	4	7
不動産業	100	17.1	11.4	2.9	20	2.9	11.4	37.1	11.4	20
飲食店、宿泊業	34	8	9	2	12	5	5	9	4	2
サービス業	100	23.5	26.5	5.9	35.3	14.7	14.7	26.5	11.8	5.9
医療、福祉	60	14	14	8	16	5	4	20	6	7
公務	100	23.3	23.3	13.3	26.7	8.3	6.7	33.3	10	11.7
その他	22	10	5	0	3	4	2	4	2	5
無回答	100	45.5	22.7	0	13.6	18.2	9.1	18.2	9.1	22.7
	20	4	5	2	6	0	1	7	2	1
	100	20	25	10	30	0	5	35	10	5
	14	5	0	2	6	2	3	4	2	2
	100	35.7	0	14.3	42.9	14.3	21.4	28.6	14.3	14.3
	144	38	25	13	36	14	16	57	13	20
	100	26.4	17.4	9	25	9.7	11.1	39.6	9	13.9
	16	10	1	1	2	1	1	5	0	1
	100	62.5	6.3	6.3	12.5	6.3	6.3	31.3	0	6.3
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	1	0	0	0	0	1	0	3
	100	0	25	0	0	0	0	25	0	75
	6	1	1	1	1	1	1	3	0	1
	100	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	50	0	16.7

■ 平成20年度 東京都がん検診実態調査 職域におけるがん検診実施状況調査 - 2008年8月~9月実施 -

◇ クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診受診対象 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)	調査数	実③国指針よりも手薄に		
		で①国指針と同等の条件	実②国指針よりも手厚く	実③国指針よりも手薄に
全体	805 100	102 12.7	717 89.1	8 1
10人未満	43 100	5 11.6	39 90.7	2 4.7
10~29人	119 100	15 12.6	103 86.6	1 0.8
30~49人	72 100	3 4.2	68 94.4	1 1.4
50~99人	111 100	17 15.3	98 88.3	1 0.9
100~299人	214 100	23 10.7	196 91.6	1 0.5
300~499人	59 100	14 23.7	48 81.4	1 1.7
500~999人	85 100	14 16.5	73 85.9	1 1.2
1000人以上	102 100	11 10.8	92 90.2	-
無回答	-	-	-	-

問2-1 肺がん検診受診対象 (正社員)

調査数	実③国指針よりも手薄に		
	で①国指針と同等の条件	実②国指針よりも手厚く	実③国指針よりも手薄に
795 100	46 5.8	776 97.6	4 0.5
44 100	-	44 100	-
114 100	16 14	104 91.2	1 0.9
74 100	2 2.7	72 97.3	1 1.4
114 100	3 2.6	113 99.1	-
208 100	13 6.3	207 99.5	1 0.5
55 100	2 3.6	54 98.2	-
84 100	4 4.8	82 97.6	-
102 100	6 5.9	100 98	1 1
-	-	-	-

問2-1 大腸がん検診受診対象 (正社員)

調査数	実③国指針よりも手薄に		
	で①国指針と同等の条件	実②国指針よりも手厚く	実③国指針よりも手薄に
764 100	126 16.5	661 86.5	10 1.3
39 100	5 12.8	36 92.3	1 2.6
111 100	26 23.4	89 80.2	2 1.8
73 100	6 8.2	66 90.4	2 2.7
109 100	19 17.4	96 88.1	-
193 100	25 13	172 89.1	3 1.6
56 100	12 21.4	47 83.9	-
81 100	15 18.5	69 85.2	2 2.5
102 100	18 17.6	86 84.3	-
-	-	-	-

問2-1 子宮頸がん検診受診対象 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)	調査数	実③国指針よりも手薄に		
		で①国指針と同等の条件	実②国指針よりも手厚く	実③国指針よりも手薄に
全体	576 100	19 3.3	413 71.7	265 46
10人未満	25 100	2 8	20 80	5 20
10~29人	88 100	4 4.5	65 73.9	35 39.8
30~49人	45 100	-	36 80	14 31.1
50~99人	81 100	2 2.5	67 82.7	32 39.5
100~299人	151 100	3 2	104 68.9	81 53.6
300~499人	45 100	2 4.4	30 66.7	22 48.9
500~999人	66 100	1 1.5	43 65.2	36 54.5
1000人以上	75 100	5 6.7	48 64	40 53.3
無回答	-	-	-	-

問2-1 乳がん検診受診対象 (正社員)

調査数	実③国指針よりも手薄に		
	で①国指針と同等の条件	実②国指針よりも手厚く	実③国指針よりも手薄に
577 100	40 6.9	554 96	4 0.7
27 100	3 11.1	26 96.3	-
93 100	7 7.5	88 94.6	2 2.2
51 100	-	51 100	-
81 100	9 11.1	77 95.1	-
148 100	8 5.4	146 98.6	1 0.7
41 100	4 9.8	37 90.2	-
61 100	7 11.5	55 90.2	-
75 100	2 2.7	74 98.7	1 1.3
-	-	-	-

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診実施状況(正社員)

問2-1 肺がん検診実施状況(正社員)

問1 事業所規模(従業員数)

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	226 22.8	600 60.4	155 15.6	12 1.2
10人未満	60 100	21 35	24 40	15 25	-
10～29人	144 100	29 20.1	90 62.5	24 16.7	1 0.7
30～49人	93 100	27 29	45 48.4	20 21.5	1 1.1
50～99人	132 100	32 24.2	82 62.1	18 13.6	-
100～299人	252 100	45 17.9	172 68.3	33 13.1	2 0.8
300～499人	70 100	17 24.3	43 61.4	9 12.9	1 1.4
500～999人	104 100	24 23.1	61 58.7	19 18.3	-
1000人以上	119 100	29 24.4	76 63.9	14 11.8	-
無回答	19 100	2 10.5	7 36.8	3 15.8	7 36.8

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	279 28.1	539 54.3	157 15.8	18 1.8
10人未満	60 100	23 38.3	22 36.7	13 21.7	2 3.3
10～29人	144 100	29 20.1	84 58.3	29 20.1	2 1.4
30～49人	93 100	33 35.5	43 46.2	16 17.2	1 1.1
50～99人	132 100	35 26.5	83 62.9	12 9.1	2 1.5
100～299人	252 100	58 23	155 61.5	36 14.3	3 1.2
300～499人	70 100	20 28.6	35 50	14 20	1 1.4
500～999人	104 100	35 33.7	49 47.1	20 19.2	-
1000人以上	119 100	44 37	60 50.4	15 12.6	-
無回答	19 100	2 10.5	8 42.1	2 10.5	7 36.8

問2-1 大腸がん検診実施状況(正社員)

問2-1 子宮頸がん検診実施状況(正社員)

問1 事業所規模(従業員数)

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	208 20.9	585 58.9	184 18.5	16 1.6
10人未満	60 100	19 31.7	22 36.7	18 30	1 1.7
10～29人	144 100	26 18.1	85 59	30 20.8	3 2.1
30～49人	93 100	28 30.1	47 50.5	17 18.3	1 1.1
50～99人	132 100	31 23.5	84 63.6	16 12.1	1 0.8
100～299人	252 100	38 15.1	160 63.5	51 20.2	3 1.2
300～499人	70 100	16 22.9	43 61.4	11 15.7	-
500～999人	104 100	22 21.2	60 57.7	22 21.2	-
1000人以上	119 100	27 22.7	77 64.7	15 12.6	-
無回答	19 100	1 5.3	7 36.8	4 21.1	7 36.8

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	122 12.3	480 48.3	365 36.8	26 2.6
10人未満	60 100	13 21.7	16 26.7	28 46.7	3 5
10～29人	144 100	17 11.8	70 48.6	53 36.8	4 2.8
30～49人	93 100	15 16.1	32 34.4	45 48.4	1 1.1
50～99人	132 100	21 15.9	64 48.5	44 33.3	3 2.3
100～299人	252 100	22 8.7	138 54.8	88 34.9	4 1.6
300～499人	70 100	6 8.6	40 57.1	23 32.9	1 1.4
500～999人	104 100	15 14.4	51 49	37 35.6	1 1
1000人以上	119 100	12 10.1	64 53.8	41 34.5	2 1.7
無回答	19 100	1 5.3	5 26.3	6 31.6	7 36.8

問2-1 乳がん検診実施状況(正社員)

問1 事業所規模(従業員数)

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	121 12.2	483 48.6	365 36.8	24 2.4
10人未満	60 100	13 21.7	16 26.7	28 46.7	3 5
10～29人	144 100	18 12.5	76 52.8	46 31.9	4 2.8
30～49人	93 100	18 19.4	36 38.7	38 40.9	1 1.1
50～99人	132 100	20 15.2	63 47.7	46 34.8	3 2.3
100～299人	252 100	21 8.3	136 54	91 36.1	4 1.6
300～499人	70 100	7 10	35 50	27 38.6	1 1.4
500～999人	104 100	11 10.6	51 49	42 40.4	-
1000人以上	119 100	12 10.1	65 54.6	41 34.5	1 0.8
無回答	19 100	1 5.3	5 26.3	6 31.6	7 36.8

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診受診対象(正社員)

問1 事業所規模(従業員数)

	調査数	に全員に実施(追加など)(定期健診)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	826 100	152 18.4	199 24.1	4 0.5	603 73	29 3.5	2 0.2
10人未満	45 100	14 31.1	14 31.1	1 2.2	20 44.4	1 2.2	-
10-29人	119 100	29 24.4	24 20.2	-	81 68.1	4 3.4	-
30-49人	72 100	13 18.1	17 23.6	1 1.4	47 65.3	1 1.4	-
50-99人	114 100	23 20.2	23 20.2	1 0.9	81 71.1	5 4.4	-
100-299人	217 100	38 17.5	57 26.3	-	164 75.6	9 4.1	-
300-499人	60 100	9 15	10 16.7	1 1.7	48 80	4 6.7	1 1.7
500-999人	85 100	10 11.8	24 28.2	-	70 82.4	1 1.2	-
1000人以上	105 100	15 14.3	27 25.7	-	84 80	4 3.8	1 1
無回答	9 100	1 11.1	3 33.3	-	8 88.9	-	-

問2-1 肺がん検診受診対象(正社員)

	調査数	に全員に実施(追加など)(定期健診)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	818 100	640 78.2	125 15.3	1 0.1	127 15.5	12 1.5	9 1.1
10人未満	45 100	33 73.3	7 15.6	-	5 11.1	1 2.2	-
10-29人	113 100	87 77	21 18.6	1 0.9	24 21.2	1 0.9	-
30-49人	76 100	57 75	12 15.8	-	11 14.5	-	2 2.6
50-99人	118 100	87 73.7	17 14.4	-	19 16.1	4 3.4	2 1.7
100-299人	213 100	166 77.9	36 16.9	-	32 15	3 1.4	4 1.9
300-499人	55 100	46 83.6	11 20	-	4 7.3	-	-
500-999人	84 100	73 86.9	6 7.1	-	12 14.3	-	-
1000人以上	104 100	83 79.8	15 14.4	-	19 18.3	2 1.9	1 1
無回答	10 100	8 80	-	-	1 10	1 10	-

問2-1 大腸がん検診受診対象(正社員)

問1 事業所規模(従業員数)

	調査数	に全員に実施(追加など)(定期健診)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	793 100	147 18.5	218 27.5	2 0.3	538 67.8	29 3.7	3 0.4
10人未満	41 100	13 31.7	14 34.1	-	18 43.9	1 2.4	-
10-29人	111 100	27 24.3	30 27	1 0.9	64 57.7	5 4.5	-
30-49人	75 100	15 20	25 33.3	1 1.3	43 57.3	1 1.3	-
50-99人	115 100	23 20	30 26.1	-	75 65.2	6 5.2	1 0.9
100-299人	198 100	29 14.6	51 25.8	-	145 73.2	8 4	2 1
300-499人	59 100	10 16.9	19 32.2	-	40 67.8	5 8.5	-
500-999人	82 100	15 18.3	23 28	-	61 74.4	-	-
1000人以上	104 100	11 10.6	24 23.1	-	88 84.6	3 2.9	-
無回答	8 100	4 50	2 25	-	4 50	-	-

問2-1 子宮頸がん検診受診対象(正社員)

	調査数	に全員に実施(追加など)(定期健診)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	602 100	48 8	375 62.3	6 1	287 47.7	27 4.5	8 1.3
10人未満	29 100	5 17.2	17 58.6	-	7 24.1	2 6.9	2 6.9
10-29人	87 100	10 11.5	55 63.2	3 3.4	37 42.5	1 1.1	-
30-49人	47 100	5 10.6	31 66	1 2.1	14 29.8	2 4.3	1 2.1
50-99人	85 100	5 5.9	62 72.9	-	34 40	5 5.9	2 2.4
100-299人	160 100	11 6.9	94 58.8	2 1.3	84 52.5	8 5	3 1.9
300-499人	46 100	2 4.3	28 60.9	-	24 52.2	4 8.7	-
500-999人	66 100	3 4.5	41 62.1	-	38 57.6	-	-
1000人以上	76 100	7 9.2	42 55.3	-	46 60.5	4 5.3	-
無回答	6 100	-	5 83.3	-	3 50	1 16.7	-

問2-1 乳がん検診受診対象(正社員)

問1 事業所規模(従業員数)

	調査数	に全員に実施(追加など)(定期健診)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	604 100	46 7.6	375 62.1	3 0.5	306 50.7	28 4.6	7 1.2
10人未満	29 100	5 17.2	16 55.2	-	11 37.9	2 6.9	1 3.4
10-29人	94 100	9 9.6	59 62.8	2 2.1	40 42.6	2 2.1	1 1.1
30-49人	54 100	4 7.4	37 68.5	-	16 29.6	2 3.7	1 1.9
50-99人	83 100	3 3.6	59 71.1	-	42 50.6	6 7.2	-
100-299人	157 100	11 7	96 61.1	-	86 54.8	8 5.1	3 1.9
300-499人	42 100	3 7.1	25 59.5	-	21 50	3 7.1	-
500-999人	62 100	5 8.1	33 53.2	-	38 61.3	2 3.2	-
1000人以上	77 100	6 7.8	45 58.4	1 1.3	49 63.6	2 2.6	1 1.3
無回答	6 100	-	5 83.3	-	3 50	1 16.7	-

問3 肝炎ウイルス検診受診対象(正社員)

	調査数	に全員に実施(追加など)(定期健診)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	407 100	118 29	110 27	1 0.2	171 42	68 16.7	4 1
10人未満	18 100	6 33.3	7 38.9	-	6 33.3	2 11.1	-
10-29人	56 100	16 28.6	15 26.8	-	25 44.6	4 7.1	1 1.8
30-49人	32 100	15 46.9	8 25	-	7 21.9	5 15.6	-
50-99人	56 100	23 41.1	13 23.2	-	22 39.3	9 16.1	-
100-299人	101 100	27 26.7	33 32.7	1 1	44 43.6	13 12.9	1 1
300-499人	24 100	5 20.8	5 20.8	-	12 50	7 29.2	-
500-999人	48 100	11 22.9	16 33.3	-	19 39.6	7 14.6	-
1000人以上	67 100	13 19.4	13 19.4	-	35 52.2	19 28.4	2 3
無回答	5 100	2 40	-	-	1 20	2 40	-

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検査方法 (正社員)

問2-1 肺がん検査方法 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	胃X線検査	胃内視鏡検査	ペプシノゲン検査	その他	無回答
全体	826 100	790 95.6	176 21.3	56 6.8	15 1.8	6 0.7
10人未満	45 100	42 93.3	6 13.3	3 6.7	-	1 2.2
10～29人	119 100	114 95.8	20 16.8	9 7.6	4 3.4	1 0.8
30～49人	72 100	71 98.6	15 20.8	4 5.6	-	-
50～99人	114 100	114 100	23 20.2	6 5.3	-	-
100～299人	217 100	203 93.5	46 21.2	15 6.9	5 2.3	4 1.8
300～499人	60 100	57 95	12 20	2 3.3	2 3.3	-
500～999人	85 100	80 94.1	24 28.2	8 9.4	3 3.5	-
1000人以上	105 100	100 95.2	27 25.7	9 8.6	1 1	-
無回答	9 100	9 100	3 33.3	-	-	-

	調査数	胸部X線検査	喀痰細胞診	胸部CT検査	その他	無回答	胸部X線検査と喀痰細胞診の両方(再掲)
全体	818 100	788 96.3	88 10.8	51 6.2	6 0.7	8 1	74 9
10人未満	45 100	42 93.3	2 4.4	3 6.7	-	3 6.7	2 4.4
10～29人	113 100	108 95.6	20 17.7	2 1.8	1 0.9	2 1.8	17 15
30～49人	76 100	74 97.4	7 9.2	3 3.9	-	1 1.3	6 7.9
50～99人	118 100	113 95.8	10 8.5	9 7.6	-	-	6 5.1
100～299人	213 100	203 95.3	18 8.5	14 6.6	4 1.9	2 0.9	15 7
300～499人	55 100	55 100	7 12.7	4 7.3	-	-	7 12.7
500～999人	84 100	83 98.8	9 10.7	2 2.4	-	-	9 10.7
1000人以上	104 100	100 96.2	15 14.4	14 13.5	1 1	-	12 11.5
無回答	10 100	10 100	-	-	-	-	-

問2-1 大腸がん検査方法 (正社員)

問2-1 子宮頸がん検査方法 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	便潜血検査	全大腸内視鏡検査	その他	無回答
全体	793 100	775 97.7	40 5	4 0.5	8 1
10人未満	41 100	39 95.1	2 4.9	1 2.4	2 4.9
10～29人	111 100	110 99.1	1 0.9	-	1 0.9
30～49人	75 100	75 100	3 4	-	-
50～99人	115 100	110 95.7	9 7.8	1 0.9	1 0.9
100～299人	198 100	192 97	10 5.1	1 0.5	2 1
300～499人	59 100	59 100	4 6.8	-	-
500～999人	82 100	81 98.8	3 3.7	-	1 1.2
1000人以上	104 100	101 97.1	6 5.8	1 1	1 1
無回答	8 100	8 100	2 25	-	-

	調査数	取細胞診:医師による採	細胞診:自己採取	その他	無回答
全体	602 100	452 75.1	186 30.9	20 3.3	45 7.5
10人未満	29 100	19 65.5	8 27.6	1 3.4	6 20.7
10～29人	87 100	72 82.8	18 20.7	1 1.1	6 6.9
30～49人	47 100	36 76.6	13 27.7	-	5 10.6
50～99人	85 100	61 71.8	28 32.9	3 3.5	5 5.9
100～299人	160 100	117 73.1	57 35.6	7 4.4	15 9.4
300～499人	46 100	35 76.1	18 39.1	2 4.3	1 2.2
500～999人	66 100	45 68.2	24 36.4	4 6.1	3 4.5
1000人以上	76 100	62 81.6	19 25	1 1.3	4 5.3
無回答	6 100	5 83.3	1 16.7	1 16.7	-

問2-1 乳がん検査方法 (正社員)

問1 事業所規模 (従業員数)

	調査数	マンモグラフィ	視触診	検乳房超音波(エコー)	その他	無回答	マンモグラフィと視触診の両方(再掲)
全体	604 100	396 65.6	376 62.3	381 63.1	13 2.2	31 5.1	277 45.9
10人未満	29 100	13 44.8	18 62.1	14 48.3	-	4 13.8	7 24.1
10～29人	94 100	62 66	55 58.5	48 51.1	1 1.1	6 6.4	40 42.6
30～49人	54 100	36 66.7	28 51.9	27 50	1 1.9	4 7.4	21 38.9
50～99人	83 100	53 63.9	53 63.9	47 56.6	-	3 3.6	40 48.2
100～299人	157 100	97 61.8	100 63.7	106 67.5	8 5.1	7 4.5	71 45.2
300～499人	42 100	24 57.1	25 59.5	30 71.4	-	2 4.8	16 38.1
500～999人	62 100	40 64.5	38 61.3	45 72.6	2 3.2	2 3.2	27 43.5
1000人以上	77 100	66 85.7	55 71.4	58 75.3	1 1.3	3 3.9	52 67.5
無回答	6 100	5 83.3	4 66.7	6 100	-	-	3 50

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 肺がん検診胸部X線検査実施方法（正社員）

問3 肝炎ウイルス検診実施状況（正社員）

問1 事業所規模（従業員数）

	調査数	く 労 健 診 と し て 実 施	が ん 検 診 と し て 実 施	無 回 答
全 体	788 100	632 80.2	58 7.4	130 16.5
10人未満	42 100	31 73.8	3 7.1	8 19
10～29人	108 100	83 76.9	6 5.6	22 20.4
30～49人	74 100	55 74.3	5 6.8	16 21.6
50～99人	113 100	90 79.6	8 7.1	16 14.2
100～299人	203 100	163 80.3	15 7.4	35 17.2
300～499人	55 100	49 89.1	4 7.3	6 10.9
500～999人	83 100	70 84.3	4 4.8	11 13.3
1000人以上	100 100	82 82	12 12	15 15
無回答	10 100	9 90	1 10	1 10

調査数	事業所単独で実施	実健康保険組合と共同で	実施していない	無回答
993 100	109 11	298 30	551 55.5	35 3.5
60 100	5 8.3	13 21.7	39 65	3 5
144 100	14 9.7	42 29.2	83 57.6	5 3.5
93 100	12 12.9	20 21.5	58 62.4	3 3.2
132 100	14 10.6	42 31.8	71 53.8	5 3.8
252 100	21 8.3	80 31.7	143 56.7	8 3.2
70 100	6 8.6	18 25.7	43 61.4	3 4.3
104 100	16 15.4	32 30.8	56 53.8	- -
119 100	21 17.6	46 38.7	51 42.9	1 0.8
19 100	- -	5 26.3	7 36.8	7 36.8

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 胃がん検診実施状況(正社員)

問2-1 肺がん検診実施状況(正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	226 22.8	600 60.4	155 15.6	12 1.2
農林漁業・鉱業	7 100	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-
建設業	109 100	36 33	63 57.8	10 9.2	-
製造業	154 100	35 22.7	103 66.9	15 9.7	1 0.6
電気・ガス・熱供給・水道業	23 100	10 43.5	11 47.8	2 8.7	-
情報通信業	85 100	16 18.8	63 74.1	6 7.1	-
運輸業、郵便業	60 100	14 23.3	26 43.3	18 30	2 3.3
卸売業、小売業	132 100	23 17.4	84 63.6	24 18.2	1 0.8
金融・保険業	88 100	8 9.1	74 84.1	6 6.8	-
不動産業	47 100	14 29.8	25 53.2	8 17	-
飲食店、宿泊業	23 100	9 39.1	7 30.4	7 30.4	-
サービス業	288 100	69 24	166 57.6	53 18.4	-
医療、福祉	37 100	14 37.8	16 43.2	7 18.9	-
公務	-	-	-	-	-
その他	13 100	5 38.5	6 46.2	1 7.7	1 7.7
無回答	15 100	1 6.7	4 26.7	3 20	7 46.7

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	279 28.1	539 54.3	157 15.8	18 1.8
農林漁業・鉱業	7 100	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-
建設業	109 100	37 33.9	60 55	11 10.1	1 0.9
製造業	154 100	51 33.1	83 53.9	18 11.7	2 1.3
電気・ガス・熱供給・水道業	23 100	14 60.9	8 34.8	1 4.3	-
情報通信業	85 100	16 18.8	59 69.4	10 11.8	-
運輸業、郵便業	60 100	20 33.3	26 43.3	12 20	2 3.3
卸売業、小売業	132 100	30 22.7	72 54.5	27 20.5	3 2.3
金融・保険業	88 100	9 10.2	68 77.3	9 10.2	2 2.3
不動産業	47 100	16 34	26 55.3	5 10.6	-
飲食店、宿泊業	23 100	10 43.5	9 39.1	3 13	1 4.3
サービス業	288 100	85 29.5	152 52.8	51 17.7	-
医療、福祉	37 100	16 43.2	13 35.1	8 21.6	-
公務	-	-	-	-	-
その他	13 100	6 46.2	5 38.5	1 7.7	1 7.7
無回答	15 100	2 13.3	4 26.7	2 13.3	7 46.7

問2-1 大腸がん検診実施状況(正社員)

問2-1 子宮頸がん検診実施状況(正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	208 20.9	585 58.9	184 18.5	16 1.6
農林漁業・鉱業	7 100	1 14.3	4 57.1	2 28.6	-
建設業	109 100	34 31.2	60 55	15 13.8	-
製造業	154 100	33 21.4	107 69.5	13 8.4	1 0.6
電気・ガス・熱供給・水道業	23 100	12 52.2	9 39.1	2 8.7	-
情報通信業	85 100	17 20	60 70.6	7 8.2	1 1.2
運輸業、郵便業	60 100	14 23.3	29 48.3	16 26.7	1 1.7
卸売業、小売業	132 100	22 16.7	81 61.4	27 20.5	2 1.5
金融・保険業	88 100	7 8	70 79.5	9 10.2	2 2.3
不動産業	47 100	13 27.7	28 59.6	6 12.8	-
飲食店、宿泊業	23 100	7 30.4	7 30.4	8 34.8	1 4.3
サービス業	288 100	66 22.9	154 53.5	68 23.6	-
医療、福祉	37 100	9 24.3	15 40.5	13 35.1	-
公務	-	-	-	-	-
その他	13 100	5 38.5	6 46.2	1 7.7	1 7.7
無回答	15 100	1 6.7	4 26.7	3 20	7 46.7

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施	実施していない	無回答
全体	993 100	122 12.3	480 48.3	365 36.8	26 2.6
農林漁業・鉱業	7 100	2 28.6	4 57.1	1 14.3	-
建設業	109 100	26 23.9	46 42.2	35 32.1	2 1.8
製造業	154 100	15 9.7	82 53.2	55 35.7	2 1.3
電気・ガス・熱供給・水道業	23 100	7 30.4	8 34.8	8 34.8	-
情報通信業	85 100	10 11.8	53 62.4	20 23.5	2 2.4
運輸業、郵便業	60 100	5 8.3	16 26.7	37 61.7	2 3.3
卸売業、小売業	132 100	12 9.1	69 52.3	48 36.4	3 2.3
金融・保険業	88 100	3 3.4	59 67	24 27.3	2 2.3
不動産業	47 100	6 12.8	26 55.3	14 29.8	1 2.1
飲食店、宿泊業	23 100	4 17.4	5 21.7	13 56.5	1 4.3
サービス業	288 100	42 14.6	138 47.9	105 36.5	3 1
医療、福祉	37 100	6 16.2	12 32.4	19 51.4	-
公務	-	-	-	-	-
その他	13 100	2 15.4	6 46.2	4 30.8	1 7.7
無回答	15 100	1 6.7	4 26.7	3 20	7 46.7

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 乳がん検診実施状況(正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	事業所単独で実施	健康保険組合と共同で実施していない	実施している	無回答
全体	993	121	483	365	24
	100	12.2	48.6	36.8	2.4
農林漁業・鉱業	7	2	4	1	-
	100	28.6	57.1	14.3	-
建設業	109	23	41	43	2
	100	21.1	37.6	39.4	1.8
製造業	154	17	76	59	2
	100	11	49.4	38.3	1.3
電気・ガス・熱供給・水道業	23	7	8	8	-
	100	30.4	34.8	34.8	-
情報通信業	85	10	55	19	1
	100	11.8	64.7	22.4	1.2
運輸業・郵便業	60	6	17	35	2
	100	10	28.3	58.3	3.3
卸売業・小売業	132	15	68	46	3
	100	11.4	51.5	34.8	2.3
金融・保険業	88	3	59	24	2
	100	3.4	67	27.3	2.3
不動産業	47	5	26	15	1
	100	10.6	55.3	31.9	2.1
飲食店・宿泊業	23	4	7	11	1
	100	17.4	30.4	47.8	4.3
サービス業	288	40	150	96	2
	100	13.9	52.1	33.3	0.7
医療・福祉	37	5	13	19	-
	100	13.5	35.1	51.4	-
公務	-	-	-	-	-
その他	13	2	6	4	1
	100	15.4	46.2	30.8	7.7
無回答	15	1	4	3	7
	100	6.7	26.7	20	46.7

問2-1 胃がん受診対象(正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	全員に実施(追加など)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	826	152	199	4	603	29	2
	100	18.4	24.1	0.5	73	3.5	0.2
農林漁業・鉱業	6	2	-	-	4	-	-
	100	33.3	-	-	66.7	-	-
建設業	99	13	25	-	71	3	1
	100	13.1	25.3	-	71.7	3	1
製造業	138	21	38	1	103	5	-
	100	15.2	27.5	0.7	74.6	3.6	-
電気・ガス・熱供給・水道業	21	2	5	-	16	1	1
	100	9.5	23.8	-	76.2	4.8	4.8
情報通信業	79	10	24	1	62	2	-
	100	12.7	30.4	1.3	78.5	2.5	-
運輸業・郵便業	40	13	14	-	15	1	-
	100	32.5	35	-	37.5	2.5	-
卸売業・小売業	107	18	23	-	84	3	-
	100	16.8	21.5	-	78.5	2.8	-
金融・保険業	82	13	16	-	75	2	-
	100	15.9	19.5	-	91.5	2.4	-
不動産業	39	5	4	-	30	4	-
	100	12.8	10.3	-	76.9	10.3	-
飲食店・宿泊業	16	4	3	1	10	1	-
	100	25	18.8	6.3	62.5	6.3	-
サービス業	235	52	50	-	165	12	-
	100	22.1	21.3	-	70.2	5.1	-
医療・福祉	30	5	14	1	16	-	-
	100	16.7	46.7	3.3	53.3	-	-
公務	-	-	-	-	-	-	-
その他	11	1	1	-	10	-	-
	100	9.1	9.1	-	90.9	-	-
無回答	5	2	1	-	2	1	-
	100	40	20	-	40	20	-

問2-1 肺がん検診受診対象(正社員)

	調査数	全員に実施(追加など)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	818	640	125	1	127	12	9
	100	78.2	15.3	0.1	15.5	1.5	1.1
農林漁業・鉱業	6	5	1	-	1	-	-
	100	83.3	16.7	-	16.7	-	-
建設業	97	74	12	-	15	1	2
	100	76.3	12.4	-	15.5	1	2.1
製造業	134	102	19	-	21	1	1
	100	76.1	14.2	-	15.7	0.7	0.7
電気・ガス・熱供給・水道業	22	18	4	-	6	-	-
	100	81.8	18.2	-	27.3	-	-
情報通信業	75	58	11	-	15	1	-
	100	77.3	14.7	-	20	1.3	-
運輸業・郵便業	46	38	6	-	3	-	1
	100	82.6	13	-	6.5	-	2.2
卸売業・小売業	102	79	13	-	16	1	1
	100	77.5	12.7	-	15.7	1	1
金融・保険業	77	54	16	-	27	-	1
	100	70.1	20.8	-	35.1	-	1.3
不動産業	42	38	2	-	3	2	-
	100	90.5	4.8	-	7.1	4.8	-
飲食店・宿泊業	19	14	2	-	4	1	1
	100	73.7	10.5	-	21.1	5.3	5.3
サービス業	237	185	41	1	34	5	2
	100	78.1	17.3	0.4	14.3	2.1	0.8
医療・福祉	29	23	5	-	4	-	-
	100	79.3	17.2	-	13.8	-	-
公務	-	-	-	-	-	-	-
その他	11	11	-	-	-	-	-
	100	100	-	-	-	-	-
無回答	6	4	-	-	-	2	-
	100	66.7	-	-	-	33.3	-

クロス集計表

(上段:件数/下段:%)

問2-1 大腸がん受診対象(正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	全員に実施(追加など)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	793 100	147 18.5	218 27.5	2 0.3	538 67.8	29 3.7	3 0.4
農林漁業・鉱業	5 100	1 100	1 20	-	3 60	-	-
建設業	94 100	16 17	23 24.5	-	64 68.1	1 1.1	1 1.1
製造業	140 100	16 11.4	50 35.7	-	95 67.9	6 4.3	1 0.7
電気・ガス・熱供給・水道業	21 100	1 4.8	7 33.3	-	16 76.2	1 4.8	-
情報通信業	77 100	14 18.2	26 33.8	1 1.3	53 68.8	2 2.6	-
運輸業、郵便業	43 100	19 44.2	11 25.6	-	15 34.9	1 2.3	-
卸売業、小売業	103 100	17 16.5	21 20.4	-	79 76.7	4 3.9	-
金融・保険業	77 100	7 9.1	19 24.7	-	69 89.6	4 5.2	-
不動産業	41 100	5 12.2	4 9.8	-	33 80.5	4 9.8	-
飲食店、宿泊業	14 100	3 21.4	4 28.6	-	10 71.4	-	-
サービス業	220 100	53 24.1	54 24.5	1 0.5	137 62.3	10 4.5	1 0.5
医療、福祉	24 100	1 4.2	13 54.2	-	13 54.2	-	-
公務	-	-	-	-	-	-	-
その他	11 100	2 18.2	3 27.3	-	9 81.8	-	-
無回答	5 100	-	3 60	-	3 60	1 20	-

問2-1 子宮頸がん検診受診対象(正社員)

	調査数	全員に実施(追加など)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	602 100	48 8	375 62.3	6 1	287 47.7	27 4.5	8 1.3
農林漁業・鉱業	6 100	1 16.7	4 66.7	-	2 33.3	-	-
建設業	72 100	6 8.3	43 59.7	-	30 41.7	3 4.2	2 2.8
製造業	97 100	7 7.2	63 64.9	-	48 49.5	4 4.1	1 1
電気・ガス・熱供給・水道業	15 100	1 6.7	11 73.3	1 6.7	5 33.3	1 6.7	-
情報通信業	63 100	2 3.2	47 74.6	-	26 41.3	1 1.6	-
運輸業、郵便業	21 100	2 9.5	17 81	-	6 28.6	-	-
卸売業、小売業	81 100	9 11.1	43 53.1	-	46 56.8	8 9.9	2 2.5
金融・保険業	62 100	8 12.9	33 53.2	-	37 59.7	1 1.6	-
不動産業	32 100	2 6.3	20 62.5	3 9.4	12 37.5	3 9.4	-
飲食店、宿泊業	9 100	1 11.1	6 66.7	-	4 44.4	-	-
サービス業	180 100	16 8.9	113 62.8	2 1.1	81 45	9 5	4 2.2
医療、福祉	18 100	2 11.1	9 50	-	9 50	-	-
公務	-	-	-	-	-	-	-
その他	8 100	1 12.5	3 37.5	-	6 75	1 12.5	-
無回答	5 100	-	4 80	-	1 20	1 20	-

問2-1 乳がん検診受診対象(正社員)

問1 事業所の主たる業種【複数回答】

	調査数	全員に実施(追加など)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	604 100	46 7.6	375 62.1	3 0.5	306 50.7	28 4.6	7 1.2
農林漁業・鉱業	6 100	1 16.7	4 66.7	-	2 33.3	-	-
建設業	64 100	7 10.9	39 60.9	-	28 43.8	4 6.3	2 3.1
製造業	93 100	6 6.5	62 66.7	1 1.1	47 50.5	5 5.4	2 2.2
電気・ガス・熱供給・水道業	15 100	1 6.7	12 80	-	6 40	2 13.3	-
情報通信業	65 100	4 6.2	44 67.7	-	33 50.8	1 1.5	-
運輸業、郵便業	23 100	2 8.7	17 73.9	-	9 39.1	-	-
卸売業、小売業	83 100	5 6	49 59	-	49 59	6 7.2	2 2.4
金融・保険業	62 100	10 16.1	32 51.6	-	38 61.3	1 1.6	-
不動産業	31 100	2 6.5	20 64.5	-	17 54.8	4 12.9	-
飲食店、宿泊業	11 100	1 9.1	8 72.7	-	5 45.5	1 9.1	-
サービス業	190 100	15 7.9	119 62.6	2 1.1	92 48.4	10 5.3	2 1.1
医療、福祉	18 100	2 11.1	10 55.6	-	10 55.6	-	-
公務	-	-	-	-	-	-	-
その他	8 100	-	2 25	-	7 87.5	1 12.5	-
無回答	5 100	-	3 60	-	2 40	1 20	-

問3 肝炎ウイルス検診受診対象(正社員)

	調査数	全員に実施(追加など)	実施(希望)者全員に	定員制限を設けて実施	年齢制限を設けて実施	その他	無回答
全体	407 100	118 29	110 27	1 0.2	171 42	68 16.7	4 1
農林漁業・鉱業	2 100	-	1 50	-	2 100	-	-
建設業	45 100	14 31.1	12 26.7	-	21 46.7	4 8.9	-
製造業	61 100	12 19.7	20 32.8	-	27 44.3	14 23	1 1.6
電気・ガス・熱供給・水道業	12 100	2 16.7	4 33.3	-	5 41.7	6 50	-
情報通信業	41 100	16 39	10 24.4	-	15 36.6	4 9.8	-
運輸業、郵便業	19 100	7 36.8	7 36.8	-	6 31.6	2 10.5	-
卸売業、小売業	60 100	11 18.3	18 30	1 1.7	28 46.7	9 15	-
金融・保険業	37 100	10 27	4 10.8	-	22 59.5	8 21.6	-
不動産業	17 100	5 29.4	1 5.9	-	7 41.2	4 23.5	-
飲食店、宿泊業	8 100	2 25	2 25	-	3 37.5	2 25	-
サービス業	121 100	45 37.2	30 24.8	-	46 38	16 13.2	3 2.5
医療、福祉	16 100	6 37.5	7 43.8	-	5 31.3	2 12.5	-
公務	-	-	-	-	-	-	-
その他	2 100	1 50	-	-	1 50	2 100	-
無回答	2 100	-	1 50	-	-	1 50	-

平成21年3月発行

登録番号(20)478

平成20年度 東京都がん検診実態調査報告書

発行 東京都福祉保健局保健政策部健康推進課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話03(5320)4363

協力 株式会社三菱総合研究所
健康・医療政策研究グループ
東京都千代田区大手町二丁目3番6号
電話03(3277)0730

実施 株式会社総合企画
東京都千代田区飯田橋二丁目9番3号
かすがビル4階
電話03(3262)8274